元気があれば、プロレスもガチンコもできるっ!

平成12年4月25日第3種郵便物認可　平成13年6月28日発行　増刊　第3巻・11号・通算47号

SRS DX

Special Ring Side

6・28
臨時増刊号
2001
定価680YEN

桜庭も猪木も脇役! PRIDE.14 大会速報号

藤田和之プロデュース"高山劇場"

毒と夢
二つ我に在り

PRIDE.14
5.27★横浜アリーナ

史上初のプロレスラー〝ガチンコ〟対決
藤田VS高山、凄絶潰し合い！

大番狂わせ

ビッグ・アップセットじゃないと、物足りませんか？

『プライド14』のメインとなった、史上初のプロレスラー同士のガチンコ対決は、藤田が戦前の予想どおりの勝利を収めた

©Essei Hara

殺伐とした舌戦で居直ったか？
藤田『格闘家としてプロレスラーを潰す！』

全身プロレスラー、高山『プライド』初登場

試合前、藤田は突如「格闘技側の人間として、高山を潰す」と発言し始めた。その真意は何か？

▶プロレスラーらしく凄味を効かせて入場する高山。全身プロレスラーだ！

▶ジャイアント馬場さんにもほめられた、トップロープを跨ぐ入場。196センチ、125キロはまさに怪物！

▶高山の「プライド」参戦の動機は、理想のプロレスラーの追求にあった

まず最初にハッキリと断っておきたい。

私の記憶では、プロレスラー同士が、大舞台でいわゆるガチンコの試合をするのを見るのは、これが初めてのことである。

古くは力道山VS木村政彦、最近では1・4ドーム橋本真也VS小川直也のような、どちらかが仕掛ける〝シュート〟の試合は、たまに見ることがある。

そういう試合ではなく、いわゆる〝ヨ～イ・ドン！〟で強さを測定するプロレスラー同士のガチンコの試合。そういう意味で、この試合は歴史的一戦とも言えるのだ。

毒と夢、二つ我に在り！

試合前の両者の舌戦は、それこそプロレスラーらしく、殺伐としたものだった。お互い、相手の存在を潰さんばかりの心の折り合い。しかし、それらの発言も、これがガチンコの試合だと思うと、プロレス的発言を超えて、背筋がゾクゾクしてくる。

藤田は高山に強烈な嫉妬をした。『プライド』に登場するまで、新日本の中堅レスラーだった藤田は、それこそ命を削るような思いで世界のトップファイターと闘い、見事に飛び級してＩＷＧＰのチャンピオンにまで辿り着いた。そんな藤田からしてみれば、高山は自分の二匹目のどじょうを安易に狙う男にしか映らなかったからである。

本気の本気で、そんなヤツの心は折ってやるっ！　藤田は同じ新日本の仲間じゃなければ、そんなヤツは心の底から潰してやろうと思っていた。

一方の高山は、『プライド』に出る理由を、「理想のプロレスラー」の追求と考えていた。高山はすで

PRIDE.14
5.27★横浜アリーナ

▼▶勝負のポイントは、いかに高山が藤田のタックルを切るかにあった。高山は必死にテイクダウンを逃れ、ヒザ蹴りにいく場面が何度もあった

予想外！
藤田が高山の良さを引き出している！

立ち技での凄絶な打撃戦は、まるで藤田が高山の良さを引き出しているかのように見えた。藤田のボクシング・テクニックも進化している

©Essei Hara

の追求と考えていた。高山はすでに、プロレスのメインイベンターとしての自負心がある。そんな高山にとって、藤田はプロレスラーという印象がまるでない。藤田のことは『プライド』ファイターにしか最初から見えてないから「二匹目のどじょうなんて気持ちは、さらさらない」と言う。

高山にとっての理想のプロレスラー像は、プロレスの試合でもメインでお客が呼べて、実力測定のガチンコの試合でも強さを証明できる存在になることだった。だから、高山の発言は藤田とは違い、あくまでもプロレスラーとしての言葉の数々だった。

ところが、試合直前になって藤田に心境の変化が起こる。意外にも、藤田は「格闘技側の人間として、プロレスラー高山をぶっ潰す！」と言い始めたのだ。

この言葉を聞いた時、藤田のほうに相当なプレッシャーがあるんだなと感じた。

考えてみれば、この試合は初めて藤田がメインイベンターとして、挑戦される側に立つ試合である。藤田がメインを務めるのは、プロレスの試合を含めて初めてのこと。新日本出身者なら、その重責は、十分すぎるほど分かるはずだ。

初のプロレスラー同士のガチンコ試合で、自分はメインイベンターとして、客を感動させて帰さなくちゃいけない。しかも、プロレスラーらしく、勝敗を超えた何かを見せる。そんなプレッシャーに対して、居直る発言として出てきたのが〝格闘技側の人間として〟という言葉だったのではないか。

そういう意味では、藤田にとっ

高山の格闘家のベースは首相撲にあり！

▶プロレスラーになる前、格闘技経験のない高山のベースは、この首相撲からのヒザ蹴りだった。その執拗なほどのこだわりには、思わず胸が熱くなった

凄絶！ヒザ地獄

藤田、非情なヒザ爆弾！

▶一方の藤田は、テイクダウンさせて完全に高山をコントロールしてからヒザ蹴り。高山の頭部、顔面に何発もヒザをガツン、ガツンと入れる。しかし、高山はギブアップしない……

ては初めてナマの感情が湧き出た試合だった。ガチンコという言葉は、そもそもひとつの競技の枠を超えて、感情が入った真剣勝負というイメージがある。藤田はその時点で、すでにガチンコの世界に入っていたのだ。

全身プロレスラーの様相で入場してくる高山。一方の藤田は、なぜか物静かな表情でリングに入場して来た。

そうか、藤田はバーリ・トゥーダーとして、高山より遥かに優れたレスリング・テクニックと、経験豊富な試合運びで勝とうと開き直ったか。マーク・コールマンやダン・ヘンダーソンのように勝ちに徹し、強さを見せることだけにこだわればいい。そんな発想に切り替えることによって、藤田は自然に帰れたのだと思った。

ところが、ここからが意見が分かれるところである。いざ、試合が始まってからの藤田が、本当に格闘技側の人間に見えたかどうか。

少なくとも私は違う。私は藤田が格闘技側の人間として、『プライド』という競技に則った勝ちを求めたのではなく、あえて〝真っ向勝負〟に出たように見えた。

真っ向勝負――この言葉もガチンコに近い匂いがする。藤田はアイブル戦の時のようにいきなりタックルに行き、高山の光を消して勝つようなマネはしなかった。

あえて真っ向勝負することによって、高山の良さを藤田自身が引き出しているように見えたのだ。

高山は藤田のタックルを切ってスタンドの勝負にこだわった。ケン・シャムロック戦を見ても分かるように、藤田に勝つにはタック

PRIDE.14
5.27★横浜アリーナ

©Essei Hara

なんでも有りは、お互いのプライドがルール これぞプロレスラーの“真っ向勝負”

昨年一年間、世界のトップファイター相手に修羅場をくぐってきた藤田は、やはりこのルールになると、一枚も二枚も上手

©Essei Hara

▲試合の組み立ては、まさに『プライド』ファイター。されど、それ以上の感情が藤田には見えた

▲最後はガッチリ肩固め。されど高山は失神を選び、最後までタップしなかった

ルを切って殴り合うしかない。しかも、プロレス以前に格闘技経験のない高山は、長身と怪力を生かした首相撲からのヒザ蹴り一辺倒にこだわった。

　これしかないと言わんばかりの高山の執拗な首相撲。しかし、それに対しても藤田は真っ向付き合い、ヒザ蹴りやアッパーを繰り出していく。

　プロレスラー同士の凄絶な殴り合い。そのプロレスラー魂の比べ合いは、まるでお互いのプライドがルールだ、と言わんばかりの闘いに展開していった。

　『プライド』とは、バーリ・トゥードの闘いを見せる場である。しかし普通、バーリ・トゥードというと〝競技〟というイメージが強い。もしかしたら、バーリ・トゥードがアマチュアっぽく見えるのは、そんな競技内での強さの測定をしようとしてるからだろう。

　だが、バーリ・トゥードは本来、競技ではなく、なんでも有りというところに魅力がある。なんでも有りだったら、何をやろうが構わない。どんな闘いをするかは、闘っている者同士のプライドが決めればいいことだ。

　藤田はそんな発想を、いつの間にか自然としていた。だから、彼が選んだのは真っ向、高山の攻撃に付き合うことだった。この試合で、藤田に殴られ、ヒザ蹴りを何発も入れられても耐える高山の折れない心に感動したファンも多かっただろうが、その高山の良さを引き出したのは、紛れもなく藤田だったのである。

　藤田のフィニッシュは肩固めだった。藤田のヒザ蹴りに耐えた高

気が付けば、プロレスラー！ 藤田はやっぱりベストバウトだ！

「格闘家としてプロレスラー高山を潰す」と言っていたが、高山の良さを引き出し仕留めた藤田は、やっぱりプロレスラーだった
©Essei Hara

こんな試合を見せて、藤田よ、永田とのIWGP戦はどうするんだ!?

▲観客の多くは、高山のプロレスラー魂に感動しただろう。もう顔面はボコボコだった

▲試合後、藤田は高山を絶賛した。初のメインでまたひとつ、プロレスラーとしての修羅場をくぐり抜けた

▼こんな試合を見せたら、永田とのIWGP戦はいったいどうなるのか？　藤田にとってはまだまだ難しい試合が続く……

★第9試合（1R10分、2・3R5分）
○藤田和之（2R2分18秒、レフェリーストップ）高山善廣●
〈日本/猪木事務所〉　〈日本/フリー〉

山は、ここでもタップを選ばず、プロレスラーらしく最後は失神して見せた。高山の心も、最後まで折れなかったと思う。

だが、藤田が完勝した結果は、決して大番狂わせ〈ビッグ・アップセット〉ではない。

その結末に対しても、賛否両論ある。「今日の試合、高山が勝ったら最高の結末だったんだけどなぁ」というのが、藤田VS高山戦に対して、どこかで満足できない人たちの言い分。

しかし、果たしてそうだろうか。ビッグ・アップセットを期待するのは、ドームプロレスやK—1のような興行をすっかり見慣れてしまった弊害だ。今のファンの間では、ビッグ・アップセットが起これば、興行は成功したと思い込んでしまうフシがある。

たしかに、ビッグ・アップセットは興奮する。しかし、ビッグ・アップセットの連発を期待しすぎると、ビッグ・アップセット自体、軽いイメージにも映りかねない。

そんな軽いアップセットを興行の売りにするのは、決して正しい姿勢ではない。『プライド』のリアルさは、このアップセットじゃない部分で何を見せられるかということなのだ。

「今日の『プライド』は、まるで昭和の新日本プロレスの蔵前国技館のような興行だった」

そう、ある筋金入りのプロレスファンが言ってきた。「昭和の蔵前」というのは、内容は予想どおりだったが、結末は十分堪能できた興行という意味らしい。その意見に、私は妙に納得してしまったのである。

（谷川）

PRIDE.14
5.27★横浜アリーナ

藤田のコメント

藤田 今日は高山選手の魂をしっかり受け止めました。結果はどうであれ、彼のホントの真の強さっていうものを肌で感じました。

――『プライド』のリングで日本人の選手と闘うのは初めてでしたけど、そういう意味でやりにくさというのはありましたか？

藤田 いや、どんな選手でも国籍問わず、魂を持った選手は素晴らしいと思います。

――高山選手の首相撲を嫌がってたように見えましたけど。

藤田 そうですね。ただ、かなり研究してたみたいで。これで終わりじゃないんで、次6月6日、あのベルトを掛けてタイトルマッチをやるんで、それが終わり次第、勝敗にかかわらず、8日からタイのほうに行って、立ち技の本場であるバンコクで、ムエタイの人たちを少し研究して。ま、先にあるK―1、まだ分からないですけど、バンナ戦に向けて自分なりに動いてみようかなと思ってます。はい。実現するしないは別として。

――高山選手のヒザ蹴りを食らった感触はどうでしたか？

藤田 うん、重いですよ。重かったですね。一発一発が魂入ってますからね。

――致命傷になるのはなかったですか？

藤田 うん、幸いなかったですけど。そう打たれてもおかしくないような状態。

――高山選手のスタミナが苦しくなってきたのは……。

藤田 いや、みんな一緒ですよ、同じですよ。俺も苦しかったし、うん。疲れてホント、結局最後までタップしなかったでしょ、高山。

――今まで『プライド』で闘ったコールマン選手やアイブル選手と比較して、高山選手はどうでしたか？

藤田 程度とか、レベルの問題じゃなくて、それぞれに特徴とかスタイルとか個性がありますから。彼はホントに体をぶつけたファイトして、他の選手と違った闘い方を俺に向けて、凄く研究してたっていうのはもの凄く伝わりました。まっ、選手みんな全力で僕はいってるんで、今日は今日で彼にやりました。高山選手に敬意を表したいと思う。

――試合後に抱き合った時に高山選手に何か言ってましたけど、何を言ってたんですか？

藤田 いやもう、終わったからノーサイドだから関係ないって。ホントに闘いが一生懸命できたので。彼も僕も。ホントに力を出して闘ったんで。お互いに敬意を称えました。

――言葉にしないけど、耐えてたことがあったんじゃないですか？

藤田 いや、ホントに多くは語らないですね。ホントにぶつかってくれたし、俺はぶつけられたし。

――本人は満足いく試合ですか？

藤田 うん、はい。向こうもかなり大きいのがきたし。俺もあげたし。ホントに闘いの原点じゃないですけど(笑)、ノーガードで真っ向でぶつかることができたのでスッキリしました。あとないですか？

――『プライド』の選手に勝ったのとはまた違う勝利の味っていうのはあるんですか？

藤田 いや、同じってことはないです。毎回毎回違います。毎回毎回思い入れがありますけど、全力でぶつかって、去年はいろいろと消化不良の試合もあったけど、でも全力で僕なりにやったんで。今日は今日でホントにぶつけられたんで。これから先の試合もどんどんあるんで、とにかくよろしくお願いします。今日は以上です。■

高山のコメント
(試合後に病院へ直行したためコメントはなし)

▲ワンギャルのアリーネ&相沢真紀も『プライド』に来襲!

▲はせキョーももちろんいましたよっ! 隣はセブンイレブンのCMに出演している野村恵里、そして大槻ケンヂも熱戦に大興奮!

▲ゲスト解説を務めた髙田延彦と畑野浩子。なお、今大会はフジテレビで6月2日(土)、13:00～14:30、東海テレビで6月9日(土)12:35～13:50に放送される

▲藤田VS高山の注目の一戦を見に15326人超満員の観衆が集まった!

藤田VS高山戦は、勝者も敗者もない、「プロレスの魂の勝利」だと思いますね

高山のセコンドについた宮戸優光激白!

高山の『プライド』参戦に当たり、自らの道場を練習場所として提供し、当日はセコンドにまでついた宮戸は何を思ったのか。試合から数時間後に直撃した——。

聞き手◎“Show”大谷泰顕

▲金原とともにセコンドについた宮戸。宮戸は高山の今後について「NOAHという場所でも今日のハートを持って頑張ってもらいたい。もちろん次の『プライド』出陣があれば協力は惜しまない」と話していた。なお試合後、病院に向かった高山だが、宮戸曰く「検査のために大事を取ってということですよ」とのこと

——宮戸さん、今日はお疲れ様でした。

宮戸 どうでした、今日のメインは?

——今日のメインはもう最高の試合だったと思います。

宮戸 僕もそう思うんだけどね。

——いや、両者にとってもベストバウトじゃないんですかね。そんなことないのかなあ……。

宮戸 (嬉しそうに)そうかもしれないね! そう思う。ただ、藤田選手っていうのも、素晴らしい選手だね。

——そう感じましたか。

宮戸 うん。それはどうしてかっていうとね。ああいう闘いが終わった後に、マイクを取って、ああいう相手を称えるような言葉を言えるっていうのはね。もちろんお互いのハートがあの試合を通じて、そこまで感じられたんでしょうけど、よくああいうね、そこに関心しましたよ。関心っていうかね、凄いなあと思った。言えないですよ、あれは誰でも。だってあれ、用意してた言葉じゃないでしょう。もし用意しててあれが言えたんだったら、あんな激闘の後に、そんなのを覚えてたなんてのは、普通じゃ有り得ない。だから僕は、そこに藤田選手の凄さを見たね。だから、単なる「野獣」じゃないんだなってね。

——たしかに、単なる「野獣」じゃない!

宮戸 うん。だから案外、彼の未知の奥深さを見ちゃったな、あの発言に。

——ああ、なるほど!

宮戸 いや、10人同じことをやったヤツがいたとしても、その中で誰があの言葉を言えるのか。なかなかいないと思いますよ。どう思います?

——たしかに、そうだと思います。

宮戸 だって、あの勝ちに舞い上がって、ワーッとやっちゃうのが普通だもん。

——そうかそうか。

宮戸 実を言うと、「秘策」もあったんだけど、それは出せなかったんだけどね。

——ひ、秘策ですか!?

宮戸 その「秘策」が出せなかったから、その辺が藤田選手の勝ちにつながったんだと思うんだけど。ただ、ひとつセコンドとして、身内として言うならば、あと5分間分のスタミナがあれば、違う方向に転がってたなあと思う。ただ、それはお互い様だから、なんとも言えないけれども。ただ、終わってみるとね、僕はああいう藤田選手みたいな人がプロレスラーとしていてくれたのは凄く嬉しかった。

——ホントそうですよね!

宮戸 あの強さっていうのは、今日いろんな闘いがあった中で、何百年前に戻ったレスラー同士での闘いが、他の試合とは違う、言葉で言い表せない何かを僕らに見せてくれたと思いますね。だから、嬉しかったっていうか、感動しましたよ。

——ビル・ロビンソンさんは何か言われてました?

宮戸 ロビンソンが言ってたのは、「今回の試合に関しては、こういう結果になった一番の原因はスタミナがなかったことだ」って言ってましたよ。

——じゃあラウンド間のインターバルの間、宮戸さんは何を言ってたんですか?

宮戸 その「秘策」のことをちょっと言ったんだけどね。それは爆発せずに終わりましたけどね。

——というと、宮戸さんとしては「秘策」もそうですけど、言える範囲でセコンドとしての藤田対策っていうのは?

宮戸 その「秘策」をハズせば、70パーセントはできたんじゃないですか?

——70パーセントは出せたと。

宮戸 まあ、もちろん難点を上げればキリがないけれども、僕と一緒にセコンドについていた金原(弘光)と僕が共通に思ったことというのは、高山の今回の準備期間とか、入院して練習できずに、体調不良だったことを含めると、そういう状況の中で、今日は彼の現段階でのベストが出せたし、120パーセントは出せたと思いますよ。あとは、彼の闘いにおける精神的な部分だからね。それは藤田選手も一緒だと思いますよ。

——それはホント、そうでしょうね。

藤田選手は「格闘技者として」なんて言ってたけど、堂々と「俺がプロレスラーなんだ！」と言ってもらいたい

宮戸　だからそういう意味で、勝敗を超えた何かを、僕らに感じさせてくれた試合だったと思うけどなあ。今まではこういう闘いだと、勝敗が技術論に終始しちゃうんだけど、そこを超越した感動を僕は受けました。他の人は分からないけど、僕はそれを覚えたね。

――当然、藤田対策には「ヒザが合わせられるなら」というのもあった？

宮戸　そういう感じじゃなくて、相手のいい部分を阻止して、自分のいい部分を出すと。もちろんその中にヒザを出すっていうこともあったけど、それに関しては、僕らの言ってたとおりにやれてましたからね。要するに、藤田選手の動きをキチッと止めておいてね。

――止めてましたねえ！

宮戸　あれはもう、言ってたとおりのことがやれたね。あれは、普通のタイ式の、キックボクシング式の首相撲をやると、相手に取られちゃうんですよ。そういう、ちょっとしたコツなんだけど、それは言っていたとおりにできた。だから、藤田選手は高山がヒザ蹴りに来ても、その足を取りに行けなかったでしょう。あれは止めてたからなんですよ。その止め方っていうのは完璧にできてましたね。だから当然、途中で疲れちゃってね。思うように出し切れずに、そこを突かれて、持っていかれたりはしてたけど、ただ、非常に練習どおりにそこはできてたな。

――控室にはＮＯＡＨの選手も来てたんですか？

宮戸　来てない、来てない。試合が終わってから来たけどね。

――そうかそうかそうか。

宮戸　だから、そんなことよりも、今日はなんていうのかな。藤田選手っていうレスラーが相手なんだけど、僕も今日はセコンドについていて、嫌な負け方じゃなかったね。

――ああ……、なんとなくその気持ちは分かります。

宮戸　清々しいものは残してくれましたよね。だから高山自身も、今日は負けて悔いなしだったと思うしね。もちろん「俺がもう1回やれば」っていう気持ちは高山自身にもあると思うし、僕なんかとしても「もうちょっとコンディションが良ければな」という気持ちはありますよ。けど、藤田選手との闘いは、ホントに清々しいものだった。

――ホントそんな感じでしたよね。

宮戸　だから、逆に言うと、藤田選手にはプロレスラーの強さを、またさらにいろんな意味で見せてもらいたいし、ハートを見せてもらいたい、というのが彼への感想だし。また、彼への思いだね。やっぱり今日の他の試合にはない、何かが2人の試合にはあったでしょう。

――いや、ありましたよねえ！

宮戸　僕はそう思った。それは、もしかしたら同じ遺伝子を持った者にしか分からないものかもしれない。それがある試合だったね。だから、もちろん今日は藤田選手の勝利なんだけど、負けた高山も敗者じゃないな、と思いましたよ。だから、今日の藤田VS高山戦は、ホントのプロレスを、流れは多少違いながらも、同じものを持ってる者同士がぶつかった時の熱さっていうのかな。その熱さから受けたものっていうのは、「プロレスの勝利」だったっていう気がするんだよね。

――プロレスの勝利！

宮戸　レスラー同士だから感じられるものっていうのを、俺は思ったんだけどな。

――それは、なぜか知らないけど、僕も感じましたよ。そう思います。

宮戸　そこなんですよ、「プロレスの勝利」っていうのは。だから他の試合と比べてどうのこうのじゃなくて、藤田VS高山戦っていうのは、藤田選手が勝ったけれども、それは藤田選手の勝ちであると同時に、敗者のいない、高山も敗者じゃなくて、もうひとつ言うなら「プロレスの勝利」っていうものがあったのかなっていう。そういう感じがしましたね。2人とも務めを立派に果たしましたよ！

――たしかに藤田選手は「猪木イズム最後の継承者」と呼ばれてますけど、今日はその「猪木イズム」さえも超えてたというか。

宮戸　だから、あえて言葉にすれば、そこに「プロレスの魂」みたいなものがあったってことですよ。そこが「プロレスの勝利」ってことかな。だからそういう意味では「プロレスの魂の勝利」なんじゃないかと思いますね。それが藤田選手が勝ったということにプラスアルファしてあったんじゃないかっていうね。それをレスラー同士の闘いで見せたことこそが勝利ですよね。それは技術的な意味じゃなくて、魂がまだ生きてたなっていう。

――例えば、宮戸さんからすると、かつて髙田延彦選手がUインター時代に「格闘技世界一決定戦」をやったけど、あれに匹敵するというか。

宮戸　いや、今日はちょっと違う意味ですよね。あの時は「対敵」「プロレスを守る」っていう部分だけど、逆に僕は今日、藤田選手っていう存在を、また改めて見直したっていうか、そういう存在が伝わってきましたよね。だから彼も今日は「格闘技者としてプロレスラーを潰します」なんて言ってたけど、僕は堂々と「俺がプロレスラーなんだ」って、彼に言ってもらいたいですね。「バカ野郎！　バカにするなよ、プロレスを。俺がプロレスラーなんだ！」って、彼には今後もそれを見せつけてもらいたいですね。それに、藤田選手っていうのは勝負に関してのハートもあるけど、それじゃなくて違うハートもある人だね。

――そう考えると、宮戸さんからすると、Uインターの落とし子が凄い試合を見せてくれて、率直に嬉しいですよね。

宮戸　へへへへ。いやあ、僕も今日はセコンドにつかせてもらって良かったですよ。実際、今日は僕も久々に喉が枯れましたから（笑）。■

高山VS桜庭対談実施中！

現在発売中の『sabra』（小学館）に「桜庭和志のアイ～ン対談」のゲストとして高山が登場。Uインター時代の㊙エピソードから藤田VS高山戦まで、幅広い内容で対談中。また、本誌・谷川編集長&『紙プロR』の山口編集長&Showが出張座談会も行っている。必読だ！

藤田も両方の看板を背負って大変かもしれないけどね。

© Essei Hara

桜庭に負けじと本家もシャウト！「元気ですかぁ〜！　元気があれば何でもできる。元気があれば明日が見える。元気があれば高い『プライド』の切符も買える。今日はどうもありがとぉ！　行くぞぉ！　1、2、3ダァ〜ッ！」

猪木のコメント

—藤田和之選手は苦しい試合でしたね。

猪木　う〜ん……、ちょっとね。油断したわけじゃないだろうけど、やっぱり藤田もいろんな相手とぶつかって、経験を積むという意味ではね。今日はかなり、ちょっと心配したのは、力を出しすぎちゃうと、ああいうデカいのは、逆にスタミナをだいぶ取られちゃってね。それがたぶん、高山って言ったっけか。

—はい。

猪木　彼もそれは計算の上でやったと思うんだけど、いかんせんスタミナの問題っていうのはね。藤田に必要だったんで、力の抜き方がわりとうまくやってたんじゃないですか。

—なるほど。

猪木　もう1つはケサ固めをあのタイプには一番かけにくいんだけど、まあ、スタミナを奪った上での勝負だったからね。新しい展開ができたんじゃないですか。

—今後の藤田選手の課題は？

猪木　さあ、これは藤田がこの前、タイトル（IWGP）を取ったということも含めて、そんなにプレッシャーを抱える人間じゃないと思うけど、でも裏腹にもの凄いそれを抱える部分も持ってるからね。もの凄く裏でスゴんでもね。だから両方（新日本と『プライド』）の看板を背負っちゃってるんだから大変だと思うけどね。まあ、あんまり気にしなくてもいいんじゃないの？　意外な方向へ展開が広がっていくというか、藤田が参戦したことによって、プロレス界のほうも永田（裕志）とか、従来なら実力をもっともっと評価してあげたい選手が動けるような体制になってきたってことはね、プロレス界も面白くなっていいんじゃないの？　秋山（準）っていう選手は知らないんだけど、俺も。聞くところによると、大変いい素質を持ってるということで。そういう選手とか。だから、おそらく間違いなく時代の流れが起きたというね。自民党じゃないけど、そういう流れが起きてきたから、この勢いがどこまで大きくなっていくかっていうね。これが今度は新日本の体制の問題（も含めて）。来月（株主）総会がありますんでね。まあ、表と裏と、いろんな部分で一致しなきゃいけない部分ですから。ま、それがある意味ではタイヤのあれ（歯車）が噛み合いつつあるかなあ、という気がします。

—今後、やっぱり藤田選手はバンナ戦に向けて動いていくんでしょうか？

猪木　いや、（石井館長は）何も言ってこないから分かんないけどね、そのK—1のことに関しては。まあ、ひとつにはWWFの状況が変化が起きてるということで、もの凄い選手から問い合わせが入ってるんです。前は1人とか2人だったのが、そういう数じゃなくなっちゃったんで。近々道場を物色中というか、いくつか今、候補地が上がったんでね。（ロスに）帰った段階で、ちょっといろんなことを整備しなきゃいけないんで、時間がかかりますけど。

—今後、藤田選手が闘うべき相手は誰になりますか？

猪木　まあ、まだまだいっぱい出てきそうですからね。だから試合から試合までのスパンが短くなるかもしれないんで、今も一言、「お前、飲みすぎるなよ」って言ったんだけど、ガーッと今日は飲んでね、飲んだら「今日は絶対」と思うだろうけど、闘うヤツの使命というかそういう意味では、まあ闘う選手としてそこはしょうがないね。ちゃんと維持していかないと。たぶんこの次に予定してたんで、今回は出る予定じゃなかったからね。

—7月も出る予定なんでしょうか？

猪木　7月かその後のヤツかな。あとはもう1つ大きな部分でね、やっぱり6・6？（日本武道館）と思うよね、正直言って。しょうがない。それはさっきも言ったとおり「闘う選手として」スケジュールをこなしていきゃあいい。そういうことで。いいでしょうか。どうも。■

桜庭和志、猪木に負けじと「元気ですかぁあああ！」？

© Essei Hara

▶休憩明けに桜庭和志がリングに登場。大歓声に包まれた

（リング上で）

「元気ですかぁぁぁぁぁぁ！　元気が出たので練習してますっ！　またみなさんの前でいい試合ができるよう頑張ります。よろしくお願いします」

大会後のコメント

「（今日の感想は？）特にないです。（大山VSシウバ戦に関しては？）ああ、大山君、カッとなっちゃったと思うんですよ。僕と一緒ですよね。自分のペースでやれば、たぶんいけると思うんですよ。大山君のほうがパンチ力もあるし。（メインは？）しっかり見てないんですよ、僕。そうですね、藤田のほうが体力が上回ってたんじゃないですか。初めは高山さんのペースだったじゃないですか。それを凌いだ藤田の体力が凄いと思いました。テクニックもありますけど。いいんじゃないですかね。人の試合を語る前に自分の試合を語らないといけないですから。はい（ニッコリ）」■

PRIDE.14
5.27★横浜アリーナ

藤田VS高山戦?
2人の生き様が伝わってきたね。

髙田延彦のコメント

—今大会の総括をお願いします。

高田 非常に素晴らしい興行だった。魂抜かれたね、試合に引き込まれて。3試合ぐらい俺が試合をしたような疲れがあるよ。たぶん、洋服脱いだらアザがいっぱいあるね(笑)。

—そ、そんな(笑)。

高田 頭もかなり打たれてるから、結構フラフラしてるんだよね。CT行ってみるわ(笑)。

—アハハハ、まさか(笑)。メインの試合に関してはどうでしたか?

高田 凄く良かった。2人の生き様が伝わってきたね。今日のメインイベントは感情移入したり、思い入れを持ったりして見られる試合だったんだけど、それに裏切られることなくね、自分が感情移入した以上のものを返してくれたからね。やっぱりあの2人の役柄は大きかったし、メインを張って高山の挑戦を受けて退けた藤田のね、たくましさみたいなものが伝わってきたよね。

—試合の最初は高山選手ペースでしたよね。

高田 うん。あのスタンドの首の取り合いがあったから、面白い展開になったと思うんだけど、やっぱり後半は地力と経験の差というかな、藤田がちゃんと試合を組み立てていってる状況が凄く分かったし、なんとか勝ったっていうより、最後は料理したって感じだね。藤田は強かったよ。

—藤田選手は『プライド』で一本勝ちは、久々でしたからね。

高田 うん。でも、イゴールのチョークも俺は天然記念物を見てるようでね、今後ないんじゃないかと思ってるよ。あれが決まり手では一番ビックリしたね。

—そうですかぁ(笑)。では、シウバVS大山戦はどうでしたか?

高田 もう、入場してきた時に僕らがリングに上がるような気持ちを抱かしてくれたというかね。凄い緊張感があって、試合内容は短かったけど、終わり方が早かった遅かったっていうのは、レフェリーの判断だし、俺はなんとも言えないよ。でも、凄くやってくれそうだなっていう片鱗を、あの短い時間の中で見せてくれたね。まだ彼は若いし、今後たくさんチャンスもらえると思うんだよ。だから、シウバに目を逸らさず真っ向から向かっていった心意気を、今後も継続して『プライド』のリングで見せてもらいたいね。

—「平成のエスペランサ」というキャッチフレーズが大山選手にはついているんですが、どうですか?

高田 寝技系でありながら、あくまでも倒しに行くっていう魂はね、まさしく『プライド』のコンセプトにぴったりな選手だし、これからの選手だし、引っ張っていってもらいたいね。

—髙田さんのことが憧れの選手のようですよ。

高田 そう。じゃあ、今度飲みの誘いに行くわ(笑)。飲みに行って彼の選手生命を潰さないようにしないとね(笑)。ホントいい雰囲気持った選手だよ。

—松井選手も良かったんじゃないですか?

高田 松井は点数をつけると40、50点かな。結果は満点だけどね。たしかに相手は非常に強い選手だけど、今日の松井だったらもっと早いうちに一本取るとか、勝負をつけることができたと思うんだよね。まだまだ出せてない部分があるのかなぁと思った。ただ、彼は彼なりにいつも「シウバ、シウバ」って言ってるけども、それに対する扉をね、誰も開いてくれないから、自分でうまくこじ開けたなという感じはするよね。それが次に繋がるんで良かったかな。ツメが足りなかった分マイナス60点だね。

—松井選手には厳しいですねぇ。

高田 ま、高いところにもっと目標をおかないとね。松井はずっと強豪とやってきて、変な負け方はしてないけども、そろそろいい結果を出さないといけない時期だったからね。それだけのものを持っているわけだから。

—桜庭さんもかなり檄を飛ばしてましたね。

高田 やっぱりね、いい意味で松井が後がないっていうのをみんな分かってるから。だから、松井と同じ気持ちになって、一緒に闘うじゃないけどそういう気持ちじゃないかな。それが一番ですよ。今の松井のポジションが桜庭やみんなに伝わった結果がああいう檄だったんじゃないかな。今日はイベントとしても良かったし、道場的にも良かったし、メインも良かった。あとは、ヘンダーソンが強いね。あの選手の試合は勉強になったよ。

—今日は試合を見てて、リングに上がりたいと思われたんじゃないですか?

高田 そうだね。凄く刺激はもらえるね。どのスポーツを見てても、見てれば刺激を受けるけどね。

—髙田さん的には、今日はイゴールのフィニッシュが一番びっくりしたと。

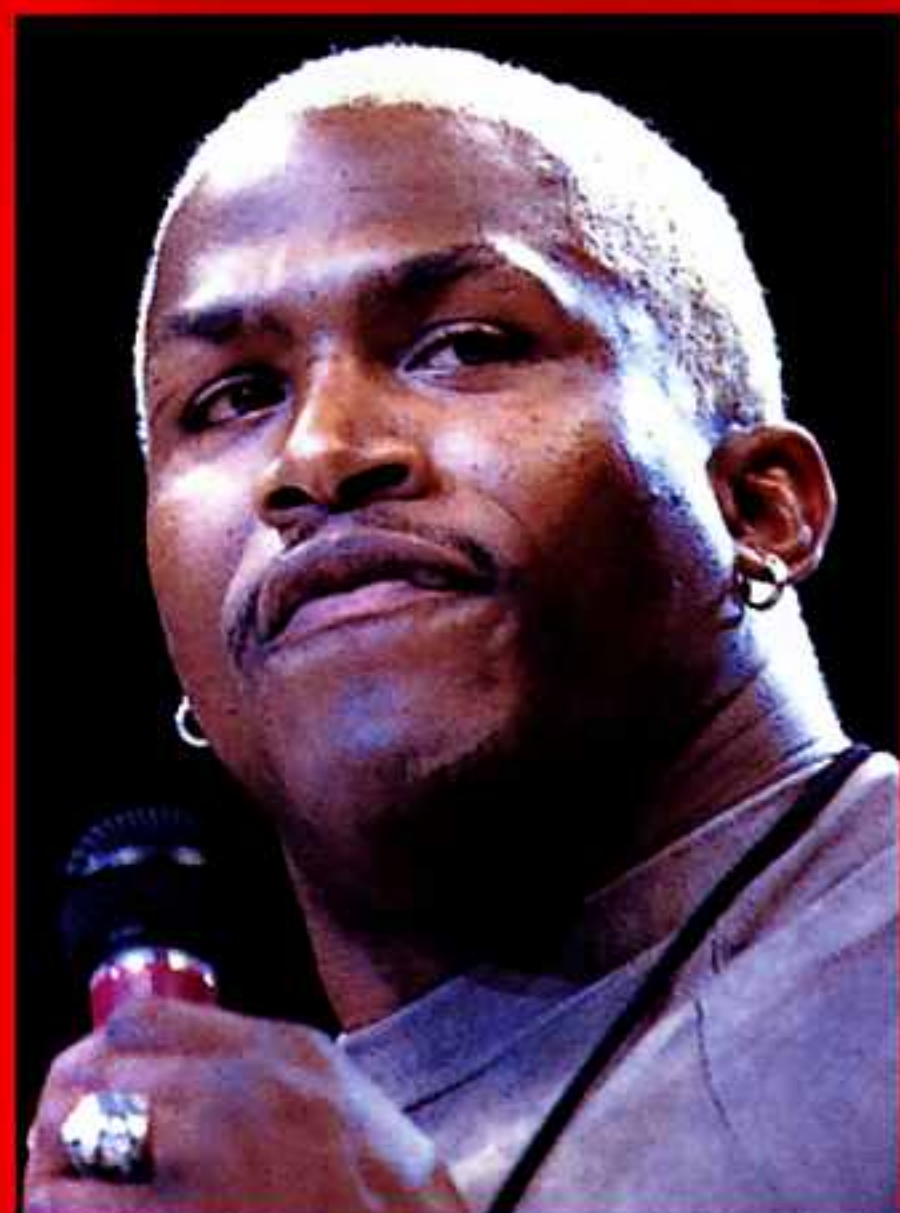
高田 まあ、松井とか、メインもそうだけど、いくつかね、驚きの連続っていう試合はたくさんあったからね。その中であえて、ちょっとびっくりしたっていうか、えっ? っていう感じだったね。アイブルも「そりゃないだろ」っていう顔してたからね(笑)。■

格闘家たちの『プライド14』目撃談！

UFCから噂のリングス離脱・山本＆成瀬まで世界中の一流ファイターが横浜アリーナに集結！

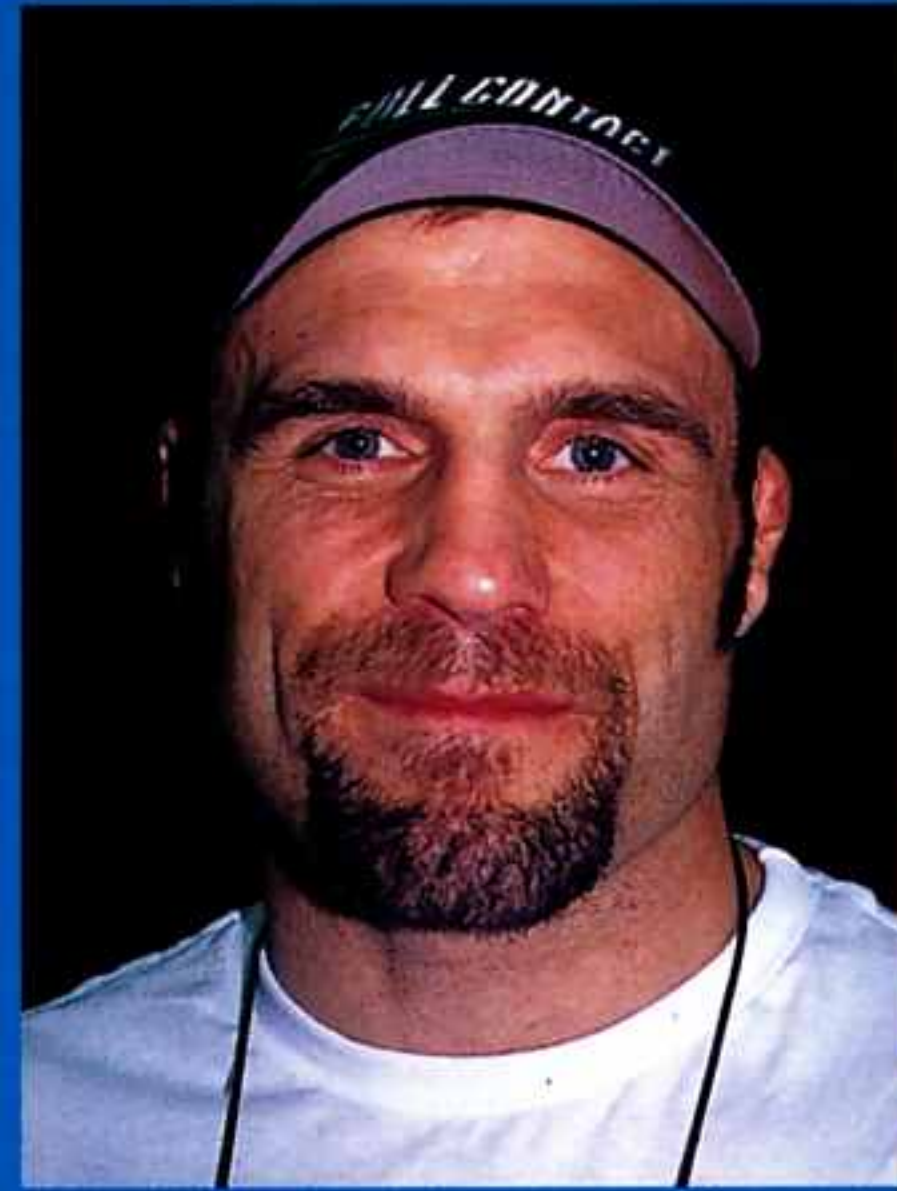
マーク・コールマン

「（今日の感想は？）今まで『プライド』を見てきた中でも一番いいイベントだった。（メインの試合は？）ヘビー級同士の闘いだったから非常にタフな内容だった。フジタは強くて、レスリングのスキルもいいしパンチ力もある。一番凄いのは固い頭をしてるから、なかなか痛めつけられなくて相手を疲れさせるという有利な武器を持ってるところかな（笑）。（藤田vs高山戦の勝者とやりたいと言ってましたが？）フジタは有名で人気があっていい選手だからぜひ闘いたいね」

ケビン・ランデルマン

「オレは『プライド』が大好きさ。今日もいいイベントだったよ。（『プライド』で闘ってみたい選手は？）マーク・コールマン……ジョークだよ（笑）。誰でもいいけど同じくらいのウェイトのヤツがいい。（メインの印象は？）フジタは強いんじゃないの。（『プライド』のルールについては？）あのルールはいいとは思わない。もし、オレが寝てる時に顔を蹴られたら死んじゃうかもしれないだろ（笑）。でも、やるとなったら気にしないよ」

ジョン・ルイス

「（特に良かった試合は？）チャックの試合だね。最初は押され気味だったけど、２Ｒに入ったら逆転したから面白かった。（メインの試合はどうでした？）いろいろ動きはあったけど、ただフジタやタカヤマについてはよく分からないからなんとも言えない。（『プライド』で誰とやりたい？）今日勝ったニーノとやりたい。あとはウノだね。（『プライド』の新ルールについては？）いいんじゃない。ボクにとってはいいルールだよ」

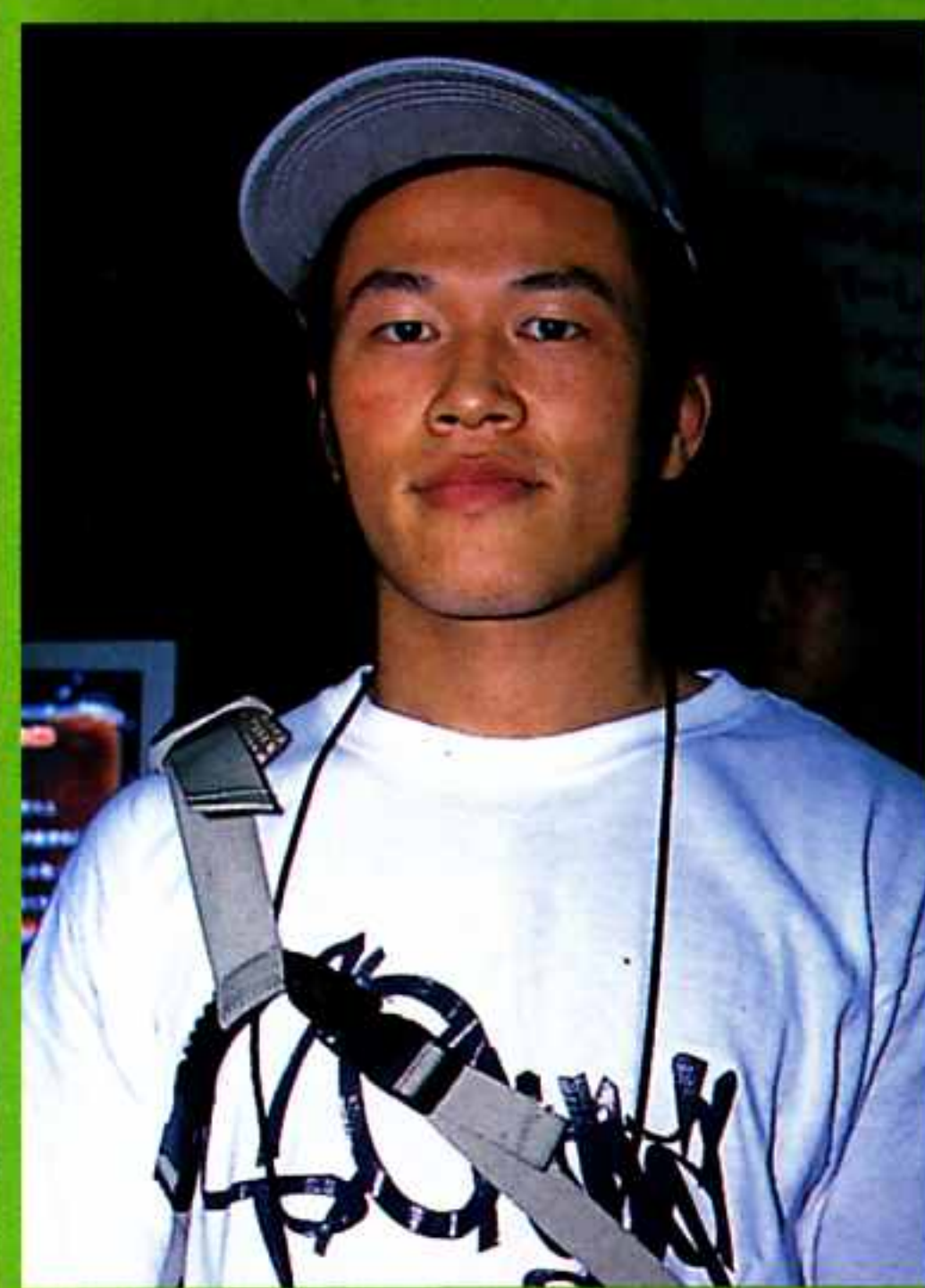
ランディ・クートゥア

「（印象に残った試合は？）チャック・リデルとガイの試合だね。最初はガイが試合をコントロールしてたけど、２Ｒに逆転したから凄く面白い試合だった。（メインはどうでしたか？）フジタは元々知っててタフでいい選手だと思ってた。相手のタカヤマはいいヒザ蹴りをもっててよく闘ったよ。（『プライド』で闘ってみたい選手は？）イゴール、ケン・シャムロック、あとはファンが望んでくれる選手だね。（藤田選手とは面白いんじゃないんですか？）うん。フジタはタフでレスリングの経験もあるからいい試合になるんじゃないかな」

山本憲尚

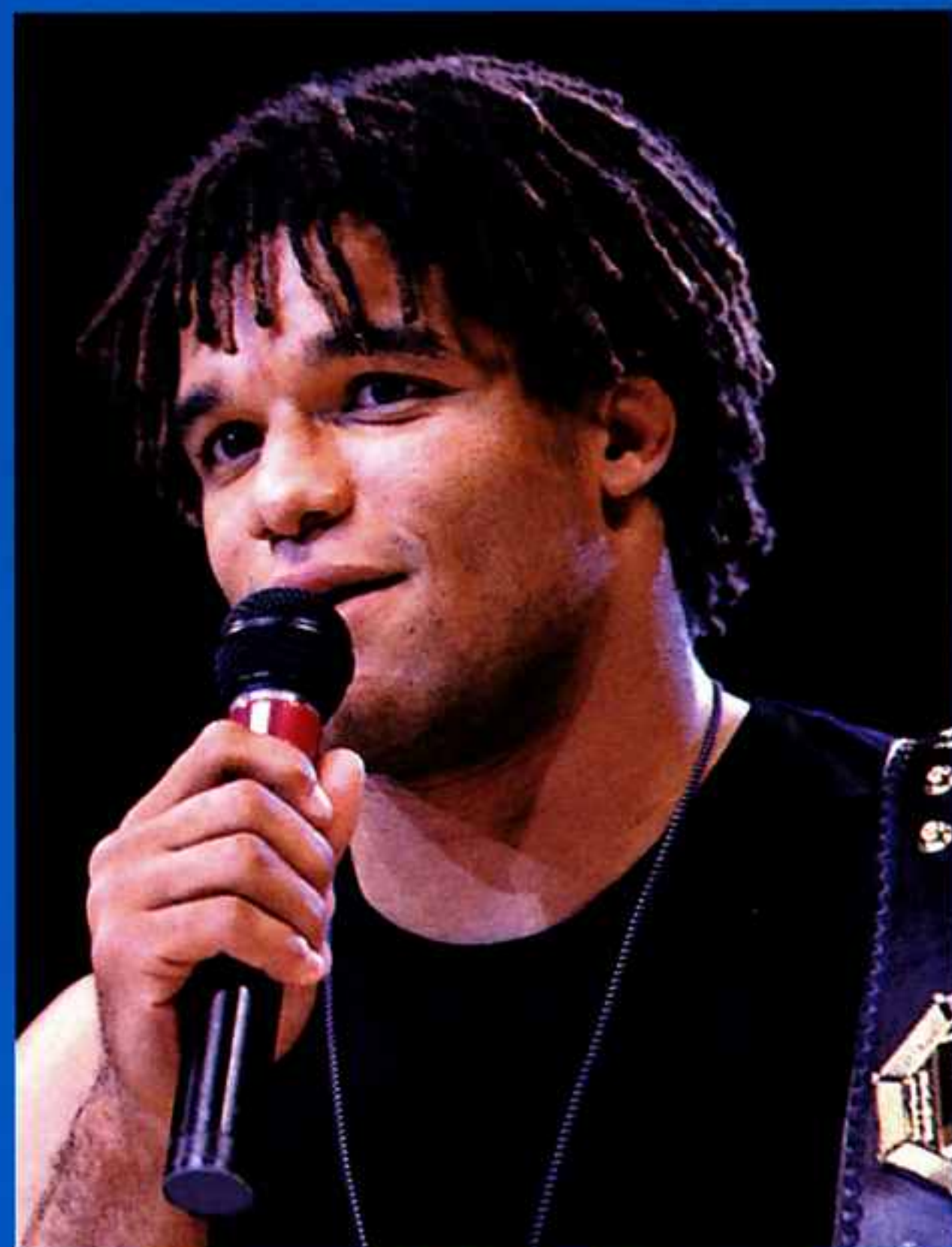
▲試合後にオーフレイムとパチリ！

「（『プライド』に出てみたいですか？）今回ルールが変わって初めて見に来たのでなんとも言えないですね。（今後は？）まったく白紙で何も決まってないです。（オーフレイムは？）いい具合まで腕取ってたんですけどね。もったいなかった。あとはKOKスタイルが抜け切れてないかなって感じですね」

成瀬昌由

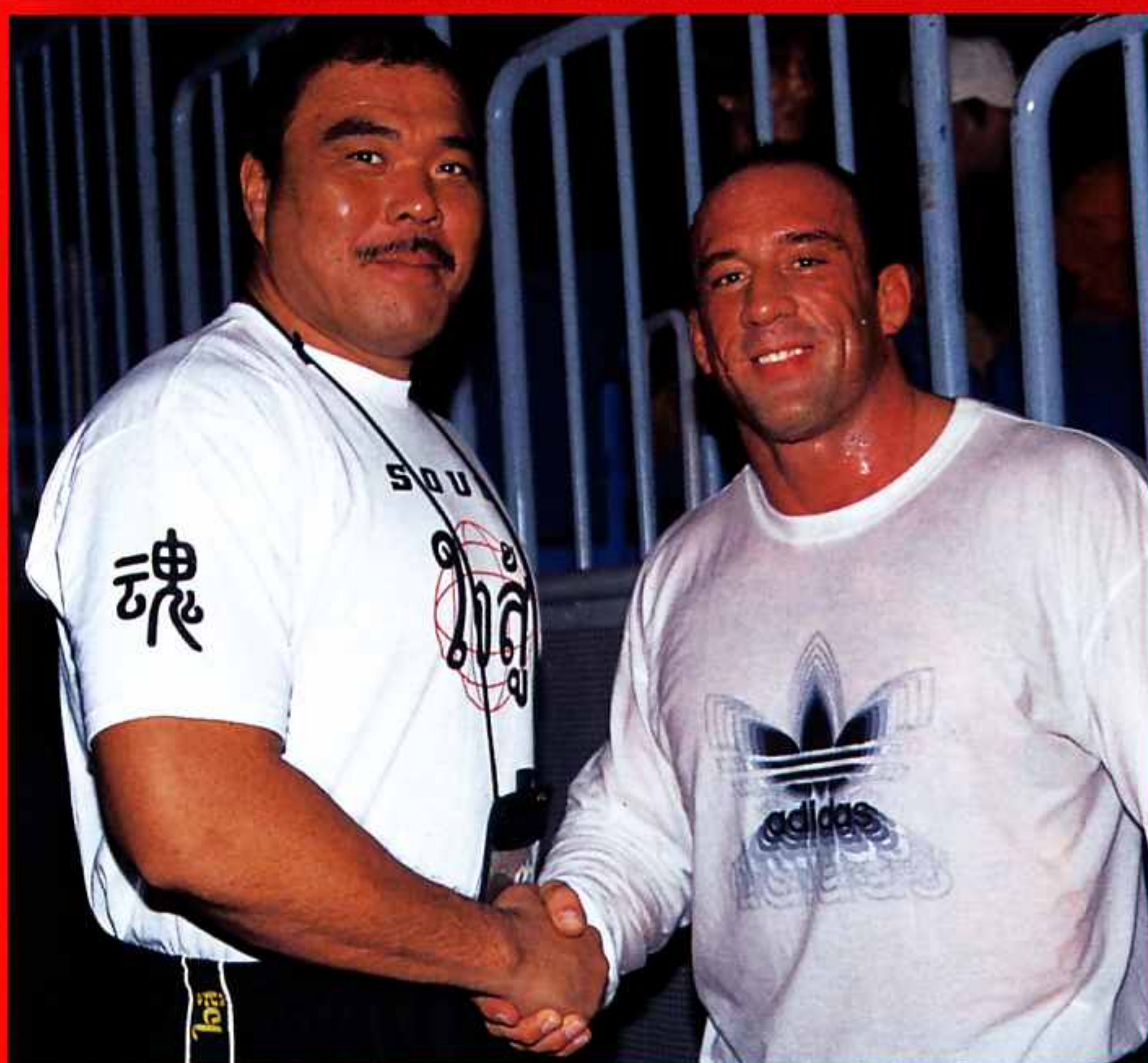
「オーフレイムのセコンドに付きたかったですよ。今日見てて思うけど、格闘技はいいもんですね。でも、見るもんじゃないですね。やるもんです、ホントに。（次は決まった？）いや、それはまだ秘密です」

須藤元気

「メインは面白かったです。お互い大きくて高山さんのリングインの仕方が勉強になりました。（『プライド』に出たい？）出たいですね、ぜひ参戦したいですね。（誰と？）70キロくらいに絞るので、同じ階級の強い人とぜひお願いしたいです」

カーロス・ニュートン

「（一番良かった試合は？）小路vsヘンダーソンだね。とても均衡した試合で、最初は小路がノックアウトしそうになったし、それからヘンダーソンがひっくり返したりして展開が面白かった。（新ルールについては？）アイ・ラブ！　お客さんに面白い試合を見せられるからいいと思う。（『プライド』のリングで誰とやりたいですか？）やっぱり、サクラバ、ヘンゾ・グレイシー……みんないいなぁ。オオヤマもいいね。（大山vsシウバ戦は？）いい試合だったよね。オオヤマは経験が足りないだけだよ」

トレイ・テリグマン

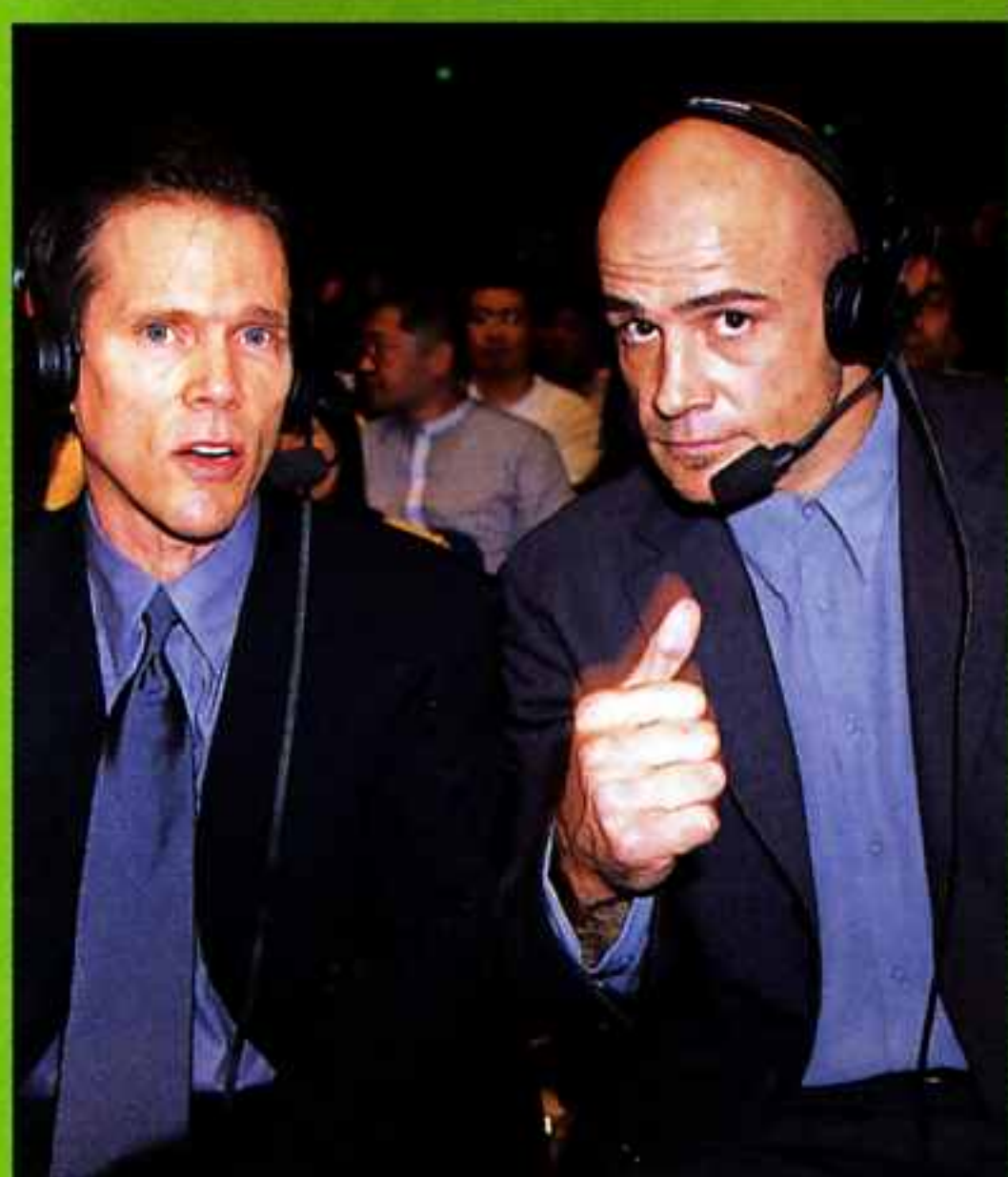
「（新しいルールについては？）10キロ差があった時に軽いほうが4ポイントでの顔面への蹴りがあるかなしかを選べるルールになったけども、あれはよくない。スポーツとしてはしょうがないのかもしれないけど、ヒザ蹴りを使えたほうがいいと思う。（メインの感想は？）ボクの予想ではもっと早くフジタが試合を終わらせると思ってたけど、タカヤマも頑張ったからいい試合になったね。ボクはフジタと闘いたいんだよ。ケンのこともあるからね。（藤田の攻略法は？）関節技で決めるよ。でも、『プライド』としては、フジタは日本のヒーローだから、ボクのことを警戒して組んでくれないんじゃないの？　組んでくれれば、フジタに絶対に勝つよ」

『プライド』はやっぱり時代の最先端か？まだまだこんなにたくさんの格闘家が集まりましたっ！

▲おおっ！　安田忠夫とコールマンががっちり握手！　コールマンは試合がないのに、なぜか会場で縄跳びをしていた……？

▶佐竹雅昭は最前列で観戦。藤田vs高山戦をどう見たのだろうか？

▲ヤマケンも観戦。初出場の選手に注目をしていたようだが、ＵＦＣのベルトを取ったニュートンも狙っているようだ

▲藤田のセコンドには高橋の他に、6・14『真撃』に出場する謙吾もつき声を張り上げていた

▲藤田の試合ではパンクラスの高橋義生がセコンドについた

▲バス・ルッテン（右）はアメリカで販売されるビデオの解説を務めた

▲バレット・ヨシダと山本〝ＫＩＤ〟徳郁の姿もあった！

▲エンセン井上はニーノのテクニックに興奮しながら見ていた

PRIDE.14
5.27★横浜アリーナ

試合直後、大山は泣きながら、タイトルの言葉を吐いた。必ず勝つつもりだったのだ

大山、痛根のレフェリーストップに悔し泣き！

「五体満足で帰ってきたのが悔しくて！」

大ヒール誕生！　その名はシウバ!!
このハ虫類顔が憎らしく不気味！

この目つき！　恐ろしいことこの上ないが、大山は全然怖くなかったと発言。実際、一歩も引かずにニラみ返していた

▲ニラみ合いを別角度から撮ったもの。両者のガンの付け合いは見ているこっちのほうが冷や汗もの

▲ゴング前に手首を回すお馴染みのシーン。獲物を狙う獣だ

▲入場時から気合いが入っているシウバ。観客は否が応でも興奮させられる

はっきり言って、この試合は入場シーンから怒声が飛び交った試合後まで（含む、島田レフェリーへの大ブーイング）、全てにおいて最高に面白かったと断言できるものである。

ともかく最初にホメたいのはシウバのあのハ虫類ヅラだ。これだけは何度見ても素晴らしい顔形。そもそも彼は故国ブラジルに内縁の妻&ガキまでいるのに「日本女性と結婚して日本に住みたい」と公言してはばからない人でなし。その性格同様、顔まで〝人でなし〟なのがまずは最高！

そしてゴング直前のニラみ合いがまた良かった。シウバの顔は当然としても、大山がシウバの特異なツラを目の前にしても、決して一歩も引かず、逆にニラみ返し続けていたから見ているこっちの興奮は高まるばかり。この日が『プライド』初参戦とは思えないほどの度胸の良さで、観客の心を一発で掴んだ感じだろう。

で、いざ、ゴングが鳴れば、大山はいきなり後ろ回し蹴りを繰り出して打撃勝負を開始、さらには得意の右フックを見事にブチ込んで、あのシウバを一瞬とはいえ、ヒザをつかせたのも驚きだ。そんな元柔道家はこの男ぐらいのものだろう。一方、シウバもタダモノじゃない。倒れながらも大山の足を掴んでこらえ、懸命にパンチを打ち返して今度は大山が身体をグラつかせる。スゲエなこいつら！　バカみたいに打ち合う両者に場内はこの日一番の盛り上がりを見せていたわけだ。

だが、試合終了の瞬間は突然やってきた。シウバの攻撃をしので

PRIDE.14
5.27★横浜アリーナ

激しいド突き合いに観客総立ち！ だが、1R30秒、突然のレフェリーストップ!!

▲島田レフェリーはここで試合をストップ。シウバの勝ちを告げる

▲『プライド』デビュー戦でしかも相手はシウバということなのに大山にには臆するところは微塵もない！　さあ、ゴングだ！

©Essei Hara

▲最初に仕掛けたのは大山。いきなり後ろ回し蹴りを放つ

▲やはり打撃の打ち合いに。この後、大山の右フックが入ってシウバはヒザをつく！　凄いぞ！ ©Essei Hara

▲ヒザをつきながらも足を掴みにいくシウバ

▲大山は距離を取るため背中を向けて逃げようとするのだが……

▲激しい打ち合いとなるが、シウバのパンチが大山の顔を捉える

▲大山はシウバの手をふりほどいて再び打撃勝負に出る

うと背中を見せた大山に対して、島田レフェリーが突然、レフェリーストップをかけてしまったのだ。試合時間わずか30秒。ダウンすらしてないのに、なぜ止めるのか？　当然、観客は納得できるはずもなく、リング上にはモノが飛び交い、「島田、辞めろ！」「島田、帰れ！」のコールが巻き起こる。

　放送席にいた本誌編集長のサダハルンバ谷川は「靴まで飛んできたよぉ。どうやって帰るんだろうね？」と証言しているから、その怒りの高さはタダゴトじゃない。で、島田氏の止めた理由はこうだ。「大山は目が飛んでいた。それで、相手に背中を向けたらストップするのは当然でしょ！」と。

　リング内にいるレフェリーからすれば、非常に危険な状態だったということなのだろう。また、大山の将来を考えれば、この判断も仕方ない部分もある。ただ、あの瞬間に観客が怒るのも、そりゃ当たり前。大山はまだまだやれそうに見えたし、本人だってやる気満々だったのは確か。まあ、ある時はグッドレフェリーと言われ、ある時はインチキレフェリーと言われる島田氏。そのまま突き進んでほしい、一切変わらず。

　とにかく結果については「島田レフェリーが全部悪い！」ということで丸く治めることにしておいて、やはり特筆すべきはリングから闘う両者の濃い個性が見えたことだろう。まずはシウバだ。桜庭に勝ったという勲章及び、あの戦慄的な勝ち方は『プライド』ファンの心に深く刻まれていた模様。なぜなら、シウバが入場してきた時の観客の反応がともかく緊迫し

島田辞めろ！島田帰れ！
客席から投げ込まれる
怒りのペットボトル！

ていたからだ。不気味な顔の影響も当然あるとは思うが、やはり、容赦なく顔面にヒザ蹴りを叩き込む残虐性は登場しただけで怖い。

その一方で大山の人気も凄かった。オープニングセレモニーで名前を呼ばれただけで大きな歓声が上がったりしたのが、ともかく不思議。いくら『キング・オブ・ザ・ケイジ』で戦慄のＫＯ劇を演じたとしても、そこまでの知名度はないはずだろう。

いったいこれはどういうこと？

サダハルンバ谷川は観客のこの熱さの源は、「シウバが対戦相手だからであり、さらに分析すると桜庭人気である」と断言する。

どういうことかと言えば、「桜庭を倒したシウバを倒してほしいという観客の期待感があの大声援につながったんだよね」ということ。実際そうとしか考えられないほど観客は、この試合を終始熱く見つめていたのも事実だ。

つまり、それほどまでにシウバの怖さが、あの桜庭戦で植え付けられていたのである。ヒクソンでさえ、その強さは幻想的であるのに比べて、シウバは試合内容と顔だけで大ヒールになったことは特筆すべき点だろう。

一方、観客の期待感を思い切り背負い込みながら、いい意味で我を忘れた大山も素晴らしかった。試合後、ＤＳＥが行ったアンケートでは「次に見たいファイター」として大山が一番人気だったというから、リング上の闘いっぷりで観客を魅了したのは明らか。さらにもう一つ。格闘技ショップ「グレート・アントニオ」のエグゼクティブ・プロデューサー井上きび

PRIDE.14
5.27★横浜アリーナ

シウバのコメント

「結果についてはレフェリーが決めたことなんで俺から言うことは何もない。大山は闘いのハートがあるグッドファイターだ。（パンチについては）重たいパンチを持ってるし、一瞬、クラッとしたけど、それが逆に俺にとってのイイ起爆剤になった。（ファンに一言）次の『プライド』では桜庭でも松井でも必ずノックアウトしてやるから早めにチケットを買ってくれよ（笑）」

大山峻護のコメント

「死んでいいぐらいの気持ちでこのリングに上がったので……残念ですね。（結果については）レフェリーの判断ならしょうがないです。（シウバについては）ボクは勝つ気でいたんで怖さっていうのはまったく感じなかったです。一発パンチが当たった時にラッシュがかけられなかったのが今回の敗因だと思います。この悔しさを練習にぶつけて絶対にもっともっと強くなります」

桜庭でも松井でもKOだぜ

▲桜庭に続いて日本人ファイターを秒殺したシウバ。彼を倒せるのは松井か、それともやはり桜庭しかいないのか

まだ、ボクは闘えるのに……

▲死んでもいいと思って上がったリングでやりたいことができなかった大山。だが、観客はたった30秒という短い時間でも彼の闘魂を見た！　次も見たいファイターナンバー１だ！

場内騒然！　早い！　あまりにも早すぎるレフェリーストップ！　観客とすれば怒るのも当然。客席からはモノが投げられ、解説者席には靴まで飛んできた

▲大山としてはふがいない試合だったのだろう。『プライド』のエグゼクティブプロデューサーである猪木さんに頭を下げるが、猪木さんもこの試合は認めていたぞ

◀控室に戻る時から涙があふれ始める大山。だが、試合のクオリティーは最高にエキサイティングだったんだから泣くなよ

▲チームメイトと勝利を分かち合う。日本で勝つことの意味を知っているのだ

★第7試合（1R10分、2・3R5分）
○ヴァンダレイ・シウバ（1R0分30秒、レフェリーストップ）大山峻護●
＜ブラジル／シュート・ボクセ・アカデミー＞　＜日本／フリー＞

だんごが大山Tシャツの制作を試合後即座に決定。小川直也ことオーちゃんTシャツを大ヒットさせた抜け目ない男が第二のオーちゃん（大山）Tシャツを狙って動き始めたのもブレイクの予感ありだ。

ともあれ、柔道家なのに打撃が得意な大山。カッとなったら、殴ることしか頭にない、一直線な試合ぶりが愛しいこの男はなによりハートが素敵なのだ。

死んでもいいつもりでリングに上がった彼は、試合直後、「五体満足で帰ってきたのが悔しくて！」と言って号泣していたという。負けたとはいえ、あのシウバにパンチを入れ、ヒザまでつかせたのに身体全体で反省してプルプル泣いてる、そんな柔道家なんてなかなかいないだろ。アホかと思うぐらい可愛くて、清々しい男じゃねえかよ、もう！　自分のHPで「なんか風邪をひいてしまいました。今日は凄くいい天気なのに外に出れない。あ〜、走りたい！」とか言ってるのに数時間後、知り合いの名プロボクサー吉野弘幸から激励の電話をもらったら興奮のあまり「雨の中をランニングした」りするほど小気味いいバカな彼。

間違いなくこの男には強運がある。プロ第1戦の『キング・オブ・ザ・ケイジ』で秒殺勝利して脚光を浴び、第3戦で早くも『プライド』へのチケットを掴んで、シウバという強豪をぶつけられたのに身体的にはまったく無傷。しかも、観客には高く評価されたのだから、腹立たしいほどラッキー。

大山峻護、彼は何かとてつもなく大きなものを掴むかもしれないと痛感したのである。（ブチ）

追跡！ 柔道家・大山の『プライド』デビュー戦を柔道家はどう見たか!?

柔道界から『プライド』デビューを果たした大山峻護。プロ総合格闘技３戦目ではあるが、日本での初めての試合ということもあり、会場へ駆け付けた柔道家も多かった。その中で、大山と縁の深い選手や先生に、試合後に話を聞いてみた。（聞き手◎林　毅）

間違っても殴るなんて考えるんじゃない！十何年間もやってきたんだから柔道を使わなきゃ

柏崎克彦（国際武道大学教授）

▶大山、松井両選手の大学時代の恩師であり、寝技で世界の頂点を極めた元柔道の世界チャンピオン。著書『寝技で勝つ柔道』は、柔道選手のみならず、総合格闘技の選手でもバイブルとする選手は多い

――柏崎先生、大山選手残念でしたね。

柏崎　そうだなぁ、アイツのいいところを出す前にやられちゃったなぁ。やっぱり打撃で勝負しちゃダメだよ。この競技の面白いのはよぉ、レスリングとかボクシングとか柔道とか、いろんな選手が出ていて、レスラーはレスラーの、ボクサーはボクサーの特徴があるわけだろう。だからポイントは、どうやって自分の畑に引っぱり込むかだろう？　だから、大山はよぉ、間違っても打撃なんかやるんじゃないんだよぉ。

――大山選手は、それは分かっていたと思うんですよ。この前、アメリカであった試合で、打撃勝負に出て負けたんで、今回は寝技でいこうと思っていたと思うんですよ。でも、どうやって寝技にもっていくかを考えていたと思うんですよね。

柏崎　ああ。でもよぉ、相手は殴るのが専門だからなぁ。倒れ込んでもいいと思うんだよ。そこから引き込んでいくとか。

――いいところを見せる前にやられちゃいましたもんね。

柏崎　ホントに何もいいところなしだよ。打撃専門の選手とは始めから殴り合いなんかしちゃダメなんだよ。

――松井選手はどうでしたか？

柏崎　松井はねぇ、技術はまあまあだと思うけど、でも、プロらしかったなぁ。

――大山選手はデビュー戦みたいなもんですけど、松井選手は『プライド』で強い選手とやって、揉まれてきてますからね。

柏崎　うん。だから、見とっても松井のほうが見せ場を作ろうというか、なんて言うかなぁ、見せれるようなファイトをしようとしていたもんなぁ。そういうところがアイツのいいところだなぁ。アイツの試合は何試合か見たけど、だいぶプロらしくなってきたなぁ。

――今後も柔道から総合格闘技の世界に進む選手もいたりすると思うんですけど、柔道選手が総合格闘技で勝つためには、いかに柔道の技を生かすかですよね。

柏崎　そうだなぁ、今日見とったら、関節とか絞めとかは、柔道の技術はかなり使えると思うんだわ。柔道出身の選手はグラウンドやらせたら巧いよ。タックルはレスリングの選手が巧いしなぁ。だから、いかにして自分の畑に相手を引っぱり込むか、それの巧さの競い合いだよなぁ、これは。

――大山選手だったら、やっぱり柔道の技術を生かせるような形をいかに作っていくか、それがこれからの課題でしょうね。

柏崎　やっぱり自分の格闘人生の原点に帰ったほうがいいよ、アイツは。間違っても殴るなんて考えるんじゃないって。

――最初にシウバにパンチが効いたような場面もあったんで、打撃勝負にいっちゃったんですかね。

柏崎　そうだなぁ。でも、十何年間も柔道やってきたんだから、それを使わなきゃな。

――それにしても、声援も凄かったですねぇ。

柏崎　本当に凄かったなぁ。なんか嬉しいよなぁ。

――大山選手は爽やかで、ルックスもいいし、これから実力を付けて人気のある選手になっていってほしいですよね。

柏崎　練習でやってきたことを出せるように、もっと頑張らなきゃダメだな。でもよ、俺は素質あると思うぞ、アイツは。

――始めにシウバと向き合った時の、ニラみ合い、あれも良かったですね。柔道選手はああいうのはあまり見せないじゃないですか。

柏崎　そうだなぁ。でも、やっぱりもうちょっと試合させてやりたかったな。もう少し闘わせて、持っているものを出させてあげたかった。あれじゃ、本人が一番フラストレーションが溜まっているわなぁ。本人が一番悔しい思いしているだろうなぁ。でも、これからも頑張ってほしいなぁ、松井にも大山にも。

――先生、ぜひまた次の大山選手、松井選手の試合見に来てくださいね。

柏崎　うん、来るよ。■

あれでは、大山がかわいそうですよ ホントに残念で仕方ないです

吉田秀彦（バルセロナ五輪金メダリスト／現明治大学監督）

▲大山は京葉ガス時代、明治大学道場によく出稽古に出掛け、学生たちと練習を積んだ。現在、吉田率いる明治大学は学生柔道界のトップに位置し、吉田本人も来年の復帰をめざしリハビリ＆トレーニングに励んでいる

――今日の大山選手の試合、どうでしたか？

吉田　試合後に大山と話したんですけど、全然効いてなかったらしいですよ。止めるのが早すぎですよね。ホントに残念で仕方ないです。いやぁ、ホントに残念で仕方ないです。

――パンチを受けて、横を向いちゃったんで、レフェリーが危ないと判断したんでしょうね。

吉田　でも、ホントに消化不良ですよ。やっぱり柔道と一緒で下がったらダメなんでしょうね。相手が出てきても下がるんじゃなくて、かわすとか、いなすとかしないと。それは経験なんでしょうね。大山はまだ3戦目でしょ、まだまだこれからでしょう。今日のはいい経験じゃないですか。

――声援は凄かったですね。

吉田　マスクもいいし、ハートや人間性もいいし、きっとこれからもっと人気出ますよ。

――大山選手には、次はどんな試合をしてもらいたいですか？

吉田　とにかく勝ってほしいですね。寝技とか、彼の良いところを出して、勝ってほしい。

――柔道出身の選手が出ることに関しては、どんな気持ちですか？

吉田　やっぱり知っている選手だと応援にも熱が入りますよね。思わず大声出しちゃいましたよ。

――自分でもやってみたくなりませんか？

吉田　痛そうですからね（笑）。でも、柔道から『プライド』みたいな格闘技の世界に行く選手も増えるんじゃないですか、これから。自分の体一つで稼ぐ、こういう世界で一発当てたいという選手も出てくると思いますよ。それに、もしかしたら、将来『プライド』に出たいから柔道をやるという人も出てきたりするんじゃないですかねぇ。柔道は『プライド』みたいな格闘技でも、有効な技術だと思いますし。そういうケースも出てくるんじゃないですか。■

学舎時代のみんなと応援に来たのに……なんであんなに早く止められちゃったんですか？

瀧本誠（シドニー五輪81キロ級金メダリスト）＆小斉武志（100キロ級全日本強化選手）

▲瀧本（右）、小斉をはじめ、大山の講道学舎時代の仲間たちも揃って大山の応援に駆け付け、熱い声援を送っていた

――瀧本選手、小斉選手は今回『プライド』は初めての観戦ですか？

小斉　僕は2回目。

瀧本　僕は初めてです。

――いかがですか、こういったイベントは？

瀧本　いやぁ、ホントに面白かったですよ。

――今日は大山選手の応援ですよね？

小斉　はい。大山が出るということで、学舎時代のみんなと来たんですよ。

――試合を見てどうでしたか？

小斉　なんであんなに早く止められちゃったんですか？　いいところなく終わっちゃって……。

瀧本　いやぁ、ホントに残念ッスねぇ。もっと見たかったです。

――大山選手の試合に限らず、試合を見ていて感じたことはありますか？　例えば、こうしたらいいのにとか、なんで？　というようなこととか。

瀧本　それはありましたね。あれ、極められるじゃんとか、ああすればいいのにとか、そういうのはありますよね。

――自分でもやってみたい？

瀧本　いやぁ、それはないですけど（笑）。

――最近、大山選手と練習は？

瀧本　最近はないですね。

小斉　僕もないです。でも、アイツとは小さい頃（中学生）からずっと一緒に厳しい練習してきた仲ですからね、頑張ってほしいし、これからも応援しますよ。■

ついに完勝！松井が見せた〝桜庭流プロレス術〟

そして、この言葉も飛び出した！「プロレスラーは強いんです！」

▲常に的確な指示を飛ばした、世界が恐れるIQレスラー。松井は“桜庭流プロレス術”を見事に体現してみせた！

シウバも一目置く存在、“南米・影の帝王”と呼ばれるペレ。でも日本では知られていないだけで、ブラジルのバーリ・トゥード界では無敗を誇る強豪。そのペレに松井、PRIDE初の完勝！

松井のドロップキックにカウンターパンチで応えるペレ！

▲ドロップキックにきた松井に、カウンターでパンチを入れる！　奇襲攻撃にも動じない、さすがペレ！

▲グラウンドで組み合った状態になると、松井は肩でガンガン打つという攻撃をした。たしか以前、アラン・ゴエスがやってたっけ

▲ペレの大好きなコト、それは相手の顔にヒザ蹴りを入れること！　開始早々、人間離れした跳躍力で松井に飛びかかった！

▲何度かピンチに陥った松井だが、冷静にセコンドの声を聞いて対処。これ以上、心強いセコンドはいない！

髙田道場のチビッコたちに人気の気のいいあんちゃん、松井。これまで『プライド』のリングでは、数々の流血戦を繰り広げながら、あと一歩のところで完全勝利に届かず、悔しい思いをしてきた。

『プライド』の17日前、松井はバトラーツ駒沢大会に出場していた。試合はカール・マレンコを裸絞めで下し快勝。その時点では対戦相手は未定だったが、シウバ戦を熱望するあまり、〝マレンコの顔が一瞬シウバに〟見えたらしい。

しかし、松井の相手はシウバではなく、ペレだった。シウバと同じ所属で、シウバ曰く、「ペレは僕より強い選手」だ。

ペレは、日本では知る人ぞ知る存在だが、バーリ・トゥードでは30戦27勝3敗の強豪。15年のつき合いというシウバといつも一緒に練習している。そのリングネームはサッカーの王様・ペレのように、いつもビックリして感動する試合をするから、そう呼ばれているそう。たしかに、いつだったかペレが壁を垂直に駆け上がったのを見た時は、私もビックリした。

この恐るべき跳躍力は、試合後すぐに爆発した。松井の顔面めがけて、ペレの飛びヒザが突っ込んだのだ。前蹴りで防御する松井だが、その後も、〝顔を蹴るのが大好き〟なペレは、寝ころんだ松井の顔面をジャンプして踏みつけるなど容赦ない。

ムエタイがベースだとはいえ、関節技にも長けているのがシュート・ボクセ軍団の恐いところだ。松井のタックルを潰すと、素早くバックに回り込みスリーパーの体勢に。落ちるって〜！　なんとか

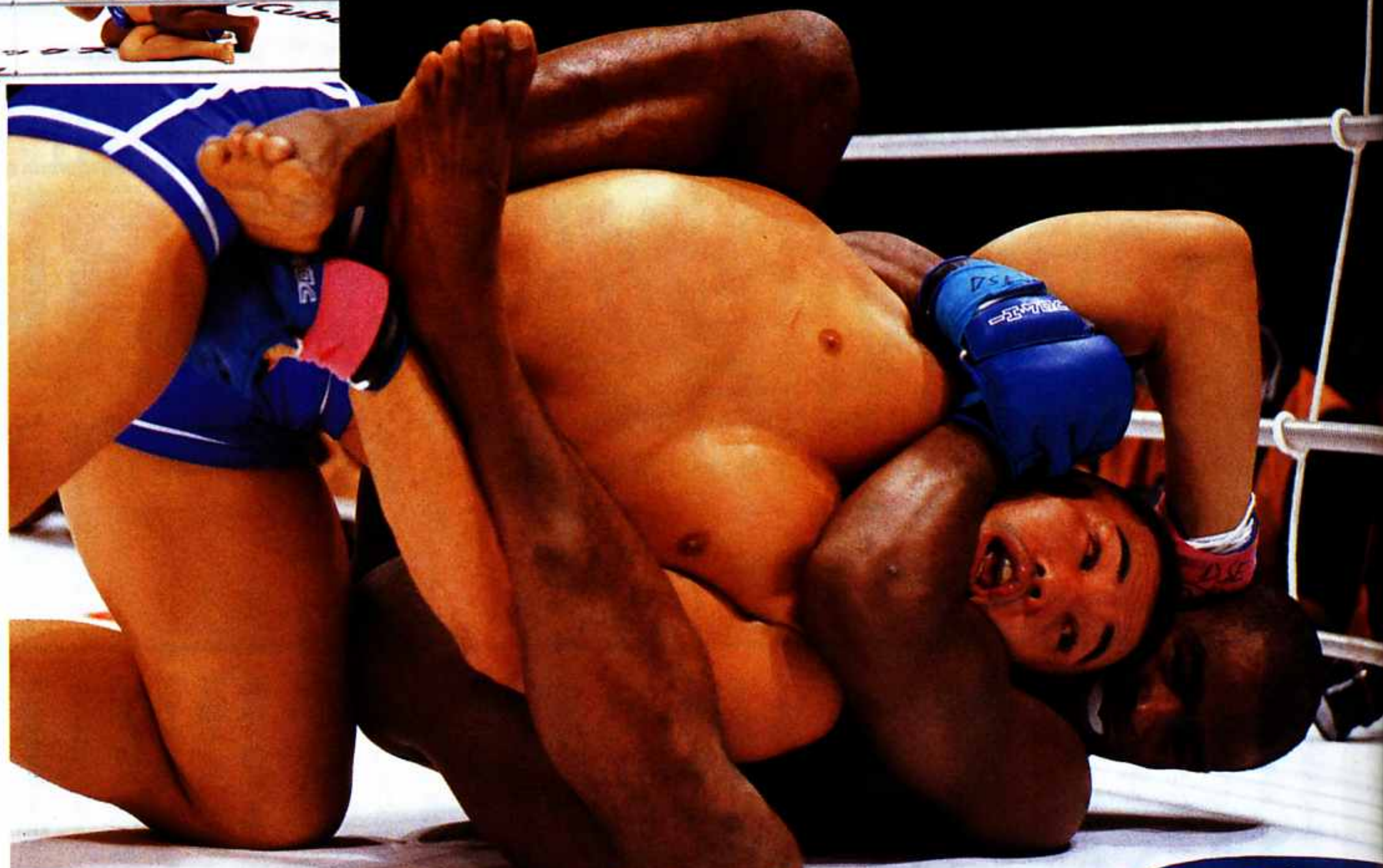
◀松井の背中に入ったペレのヒジ打ちは、"脊髄への攻撃"だったためイエローカードに。これは判定に響いた！

松井のコメント

「まだまだ（ポジショニング等の）課題は残りました。彼はブラジル中量級では最強と言われていて、僕は決してトップのプロレスラーではないけど、それに勝つことができるんです。それがプロレスラーです！　それが高田道場です！　腕を取られた時も、痛かったですけど、桜庭さんとかと練習してる賜物です。勝てて良かった」

ペレのコメント

「マツイはいい選手だ。（攻撃で効いたモノは？）何も効いてないよ。（敗因は？）負けたのはその時、その時だから。今度はいいショーを見せるよ」

セコンドの話「ペレがバックを取った時に、私が背中にヒジ打ちしろと言った。OKだと思ったし、なぜイエローカードなのか分からない。脊髄かどうかをハッキリ見極めてほしい」

ペレの猛攻も、全てしのいだ松井
サクがついてるから絶対大丈夫！

▲ペレの長い足で胴を絞められ、完全にチョークが入ったかに見えたが、松井はなんとかしのいだ

▼ボーっとしているようだが、違う！　グレイシーをも破った世界一のIQレスラーの頭脳が、松井の「必勝方程式」をはじき出しているのだ！　他人が嫌がることを考えさせても世界一なのだ！

▼ペレに腕を取らせたまま、持ち上げて落とす！　パワフル系は松井の得意技だ

▼松井の勝利を一番喜んでいたのは高田かも。チームワークなら高田道場はシュート・ボクセにも負けてないぞ！

▲松井、ペレに腕を取られる！　しかしこれも、動いて動いてなんとか外す。ホントに折れるかと思った……

★第2試合（1R10分、2・3R5分）
○松井大二郎（3R判定3−0）ペレ●
<日本／高田道場>　<ブラジル／シュート・ボクセ・アカデミー>
※1R、ペレに脊髄への攻撃により注意1あり

切り抜けるも、今度は腕十字が。腕が折れるってば〜！　しかし、松井はよっぽど我慢強いのか、腕が丈夫なのかタップなぞはせず、両手をクラッチしたまま持ち上げて、ペレの頭をマットにたたき落とした！　凄い、この根性！

セコンドの桜庭と豊永が、松井のピンチに懸命に指示を出し、危険を回避。しかし、この2人が揃うと、ビデオ本「ギミック」の博士と助手を思い出させるなぁ。

その後、ヒジ打ちでイエローカードを取られたペレは、極めても極めても逃げまくる松井のド根性に負けたのか、急に失速する。このチャンスに松井は片足タックルでテイクダウンを取り、上の体勢に。そこからは、さすが"炎のグラップラー"松井のうまさが光る試合運びだった。ピンチになっても桜庭の指示を冷静に聞き、常に優位に立った。

判定の結果は、ペレのイエローカードもあって、松井の完勝！これで松井、4月の『キング・オブ・ザ・ケイジ8』から、総合では2連勝！　桜庭がちょっと負けて休んでいる間に、大躍進だ！

試合後には、「プロレスラーは強いんです！」と、これまた桜庭チックな発言！　しかも、「次にやりたい相手は……、桜庭さん、もう少し休んでいてください。シウバ、俺と闘おう！」とリング上でさわやかに叫んだ。

欠場したはずの桜庭が、そこにいた！　松井に桜庭の生き霊が取り憑いたの？　いいえ、そこにいたのは、"桜庭流プロレス術"をマスターしつつある、根性の男・松井大二郎よ。　（日比）

『PRIDE.14』ルール問題の行方を徹底検証！

《日本武道傳骨法》

“格闘技界の哲人”堀辺正史師範が選ぶ

第1回　サムライ大賞は誰だ!?

前回の『PRIDE.13』で噴出したルール問題。特に4点ポジションでの打撃が是か非かは、ノールールの安全性とからめて、大きな問題となった。果たして、『PRIDE.14』では、そのルール問題はどう展開されていったか？　“格闘技界の哲人”である骨法の堀辺師範に試合後、振り返っていただき、徹底検証してみた。

聞き手◎谷川貞治

—さぁ、堀辺先生、前回の『プライド13』で飛び出したルール問題を中心に、今回の『プライド14』を検証してもらいましょう!

堀辺　はい。まず『プライド』のルール問題に関しては、いろんな人がいろんなことを言ってますけど、本質的には誰も否定できないんですよ。なぜなら、公平な他流試合で最強を決めようとしたなら、ルールはできるだけ取っ払ったほうがいいわけですから。これは誰も文句がつけようがない。結局、批判する人というのは、そういう本質ではなく、ルール問題をルールでしか語ってないんですね。

—ええ。

堀辺　それで、私はじゃあルール問題をなんで解決していくかと言ったら、それは選手の技術しかないという話をしましたね。そこで私は今回、その目安となるジャッジメント表を作ってきたわけです。

—えっ!?　ジャッジメント表を。

堀辺　つまり、最強をめざす上でノールールにしていった場合、選手の勝ち方の美学が問われるわけです。その「ノールール」と「勝ち方の美学」が備わってこそ、真のバーリ・トゥードの試合は興行としても完成する、そういう考えなんです。今まで、試合が行われた時、どっちが優勢だったか勝敗を決めるジャッジという人が、リングサイドにいましたよね。でも、彼らの採点というのは、勝ち方の美学まで追求していない。その勝ち方の美学というのは、これまでの格闘技史上、誰も真剣に考えてないわけですよォォ!　まぁ唯一、そういうことを口にしているのが日本武道の遺伝子を持つグレイシーで、自覚的ではないんですけど、美しい勝ち方を求めてますけどね。

—あー、はいはい。

堀辺　だからね、私はこれからは主催者側もノールールに対してどう取り組んでいくか、その目安として独特なジャッジメント表を作ったわけです。それが、この「ビクトリー・ジャッジメント」です。

局長　先生が英語使ってるのよ(笑)。

—ハハハハハ、本当ですね(笑)。

堀辺　ハハハハハ。でぇ、たとえば、『SRS・DX』では、PPJという採点をしていますよね。K—1なんかでも、勝ったほう、負けたほう、見る側がどういう印象を持ったのか、数字にして表わしている。でも、ノールールの試合というのは、やっぱり負けたほうには採点をせず、勝者だけを採点したほうが私はいいと思うんですよ。

—ビクトリーだけ。

堀辺　そうです。やはり、格闘技の原点というのは、そこに出場した選手が力の限り、頭脳の限りを尽くして勝負を決めることは、もう大前提なんです。で、しかもノールールの試合で問われているのは、いかに自分の身を守りながら勝つかというのが大切。これはK—1のように打ち合うって世界じゃないわけですよ。

—はぁはぁ、ノールールの場合は技の攻防をルールによって競い合うというより、相手の攻撃を潰して勝つことが勝利への必勝パターンですからね。

堀辺　そう。だから、敗者がどうがんばったかというより、勝者がどのような勝ち方をしたのか。もう勝ったか、負けたかというのは分かっていますから、問題は勝利の仕方なんです。そこがノールールでは問われるんです。

—なるほどぉ、実に武道的な考え方ですね。

堀辺　だから、この「ビクトリー・ジャッジメント」は、勝った人のみを対象にして採点したい。武道的に見れば、まず勝つことが大前提。そしてその勝ち方を問うことがルール問題の一番の解決法につながっていくと思うんです。

—はぁ～。

堀辺　で、実際に細かく何をジャッジするかと言うと、まず格闘技では「必勝方程式」が問われますね。これは、ボクシングやK—1でも見られるんですけど、勝つためにはある必勝パターンが必要になってくる。強い人っていうのは、この絶対的なパターンを自分で持ってるわけです。この型にはまったら絶対に勝っちゃうっていう。ノールールでは、まさにグレイシーがそうでしたね。でね、特にノールールでは、選手がこの必勝パターンを持っているかどうかっていうのが、非常に大切になってくるんですよ。なぜならノールールだから、攻め手の範囲が広い。その範囲の広い中で、マグレ勝ちじゃない必勝パターンを持ってるかどうかを、まず見なきゃいけない。これは、ノールールでジャッジメントする最大のポイントなんです。

—勝ち方の方程式を持ってるかどうか?

堀辺　それが格闘技の実用性を問う〝用〟の部分ですね。では、美しい勝ち方とは何か?　それはやっぱり仕留め方の機能美なんです。関節技・絞め技では美しく極めたかどうかという点。で、パンチやキックといった打撃技でも、何発もボコボコに入れて勝つんじゃなく、前号でも説明した「KOアーティスト」のように一撃で仕留められたかどうかを見る。その仕留め方の切れ味、そして相手に苦痛を与えずに勝ったかどうか、それが武道でいう〝美〟につながるわけです。

—なるほどなるほど。

堀辺　分かりやすく言うと、見る人が野蛮な感じがしないで、いかに倒したかという度合いを見るってことですね。勝ち方の合理性がないと、まず同じ勝利でも評価が落ちる。さらに、仕留め方に美しさがないと、評価はさらに落ちるという採点法なんです。それが、〝用〟と〝美〟の採点ですね。

—う～ん、なるほど。

堀辺　で、最後に〝道〟の部分として、決闘中の「闘志」「平常心」「判断能力」が優れていたかどうかを見る。勝ったけど、ある局面で恐怖の顔がそのまま出てたり、ムキになって判断能力に欠けていた部分があったりとか、格闘者としてちょっと未熟な精神部分が出た場合ですね。そういう場合でも、同じ勝利でも評価に差が出てくるわけです。というのも、

ノールールの危険性を回避するのは、ルールではなくて「技術」でなくてはダメなのです

美しい必勝パターンと仕留め方には、優れた判断能力と平常心が必要だからです。

——見事に先生が言われていた「武道の闘いには、用・美・道が大切」という理論に合致しますね。

堀辺　これが一応、私の案なんですけど、日本人に分かりやすいように、5段階評価がいいと思うんですよ。まぁ、3点を平均として4・5は合格点だと。そして2と1というのは、勝ったとはいえ、勝ち方が悪かったという評価が下されるわけです。それで、合計が15点と。つまり、同じ勝つにも、刀で斬ってもなかなか殺せずに、さらにブスブス刺しても這いずりまわって死なない。こういう酷い勝ち方というのは、点数で言えば、最低の1点なんですよ。

——ああ、なるほど。でも、日本人に分かりやすい「5段階評価」っていうのはどういうことなんですか？

堀辺　ああ、それは子供の頃の通信簿なんかも5段階評価だったので、これは誰にでも親しみやすいんじゃないか、と（笑）。

——ああ、そっか、そっか（笑）。

堀辺　これをやったらね、選手は必ず野蛮な闘いをするんじゃなく、ノールールなんだけど、意識して美しい勝ち方を求めていくと思うんですよ。だから、私なんかこれを『プライド』の公式ジャッジメントにしてもらいたいくらいです。で、1回1回の大会で賞を出すとか、年間トータルで『プライド』の〝サムライ大賞〟を出そう、と（笑）。

——じゃあ先生、さっそく今日の試合、「ビクトリー・ジャッジメント」をつけてみましょう。

堀辺　まず第1試合のニーノ選手。これは予想以上に強かったですね。バーリ・トゥードは初めてだというのに、ヒクソンとか、グレイシーの人が使う、典型的な必勝パターンで勝った。しかも、〝ヒクソンの再来〟というだけに、あの強いオリベイラに対して完璧に一本極めてますからね。これは必勝方程式の「用」の部分で言うと、文句なしの5点です。

——早くも！　でも、本当にいい選手でしたよね。

堀辺　ええ。それで仕留め方の機能美の「美」でも、完璧に傷つかず勝っていますから、これも5点です。さすが、アブダビで最優秀技能賞を取っただけのことはある。ただ、「道」の部分の精神面なんですけど、5点あげてもいいんですが、タックルを3～4回切られていますので、あえて4点にします。だから、もしシウバのような獰猛なストライカーと闘ったらどうなるのか？　そこを見てみたいですね。そういう相手の場合、平常心で闘えるかどうか？

——なるほど、でもバーリ・トゥード初戦なのに、あの実力者のオリベイラのいいところを完封してしまったのは凄かったですね。

堀辺　いや、『プライド』みたいなレベルの高いリングで、あんなヒクソンみたいな勝ち方ができるなんて、それだけで凄いですよ。

——では、第2試合の松井VSペレなんですが……。

堀辺　松井選手は本当にがんばりましたよね。ただ、ちょっと厳しい見方になりますが、「用」の部分というのは3点で合格なんです。で、3点というのは、KOで勝つか、ギブアップを取るかってことを必要最低条件にすると、松井選手の場合は判定勝ちだった。だからここは、厳しいようですが2点にします。美しさという点でも2点。つまり、仕留めるという点で合理性が見られなかったし、機能美の点でも合格点に達していないのです。

——あ～、そういうふうに見るんですか？

堀辺　そうです。ただし、「道」の部分ですが、松井選手は平常心もありましたし、平常心を越えた心の強さ、闘志を見せました。これは完璧とはいかないまでも、4点はあげられると思うんです。こうして見ると、松井選手は「道」の心の強さでペレに勝ったということが分かってくるんです。

——ああ、「ビクトリー・ジャッジメント」は、選手の特性まで見えてくるんですね。

堀辺　そうです。技術の合理性から言えば、ペレのほうが上だったかもしれない。でも、途中からペレは「コイツ、なんでここまでねばれるの？」って感じで根負けしてしまった。それが松井選手の勝因でしょうね。

——たしかに。松井選手は凄く良かったんですけど、判定はペレに反則があったり微妙でしたからね。

堀辺　はい。次に第3試合なんですが、これは凄く不思議な試合でした。普通に見ていたら、メッツアーのほうがうまく見えた。細かいパンチのコンビネーションも良かったし、離れ際にハイキックなんて「オオッ」と思うものがありましたよね。

——1Rのペースはメッツアーでしたね。

堀辺　でも、なんでリデルが勝ったかというと、これはパンチ力なんです。メッツアーはうまかったけど、リデルのパンチ力にはプレッシャーがあった。途中、メッツアーの顔色が変わりましたからね。

——はあはあ、それに対してメッツアーは仮当てのコンビネーションだったと。

堀辺　はい。そのリデルがバーリ・トゥードの中で、立ち技だけでKOしたいというのは5点あげてもいいと思うんですよ。これは評価しなきゃいけない。これは、ニーノがヒクソンのように一本勝ちしたことと同じくらい、立ち技の必勝パターンなのです。しかも残酷性もまったくなかったですからねぇ。

——じゃあ、「美」も5点と。

堀辺　そうです。これは凄く分かりにくいかもしれないですけど、テイクダウンが認められている『プライド』のルールで、あれほど見事に立ち技だけでKOするのは素晴らしいことなんですよ。しかも、うまいメッツアーの打撃力をうまく逃がしていた判断能力も見事です。しかも、リデルは前回のUFCでも、同じパターンでランデルマンをKOしていますよね。だから、マグレの一発とも思えない。終始平常心で闘って、判断能力にも長けているから一気にKOが狙えるんだと思うんです。これは、ボブチャンチンのようにガブって上からパンチを打って勝つパターンより高等な技術です。テイクダウンさせて、馬乗りパンチで勝つより、合理的で美しい勝ち方なんです。そういう意味で、バーリ・トゥードの新しい可能性を秘めているという期待を込めて、私は満点をつけたい！

——ええっ！　リデルがサムライ大賞っ？

堀辺　武道的に見ればそうなります。やる側の人間は、リデルに対する評価は高いと思いますよ。

——へぇ～。じゃあ、第4試合は？

堀辺　これは唯一、番狂わせの一番でしたね。

▲今回はタックルを切られて、上から抑えつけられて蹴りを食らうシーンはなかったが、サイドポジションをとられ、ヒザ蹴りを食うシーンが何度か見られた

武道的に見れば、今回一番評価できるのは、ボブチャンチンとチャック・リデルです！

戦前はオーフレイムが勝つと思ったんですけど、グッドリッジは強くなってますね。

——この試合は分かりやすく言うと、KOKルールに慣れたオーフレイムが、4点ポジションで打撃OKの『プライド』ルールに敗れた、と。

堀辺　勝ち方は非常にいいです。これは間違いなく、5点です。機能美という点でも5点出していいんじゃないですか。一発で決めてますからね。今回のグッドリッジは精神面でもよく、平常心の冷静さと闘志も満点だった。だから、これまでのグッドリッジの「剛力」だけのイメージを裏切ってくれましたよ。

——グッドリッジも満点！

堀辺　では、第5試合にいきましょうか。私はビクトーがなんで勝ったのか、よく分からないんです。

——たぶん、体重差があったことと、反則が1回あったからじゃないですかねぇ。

堀辺　たぶん、そうでしょうね。でも、試合のペースを握っていたのは、ヒーリングでしたよ。だから、これは全部2点です。それに、今回のルールだけ、体重差があったため、4点ポジションの打撃を禁止していましたよね。それでビクトーは自分からカメになる状態がたくさんあった。これはルールに安心している証拠ですよ。とても柔術家らしくない。ルールにハンディを与えたんですから、私は判定の基準に体重差を入れる必要はなかったんじゃないかと思います。

——もう1点でもいいくらいですね。

堀辺　第6試合のヘンダーソンはめちゃくちゃ強かったですね。だから、「用」の部分で言うと、あれだけ打ち合いして無傷でヘンダーソンはいたわけですから、5点です。小路選手の顔を腫らせてしまったけど、あれくらいは仕方ないですからね。

——ヘンダーソンは、無駄なパンチで残酷に傷つけたわけじゃないですからね。

堀辺　そう、的確に入ってますからね。小路選手の攻撃に対しても、ガードはうまかった。ただし、相手を失神させたKOじゃないので、「美」は4点です。仕留め方は不十分ですね。でも、試合をする心の部分「道」では、全選手の中で一番優れていました。ヘンダーソンの平常心はハンパじゃないですよ。ガッツマンの小路選手にあれだけの差を見せつけたのは凄いことです。だから5点です。

——では、第7試合のシウバVS大山？

堀辺　これはあっけなく終わってしまったので、狂暴性も何も見えなかったですね。ちょっとレフェリーが止めるのが早かったような気がしたんですが……。だから、ジャッジメントのしにくい試合になっちゃいましたね。

——オール3点でいいんじゃないですか？

——なるほど。今回一番驚いたのが、ボブチャンチンがチョークで勝ったことですねぇ。

堀辺　だから、ボブチャンチンの幅が広がったんですよ。ボブチャンチンは、アイブルがヒザで来ると当然予測していた。だから、まず「道」の心の部分が優れていたんですよ。そこから「用」「美」も兼ね備えていたという勝ち方だった。まったく危なげなかったという点で、全部5点あげてもいいと思うんです。

——ボブチャンチンも満点！

堀辺　この2人の試合、下手すると『プライド』の中でも、最も暴力的になるんじゃないかと予測していたと思うんですよ。それをボブチャンチンは見事に克服して、美しい勝ち方をした。あれこそ、武道的な勝ち方ですね。

——では、いよいよメインですが。

堀辺　藤田選手はまず今回、武道的な平常心が凄く高かった。これは5点ですね。しかも、ちゃんと肩固めで極めて勝っている。これも「美」という点で美しい勝ち方だった。ただし、途中でヒザをもらったり、高山選手もがんばりましたよね。だから、合理的な勝ち方で言えば、手こずっていますので4点です。

——なるほど。

堀辺　こうしてみると、ルール問題は選手の技術でちゃんと克服しているんですよ。たった1回の大会で、もう4点ポジションの危険性を選手は技術でカバーした。さすが、『プライド』は超一流選手が集まるリングです。でぇ、今回のまとめになりますが、私がサムライ大賞を選ぶとしたら、満点の中でもボブチャンチン。そして、バーリ・トゥードの将来性を考えると、リデルになります。

——んあ〜。これは意外な答えが出たんでビックリしました。いやぁ、この方式は、凄く面白い結果が出ますね。■

第1回「ビクトリー・ジャッジメント」
“サムライ大賞”はなんとボブチャンチンとリデルだ！

〈採点者：堀辺正史師範〉

オリベイラVSニーノ

		ニーノ
用	必勝方程式（確立の有無、負傷度、完成度）	5
美	仕留め方の機能美	5
道	闘志&平常心&判断能力	4
合計		14

グッドリッジVSオーフレイム

	グッドリッジ
用	5
美	5
道	5
合計	15

メッツアーVSリデル

	チャック
用	5
美	5
道	5
合計	15

松井VSペレ

	松井
用	2
美	2
道	4
合計	8

シウバVS大山

	シウバ
用	3
美	3
道	3
合計	9

小路VSダン

	ダン
用	5
美	4
道	5
合計	14

ヒーリングVSビクトー

	ビクトー
用	2
美	2
道	2
合計	6

藤田VS高山

	藤田
用	4
美	5
道	5
合計	14

ボブチャンチンVSアイブル

	ボブチャンチン
用	5
美	5
道	5
合計	15

※得点は5段階評価です。

『PRIDE.14』速報は、93ページに続きます。

仰天ニュース

佐山聡が参議院選挙に出馬！国会にニー・オン・ザ・ベリー！

政界にロシアンフックを叩き込め！

ヒャッ！　5月18日（金）、小泉新内閣が崩壊してしまうぐらいの衝撃的なニュースが、格闘技界を襲った。ナ、ナント、あの初代タイガーマスクの佐山聡が、参議院議員選挙に出馬するというのである。

この耳を疑うようなニュースの真相と、佐山の決意を聞くために、本誌の政治担当記者が、佐山の出馬する自由連合という政党の本部事務所を訪れた。

奥の部屋に通され佐山を待っていると、目に飛び込んできたのは、今回の参議院選挙に立候補する予定者の名前がズラリと書き並べられた一覧表であった。

自由連合の欄を見ると、サン然と輝く〝佐山聡〟の名前が……。佐山と同じ比例代表から出馬するメンバーの中には、初代『週刊プロレス』＆『格闘技通信』の編集長で、現在は『武道通信』の発行人をしている杉山頴男氏や、漫画家の高信太郎氏、そして選挙区のほうでは、東大卒で元ロッテの投手・小林至氏とバラエティーに富んだ顔ぶれが揃っている。

驚いたのは、さらに下のほうに、まだ立候補が確定していない人たちの名前があったのだが、どれもこれも政治とは無縁そうなものの、誰もが知っているような有名人の名前が書き記されていたことだ。名前は出せないが、凄いぞ自由連合！

この自由連合は、『医療と福祉に全力投球』というスローガンを掲げている政党で、代表の徳田虎雄氏は現役の衆議院議員。名前の〝虎〟の字も佐山との因縁を感じる。

佐山が到着したので、さっそく立候補のきっかけから聞いてみた。

現在、佐山はタイガーマスクに出てくる〝伊達のキザ兄ちゃん〟ばりに福祉活動やボランティアに力を注いでいるそうなのだが、実際にそういった活動をしていて、出てきたのが税金問題。今までは福祉＆ボランティア活動にまで多額の税金が掛かっており、気持ちよく活動することができなかったという。そこで、掣圏道をＮＰＯ（特定非営利活動法人）とし、講演をはじめとするボランティア活動をやりやすくしようと考えたのである。そして、この設立活動の際に知り合った福祉関係の人に選挙への出馬の話を持ちかけられたのが、今回の立候補の直接的なきっかけとなったということだ。

スローガンを尋ねると、「世界に誇れる自立心（武道精神）ある自由社会の形成、福祉と真の勇者教育・育成、強い日本の構築」と教えてくれた。要は、福祉と青少年の教育をやりたいとのことなのだが、特に青少年の教育に関しては、「武道を通じて教育していくのがてっとり早い。室町時代の侍のような強い心を持った人間を作りたい」と語ってくれた。室町時代の侍がどのようなものであったかは、歴史に疎い記者には知る由もないが、現在の学校教育では生ぬるいと言わんばかりの主張は実に素晴らしい。

気になる当選の見通しだが、本人曰く、「通っちゃいそうなんですよ」とのこと。比例代表選挙では、党の名前と候補者の名前、どちらを書いてもよく、全ての票数の合計でその党の獲得議席が決まり、その中で得票数の多い候補者の順に当選していく仕組みになっている。

しかも〝タイガーマスク〟の名前を書いても佐山の票になるような手段も検討中だという。マスクを被っての選挙運動も考えているそうだが、ならば選挙運動員全員に被ってもらい、街中をタイガーマスクで溢れさせてほしいものだ。

もし、そうなったら佐山に膨大な数の票が集まるのは確実。前代未聞の覆面代議士の誕生もあり得ない話ではない。

いずれにしても、選挙の公示日は7月12日で、投票日は7月29日。普段は選挙など見向きもしないプロレス・格闘技のファンでも、7月29日は選挙の話題で持ちきりになることは間違いない。

はたして猪木、馳に続くプロレス界からの国会議員は誕生するのか？　佐山よ、国会の〝ケーフェイ〟を暴いてくれ！■

▲「ここにありま～す」と自分の名前を指で示す佐山先生。下のほうには初代『週刊プロレス』＆『格闘技通信』編集長の杉山頴男氏の名前があったのには驚いた

数見肇

数見の強さの秘密も「孤独」に対する強さにあり！

6月9～10日、大阪府立体育会館で行われる極真空手「2001全世界ウェイト制空手道選手権大会」に、第7回世界大会以来、約1年半の沈黙を破り数見肇が出場する。道場主としても多忙な日々を送る数見が復帰戦を前にどんな心境なのか話を聞いてみた。

聞き手◎石黒由佳子

中2の時に電車の中でのケンカを止められなかった。自分自身に対して悔しいというか、自己嫌悪に陥りました

――今日は数見さんに「極真」とはなんぞやというお話を聞きたいんですよ。

数見　それは難しいですね………僕は極真らしさっていうのは「我慢」だと思います。やっぱり稽古をやってて、途中で音を上げたくなるんですよ。そこでグッと我慢して稽古をやってできた時に、「今日も逃げなくて良かったな」っていう自信めいたものが掴めるんですよね。

――「我慢」の積み重ねであると。極真に入った時に持っていた極真のイメージってどういう感じだったんですか？

数見　あの時は「ケンカ空手」ですね。

――実際に入門されてギャップみたいなものは感じましたか？

数見　いや、やっぱり想像してたとおりでした。『空手バカ一代』を読んで入ったんで、道場破りが来るシーンとかがあるんですけど、「いつ来るのかなぁ」ってヒヤヒヤしながら毎日稽古していた覚えがあります。

――実際に道場破りにはあったんですか？

数見　いや、ないですね。

――昔は凄い話がたくさんあったじゃないですか。数見さんはそういうのはないんですか？

数見　僕はないですよ、全然。1回、空手を始めた頃だったんですけどね、中学2年の時に、学校終わって電車で道場に通ってたんですね。稽古終わって、だいたい家に帰るのが8時、9時くらいなんですよ。それで、帰りの電車の中で酔っぱらいのサラリーマンが満員電車の中でケンカをしてたんです。「うわぁ〜、ケンカ始まった」と思って、周りの人は誰も止めないんですよ。自分もそん時は怖くて、仲裁できなかったんです。

――「自分は空手をやってるんだから、止めなきゃ」と思いながらも見ちゃったんですね。

数見　そう。それが凄い悔やまれるというかですねぇ……「オレって情けねぇなぁ」っていうね。そのケンカはなんとなく終わったんですけど、そういうことがありました。

――その時は、電車の中でドキドキしてたんですね。

数見　ドキドキもしましたし、どうやって止めたらいいのかなぁって思ってましたね。たまに稽古終わって、総裁が上から下りてこられて、訓話をされることがあったんですよ。そういう時に「覇気がないとダメだよ」「ケンカくらいできなきゃダメだ」と話をされてたんですよ。僕は昔から自分に自信がないタイプだったので、ケンカを止められなかったのが自分自身に対して悔しいというか、自己嫌悪に陥りましたね。

――へぇ〜、数見さんにも、そんなことがあったんですか。あのぉ、世界大会が終わって、立場的や精神的な部分で変わったことはありますか？

数見　やっぱり道場のことを考える時間が多くなったのが、一番変わった部分かもしれませんね。指導だけじゃなくて、運営や経営も考えなくちゃいけないですからね。

――道場の運営って大変なんでしょうね。

数見　大変ですよね。内弟子の頃は指導員をやってたんですけど、それは教えながら自分の稽古をやってればよかったんですね。でも、道場を持ったら細かいことまでいろいろやらなくてはいけないし、その辺は難しいですよ。

――第7回世界大会までの4年間と、次の第8回までの4年間で生き方を変えている部分ってありますか？

数見　そうですね、第7回までの頃というのは、第6回の世界大会が終わって結構自分本位に考えていたんですよ、稽古にしてもなんにしても。今は先輩もほとんどいないですからね。これからは後輩も育てなくちゃいけないですし、自分もさらにレベルアップをしなくちゃいけないし、道場を持った責任感もありますから、かなり状況的には変わってますよね。

――世界大会で負けたことによって、自分自身のことで変えようと思ったところはありますか？

数見　ありますよ。今までは待ちの組手というか、来たのに返すというような技術的な部分の話になりますけど、それをもうちょっと自分からいかなくちゃいけないと思うところはありますね。もちろん状況に応じてですけど。今までそれできちゃったので、もっと早くそれに気付けばっていうのもあったんですけどね。

――今の数見さんにとって一番の目標は？

数見　今は試合で勝つことですね。6月の試合もそうですし、今年の全日本、来年の全日本、あと世界大会と全部取ることしか考えてないです。

――稽古の中で「我慢」を学ぶ部分もあると思いますけど、「強さ」を追求する部分もありますよね。例えば、ホントに強さを追求するんであれば、武器を使われた時にどうするかとか、関節技でこられたらどうするのかというようなことに対しての興味みたいなものはないんですか？

数見　僕はそれを現役を引退したらやりたいなと思ってるんですよ。空手っていうのは、元々相手が武器持ってて、それに対して自分がどう対応するか。あるいは、複数の人間に対して自分も武器を使えて、武器を取られて素手素足になった時にでも、まだ闘えるっていう武術じゃないですか、空手というのは。そういう空手本来の動きや技というのをもっと研究したいなと思ってるんですよ。今は現役でそこまでの余裕がないので、試合で勝つことしか考えられないんですけど。

――一生、空手のことを考えていこうと思われてるんですね。

数見　ええ。

――凄いなぁ。ところで、世界大会から約1年半ぶりの復帰戦を、この世界ウェイト制大会にしたのはなぜなんですか？

数見　1年半休んでいきなり世界大会っていうのは、たしかにリスクは大きいんですよ。でも、ちょうど前回の世界大会が終わって2年経って折り返し地点なので、この時期に世界の相手と試合をしてたほうがいいかなと思ったんです。

――でも、このブランクというのは数見さんとはいえ、大変じゃないですか？

数見　やっぱり焦りはありますよ。1年半休んでいたという不安は。焦りってい

「痛い」「苦しい」「寒い」って絶対に口に出すな、顔に出すなって親父に言われてました

うのは自分自身に対する焦りなんですよ。とにかく出るというのは、自分で決めたことですから。

―なるほど。話は変わってしまうんですけど、今日は数見さんがどんな空手家なのかを探ってみたいんですよ。例えば数見さんは、試合の時に相手の顔を見てブチっと切れて我を忘れて殴り合った経験ってありますか？

数見 顔を見て殴りたいというのはないですねぇ。試合をやって相手の顔を見て「この選手は何を考えてるのかな」っていうのはありますけど。

―へぇ～、いつですか？

数見 外国人とやってる時ですね。だから、世界大会かな。僕は試合の時はあまりそういう感情にならないんですよ。ムカ～っときたりとか。

―そうなんですかぁ。さらに、例えば1発いいのが入っていけるんじゃないかと思って、いったことによって失敗したことはありますか？

数見 う～ん……いけるんじゃないかって思ったことがないですからね。試合の中で。

―えっ、そうなんですか？ 数見さんはいつも試合をしてる時に、どういうバイオリズムで闘ってるんですか？

数見 今思い浮かばないということは、何も考えてないと思いますね（笑）。

―あの流れるような組手は、相手が来た時に反応しちゃってるんですか？

数見 何を出そうかではなくて、こう来たら、こうっていう感じで身体が自然に動くんですよ。

―そういえば、今まで数見さんってボロ負けしたことってないですよね。

数見 公式戦ではないですね。

―ここ10年くらいで、負けたっていうと、世界大会で八巻さんとフィリォ選手に負けたぐらいですよね。1回負けた選手に対して、絶対にリベンジしてやりたいっていう感情はあるんですか？

数見 あんまりね、僕はそういう感情はないんですよね。

―ああ、ないんですかぁ。

数見 その人に対するよりも、自分に対して腹立ちますね。

―自分に怒りがいっちゃうんですね。例えばですけど、フィリォ選手と道端で会ったら殴りたいっていうのはないんですかぁ？（笑）。

数見 そういう感情はないです（笑）。

―ないかぁ（笑）。数見さんは、わりと勝っても感情の起伏を表に出さないタイプの選手ですよね。それは自分である程度コントロールしている部分はあるんですか？

数見 多少はありますけどね。嬉しい時は素直に喜んでいいと思いますけど、例えば「痛い」「苦しい」「寒い」っていうのを、絶対に口に出すな、顔に出すなって親父に言われてたんですよ。

―え～っ！ 子供の頃からですか？

数見 ええ。よく「寒いとか痛いとかって言うな！」ってガキの頃から言われてたんです（笑）。それでそういうふうにやってたら、当たり前になっちゃって。

―へぇ～。数見さんの今のムードというのはお父さんが影響しているんですかぁ。でも、そういう感情をウワ～っと出したい時ってないんですか？

数見 なんかテレるというか、恥ずかしさがあるんですよ。

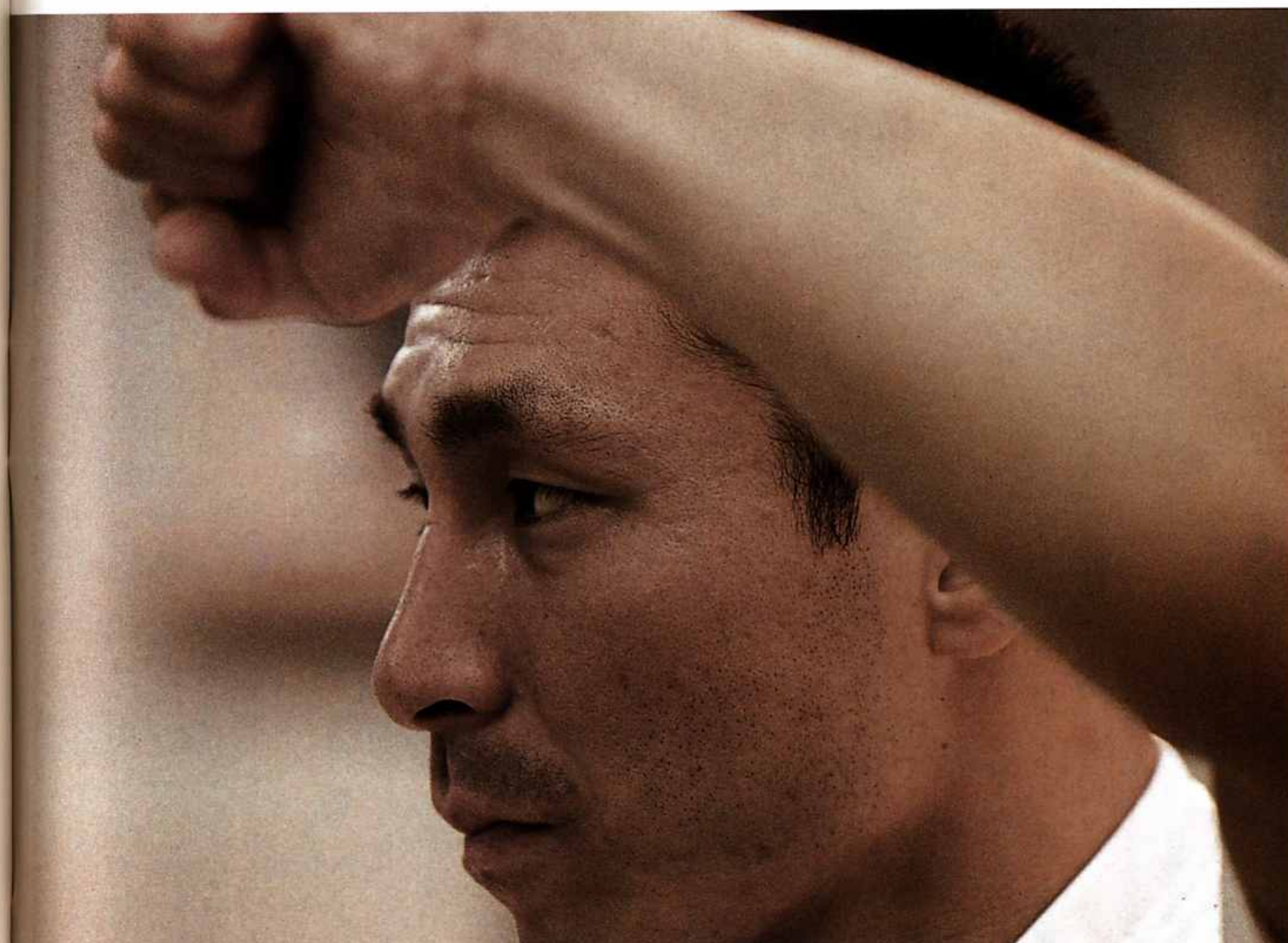
―今日は仲間内でガ～っとブチ切れるぞぉっていうはないんですか？（笑）。

数見 やっぱりどっかで醒めてる部分があるんですよね。

―ストレスになってないんですか？

数見 ストレスにはなってないですね。……そういうね、つまらない人間なんですよ（笑）。アハハハハハハ。

―いえいえ、そんなことはないですけど（笑）。以前、楽しみは「1人でサウナに行ってボーッとしてることだ」と言ってましたよね。最近でもそうなんです

外国人選手に芽生えた「頑張ればなんとかなる」という意識をもう一回スパッと断ち切らせたい

か？

数見　いや、もうこの季節ですから、海に行くことですね。

―それも1人で行くんですか？

数見　1人で行きますよっ！

―………。

数見　暗いでしょう（笑）。ダッハハハハハハハ。

―いや、暗いんじゃないと思うんですよ。私、思ったんですけど、数見さんは孤独に強いんじゃないかと。

数見　ああ、強いっていうか孤独が好きですね。

―強い人っていうのは、よく孤独に強いっていうじゃないですか……。

数見　いやぁ、1人でいるほうが気が楽だという部分はありますよね。

―それは昔からなんですか？

数見　結構、昔からですね。だんだんそれが強くなったという感じですかね。1人のほうが自分の思ってることはできますよね。ただ、1人じゃできない部分っていうのもあるじゃないですか。そういう時は助けを求めますけど（笑）。だから、自分勝手なんです（笑）。

―数見さんの強さの1つに、孤独に対する強さがあると思うんですよ。孤独に強いから、数見さんは世界大会で日本人最後の1人になってしまっても、全然へっちゃらだったんじゃないかなぁと思ったんですよ。

数見　そうですねぇ。

―みんなが勝ち上がればそれにこしたことはないけど、自分が上がればいいというか。

数見　べつに周りは全然気にならなかったですね。

―それって、かなり孤独に強いですよ。だからあんな状況に追い込まれても、動じなかったんじゃないですかね。

数見　結構、1人でいることを好んでばっかりいるので、どんどん根暗になってきますね（笑）。でも、べつに全然気にならないんですよ。

―やっぱり孤独に強いんだなぁ。そこが数見さんの強さの秘密の一端なんでしょうね。

数見　そう言えば、親戚が和歌山のほうにいて、そこにはお墓があって、お堂みたいなちっちゃな建物がある寺の鍵の管理をやってるんですよ。うちの親父はそういう暗いところとか平気なんで、よく1人でお墓の横のお堂で寝たりとかしてたんですね。そういう話を聞いて、僕もちょっとやってみようと思って、ふとんを持って、「今日はそっちで寝るから」ってお堂の中で1人で寝たんですよ。

―やっぱり影響を受けたお父さんに負けたくなかったんですか？

数見　ええ、そうですね。でもお堂の中はホント真っ暗なんですよ。でも、あの時はなかなか寝られなかったですね。ふとんをひいても寝られなくて、汗かいてくるんですよね。ちょっとした物音で「ウワーっ」てなって。

―いやぁ、なりますよ、それは。音に敏感になっちゃうんですね。

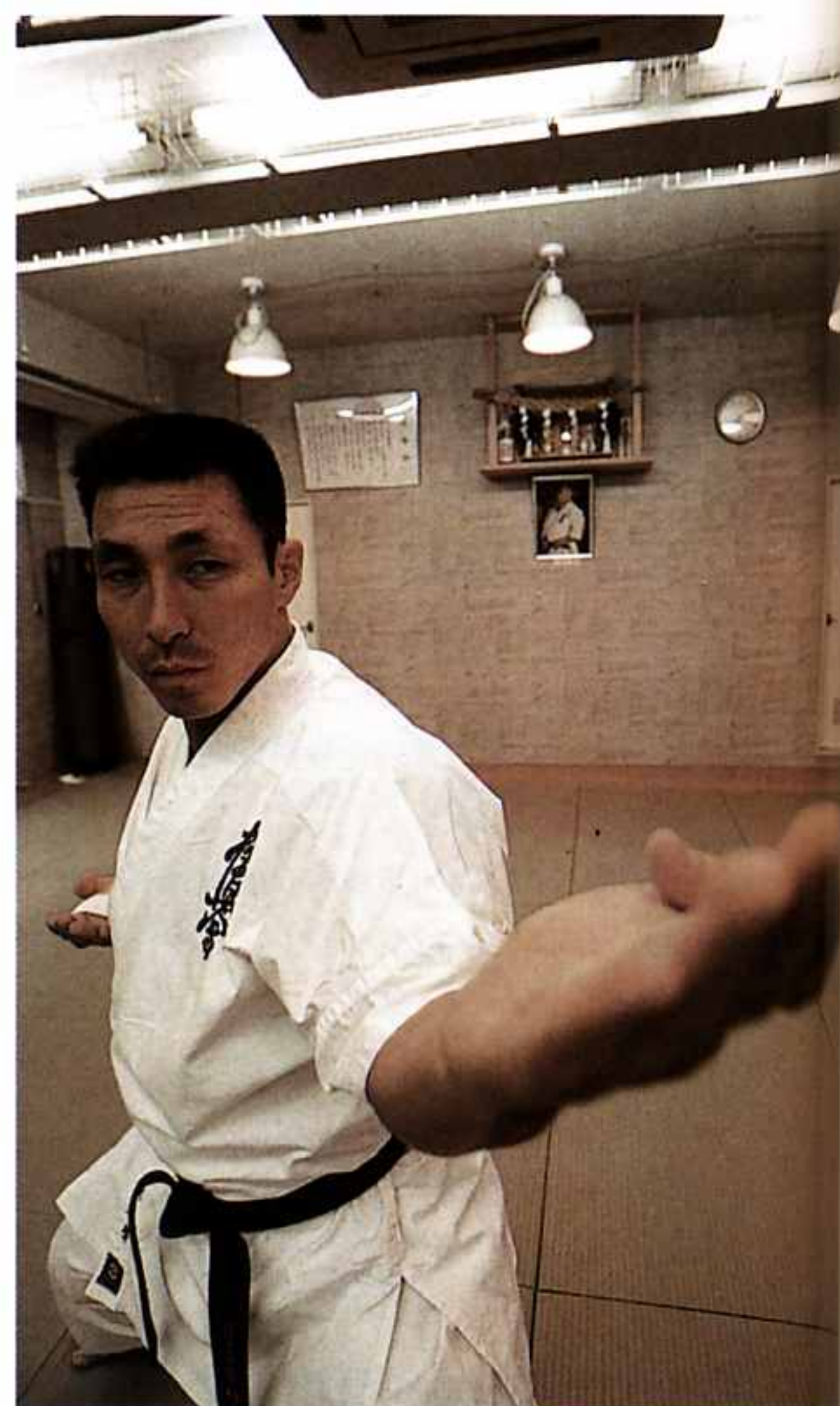
数見　虫の音と風の音しか聞こえないんですよ。窓がたまにガタガタガタって音したりすると「誰か来た」って（笑）。それでも1、2時間すると慣れてくるんですよね。なんとか何事もなく朝を迎えたんですけど、自信はつきましたよ。

―それいつの話ですか？

数見　去年の夏ですよ。1泊ですけどね。

―へぇ～、そんなことして、自分を確かめてるんですかぁ（笑）。私は怖くて絶対にできないです。でも、今日は数見さんの強さの秘密がちょっと分かりました。最後に数見さんはこれからの21世紀の極真ってどうあるべきだと思いますか？

数見　1999年に開かれた20世紀最後の世界大会があんな感じで幕を閉じて、次の世界大会でも俺たちが頑張ればなんとかなるんだっていうような意識が外国人選手に芽生えたと思うんですよね。その意識をもう一回スパッと断ち切らせるために、我々日本人が頑張らなくちゃいけないですね。21世紀はもっともっと今まで以上に頑張るしかないです。日本人って怖い民族だなと思わせないと。

―これまで、外国人が日本に勝てなかったのは、「日本人って怖い」っていう意識が、どこかで外国人にあったと思うんですよ。

数見　そうですね。そういう意識をもう一回外国人選手に持たせないと。そのためには実力をもっともっと上げていかなくちゃいけないですよね。個人個人が頑張るしかないです。自分も今まで以上に強くなりたいですし、ならないといけないと思ってます。

―やっぱり、数見さんは一本芯が通ってますよね。谷川編集長が、会う女性みんなに「だんなにするなら数見のような男を選べ」って言ってるんですよ。

数見　なんでですか？

―何も文句言わずに堪え忍んでくれて、頼りがいもあるからだと。

数見　試合場の自分を見て、判断されても……あの場だから、ああなるんですよ。だから、それは違います！（笑）。

―し、失礼しましたっ。■

道場生募集中!

数見肇責任指導による「都立大学道場」では道場生を募集中！　従来のカリキュラムに加え、空手に活かせるグラップリングコース（毎週金曜日、午後8時45分～10時15分）が新たに始まるなど、カリキュラムも充実している。興味のある方はぜひ見学を！

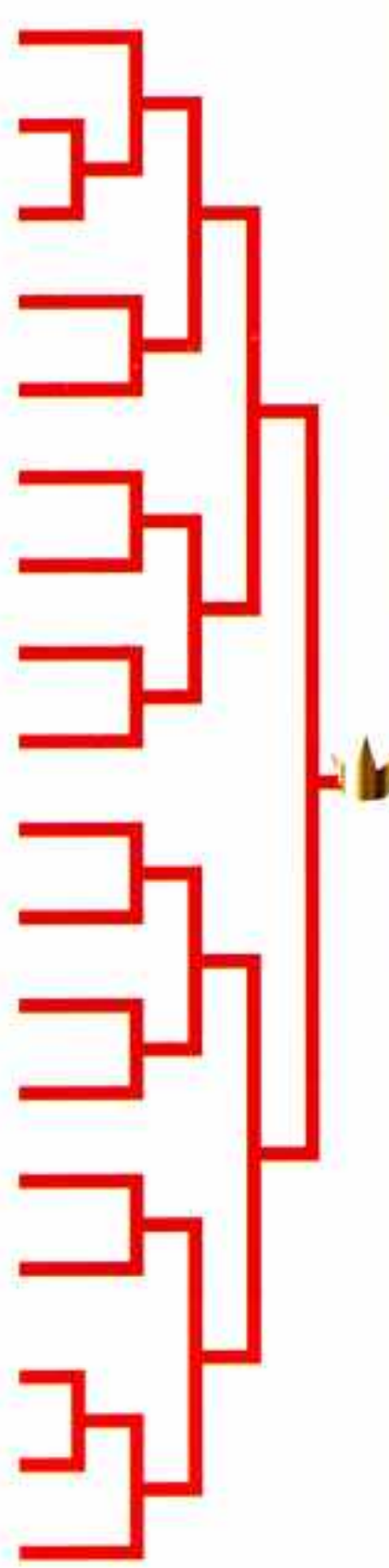
問い合わせ先
住所：東京都目黒区中根2－14－1　☎03-5731-1028

6・9〜10

2001全世界ウェイト制空手道選手権大会 全トーナメント表

ワンポイント見所付き！

軽量級

1 田ヶ原正文（日本）
2 ダニエル・デュプイ（カナダ）
3 アウティリョ・ロサ（ブラジル）
4 ベルナルド・ソアリ（パプアニューギニア）
5 ドゥミトリー・クドゥリャヴツェヴ（ロシア）
6 八木沼史朗（日本）
7 モハマッド・ジュレイド（レバノン）
8 M・ムセンブ（南アフリカ）
9 ピーター・サヴィッキー（ポーランド）
10 福井裕樹（日本）
11 クリスチャン・ルイッシン（フランス）
12 グラハム・ヒース（ニュージーランド）
13 アブドゥーラ・アルバンワン（クウェート）
14 安田幸治（日本）
15 エリック・ゴールドバーグ（コスタリカ）
16 ゾリール・マクサマ（南アフリカ）
17 マルセル・ムラカエフ（ロシア）
18 リュウジ・イソベ（ブラジル）

ポイント1 前回王者・サヴィッキーの一撃必殺の空中蹴り！

栄えある第１回大会軽量級王者になったポーランドのピーター・サヴィッキーは、今回も優勝候補の一人として挙げられる。一撃必殺の胴回し回転蹴りを始めとする足技はスピーディーかつ正確。さらに刃物のような切れ味もあり、どれくらい一本勝ちを積み重ねられるのか注目大！

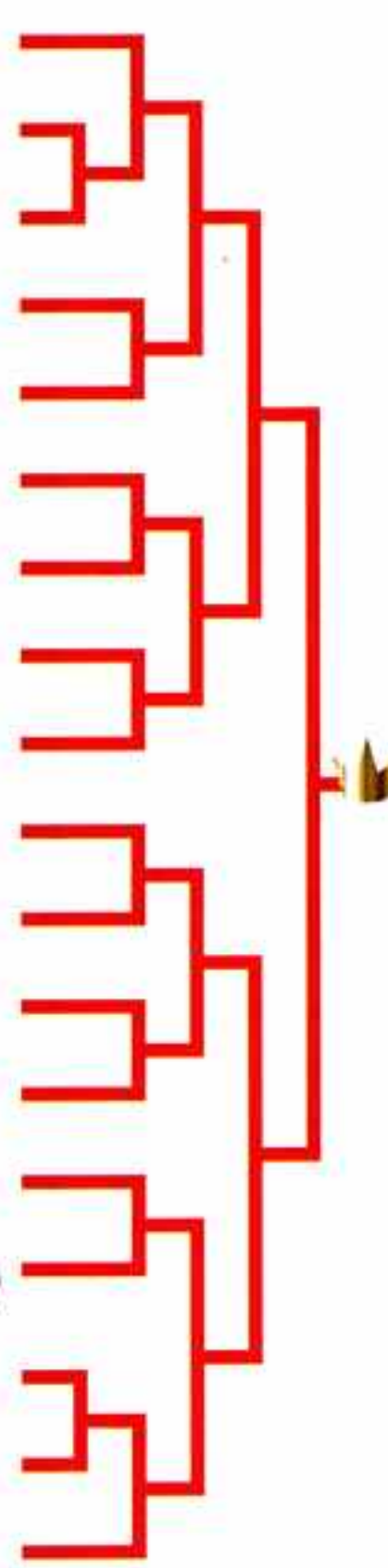
ポイント2 ポスト成嶋の一番手！新星・福井裕樹に注目っ！

「ポスト成嶋竜」一番手の呼び声高い新星・福井裕樹は、今年の全日本ウェイト制軽量級覇者。ボクシングの経験を活かした鋭く力強い突きに注目。師匠である成嶋も「３年後の世界大会で日本の戦力になる」と言うほど期待されている。成嶋が達成できなかった世界王者を奪取できるか？

ポイント3 磯部魂の凝縮！リュウジ・イソベ！

ご存知、ブラジル・磯部清次師範の愛息であるリュウジ・イソベ。彼のモチベーションの高さは、まさに親譲り。昨年は全日本ウェイト制に出場するなど貪欲さも持ち合わせている。「僕のゴールはワールド・チャンピオン」と言い切るリュウジ。その目標をウェイト制で達成できるか？

中量級

19 木立裕之（日本）
20 モハマッド・アロール（レバノン）
21 ポール・ポータニ（パプアニューギニア）
22 ストイアン・ニコラエ（ルーマニア）
23 ベルナルド・アデリーン（セイシェル）
24 進裕治（日本）
25 ドミニク・アダム（カナダ）
26 アレキサンダー・カルバチェフ（ロシア）
27 ロベルト・メロ（ブラジル）
28 伊藤慎（日本）
29 カルロス・カストロ（コスタリカ）
30 マクシム・バクーシン（ロシア）
31 ジーン・ヴェダポダゴム（レユニオン）
32 エミル・コストフ（ブルガリア）
33 チュルーンバートル・バトゥルガ（モンゴル）
34 幸龍敬（日本）
35 リカルド・レチェナー（ブラジル）
36 ギャリー・オニール（オーストラリア）

ポイント1 経験と着実性で優勝候補！木立裕之！

全日本ウェイト制では99年、2000年と連覇するなど、中量級では敵なし状態の木立裕之。木立の一番いいところは、ここぞという時に経験の差を見せつけうまさを発揮し勝利をもぎ取れるところ。前回は４位に甘んじただけに、悲願の優勝を遂げたいところだ

ポイント2 欧州中量級最強の男！エミル・コストフ！

現在ヨーロッパ中量級最強の男ともっぱら評判のエミル・コストフ。最近では極真祭での国際戦で池田雅人を下し実力を見せつけた。蹴り技の破壊力はもちろんのこと、突きもパワフルなハード・パンチャー。さらに、技の切れ味も抜群なので優勝戦線に食い込んでくるのは間違いない！

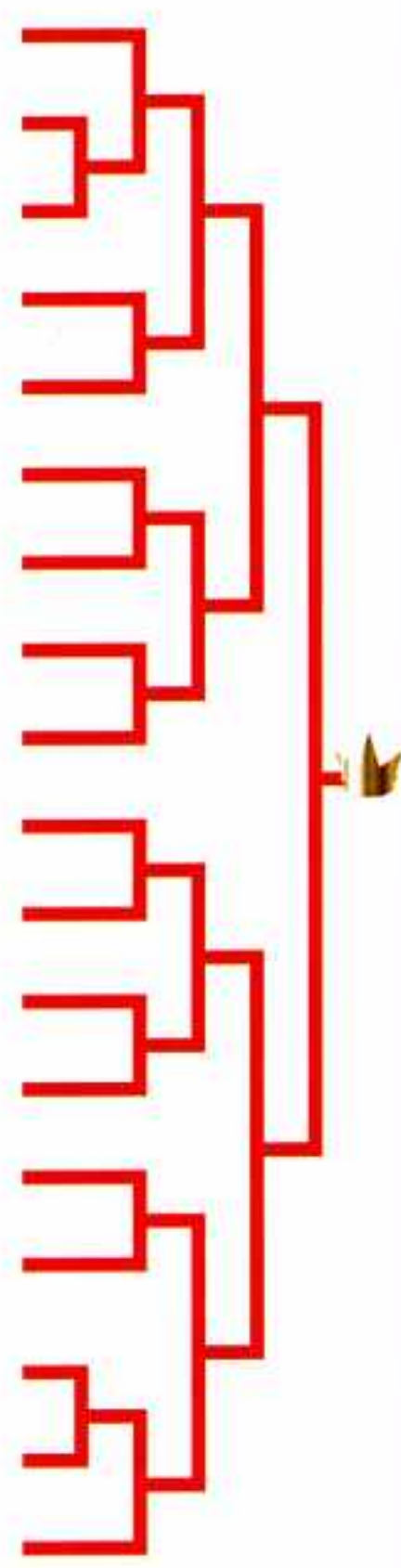
ポイント3 帰ってきた鳥人！ギャリー、復活なるか？

中量級ながら独特なステップとフットワークで相手を翻弄し、華麗な飛び道具で96、97年と２年連続全日本大会決勝に進出した実力者・ギャリー・オニール。第７回世界大会は欠場したため、久々の日本お目見えである。胴回し回転蹴り、上段後ろ回し蹴りなど華麗なる足技はいまだ健在なのか？

２年後の世界大会までの折り返し地点。ここで王座を奪われたら後がないっ！

今回で２回目となる極真空手「2001 全世界ウェイト制空手道選手権大会」が６月９～10日の２日間、大阪府立体育会館で開催される。1999年11月に行われた第７回世界大会では、遂に外国人に王座を明け渡してしまった日本勢。2003年の第８回世界大会を前に行われる今大会で王座奪回を目指す。「空手ニッポン」復活なるか？　各階級のトーナメント表と見所のポイントを紹介しよう。

軽重量級

37 木山仁（日本）
38 サイモン・ケネディ（オーストラリア）
39 シンピュウエ・デュレイン（南アフリカ）
40 ディオゴ・シルバ（ブラジル）
41 パウェル・マンドック（ポーランド）
42 市村直樹（日本）
43 ジョージ・ヒビノ（USA）
44 ベルナルド・ソト（コスタリカ）
45 ヴセヴォロド・モキレブ（ロシア）
46 田中健太郎（日本）
47 マレック・クベック（オーストリア）
48 ヨハン・ハーブスト（南アフリカ）
49 デイビッド・ジョンソン（ニュージーランド）
50 池田雅人（日本）
51 アンデルソン・シルバ（ブラジル）
52 カルナラング・オズワルト（スリランカ）
53 池田祥規（日本）
54 セルゲイ・オシポフ（ロシア）

ポイント１ 全日本王者・木山！２階級制覇なるか？

第１回大会では中量級を制覇した木山仁。昨年の全日本大会で念願の初優勝を果たし、打倒・数見に燃える木山は今回１階級上げて優勝を目指す。数見も感心するほどの気迫とパワーと驚異的なラッシュ力で軽重量級も制し、２階級制覇となるか？

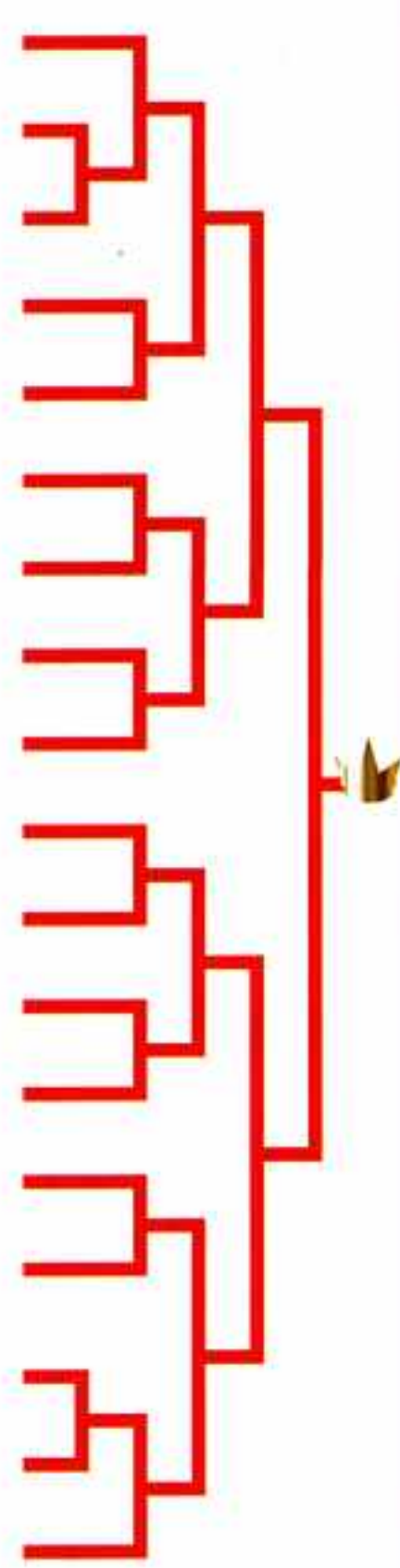
ポイント２ 世界大会で木山を倒した、南アフリカのデュレイン！

南アフリカのシンピュウエ・デュレインは、世界大会で木山仁を下し、さらに現在欧州中量級最強の男・コストフも下している実力者。トーナメントの女神のいたずらか、順当にいけば２回戦で木山と対戦する。木山にとっては優勝に向けて大きなポイントとなる存在なのだ

ポイント３ 日本の純朴少年から世界へ飛躍！　健太郎！

奇跡の純朴少年というキャッチフレーズで本誌ではおなじみの田中健太郎。先日の極真祭では国際戦に出場することになっていたが、体調不良のため欠場した。健太郎にとっても２年後の世界大会を見据える意味で、世界の強豪と渡り合えるチャンスは意義深い。ここで勝って大きな自信を掴め！

重量級

55 セルゲイ・プレカノフ（ロシア）
56 市川雅也（日本）
57 ジラシット・ディエゴ（コスタリカ）
58 シャボンガ・ティアンデラ（南アフリカ）
59 足立慎史（日本）
60 セルジオ・コスタ（ブラジル）
61 チャド・ボガ（オーストラリア）
62 ファブリス・フォーメン（フランス）
63 数見肇（日本）
64 アレクサンダー・ピチュクノフ（ロシア）
65 ジェーソン・ドーズ（南アフリカ）
66 アブデルサラム・アスリ（シリア）
67 木村靖彦（日本）
68 エウェルトン・テセイラ（ブラジル）
69 トーマス・ナイダック（ポーランド）
70 ジョン・ウィットフォード（オーストラリア）
71 ユーゴ・ペレス（カナダ）
72 門井敦嗣（日本）

ポイント１ ブラジル魂爆発か？セルジオ・コスタ

フィリォ、グラウベに続く男として期待されているセルジオ・コスタ。第７回世界大会では５回戦で野地竜太に敗れたもののアメリカズ・カップでリベンジ。また世界大会では、田中健太郎、岩崎達也ら日本勢をストップさせた。柔軟性とパワーのある左上段回し蹴りは一撃必倒のフィニッシュ技だ

ポイント２ 遂にあの男が帰ってくる！最有力優勝候補・数見肇！

1999年の世界大会から約１年半。遂に数見肇が帰ってくる。2003年世界大会優勝まで全ての大会で優勝を狙う数見にとって、復帰戦がいきなり世界大会というのはかなりプレッシャーとなるところだが、数見ならやってくれるはず！　やっぱり空手ニッポン復活の鍵は数見肇だ！

ポイント３ ロシアの脅威！アレク旋風再来か？

数見の対抗馬となるのが、第７回世界大会で茶帯ながらニコラス・ペタスをわずか16秒、左上段回し蹴りでKOし、あのグラウベを下して３位入賞を果たしたアレクサンダー・ピチュクノフだ。世界大会から約１年半、どれほどの成長を遂げているのか？　アレク旋風がまたまた吹き荒れるか？

いつでも戦闘態勢！

神奈川美容外科クリニックの男の自信を手に入れる本

プロだからできる「自然にムケた感じ」

■包茎治療といえば、
神奈川美容外科クリニック
●開院以来42万件の包茎治療の経験と、そこから得た臨床データも手術の仕上がりに大きく貢献しています。

■仮性包茎
●勃起時、非勃起時にかかわらず、包皮の先端部分が十分に広くなっているために、まったく抵抗なくムケる場合です。
●普段亀頭が包皮に覆われているので、不衛生になりやすく、包皮炎など泌尿器科系の病気の原因になるうえ、外部からの刺激に弱く早漏になりやすいなど、衛生面以外のデメリットも多くあります。

■真性包茎
●勃起時、非勃起時にかかわらず、まったくムケない場合です。
●包皮口が非常に狭く、亀頭の部分の正常な発育が妨げられ、いわゆる先細りのペニスになってしまうばかりか、セックスが困難な場合もあります。

■カントン包茎
●非勃起時になんとかムケるが、勃起時にはまったくムケなかったり途中で止まってしまいます。また、狭くなった部分に締めつけられて痛みを伴う場合です。
●勃起時に包皮が戻らなくなり、腫れあがってしまうことさえありますので、早急に手術を受けてください。
（以上、目次より）

その他の泌尿器科系の手術について

■さまざまなペニスの悩みも解消
●亀頭冠にできたペニスのイボ状のブツブツも手術で除去できます。
●亀頭強化術とは亀頭周辺に医療用のコラーゲンを注入することにより、亀頭の硬さをアップします。

■ペニスを長くする長茎術
●ペニスの根元は身体の中に埋没していて、恥骨にくっついている靭帯に支えられています。手術は、その靭帯の一部を解剖学的に修正し、埋まっている部分を引き出して露出させます。
（以上、目次より）

スーパーアッパークラスの神奈川美容外科クリニック

■世界一を誇る医療設備
■世界一の包茎手術症例数
●神奈川美容外科クリニックにおける包茎手術の症例数は世界一を誇り、日本国内はもとより諸外国からも、最も信頼のおける形成外科として認められています。
（以上、目次より）

包茎治療の画期的発明

■『神奈川式亀頭直下埋没法』
●『神奈川式亀頭直下埋没法』という独自に考案した画期的な方法で行っています。これは、縫合線をカリ首（亀頭冠）のすぐ下にとることで、縫合線が目立たなくなります。
（以上、目次より）

痛みを感じない最高の麻酔技術

■無痛手術の実現
●手術前の麻酔には、針を使わない画期的な麻酔方法もあります。　（以上、目次より）

手術に関する素朴な疑問

Q包茎の手術費用を知りたいのですが？
A手術費用はすべてで15万円（学割12万円）です。包茎の種類は関係ありません。クレジットは患者さんの秘密厳守を第一に考えた医療クレジットを用意しています。
（以上、目次より）

神奈川美容外科クリニックの
男の自信を手に入れる本

新書判・124頁
定価¥840（税込）＋送料¥180
著者／山子大助・伊澤克巳
吉種克之・宗本尚志
角谷正樹

発行／株式会社ぶんか社
〒102-8405 東京都千代田区一番町29-6
Tel.03-3222-5115（出版営業部）

●この書籍を購入ご希望の方は書籍名を明記し、書籍代プラス送料を現金書留で、下記の神奈川美容外科クリニックまでお送りください。

“医療レーザー脱毛”といえばやはり神奈川美容外科クリニック

世界標準の医療レーザー脱毛

■医療レーザー脱毛は世界標準で ～Global Standard～
●神奈川美容外科クリニックで使用しているアレキサンドライトレーザーとダイオード（半導体）レーザーは、日本の厚生労働省に相当する機関、FDA（アメリカ食品医薬品局）が安全性を公認している医療脱毛専用のレーザーです。
●医療レーザー脱毛は、毛根とその周囲に多く含まれるメラニン色素に反応するため、他の組織に全くダメージを与えず、皮膚表面も傷めない、安全で優れた脱毛方法です。
（以上、目次より）

ツルスベ肌の男性が女性にもてる！

■医療レーザー脱毛ならほぼ全身の脱毛が可能
●ヒゲ剃り後の青いポツポツにも悩むことはありません。
●胸毛を脱毛すれば、すっきりとVゾーンが着こなせます。（以上、目次より）

HEART

神奈川美容外科クリニックの脱毛革命～世界一の医療レーザー脱毛症例数～

●口周りのヒゲで、1回のレーザーの照射時間は5分程度です。
●毛周期を考慮に入れた2～4週間のインターバルで、平均10回レーザー照射を行えば満足のいく脱毛効果が得られます。
●口周辺のヒゲの脱毛の場合、10万円で初回照射日より1年間フリーパスの「脱毛革命フリープラン」、1回2万円の「脱毛革命クイックプラン」のいずれかをお選びいただけます。　（以上、目次より）

“医療レーザー脱毛”といえばやはり神奈川美容外科クリニック

新書判・168頁
定価¥840（税込）＋送料¥210
著者／山子大助・伊澤克巳
吉種克之・田中亜希子
宗本尚志・角谷正樹

発行／祥伝社
〒101-8701 東京都千代田区神田神保町3-6-5
Tel.03-3265-1081（販売）

●この書籍を購入ご希望の方は書籍名を明記し、書籍代プラス送料を現金書留で、下記の神奈川美容外科クリニックまでお送りください。

KANA CLI
美容外科・形成外科・ヒフ科
神奈川美容外科クリニック
Beauty forever

包茎専用チャンネル式情報提供フリーダイヤル 0120-013929
医療レーザー脱毛専用チャンネル式情報提供フリーダイヤル 0120-730929
※24時間受け付けております。携帯・PHSからもご利用になれます。

24時間オンラインで相談や予約もできます　ホームページ▸http://www.k-c.co.jp　メール相談▸soudan@k-c.co.jp　i-mode用▸http://www.k-c.co.jp/i_mode

目黒：東京都目黒区目黒1-2-6　神奈川美容外科クリニックビル　TEL.03-5321-8690

●診療時間/朝9時～夜9時●年中無休●完全予約制
●秘密厳守の医療クレジット（ボーナス併用払いあり）

目黒・銀座・渋谷・新宿・横浜・札幌・盛岡・仙台・郡山・新潟・高崎・宇都宮・水戸・大宮・柏・千葉・池袋・立川・町田・静岡・名古屋・金沢・京都・大阪・神戸・岡山・広島・北九州・福岡・熊本・鹿児島

フランス『KARATE・BUSHIDO』誌提携
SRS DX
スペシャル・リング・ガイド
No.47 6・28臨時増刊号

CONTENTS

※入稿の都合上、目次の内容と異なることがございます。ご了承願います。

表紙デザイン◎梅村あゆみ

おなじみ“もしも…”の座談会

ついに新日本をブッ潰す黒船の姿が見えてきた!

出席者◎
山口日昇（紙のプロレスRADICAL編集長／あだ名：会長）
サダハルンバ谷川（本誌編集長）
“Show”大谷泰顕（ワンダフル）
司会◎柳沢忠之（本誌発行人／あだ名：社長）

猪木“勝海舟”はプロレス城を無血開城するのか?

山口 さあタニー、今日は何をやるの?

谷川 何にしましょうか、ノビー。

山口 また決めてないんだ（笑）。

谷川 ………じゃあ、プロレスについて語りましょうか。今、面白そうだから。

大谷 プロレスってプロレス?

――ぷぷぷぷぷっ!

谷川 いや、だからね、プロレスについて……。あっ! 会長（山口日昇のアダ名）、ZERO―ONEはどうなっているんですか?

山口 はぁ?

谷川 ZERO―ONEですよぉ。プロレスって今、盛り上がってますよね?

山口 盛り上がってますね、一応。

谷川 なんで盛り上がってるんですか?

山口 それはハッキリしてますよ、一番盛り上がってなきゃいけないはずの『プライド』が盛り上がってないからですよ（笑）。

谷川 『プライド』が盛り上がってないからプロレスが盛り上がっているの? へぇ～。

山口 相対的に盛り上がってるだけですよ。なにかが盛り上がってないとダメじゃないですか、業界は（笑）。

谷川 ふぅ～ん。じゃあ、プロレスのどういうところが盛り上がっているんですか?

山口 今? そんなには盛り上がってはないですよ。熱を持ってウワ～ッと盛り上がるようなことはないですよね。プロレスが落ち目な時にK―1がスキを突くという感じで、『プライド』が「12」「13」と落ちこんだスキを無意識に突いたんでしょうね。『プライド』が無意識に突かれたというか（笑）。

谷川 Showはどう思うの?

大谷 業界再編! 構造改革!!

おなじみ
“もしも…”の座談会

新日本にとっての黒船は、WWFですよ（谷川）
僕もそう思う。『プライド』じゃなくて（山口）

谷川 どう改革されるの？

大谷 いやぁ、それは分からないですよ。

山口 ぐわはははは。

大谷 俺に聞かないでくださいよ。

谷川 なんでだよ、オマエにはビジョンがないのかよ（笑）。

大谷 ないですよ。

谷川 ビ、ビジョンを出してくれよぉ。

大谷 そんなぁ、谷川さん、俺に聞いてもしょうがないですって。

――Jの1966『また逢う日まで』入れてくれる？

山口 俺、帰るよ。マジで（笑）。

谷川 ボ、ボク思うんですけど、新日本プロレスっていうのは、盛り上がってないような気がするんですよ。

山口 盛り上がってないです！

谷川 話題の中心なんだけど、時代性という意味では、盛り上がってないですよねぇ。

山口 今、プロレスっていうジャンルそのものが地盤沈下してるから、新日本がスケープゴートにされているんですよ、完全に。

谷川 ふ～ん。

山口 ファンにしても、他のプロレス全体がダメだって言うよりも、新日本を叩いたほうが分かりやすいでしょ（笑）。

谷川 うん、それは分かるんですよ。新日本を叩くことによって、プロレスそのものに活を入れるっていうのは。ただ、僕が感じるのはねぇ、新日本をホントに潰そうとはしてないでしょ、誰も。

山口 ……俺はしてますよ！

――ぷぷぷぷぷぷっ！

大谷 わっはははは。スゴ～イ、断言してる。

山口 本気で仕掛けないと、面白くないでしょ。

谷川 僕もそう思うんですよ。例えば、新日本プロレスを江戸幕府に例えたら、ホントに幕府を倒そうという気持ちが誰にあるのかなぁと思って。僕が言うのもなんですけど、本気で倒すようなつもりでやったほうがいいと思うんですよね。

大谷 新日本を対立概念にしろってことですか？

谷川 いや、だから今は新日本を対立概念にして、新日本の存在をみんな活かしちゃってるでしょ？ 活かさなきゃダメだっていう気持ちが見えちゃう。新日本プロレスを本気で倒そうとしているヤツなんて誰もいないでしょ。

山口 だから、もはや新日本が、本気で倒そうとする存在じゃないという気分もあるでしょ。江戸幕府ほどのスケールがあるのかっていうと、ないもんね。

大谷 でも、倒れないですよ、たぶん。失礼な言い方だけど、倒れるだけのエネルギーがない。パワーがない。要するに、倒れるにもやっぱり、断末魔のなんとか……ってあるじゃないですか。そういうエネルギーもあんまり感じないもん。

山口 じゃあ、このままダラダラ継続していくってこと？

大谷 そういうふうにしか見えない、今の感じだと。……って言ったら怒られちゃうなぁ、やっぱなぁ。

山口 今日のテーマは「新日本は潰れる

▲新日本にとっての黒船は？
タニー＆ノビーともに『WWF』と声を揃えた

ターザンも新日本に寝返ったところだし、古ダヌキどもを一掃してやりますよ（山口）

べきか？」でいいの？（笑）。

谷川　いい……のかなぁ？

山口　社長、いいの？（笑）。やるんだったら徹底的にやりますよ（笑）。

――だから、テーマは「新日本にとって、黒船はなんなのか？」ということだよね。『プライド』なのかWWFなのか、それともZERO－ONEなのか。

山口　やっと決まった今日のテーマが。良かったぁ、どうなることかと思った。

谷川　そうなると……、もう答え言っていい？（笑）。

大谷　誰？　黒船は？

谷川　俺が思うにね、やっぱりWWFですよ。

山口　うん、俺もそう思う。

大谷　ふ～ん。

山口　完全にWWFですよ、今は。『プライド』じゃなくて。

谷川　でも、僕はやっぱり『プライド』にしたいんだよなぁ。

山口　いや、その勝負はついてるもん。興行うんぬんじゃなくて。

大谷　ああ、そういうことか。

谷川　いやだから、黒船が出てきた時のことを言うと、ちょっと歴史の勉強をすると……。

大谷　まず、ペリーが来航しましたよね。

谷川　そう、ペリーが来てから、江戸幕府は最終的には倒れたじゃない。その倒そうという気持ちがあるのかどうかっていうのが、僕は非常に興味があるんだよね。

山口　どこが倒そうとしてるの？

谷川　いや、何かが。例えば、ZERO－ONEとノアがくっつくことによって薩長同盟みたいな感じで、これだったら幕府を倒せるぞと、もう大政奉還しなさいと、新日本プロレスに言う気持ちがあるのかどうか。

――俺はね、いま黒船に挙げた3つともないと思うんだよね、その気持ちは。

山口　WWFは歯牙にもかけてないだろうし（笑）。

谷川　そこが凄い問題だと思うんだよね。

山口　WWFはしょうがないよ、それはべつに今、新日本を倒してメリットはないわけだから（笑）。

谷川　だけど、例えばそういうふうな気持ちがあった時に、メチャクチャ時代が動くような気がするんだけどなぁ。

大谷　じゃあ、紙プロじゃん、黒船は！

山口　あ？

大谷　だって倒す気あるんだもん（笑）。

山口　死ぬまでやりますよ、俺は（笑）。

谷川　ホント、勤皇の志士ですよ。

――だっははははは。

山口　ちょうどターザンも新日本に寝返ったところだし、古ダヌキどもを一掃してやりますよ（笑）。

――桃太郎侍か（笑）。

大谷　僕は、人斬り以蔵くらいには使ってください（笑）。

――それはいいなぁ、オマエあってるよ。

山口　あってるあってる。なにげに斬りそうだもんなぁ。

――ホントに無意識に斬ってるもんなぁ。

山口　オマエは本当に痛い斬り方をしそうだよなぁ、美しくない（笑）。

大谷　後先考えてられませんから（笑）。

山口　でもねぇ、WWFはたしかに概念的には黒船ですよ。

谷川　『プライド』も概念的には黒船……だよ。

山口　ただまぁ、新日本がWWFを相手にする気があるのかなぁ、と思うけどね。

谷川　結局は、新日本はWWFになる気持ちはあるのか、『プライド』になるつもりはあるかどうか。それはつまり開国するか、夷敵を討つつもりがあるかどうかという問題になってくるんじゃないの？　だからWWFの方向だったら、新日本としてはカミングアウトする気持ちがあるかどうかということでしょう。

山口　まあ、そういうことでしょうね。

大谷　ヒャッ!?　何をカミングアウトするの？……いやぁ、そういうの止めようよ（笑）。

山口　馳浩なんかは「日本のプロレスはカミングアウトする必要はない」って言ってるんだよね。たしかに日本の土壌ではカミングアウトした後に、もの凄くビジネス的にダメージがあるっていうイメージがあるでしょう。

谷川　いやぁ、僕はメチャクチャ儲かると思うけどね。

山口　でも、イメージとして強迫観念があるもん。

谷川　強迫観念はあると思うけど、メッチャ儲かると思うけどなぁ。

山口　それは俺も今よりは全然いいと思うよ。

大谷　じゃあ、なんでそっちの方向に行かないんですか？

――ハッキリしているんだよ、その答えは。幕府を倒して時代を変えようとする側が畳み込めない理由っていうのは、黒船側が明るい未来だとは思えないってことでしょ。

山口　WWF側にも『プライド』側にもね。

大谷　ふ～ん。

――維新の頃、普通の人はともかく、一部の原動力になった人たちは、アメリカの民主主義だとかヨーロッパの制度とか、そういうものが明るい可能性であるということを信じて行動してたわけでしょ。じゃあ、ガチンコの『プライド』の世界に、本当の明るい未来があるのか。WWFの世界に発展的な可能性があるのか。そういう未来を確信できないから、パワーにならないわけでしょ。

――うん。

山口　だから、裏テーマとしてはさぁ、右がWWFで、左が『プライド』だとしたら、その真ん中のものは必要かどうかってことだよね、結局。

山口　日本のプロレスって真ん中なわけでしょ、世界から見ても。マーク・コールマンなんかが、日本のプロレスはアメリカとは違ってリアルだってよく言うけど、そのプロレスはこの先必要なのか、発展性があるのかどうかってことだよね。

おなじみ
"もしも…"の座談会

谷川　必要かどうかは、いま社長が言ったように、右と左に明るい未来がないから、存在しちゃっているだけのような感じがするんだよね。
山口　消去法で？
谷川　そう、消去法で。でも、逆に言うと、右か左に思い切って行っちゃったらいいのになぁと。
大谷　じゃあ新日本が倒れたら、時代は変わるんですかね？
谷川　変わるでしょう。例えば、猪木さんが勝海舟くらいの気持ちのスタンスだったら面白いんだよね、僕にとっては。
――うん。幕府のトップでありながら、明るい未来に賭けて江戸城をあげちゃう（笑）。そういう度胸を持った人間が幕府の内部にいるかどうかだよね。
谷川　そう、いるかどうか。そういう思想を持ってる人の近くから、本物の坂本龍馬とか、そういう弟子たちが出てくるじゃない。そうなると話はもの凄く面白いんだよね。それが藤田であり小川であるんだったらば。
山口　でも、猪木さんが今やろうとしていることは真ん中でしょう？
谷川　真ん中でしょう。
山口　でも、サダハルンバが言うのは、右でも左でもどっちかに行ったほうがいいってことだよね。
谷川　それができた時に新しく歴史が動くって感じがするんですよね、マット界って。そんな気がしません？
山口　ズバリ言って、やはりどっちかに針を振っちゃったほうがいいんですよ、才能のない人たちは。
大谷　ああ、凄い言葉だ。
山口　綱渡りできる才能のある人なら真ん中でいいけどね。
大谷　それが猪木さんなんですよね。
山口　そう。でも、そんな人材は少ないよ。だから、右か左に行ったほうが絶対にいいというのは、凄く分かるんだけど、でも俺は、真ん中を突き詰める人を見てみたい気がするけどね、個人的に。業界がどうなるかは別にして（笑）。
大谷　ふ～ん。
谷川　でもね、僕がイヤなのは、その中途半端な真ん中にみんなを落ち着かせようとしているということなんだよね。
大谷　それは分かる。
――要は、それじゃ刺激がないってことだよね。例えば猪木さんは、その真ん中に軸足を置いていても、恐るべきふり幅で左右の極限まで見せてたよね。それがわれわれの刺激だったわけでしょ。
谷川　そうそう。
――でも、それは時代背景で、今となっては左右の極限というのが半端じゃないんだよね（笑）。そうなると、真ん中に軸足を置いて振り幅を見せられる人材なんかいない。
大谷　ふ～ん。
――ただ、今の極限を見ている人たちにとっては、その先の可能性っていうのをどうも信じられないんだよね。
谷川　そうそう。
――だからみんな、自分たちの中で、刺激の自主規制をしてるんじゃないの？　会長の言う、真ん中を突き詰める人が見たいっていうのも、俺にはその刺激の自主規制に感じるんだよね。「もうすでに左右を振り切っちゃってるからヤバイぞ」っていう。
山口　いや、俺はどっちかに落ちるか落ちないか分からないギリギリのところを渡る人が好きだから。そういう奴が現れてくれないかなぁっていう願望だよ。
大谷　でも、そんなに自主規制ってしてますかねぇ？　みんな素直に刺激は感じてるんじゃないですか？
――じゃあ、最近マット界で刺激的だったことって何？
大谷　う～ん、例えばZERO－ONEの小川と三沢の絡みとか……。
――オマエ、それがまさに自主規制じゃないの？（笑）。
大谷　いやいや、そんなことないって。だってあれはZERO－ONEだからできたことですから。『プライド』じゃできないんだから。
――それだよ（笑）。その「『プライド』じゃできないから」っていうのが自主規制なんだよ（笑）。『プライド』で小川と三沢が絡んだらドームいっぱいになるだろ。
大谷　そりゃそうでしょうけど、ルールがZERO－ONEルールだったから、ノア対小川ができたわけじゃないですか。ZERO－ONEのリング、ZERO－ONEのルールであれば、小川対三沢ができたんだから、べつに『プライド』のルールでやらなくたって、やれるリングであればいいんじゃないの？
谷川　それは右にも左にも行ってないから、僕には……。
――それが今の熱のなさでしょう。自分の中で、プロレスを変に守ろうとして、刺激の自主規制をみんながしちゃってると思うんだよね。
大谷　そうかぁ、難しいなぁ。
――Ｓｈｏｗの言う、三沢と小川が絡んでくれるだけで、べつにどこのリングだっていいなんて、そんなの絶対に大ウソじゃない（笑）。
大谷　ああ、大ウソかぁ。だって、変な例えですけど、エッチする時にさぁ、ゴム着けなきゃイヤだとか言われて、それを守ればエッチできるんだったら、エッチできるほうがいいじゃんって思うんだけど（笑）。
山口　ゴム着けないでやれる方法を考えるよ、俺は（笑）。
――ガーッハッハッハッハ！
大谷　俺は着けない方法を考えるよりも、

ゴム着けなきゃイヤだって言われたら着けてエッチできるほうがいいじゃん（大谷）

TBS『筋肉番付』毎週土曜 午後7：00から放送中

『プライド』の未来のヒントはTBSの制作ノウハウにあり！

べつにエッチできればいいやって考えるほうですね。

山口　俺は考えるね。あとで思い出さないようにベロベロに酔っぱらって、やっちゃうとか（笑）。

大谷　いやいや、それだったら回数を増やすとかさぁ、もしくは別のことするとかさぁ。

――いやぁ、やっぱり韓国エステでも本番に持ち込むぐらいの男気がないと（笑）。

山口　俺のこと？（笑）。ズーッとそれでいいのかって気もするけど、しょーがないよなぁ。そっちのほうがいいんだから！（笑）。

谷川　俺は本番やらずにやっているように見せたいなぁ。日活ロマンポルノが一番いいなぁ。

山口　「見せたいなぁ」って、なんで観客がいるんだよ、そこに（笑）。誰に見せるんだよぉ（笑）。

大谷　今、見る側の話じゃなくて、やる側の話をしてるんだから、もう（笑）。

――だけど、刺激の自主規制は、本当に俺らにとって閉塞感になるよ。

山口　うん。ただ、刺激っていう部分でプロレス界の黒船に一番なったのは『プライド』だと思うんだけど、その『プライド』に今、刺激感が薄れ始めてることに問題があるんだよね。

谷川　そうそう、そこですよ。

――黒船として現れたのはいいけど、幕府を倒そうっていう最終的なエネルギーが生まれてこないんだよね。

山口　でも、俺はプロレスというものを底上げしない限り『プライド』は続かないと思うけどなぁ。

大谷　ああ、でも俺も実際そうだと思う。

谷川　底上げするってどういうこと？

大谷　だって藤田みたいなヤツがいなきゃ『プライド』っていつまでたっても普通のバーリ・トゥードじゃないですか。やっぱりああいうヤツがポンといてくれなきゃ困るから……。

谷川　だけど、逆に言うとプロレスの底上げなしでやっていける『プライド』が今、必要な気がするんだよね。UFCとは違うね。

大谷　ふ〜ん。

谷川　例えば、大山君みたいな選手がドカーンと輝くような『プライド』っていうか。もうちょっと体がデカい選手ならもっといいんだけどね。

山口　それこそ柔道の篠原みたいなのがね。

谷川　そうそうそう。

山口　ああいうのが出てくればね。それはべつにあってもいいっていうか、いま俺は図らずも「あってもいい」って言っちゃったけど、それはボンヤリとしすぎて、あってもいいなぁって感じだよね（笑）。でもそこを考えると、プロレスが圧倒的な江戸幕府のような存在だったら、『プライド』が本気で倒しに行くというのが刺激的なんだけど、今のプロレスにそれを望めないから別の方法を考えなきゃいけないってことか。社長はどう考えてるの？『プライド』の未来は。

――『プライド』ってさっき言ったように、WWFとは逆のベクトルの極限で成立してると思うんだけど、プロレスファンからしてみると新しい真ん中の形態でもあるわけでしょ。

山口　うん、そうだよね。「あれこそがプロレス」っていうね。

――それって単純に、ガチンコを前提にしてプロレス的なアングルがくっついてくるっていうイメージなんだけど、果たしてそれが本当に理想なんだろうかって最近考えちゃうんだよね。

谷川　ふんふん。

――そのアングルっていう言葉の定義が問題なんだけど（笑）、試合スタイルが左の極限だとしたら、それにくっついてるアングルは右の極限であってほしいわけだよね。それが、今の『プライド』のアングルって、どうも旧来のままでしょ（笑）。

山口　いわゆる舌戦とかね（笑）。

――そうそう。そこが、どうにも理想的な融合とは思えないんだよ（笑）。で、右と左の理想的な融合って考えたときに、ヒントがあったんだよね。

谷川　なになに？

――TBSの制作ノウハウ。

大谷　おおぉ、さすがTBS。

――ソフトの制作ノウハウとして、『筋肉番付』とか、『フードファイト』とかさぁ、ああいう世界のエッセンスというのは、プロ格闘技の世界には必要だと思うんだわ。プロレスも含めてだけど。

山口　『ガチンコ』とか？

――そうそう。

大谷　例えば、どんなところなんですか？

――一番分かりやすいイメージで言うと『フードファイト』ってあったでしょ。

山口　ああ、大食い競争みたいなの。

――「コイツ、人間じゃないな」っていうかさぁ（笑）。人間としての超越した部分というか、普通じゃない部分をドラマチックに表現するっていう意味では、プロ格闘技は学ばなきゃいけないよね。

山口　なるほどなぁ。

――桜庭とかをイメージした時に、『筋肉番付』みたいに、隣の兄ちゃんが実は凄いものを持っているみたいな表現方法も大事だし、フードファイトみたいに「コイツら本当に俺らと同じ人間なの？」っていう超人的な何かを見せていくとか。そういうノウハウがプロ格闘技にも求められてるんじゃないのかなと思うんだよね。

山口　今こそね。

――『筋肉番付』なんていうのは、もちろん素人が必死に闘うゲーム性の面白さ

おなじみ
“もしも…”の座談会

が重要だと思うんだけど、スポーツ選手なんかが出てくると、ドキッとすることが多いよね。

大谷 ああ～。

――例えば清原がフィリォやヒクソンと闘ったり。そうすると、もちろん格闘技とは違った単なるゲームなんだけど、「アスリートとしてこの男の地力はどのくらいあるのか？」っていうリアルさが、一般的な興味を引く材料にはなるよね。それと同じで、本来『プライド』の持つ遠心力って、そういう楽しみ方なんじゃないかっていう気がするんだよね。プロレス対空手とか、相撲対アマレスとか、柔道対ボクシングとか、それぞれの競技内とは違った視点で〝測定〟するわけでしょ。そういう意味で、『筋肉番付』って『プライド』の方向性に近い部分が多いと思うんだよね。

山口 うんうんうん。

――この間、フジテレビの『プライド』中継がTBSの『フードファイト』に視聴率で負けて、K―1中継が『筋肉番付SASUKE』に負けたっていうのを聞いて、これはホントに全てを象徴しているなぁと思って。

大谷 そうなんだよなぁ。

――「測定」と「超人」っていう同じベクトルの番組に視聴率で負けるっていうのは、由々しき問題だよ（笑）。俺は、そういうコンテンツに作り手がしないと格闘技ってホントにダメだろうなと思うんだけどね。

山口 でもさぁ、逆に言えば、超人的な見せ方っていうか、人としてコイツはスゲエなぁって見せ方を、無理矢理やっているのがプロレスでしょ？

――うん。昔のプロレスは幻想の中でそういう手法を取っていたけど、今ガチンコの時代になると、急に等身大になっちゃうでしょ。

山口 そうそう、今のプロレスは人工的に「コイツは人間離れしてますよ」ってやっているんだけど、総合はプロレスと切り離すことにこだわりすぎて等身大になりすぎちゃったもんなぁ。じゃあ『プライド』とかそういうもので、それをリアルに表現できる方法っていうのは、何があるの？

――それがノウハウだと思うんだけど、TBSなんか見てると、作り方のエッセンスとして、一般的に通じる比較感がしっかりしているよね。例えば、『筋肉番付』なんかと同じチームが作ったらしいんだけど、世界陸上のCMで、3段跳びの選手が3歩で横断歩道を渡るとか。

大谷 ああ、高跳びの選手が電話ボックスを超えたりとかね。

――うん。だから跳び箱ってのは一番分かりやすい話だよね。誰でもやったことがあるものを、どれだけ違うかって比較感として見せる。その手法っていうのは、本当に重要だと思うんだよね。

谷川 それは重要だわ、本当に。

――そのノウハウって、格闘技に置き換えると、極真幻想だよ。試し割りとか百人組手の世界だよね。

大谷 ああっ、そっかぁ！

山口 うん、話が見えてきた。なんか面白くなってきたなあ（笑）。

谷川 そのノウハウを解き明かせば『プライド』の未来が分かるんだぁ。

――んあ～。

山口 じゃあ、解き明かす前にKの1299『ここでキスして』入れてくれる？

谷川 んあああああああっ！　林檎ちゃん！　歌おうっ！

〈唐突に以下次号〉■

5/31THU～6/14THU

CALENDAR

5/31 THU	■J-NETWORK/東京・北沢タウンホール（18:00～）⬅p49 ★『SRS・DX』47号発売日
6/1 FRI	■アルティメットボクシング/福島・ビッグパレットふくしま（18:00～）⬅p48 ●フジテレビ系『SRS』（26:15～26:45）放送⬅p69
6/2 SAT	◆DEEP 2001 in YOKOHAMA/チケット発売⬅p47
6/3 SUN	
6/4 MON	
6/5 TUE	
6/6 WED	
6/7 THU	
6/8 FRI	●フジテレビ系『SRS』（26:15～26:45）放送⬅p69
6/9 SAT	■第3回女子全世界空手道選手権大会＆第1回壮年国際空手道選手権大会／大阪府立体育会館（10:00～）⬅p50
6/10 SUN	■極真2001全世界ウェイト制空手道選手権大会/大阪府立体育会館（10:00～）⬅p50 ■The CONTENDERS M-1/東京・ZEPP TOKYO（16:00～）⬅p48 ◆PRIDE.15/チケット特別先行電話予約⬅p47 ◆PANCRASE NEO BLOOD TOURNAMENT DAY&NIGHT/チケット発売⬅p47 ◆SHOOTO TO THE TOP in OSAKA/チケット発売⬅p48
6/11 MON	
6/12 TUE	
6/13 WED	
6/14 THU	■修斗/東京・北沢タウンホール（18:00～）⬅p48 ★『SRS・DX』48号発売日

格闘技パーフェクトガイド

Perfect Guide

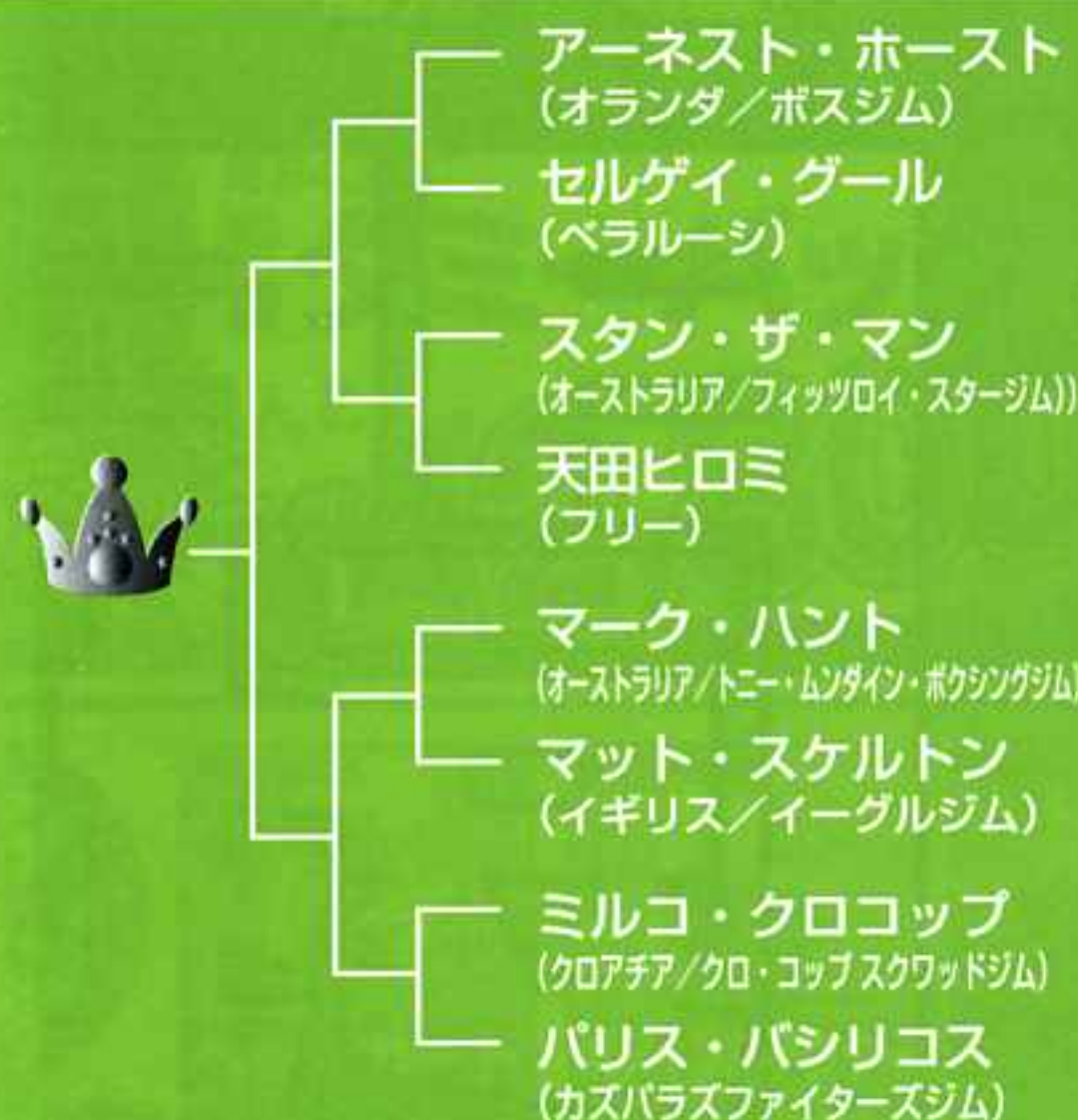
GUIDE & TICKET
大会ガイド&チケット情報

K-1

K-1 ワールドGP・シリーズ

K-1ワールドGP世界地区予選 メルボルン大会
6月16日（日） オーストラリア・メルボルン

開幕戦トーナメント

- アーネスト・ホースト（オランダ／ボスジム）
- セルゲイ・グール（ベラルーシ）
- スタン・ザ・マン（オーストラリア／フィッツロイ・スタージム）
- 天田ヒロミ（フリー）
- マーク・ハント（オーストラリア／トニー・ムンダイン・ボクシングジム）
- マット・スケルトン（イギリス／イーグルジム）
- ミルコ・クロコップ（クロアチア／クロ・コップスクワッドジム）
- パリス・バシリコス（カズパラズファイターズジム）

K-1ワールドGP 2001 in名古屋
7月20日（金・祝） 愛知・名古屋レインボーホール

◆開場/未定 試合開始/未定
◆入場料/SRS席25,000円 RS席15,000円 S席12,000円 A席6,000円
◆チケット発売/右記の表を参照
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、サークルK、公武堂
◆出場予定選手/マイク・ベルナルド、シリル・アビディ
◆会場アクセス/JR東海道線笠寺駅より徒歩3分、市バス総合体育館・総合体育館南・南区役所・笠寺駅下車
◆お問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977

K-1ワールドGP 2001 in名古屋 チケット発売日

〈特別先行発売〉
6月3日（日）10:00～18:00
東海テレビ 【特電】☎052-961-6341

〈@ぴあ・iモード抽選先行〉
6月4日（月）～7日（木）10:00（24時間受付）
チケットぴあ @ぴあ・iモード

〈中日新聞ぴあ先行〉
6月16日（土）10:00～18:00
チケットぴあ 【特電】☎052-320-9955

〈一斉発売〉
6月17日（日）10:00～
チケットぴあ 【特電】☎052-320-9955
【Pコード特電】☎052-320-9922 [Pコード=745-104]
ローソンチケット ☎052-290-9900 [Lコード=48606]
サークルK 店頭販売のみ
公武堂 店頭販売のみ

〈一斉発売〉
6月18日（月）以降
チケットぴあ ☎052-320-9999
ローソンチケット ☎052-290-9900 [Lコード=48606]
サークルK 店頭販売のみ
公武堂 店頭販売のみ

K-1ワールドGP世界地区予選 ラスベガス大会
8月11日（土） アメリカ・ラスベガス

K-1 WORLD GP2001 in福岡（敗者復活）
10月8日（月・祝） マリンメッセ福岡

◆詳細未定
◆会場アクセス/JR博多駅より車で5分
◆お問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977

K-1 ジャパン・シリーズ

ジャパンGP、仙台で遂に開幕！ さいたまアリーナに行けるのは誰だ？

K-1 SURVIVAL 2001 K-1ジャパンGP 2001 開幕戦
6月24日（日） 宮城・仙台グランディ21

◆開場/12:30 試合開始/14:00
◆入場料/SRS席20,000円 RS席15,000円 SS席10,000円 S席7,000円 A席5,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/ローソンチケット、チケットぴあ、CNプレイガイド、キョードー東北
◆会場アクセス/JR利府駅より宮城交通バスで10分
◆お問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977
◆チケットに関するお問い合わせ/キョードー東北☎022-296-8888

決定対戦カード

《スーパーファイト》
- ジェロム・レ・バンナ（フランス/ボーアボエル&トサジム） vs ステファン・レコ（ドイツ／マスターズジム）
- 武蔵（正道会館） vs エベンゼール・フォンテス・ブラガ（ブラジル）

《K-1ジャパンGP開幕戦1回戦》
- 中迫剛（正道会館） vs 子安慎悟（正道会館）
- ノブ・ハヤシ（ドージョー・チャクリキ） vs TSUYOSHI（ボス・ジム）
- 富平辰文（正道会館） vs 柳澤龍志（チーム・ドラゴン）
- 内田ノボル（ビクトリージム） vs 藤本祐介（正道会館）
- 大石亨（日進会館） vs 鈴木政司（正道会館）
- グレート草津（正道会館） vs 百瀬竜徳（至誠館）

K-1ジャパンGP 2001 決勝トーナメント
8月19日（日） さいたまスーパーアリーナ

◆詳細未定
◆会場アクセス/JR高崎線・宇都宮線・京浜東北線さいたま新都心駅より徒歩3分、JR埼京線北与野駅から徒歩7分
◆お問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977

K-1ワールドGP 2001 メルボルン大会観戦ツアー
オーストラリア・メルボルン5日間
6月15日（金）出発 94,800円～

K-1ワールドGP地区予選の第二弾となる、オーストラリア・メルボルン大会観戦ツアーの開催が決定した。出発は6月15日（金）、価格は94,800円～（観戦チケット料金は別）となっている。気になる出場選手は、上記にもあるとおり、ホーストやミルコ、オーストラリア予選王者のマーク・ハント、マット・スケルトン、パリス・バシリコス、セルゲイ・グール、スタン・ザ・マン、そして天田ヒロミら。このトーナメントに優勝すれば、12月に東京ドームで行われる決勝大会へのキップが手に入れられるだけに、熾烈な闘いが繰り広げられることが予想される。ぜひこの闘いをメルボルンのヴォーダフォン・アリーナ（会場）で目に焼き付けてほしい！

◀昨年度チャンピオンのホーストも予選から出場！

◀日本からは天田ヒロミが出陣！

●プラン

日付	予定
6/15（金）	夜：東京➡メルボルンへ（シドニーにて乗り継ぎ） ＜機中泊＞
6/16（土）	午前：メルボルン着 着後、K-1会場を車窓から見学し、メルボルン水族館入場観光。その後、ホテルへ ＜メルボルン泊＞
6/17（日）	終日フリー ＜メルボルン泊＞
6/18（月）	出発までフリー 夜：メルボルン➡空路、帰国の途へ（シドニーにて乗り継ぎ） ＜機中泊＞
6/19（火）	午前：東京➡着後、解散となります

●料金

ホテル・クラス	料金
Cクラス	94,800円
Aクラス	105,000円
Lクラス	115,000円

観戦チケット料金
A$ 300
A$ 200
A$ 74.85
A$ 45.85

◆利用予定航空会社：カンタス・オーストラリア航空 ◆添乗員：なし・現地係員
◆最少催行人数：2人 ◆食事：なし
◆利用予定ホテル：Cクラス/イビス・メルボルン又は同等クラス Aクラス/メリディアン又は同等クラス Lクラス/クラウンタワーズ又は同等クラス
※ホテルクラスはチャオ！オーストラリア料金表に準じます
◆成田空港施設使用料・現地出国税・空港税が別途必要となります
◆観戦チケットは、料金に含まれておりません。また、チケット料金には試合会場までの往復送迎は含まれておりません
◆会場までの案内図は、現地にて配布いたします
◆お問い合わせ/H.I.S.新宿本社営業所 ☎03-5360-4811
※ツアーお申し込み時に希望チケットのお申し込みもお願いしております。なお、チケットは当日現地にてお渡しいたします

総合格闘技&ノールール系

バトラーツ

6・2黄金伝説 ～バトラーツvsZERO-ONE全面対決!!～
6月2日（土） 石川・産業展示館2号館

土方隆司 凱旋興行2 ～つばさ広げて新世紀 ところざわへ！～
6月3日（日） 埼玉・くすのきホール

T.F.M.cinco
6月17日（日） TOKYO FMホール

未来を担う子どもたちのために ～愛してます♥こしがや～
6月23日（土） 埼玉・越谷桂スタジオ

熱気集会
7月5日（木） 東京・後楽園ホール

◆お問い合わせ/バトラーツ☎0489-63-0005

PRIDE

遂に石澤vsハイアン戦が決定!? 次回のPRIDEは、再びさいたまアリーナで！

PRIDE.15
7月29日（日） さいたまスーパーアリーナ

◆開場/14:00 試合開始/16:00（予定）
◆入場料/VIP席100,000円 RRS席23,000円 スタンドS席13,000円 スタンドA席7,000円
◆チケット発売/下記参照
◆チケット発売所/ドリームステージエンターテインメント他
◆会場アクセス/JR高崎線・宇都宮線・京浜東北線さいたま新都心駅より徒歩3分、JR埼京線北与野駅から徒歩7分
◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント☎03-5775-5700

PRIDE.15 チケット特別先行電話予約
6月10日（日）12:00～19:00
【特電】☎052-961-6341

DEEP2001 事務局

「ホイラー、村浜にまさかのドロー……」から約半年。『DEEP2001』横浜大会開催！

大阪プロレスの村浜がホイラー・グレイシー相手に大善戦して話題を呼んだ『DEEP2001』の、第二弾となる横浜大会が決定した。前大会と同じくパンクラスやU-FILE CAMP、ブラジル選手などが出場予定だ。5・13パンクラス後楽園大会で行われた記者会見で佐伯繁代表は、記者の「VT初参戦の大物の出場が噂されているが、それは日本人？」という質問に「外国人ですね。今のところは交渉が8割くらい進んでいるんですが、日本でもアメリカ、ブラジル、ヨーロッパ人でもありません。かなりの大物で、名前を聞けば誰でも知っている選手です」と答えている。このナゾの"大物"選手は誰なんだ！ そして対戦カードはどうなるの？ 8・18『DEEP2001』横浜大会は、開催前から前回以上の盛り上がりを見せている!!

▲会見では出場予定の3人がコメント。右から、近藤有己「まだ出場"予定"なんで、ぜひ出たいと思っています」、上山龍紀「また出させていただいて光栄です。練習したものを出せるように頑張りたいです」、謙吾「相手はまだ決まってませんが、前回同様スカッと勝てるよう頑張ります」

DEEP2001 in YOKOHAMA
8月18日（土） 神奈川・横浜文化体育館

◆開場/17:00 試合開始/18:00
◆入場料/VIP席30,000円 アリーナS席20,000円 アリーナA席15,000円 アリーナB席10,000円 2F指定席10,000円 3F指定席6,000円 ※当日は1,000円増し
◆チケット発売/【一般発売】6月2日（土）
◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、e+（イープラス：http://eee.eplus.co.jp）、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷、レッスル池袋、後楽園ホール、ビデオショップチャンピオン、プロレスマニア館、アイドール新宿、ファイター、フィットネスショップ水道橋、チケット&トラベルT-1、パンクラス、DEEP2001事務局
◆会場アクセス/JR京浜東北線関内駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/DEEP2001事務局☎052-339-0303

出場予定選手

近藤有己（パンクラス・東京）
菊田早苗（パンクラス・GRABAKA）
謙吾（パンクラス・東京）
村浜武洋（大阪プロレス）
上山龍紀（U-FILE CAMP）
パウロ・フィリョ（ブラジリアン・トップ・チーム）

パンクラス

アブダビ優勝の菊田、メルボルンの"デモリッシャー"の挑戦を受ける！

6・26後楽園大会の対戦カードが発表された。今回のメインを務めるのは、アブダビコンバット（-87kg級）で優勝した菊田早苗と、オーストラリアでボクシングのヘビー級王者に2度も輝いている実力者のマット・トライヘイ。"デモリッシャー（ブチ壊し屋）"と呼ばれるトライヘイは、パンクラス・オーストラリア大会で、刺青で覆われた全身から繰り出すKO狙いのパンチ&キック連打で、観衆に恐怖心を抱かせたほど。また、今大会の第1試合で行う「-60kg契約」の対戦は、今年から導入予定の「軽量級部門」の第一弾となる。出場する砂辺光久は、沖縄県那覇市のパンクラス認可ジムでトレーニングを積む21歳の期待の新星。対する出口直樹はストライプルで平直行に師事し、ブラジリアン柔術と総合格闘技を学ぶ努力家。この対戦も楽しみだ!!

▲メルボルンの"デモリッシャー"マット・トライヘイが、アブダビ優勝で波に乗る菊田に襲いかかる！

▲パンクラスきってのテクニシャンの國奥は、2000年の第13回IFC大会で優勝していて、足関節技を使いこなすフランスの強豪、マシュー・ニコーと対戦する

PANCRASE 2001 PROOF TOUR
6月26日（火） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:30 試合開始/18:30
◆入場料/SS席12,000円 A席9,000円 B席6,500円 C席4,500円 D席3,000円 立見3,000円 ※当日券は500円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、e+（イープラス http://eee.eplus.co.jp）、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷、レッスル池袋、後楽園ホール、ビデオショップチャンピオン、プロレスマニア館、アイドール新宿、ファイター、フィットネスショップ水道橋、チケット&トラベルT-1、パンクラス
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

決定対戦カード

菊田早苗（パンクラス・GRABAKA）	vs	マット・トライヘイ（パンクラス・オーストラリア）
國奥麒樹真（パンクラス・横浜）	vs	マシュー・ニコー（フランス/フリーファイト・アカデミー）
高橋義生（パンクラス・東京）	vs	デビット・フレンディン（パンクラス・オーストラリア）
石井大輔（パンクラス・東京）	vs	ジェイソン・デルーシア（アメリカ/パンクラス・ハイブリッド・ブドーカン）
窪田幸生（パンクラス・横浜）	vs	久松勇二（タイガープレイス）
北岡悟（パンクラス・東京）	vs	星野勇二（RJW/Central）
砂辺光久（ハイブリッドレスリング武風）	vs	出口直樹（ストライプル行徳）

PANCRASE 2001 PROOF TOUR NEO BLOOD TOURNAMENT DAY
7月29日（日） 東京・後楽園ホール

◆開場/12:30 試合開始/13:30
◆入場料/SS席12,000円 A席9,000円 B席6,500円 C席4,500円 D席3,000円 立見3,000円 ※当日券は500円増し
◆チケット発売/6月10日（日）
◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、e+（イープラス http://eee.eplus.co.jp）、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷、レッスル池袋、後楽園ホール、ビデオショップチャンピオン、プロレスマニア館、アイドール新宿、ファイター、フィットネスショップ水道橋、チケット&トラベルT-1、パンクラス
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

PANCRASE 2001 PROOF TOUR NEO BLOOD TOURNAMENT NIGHT
7月29日（日） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:30 試合開始/18:30
◆入場料/SS席12,000円 A席9,000円 B席6,500円 C席4,500円 D席3,000円 立見3,000円 ※当日券は500円増し
◆チケット発売/6月10日（日）
◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、e+（イープラス http://eee.eplus.co.jp）、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷、レッスル池袋、後楽園ホール、ビデオショップチャンピオン、プロレスマニア館、アイドール新宿、ファイター、フィットネスショップ水道橋、チケット&トラベルT-1、パンクラス
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

総合格闘技&ノールール系

掣圏道

アルティメットボクシング郡山大会
6月1日（金）　福島・ビッグパレットふくしま

◆開場/17:00　試合開始/18:00
◆入場料/RS席15,000円　S席10,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/ローソンチケット、サンシティ、うすい百貨店プレイガイド、えびやレコード店、ミノヤレコード店
◆会場アクセス/JR郡山駅よりバスまたはタクシーで15分
◆お問い合わせ/掣圏道協会連絡所☎0166-27-5788

Result　5・3アルティメットボクシング函館市民体育館大会結果

《全試合結果》

○ガイダルベコフ・ジャミル（1R2分16秒、KO勝ち）浅野将一●
〈ロシア〉〈截空道〉
○リッキー・バウンサー（判定3-0）アネドチェンコ・アレクセイ●
〈截空道〉〈ロシア〉
○ブルイゼ・セメン（判定2-0）ロレデー・アレクサンド●
〈ロシア〉〈ロシア〉
○東金ランボー（判定3-0）スルハノフ・ザリムハン●
〈東金ジム〉〈ロシア〉
○アルテミエフ・アルテム（2R2分41秒、TKO勝ち）サビン・ニコライ●
〈ロシア〉〈ロシア〉
○タルカチョウ・イワン（1R0分38秒、TKO勝ち）丸尾和弘●
〈ベラルーシ〉〈仁誠会館〉
○グスニエフ・アブドゥラフ（3R2分13秒、TKO勝ち）アスケロフ・アサド●
〈ダゲスタン〉〈アゼルバイジャン〉
○ボドリャチン・デニス（判定3-0）シクラバ・ビタリ●
〈ロシア〉〈ベラルーシ〉

Result　5・12アルティメットボクシング北海道・鳥取ドーム大会結果

《全試合結果》

△ミナトゥラエフ・ルスタム（3R判定ドロー）マルチャナウ・アンドレイ△
〈ロシア〉〈ベラルーシ〉
△加藤正明（3R判定ドロー）ブルイゼ・セメン△
〈山木ジム〉〈ロシア〉
○ヴィノクロフ・アルテム（3R判定3-0）アンハレビチ・ヤウヘン●
〈ロシア〉〈ベラルーシ〉
○スレイマノフ・マゴメド（判定2-0）隼人●
〈ロシア〉〈フェニックスジム〉
○タルカチョウ・イワン（3R判定3-0）アルテミエフ・アルテム●
〈ベラルーシ〉〈ロシア〉
△瓜田幸造（3R判定ドロー）サヴィン・ニコライ△
〈日本・掣圏道〉〈ロシア〉
○アフメドフ・ズラブ（1R1分32秒、KO勝ち）ポリソフ・イゴリ●
〈ダゲスタン〉〈ロシア〉
○内田ノボル（2R3分00秒、TKO勝ち）シクラバ・ビタリ●
〈ビクトリージム〉〈ベラルーシ〉
○グスニエフ・アブドゥラフ（1R2分35秒、KO勝ち）チャンデット●
〈ダゲスタン〉〈タイ／谷山ジム〉

修斗

8・26大阪大会、三島（1位）vs五味（2位）ウェルター級チャンピオン決定戦！

SHOOTO GIG EAST Vol.3
6月14日（木）　東京・北沢タウンホール

◆開場/17:00　試合開始/18:00
◆入場料/S席6,000円　A席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/デジタラジア（http://DIGITALAZIA.com）、パレストラ東京
◆会場アクセス/小田急線、京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/パレストラ東京☎03-5984-3209

SHOOTO TO THE TOP
6月30日（土）　東京・北沢タウンホール

◆開場/16:00　試合開始/17:30
◆入場料/S席6,000円　A席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/ファイター、書泉ブックマート、後楽園ホール、フィットネスショップ水道橋店、KEEL CAFE、e-ticket（http://www.e-ticket.net/）
◆会場アクセス/小田急線、京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/K'zファクトリー☎0427-40-5710

決定対戦カード

久保山誉（K'zファクトリー） vs 生駒純司（直心会格闘技道場）
大内敬（パレストラ東京） vs 小谷ヒロキ（K'zファクトリー）
松本光央（WILD PHOENIX） vs 椎木努（直心会格闘技道場）
和田拓也（K'zファクトリー） vs ザ・ばばんば（パレストラ東京）

SHOOTO TO THE TOP
7月6日（金）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:30　試合開始/18:30
◆入場料/RS席10,000円　SS席7,000円　S席5,000円　A席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ファイター、ローソンチケット、書泉ブックマート、後楽園ホール、フィットネスショップ、KEEL、e-ticket（http://www.e-ticket.net/）
◆お問い合わせ/イーフォース・ジャパン☎047-378-6400

プロフェッショナル修斗公式戦
7月27日（金）　東京・北沢タウンホール

◆詳細未定
◆お問い合わせ/パレストラ東京☎03-5984-3209

プロフェッショナル修斗公式戦
8月15日（水）　東京・北沢タウンホール

◆詳細未定
◆お問い合わせ/パレストラ東京☎03-5984-3209

SHOOTO TO THE TOP in OSAKA
8月26日（日）　大阪府立体育会館第一競技場

◆物販開始/11:00　開場/12:00　試合開始/14:00
◆入場料/SRS席20,000円　RS席15,000円　SS席12,000円　S席10,000円　パノラマS席10,000円　A席8,000円　パノラマ席8,000円　B席4,000円　【特別通しチケット】HOLDING R共通チケット17,000円（プレイガイド扱いなし）
◆チケット発売/6月10日（日）
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、e-ticket（http://www.e-ticket.net/）、e+（イープラス：http://eee.eplus.co.jp）、シューティングジム大阪、BODY MAKER桑名店、KEEL CAFE
◆チケットに関するお問い合わせ/修斗大阪大会事務局☎06-6233-8887
◆お問い合わせ/サステイン☎03-5725-7338

決定対戦カード

《ウェルター級チャンピオン決定戦》

三島☆ド根性ノ助（日本／格闘サークルコブラ会） vs 五味隆典（日本／木口道場レスリング教室）

出場予定選手

佐藤ルミナ（K'zファクトリー）
アレッシャンドリ・フランカ・ノゲイラ（ブラジル／ワールド・ファイト・センター）
池本誠知（ライルーツコナン）
ラリー・パパドポロス（オーストラリア／AUS修斗パパルタン・ジム）
須田匡昇（クラブJ）

GCM COMMUNICATION

ライト級トーナメントにバレット、矢野卓見、戸井田、KIDらが出場決定！宇野薫は高瀬と組み、ダブルマッチに出場！

The CONTENDERS M-1
6月10日（日）　東京・ZEPP TOKYO

◆開場/14:00　試合開始/16:00
◆入場料/RS席10,000円　S席8,000円　A席6,000円　B席5,000円　C席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ
◆会場アクセス/ゆりかもめ青梅駅より徒歩5分、東京臨海高速鉄道東京テレポート駅より徒歩7分
◆お問い合わせ/GCM COMMUNICATION☎03-3538-5801

開幕戦トーナメント

〈ライト級トーナメント〉

山本"KID"徳郁（PUREBRED大宮） vs 小室宏二（R.J.J）
若林次郎（スポーツ会館） vs 阿部裕幸（RJW/Central）
戸井田カツヤ（和術慧舟會東京本部） vs 矢野卓見（烏合会）
五木田勝（木口ワークアウトスタジオ） vs バレット・ヨシダ（グラップリング・アンリミテッド）

〈DOUBLE MATCH 1〉
廣野剛康（和術慧舟會東京本部）&漆谷康宏（RJW/Central） VS 石井俊光（Tiger Place）&阿部正伸（RJW/Central）

〈DOUBLE MATCH 2〉
宇野薫（和術慧舟會東京本部）&高瀬大樹（和術慧舟會東京本部） VS 鈴木みのる（パンクラス横浜）&伊藤崇文（パンクラス横浜）

〈ONE MATCH 1〉
上山龍紀（RINGS U-FILE CAMP） vs 石川英司（パンクラスGRABAKA）

〈ONE MATCH 2〉
五味隆典（木口道場レスリング教室） vs 星野勇二（RJW/Central）

キックボクシング

全日本キックボクシング連盟

DOG FIGHT
6月10日（日）　長野運動公園総合体育館

◆開場/13:00　試合開始/14:00
◆入場料/特別席10,000円　RS席7,000円　A指定席5,000円　B指定席　立見・小中学生1,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、全日本キック
◆会場アクセス/JR信越線北長野駅より徒歩15分
◆お問い合わせ/全日本キック☎03-3365-1171

決定対戦カード

―5回戦―

小林聡（藤原） vs ルーラウィー・サラウィテー（タイ）
後藤龍治（サムライ） vs 藤原鉄志（青春塾）
前田尚紀（藤原） vs 加門政志（士心館）
大月敦史（藤原） vs SHI-LOW（士心館）

WHO'S NEXT?
6月17日（日）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　フレッシュマンファイト開始/17:15　本戦開始/18:00
◆入場料/RS席9,500円　S席6,500円　A席4,500円　B席2,500円　立見3,000円　※当日は500円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、全日本キック電話予約でんわ03-3365-1171
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/全日本キック☎03-3365-1171

決定対戦カード

―5回戦―

内田康弘（SVG） vs パトリック・エリクソン（オランダ）
金沢久幸（TEAM-1） vs サッダム・ギャットヨンユット（タイ）
清水貴彦（超越塾） vs X
千葉友浩（TEAM-1） vs 佐藤嘉洋（名古屋JKF）
酒井秀信（REX JAPAN） vs 島野智広（不動館）

出場予定選手

大月晴明（REX JAPAN）

シュートボクシング

第20回アマチュアシュートボクシング大会
6月10日（日）　神奈川県立体育センター本館

◆選手集合/8:30　試合開始/9:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/小田急線善行駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/湘南シュートボクシングジム☎0462-64-9867

"どついたるねん8" ～ENTER THE STREET FIGHTER!!～
6月24日（日）　大阪府立体育会館サブアリーナ

◆試合開始/13:00
◆入場料/RS指定席5,000円　自由席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/龍生塾"どついたるねん8"大会事務局
◆会場アクセス/南海難波駅、地下鉄なんば駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/龍生塾"どついたるねん8"大会事務局☎06-6351-7994

主な対戦カード

X vs 伊賀弘治（龍生塾）
関本貴文（大阪ジム） vs 坂口立起（龍生塾）
市政貴文（大阪ジム） vs 及川知浩（龍生塾）
川上真澄（龍生塾） vs 高屋敷哲明（龍生塾）
石塚勇三（龍生塾） vs 坂田真志（寝屋川ジム）

シルバーウルフ

WOLF REVOLUTION～Third Wave～
6月22日（金）　東京・Zepp Tokyo

◆開場/18:00　試合開始/19:00
◆入場料/VIP席20,000円　2F指定A席15,000円　2F指定B席10,000円　1Fオールスタンディング5,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ
◆会場アクセス/ゆりかもめ青梅駅より徒歩5分、東京臨海高速鉄道東京テレポート駅より徒歩7分
◆お問い合わせ/シルバーウルフ☎03-3498-7979

決定対戦カード

魔裟斗（シルバーウルフ） vs ゴラン・ダニロヴィック（スーパーレッグジム）
大宮司進（正道会館） vs 明日華和哉（飛鳥塾）
隼人（フェニックスジム） vs 久保坂左近（健生館）

MA日本キックボクシング連盟

MAキック『闘い続ける男たち』パート2
6月15日（金）　東京・後楽園ホール

◆開場/16:45　試合開始/17:15
◆入場料/SRS席20,000円　RS席15,000円　SS席10,000円　指定A席7,000円　指定B席5,000円　立見3,000円（当日のみ）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、チャンピオン、後楽園ホール
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/ニュージャパンケイプロモーション☎03-5971-2165

主な対戦カード

〈MA日本ミドル級タイトルマッチ〉
山上健吾（花澤ジム） vs マグナム酒井（士道館）
神谷友和（士道館） vs トルネード・ラウアー（仙台青葉）
カズ工藤（士道館・新座） vs 木村允（仙台青葉）

J-NETWORK

MAKING THE ROAD-Ⅲ
5月31日（木）　東京・北沢タウンホール

◆開場/17:30　試合開始/18:00
◆入場料/A指定席6,000円、B自由席4,000円　※当日は1,000円増し　当日券4,500円（当日のみ）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、アクティブJ、サバーイ町田、ソーチタラダ渋谷・池袋ジム
◆会場アクセス/小田急線、京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/J-NETWORK☎03-3419-0536

決定対戦カード

―5回戦―

長谷川康也（アクティブJ） vs 中西陽介（MAキック・山木ジム）
浦林幹（JMTC） vs 田中信一（MAキック・山木ジム）
尾田淳史（JMTC） vs きんぞ～（MAキック・山木ジム）

THE CRUSADE-Ⅱ
7月17日（火）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/18:00
◆入場料/SRS席12,000円　RS席9,000円　S席7,000円　A席5,000円　B席3,000円　※当日は1,000円増し　立見3,500円（当日のみ）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、アクティブJ、サバーイ町田、ソーチタラダ渋谷・池袋ジム
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/J-NETWORK☎03-3419-0536

主な対戦カード

―5回戦―

増田博正（アクティブJ） vs 強豪タイ人選手
五十嵐幹志（アクティブJ） vs （対抗戦予定）
長谷川康也（アクティブJ） vs （対抗戦予定）（MAキック・山木ジム）

―3回戦―

蔵満誠（JMTC） vs ノントォン・パリンヤー・WINDY（タイ）

ニュージャパンキックボクシング連盟

CHALLENGE TO MUAYTHAI 7
6月24日（日）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:30
◆入場料/SRS席12,000円　RS席10,000円　特別指定席7,000円　A席5,000円　B席4,000円　C席3,000円　立見3,000円（当日のみ）　※当日券は1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット他
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/ニュージャパンキックボクシング連盟☎03-5625-2371

決定対戦カード

―5回戦―

"ランバー"ソムデート・M16（タイ） vs 桜井洋平（岩瀬ジム）
佐々木功輔（北流会君津） vs 唐沢たくみ（K-U・八王子FSG）
弘中史樹（ウィラサクレックジム） vs 山本恭太（大和ジム）

その他

パルテノンプロモーション

第4回タイタンファイト

7月1日（日）　東京・アールンホール

◆開場/13:00　試合開始/14:00
◆入場料/3,000円　※当日は500円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、パルテノンプロモーション、パワーオブドリーム
◆会場アクセス/東京モノレール東京流通センター駅より徒歩2分
◆お問い合わせ/パルテノンプロモーション　タイタンファイト事務局☎03-5312-7522

アマチュア

GCM COMMUNICATION

CCC.ver1.4 (class-C Contenders Cross-link) [第4回アマチュアコンテンダーズ]

6月3日（日）　神奈川・GCM TIGER PLACE

※ミドル級、ヘビー級、女子トーナメント
◆試合開始/11:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR南武線尻手駅より徒歩8分
◆お問い合わせ/GCM COMMUNICATION☎03-3538-5801

キックボクシング

日本キックボクシング連盟

2001激動シリーズ

6月3日（日）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:30
◆入場料/RS席10,000円　A指定席5,000円　B指定席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ファイター、日本キックボクシング連盟、後楽園ホール
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/日本キックボクシング連盟☎03-3691-4536

決定対戦カード

―5回戦―

小野瀬邦英（渡辺ジム）	vs	赤土馬カナエ（みなみジム）
尾崎英樹（ピコイ・錦ジム）	vs	HIDE（八王子FSG）
三苫順次（福岡リアルディールジム）	vs	篠原一仁（杉並ジム）
松永敦（福岡リアルディールジム）	vs	松本浩幸（八王子FSG）
神島雄一（杉並ジム）	vs	堀江孝幸（千葉ジム）

キックボクシング　リアルファイト

7月8日（日）　福岡・西新パレス　2Fパレスホール

◆試合開始/15:00
◆入場料/特別リングサイド席7,000円　リングサイド席5,000円　自由席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/リアルディールジム
◆会場アクセス/福岡市営空港線、箱崎線西新駅より徒歩1分
◆お問い合わせ/リアルディールジム☎092-845-1210

出場予定選手

三苫順次
松永敦
中村誠司

ドリーム・プロデュース

キックボクシング・ドリームマッチ

6月24日（日）　東京・後楽園ホール

◆開場/12:00　試合開始/12:30
◆入場料/SRS席12,000円　RS席9,000円　S席7,000円　指定A席5,000円　指定B席4,000円　立見3,500円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、後楽園ホール
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/本間興業☎016-623-0111　ドリーム・プロデュース事務局（習志野ジム）☎047-483-5581

出場予定選手

グスニエフ・アブトゥラフ（ロシア／製圏道）
チャナペック・ガッテンディ（タイ）
スレマノフ・マゴメド（ロシア／製圏道）
チャンデット・ソーパンタレー（タイ）
加村健一（習志野ジム）
スルハノフ・ザリムハン（ロシア／製圏道）
ヌンサヤーム・ヤマキ（タイ）
高島義幸（習志野ジム）

空手

極真会館（松井派）

極真・世界ウェイト制大会の第二弾、数見は日本人総崩れの屈辱を晴らせるか？

4年前に行われた前大会では、重量級の1～3位入賞を、フィリォ、グラウベ、ニコラスら外人勢3人に奪われてしまった極真ニッポン。今回は巻き返しが大いに期待されている。本命はもちろん、前回不参加の数見肇だ！　しかし、今回も世界中から強豪が大阪に集まってきている。はたして日本人勢は上位に食い込めるのか？詳細は34ページへ！

第3回女子全世界空手道選手権大会 第1回壮年国際空手道選手権大会

6月9日（土）　大阪府立体育会館

◆開場/10:00
◆入場料/B席2,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、極真会館
◆チケットに関するお問い合わせ/極真会館☎03-5992-9200　極真会館テレホンサービス☎03-5992-7739
◆お問い合わせ/国際空手道連盟 極真会館で☎03-5992-9900

2001全世界ウェイト制空手道選手権大会

6月10日（日）　大阪府立体育会館

◆開場/10:00
◆入場料/S席4,500円　A席3,500円　※当日は500円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、極真会館
◆会場アクセス/南海難波駅、地下鉄なんば駅より徒歩5分
◆チケットに関するお問い合わせ/極真会館☎03-5992-9200　極真会館テレホンサービス☎03-5992-7739
◆お問い合わせ/国際空手道連盟 極真会館☎03-5992-9900

日本空手道 勇健塾

第7回西日本グローブ空手道選手権大会

7月22日（日）　香川・善通寺市民体育館メインアリーナ

◆開場/9:00　試合開始/10:00
◆入場料/無料
◆お問い合わせ/日本空手道勇健塾 大会事務局☎0877-57-2207

正道会館

第3回オープントーナメント 全日本ジュニア空手道選手権大会

6月23日（土）　大阪市中央体育館メインアリーナ

◆試合開始/10:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/地下鉄中央線朝潮橋駅2番出口より徒歩3分
◆お問い合わせ/全日本ジュニア大会事務局☎06-6357-1654

FNSチャリティー 第3回ウェイト制オープントーナメント 全日本空手道選手権大会2001

9月2日（日）　大阪府立体育会館第一競技場

◆開場/10:00　開会式/13:00
◆入場料/全席自由席2,500円
◆チケット発売/未定
◆チケット発売所/チケットぴあ、正道会館
◆会場アクセス/南海難波駅、地下鉄なんば駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/新日本空手道連盟正道会館☎06-6363-9999

プロ団体連絡リスト

K－1事務局
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-18-22S＆T神宮前ビル3F
☎03-3796-2977

修斗コミッション
〒111-0032 東京都台東区浅草5-56-8 若山ビル201
☎03-5824-1324

リングス
〒150-0036 東京都渋谷区南平台町13-1 サトウビル2階202号
☎03-3461-0257

ワールドパンクラスクリエイト
〒106-0047 東京都港区南麻布4-2-25 2F
☎03-5792-0815

格闘探偵団バトラーツ
〒343-0807 埼玉県越谷市赤山町6-13-43
☎0489-63-0005

高田道場
〒142-0062 東京都品川区小山3-6-6 ワールドパレス武蔵小山1F＆B1
☎03-5749-5030

UFO
〒108-0071 東京都港区白金台3-19-5OK白金台ビル7F
☎03-5447-2121

ドリームステージエンターテインメント
〒107-0052 港区赤坂8-5-4 ルーメリ赤坂103
☎03-577-55700

製圏道協会(SA)事務局
〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-6-14恵比寿スカイハイツ607
☎03-5456-7333

マーシャルアーツ日本キックボクシング連盟
〒155-0031 東京都世田谷区北沢2-6-5
☎03-3485-7060

全日本キックボクシング連盟
〒169-0074 東京都新宿区北新宿1-6-21
☎03-3365-1171

日本キックボクシング連盟
〒124-0023 東京都葛飾区東新小岩5-2-7 江戸屋ビル4F
☎03-3691-4536

新日本キックボクシング協会
〒150-0034 東京都渋谷区代官山町7-8
☎03-3718-8696

ニュージャパンキックボクシング連盟
〒130-0022 東京都墨田区江東橋2-14-1 サガノビル2F
☎03-5625-2371

J－NETWORK
〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋2-14-12 三元ビル5F
☎03-3419-0536

K－U(キック・ユニオン)
〒193-0834 東京都八王子市東浅川町8-1
☎0426-66-9541

シュートボクシング協会
〒111-0033 東京都台東区花川戸2-2-8 ワコー花川戸ハイツ1,2F
☎03-3843-1212

BACK NUMBER INFORMATION
バックナンバー インフォメーション

このページにない号は完売です。お買い求めの際には、ご注意ください。

《8・12　創刊3号》
●インタビュー/フランク・シャムロック、マーク・ケアー、小川直也インタビュー
●SRS・DX特集★第3弾/佐山聡の掣圏道とは何か？

《8・26　4号》
●インタビュー/ホイス・グレイシー、佐竹雅昭、桜庭和志、田村潔司、ビル・ロビンソン
●SRS・DX特集★第4弾/沖縄の夏　美女と達人に出会う旅

《9・9　5号》
●インタビュー/石井和義、髙田延彦、アレクサンダー大塚、魔裟斗、郷田勇三、田中健太郎
●SRS・DX特集★第5弾/最強！　俺の格闘お宝アイテム

《9・23　6号》
●インタビュー/髙田延彦、前田日明、エンセン井上、佐山聡、髙阪剛、武蔵、ノブ・ハヤシ
●SRS・DX特集★第6弾/大山倍達を悩ませた最後の格闘技『中国拳法の謎』

《10・14&28　合併号　7号》
●本誌独走スクープ！/猪木&小川　闘魂師弟、モンゴル相撲に殴り込み！！
●SRS・DX特集★第7弾/桜庭和志の『バーリ・トゥードはプロレス技で勝て！』

《11・11　9号》
●歴史的対談実現！　石井和義VS松井章圭
●SRS・DX特集★第8弾/微笑みの国タイの国技ムエタイとは何か？

《11・25　10号》
●完全速報/11・5～7『第7回極真世界大会』
●11・21『プライド8』有明大会直前情報/髙田、ゴエス インタビュー

《1・13　13号》
●インタビュー/佐竹雅昭、桜庭和志、フランシスコ・フィリォ、アーネスト・ホースト、アレクサンダー大塚×ターザン山本対談
●『SRS・DX』が選んだ1999年格闘技界10大ニュース

《1・27　14号》
●1・30東京ドーム『PRIDE GP 2000』大会情報 髙田、桜庭、エンセン井上、大刀光インタビュー、佐竹雅昭×ターザン山本対談
●本誌初登場！　船木誠勝インタビュー

《2・10&24　15号》
●PRIDE GP 2000直前大特集/佐竹&藤田のシアトル衝撃スパーをレポート◎佐竹のシアトル絵日記
●熱烈応援！　2・26リングスKOK/田村潔司インタビュー、アイブル　インタビュー

《3・9　臨時増刊号　16号》
●完全速報/1・30東京ドーム『PRIDE GP 2000開幕戦』
●熱烈応援！ 2・26『リングスKOK』★編集長インタビュー/前田日明、ヘンゾ・グレイシーインタビュー

《3・9　17号》
●5・1東京ドームへ『PRIDE GP 2000』その波紋の行方/藤波辰爾、永田裕志、桜庭和志、佐竹雅昭、エンセン井上インタビュー、ボブチャンチン×ターザン対談、アレク×ターザン対談

《3・23　18号》
●徹底検証&完全詳報『リングスKOK』/KOK緊急大総括、田村、ヘンゾ、ヘンダーソン、ハンインタビュー、試合レポート
●佐竹、掣圏道に弟子入り
●SRS・DXの注目！/ついに新日本のG1王者中西学初登場！

《4・13　19号》
●5・1『PRIDE GP 2000決勝戦』情報/藤田パラオでA.猪木と猛特訓！、ホイス・グレイシーインタビュー&緊急会見、桜庭和志大激怒の反論会見
●緊急勝利宣言！　ターザンの長い闘いの成果か！？　「俺はこの言葉がほしかった！」

《6・22　24号》
●完全速報！　6・4『プライド9』
●大会詳報　5・28『K-1 SURVIVAL 2000』札幌大会
●その後の『コロシアム2000』/近藤有己&吉村直明プロデューサーインタビュー

《9・28　臨時増刊号　29号》
●緊急追悼特集/8・24アンディ・フグ逝く
●大会速報/8・27『プライド10』
●海外レポート/桜庭戦後のホイス・グレイシーをロスの自宅でキャッチ

《10・12&26　合併号　31号》
●巻頭ストーク特集・第2弾！ 検証・まだまだ続く石澤問題!!/山本小鉄、辻義就インタビュー
●海外レポート/9・22『UFC 29』パンクラス・近藤、UFC初見参！
●石井館長と語ろう！ 10・9『K-1 WORLD GP 2000』福岡大会の見どころ！
●10・31『プライド11』特集/髙田延彦、藤田和之、桜庭和志（後編）インタビュー

《11・23　34号》
●完全詳報&特別企画/10・31『プライド11』大阪城ホール大会、緊急『プライド』座談会
●完全詳報/11・1『K-1 J・MAX』後楽園ホール大会/魔裟斗&小比類巻、メジャーリーガーの証明
●『SRS・DX』の注目！/大仁田厚が『プライド』森下社長に猪木戦直訴！
●大会レポート/10・31『パンクラス』後楽園ホール大会

《12・14　35号》
●世紀末大特集・20世紀と格闘技/プロレス&格闘技年表、力道山、新日本プロレス、極真、UWF、K-1、UFC、『プライド』、平成のデルフィン、東スポ伝説、私の選んだ名勝負BEST.5
●インタビュー大特集/バンナ、武蔵、谷津嘉章、髙橋義生、アレク、魔裟斗、武田幸三、12・3ラジャ興行に出場する新日本キック王者たち

《1・11　37号》
●大会速報！　12・23『プライド12』さいたまスーパーアリーナ大会
●大会詳報/12・16『UFC-J』ディファ有明大会、12・17修斗NKホール大会
●噂の三面記事拡大版/12・12桜庭とヒクソンがフジテレビのトーク番組で夢の顔合わせ　ほか
●SRS・DXの注目/ヘンゾ・グレイシーインタビュー

《1・25　38号》
●徹底検証！　12・31『猪木ボンバイエ』大阪ドーム大会
●新春スペシャル対談　3連発！/髙田延彦vsターザン山本（前編）、アントニオ猪木VSシュガー・レイ・レナード、シリル・アビディVSはせキョー
●本誌スタッフより格闘家の皆様へ21世紀の大提言！
●『プライド12』徹底検証インタビュー/桜庭和志、藤田和之、12・26猪木成田会見
●新春フライング天国座談会「21世紀のエンターテインメント」
●祝ラジャダムナンスタジアム Jr.ミドル級タイトル奪取/伊原信一&小笠原仁インタビュー
●大会レポート/12・22全日本キック後楽園ホール大会

《2・8　39号》
●SRS・DX特集/No More Deadlock 膠着を打破せよ！　徹底検証座談会、特別対談☆桜庭和志vsターザン山本、ガイ・メッツアーインタビュー、エンセン井上インタビュー、ボクシングの膠着、やる側の理論家の膠着分析、ターザン山本膠着を総括
●噂の三面記事/格闘技界に激震走る！　UFCが身売り！
●新春スペシャル開運対談（後編）/髙田延彦VSターザン山本
●大会詳報/1・8『DEEP2001』名古屋大会、1・12『ウルフレボリューション』Zepp Tokyo大会
●ターザン山本炎上コラム「21世紀のプロレスとは？」
●大会レポート/1・21新日本キック後楽園大会、1・4全日本キック後楽園大会

《2・22　40号》
●SRS・DX特集/NO MORE バッタもん！　巻頭座談会（A面）、ブランドを賭けた名勝負10選、柔道・古賀稔彦インタビュー、新日本プロレス、グレイシー柔術、極真空手、リングス、古武道・『格闘Kマガジン』山田編集長インタビュー
●SRS・DXの注目/アレク、魔裟斗、小比類巻インタビュー
●飛び出せニューヒーロー/今村雄介、大山利幸インタビュー
●大会詳報/1・30『K-1 RISING 2001』松山大会、2・4パンクラス後楽園ホール大会
●レポート/1・26NJKF後楽園ホール大会、1・28MAキック後楽園ホール大会、1・27クラブファイト&1・21タイタンファイト、猪木成田劇場『アントンとゆかいな仲間たち』

《3・8　41号》
●噂の三面記事拡大版/ヒクソン大ショック！　最愛の息子ハクソンさんがバイク事故死！
●『プライド13』さいたまスーパーアリーナ大会情報/安田忠夫、北の富士、桜庭和志、シウバインタビュー
●パンクラス近藤"『プライド』出陣宣言"の行方/近藤有己、尾崎社長インタビュー
●『K-1GLADIATORS横浜大会情報』/バンナ、アビディ、グレート草津インタビュー、クロアチアで見たミルコ
●K-1オランダ大会詳報/サダハルンバ編集長、格闘技王国オランダを行く
●SRS・DX特選インタビュー/伊藤隆・引退、エンセン井上&加藤鉄史&KID、村浜武洋、港太郎
●大会レポート&トピックス/2・12猪木成田会見、2・12アルティメット・ボクシング有明大会
●インフォメーション/格闘ショップ『グレートアントニオ』オープン

《3・22&4・12　合併号　42号》
●徹底取材/ZERO-ONEよ、マット界をかき回せ！　タイソンのジムに突撃取材！石井館長の主張、アントニオ猪木の主張、ボクシング側から見たタイソンVS小川戦
●SRS・DXの注目/桜庭VSティト実現へ、新生UFC社長ダナ・ホワイトインタビュー、2・24リングスKOKグランドファイナル
●SRS・DX特選インタビュー/安田（後編）、高山、大山、アレク（島田裕二の爆弾発言）
●海外大会レポート/2・24KING OF THE CAGE7、2・24K-1 Oceania Championship、2・23UFC30
●徹底検証/2・17畑山隆則VSリック吉村
●大会レポート/3・2修斗後楽園大会、2・26J-NET北沢大会、2・17NJKF&日本キック合同興行

《4・26　臨時増刊号　43号》
●大会速報/3・25『プライド13』さいたまスーパーアリーナ大会、3・17『K-1 GLADIATORS 2001』横浜アリーナ大会
●編集長インタビュー/ヘンゾ・グレイシー
●SRS・DXの注目！/3・20アントニオ猪木トークショー、藤田によって明かされる『PRIDEの世界』、4・14～15極真ウェイト制大会情報、『アブダビ・コンバット2001』日本代表メンバー決定
●大会レポート/3・18『2H2H』オランダ大会、3・20コンバットレスリング全日本選手権、3・11アルティメット・ボクシングディファ有明大会
●いよいよオープン間近！　『グレートアントニオ』情報

《4・26　44号》
●グレート・アントニオ、オープン！
●大検証『プライド』ルールは是か、非か？/『紙プロ』山口編集長、電撃参戦！　緊急座談会、ホイス・インタビュー、『プライド』新ルール、関係者はこう見た！、堀辺正史インタビュー
●安田忠夫インタビュー
●巻頭編集長インタビュー/週刊ゴング"GK"金沢編集長登場！
●SRS・DXの注目/アントニオ猪木インタビューinパラオ、ユルゲン・クルト、シリル・アビディ、田中健太郎、ヒース・ヒーリング、マーク・コールマン、大山峻護インタビュー
●大会レポート/3・31パンクラスなみはやドーム大会、3・31新日本キック後楽園ホール大会

《5・10　45号》
●SRS・DX注目インタビュー/桜庭和志独占インタビュー
●5・27『プライド14』情報/高山善廣、藤田和之インタビュー
●特集◎K-1ワールドGP2001開幕/ジェロム・レ・バンナ、アーネスト・ホーストインタビュー
●大会詳報/4・15『K-1 BURNING 2001』熊本大会
●総力特集/4・11～14アブダビコンバット2001、アブダビ王子、谷津嘉章インタビュー
●4・14～15第4回極真祭全日本ウェイト制大会
●SRS・DXの注目/堀辺正史、美濃輪育久インタビュー、写真家・アントニオ猪木、パラオに降臨
●巻頭座談会/緊急！？　タニー&ノビー。結成前夜発会式「プロレスラーよ嫉妬を抱け！」

《5・24&6・14　合併号　46号》
●大会詳報/4・29 K-1 WORLD GP 2001　大阪大会
●5・27『プライド14』直前！　藤田VS高山は是か非か？/緊急"エース"は誰だ座談会、髙田延彦、高山善廣、宮戸優光、ビル・ロビンソンインタビュー
●SRS・DXの注目/山田豊文インタビュー、小路晃・研究座談会、堀辺正史インタビュー、アブダビ・スーパースター列伝、大山峻護、藪下めぐみインタビュー
●大会レポート/5・1修斗後楽園大会、4・21K-1イタリア大会、4・29『キング・オブ・ザ・ケイジ8』、5・3ReMix日本武道館大会、5・5パンクラス大田区体育館、4・21グラン・トロフィーフランス大会、4・30シュートボクシング後楽園大会

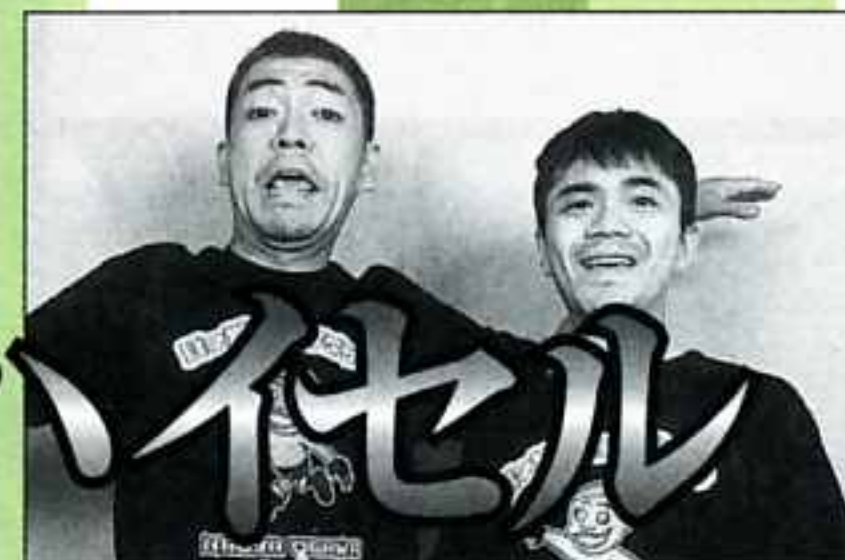
バックナンバー　通信販売方法

定価／各680円　送料／1冊＝310円、2冊＝340円、3冊以上＝500円。希望冊数×680円と冊数分の送料を、現金書留にて下記までお送りください。
住所、氏名、希望号数の明記をお忘れなく。発送まで1～2週間ほどかかりますのでご了承ください。

〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F　『SRS・DX　バックナンバー係』まで　お問い合わせは ☎03-3295-4445

浅草キッドの底抜けアントンハイセル

ファスティング成功！　絶好調のキッドがマット界の話題を総ざらい！

◎浅草キッドHP『キッドリターン』
http://www.kidchan.com

博士　遅ればせながら5・5の話題でスタートするか？

玉袋　阿修羅・原が特別レフェリーで登場したFMWの川崎球場大会ですね。

博士　なんでSRS誌上で天龍VS冬木を語らなきゃいけないんだよ！　新日・福岡ドーム大会に決まってんだろ！

玉袋　とにかく！　あれはまったく噛みあってなかったですよ！

博士　たしかに噛みあってなかったし、あれはプロとして見せるもんじゃない等と不評を買っていた部分もある。

玉袋　だって、まったくの棒読みなんですよ！　あれじゃ実況アナウンサーと噛み合うわけないだろ！　分かってんのか乙葉！

博士　また乙葉の話かよ！　メインの小川&村上VS長州&中西の話だろ。

玉袋　あの乙葉が実況席に入ったおかげで、東スポの柴田がいなくなったんですから。

博士　入れ替わりってわけじゃないだろ！

玉袋　ところで小川のセコンドで白覆面被っていた謎の男は、いったい誰だったんですかね？

博士　バレバレだっただろ！

玉袋　そうかやはり正体はストーカー市川こと、本名、市川寛二の仕業か。

博士　「ストーカー市川・寛治」が白覆面で登場したのは、5・12超満員の闘龍門後楽園大会だろ！　福岡ドームの白覆面は腹が出てたよ！

玉袋　あのデップリとした身体とフテブテしさを見る限りあの男の正体はキム・ジョンナムと見られる男ですかね？

博士　どっから見ても破壊王と見られる男だろ！

玉袋　でも、あの男を見て見ぬ振りして、当たらず触らずだった新日本プロレスの扱いはキム・ジョンナムと一緒でしたよ。

博士　橋本は新日本からしたら独裁者・猪木の長男みたいなもんだな。

玉袋　食糧難の北朝鮮に「破壊王弁当2」を送ったほうがいいですよ！

博士　送らなくていいよ！

玉袋　とにかく、駄目でも良くてもどう転がっても猪木様絡みの新日本プロレスのビッグマッチは見ものですよ！

博士　その猪木様がまたもやとんでもないビッグマッチ「K－1VS猪木軍」の10対10の対抗戦をぶち上げた！

玉袋　でもルールが難航しそうじゃないですか、だから、いっそバトルロイヤルにしちゃえばいいんですよ。

博士　どんな格闘技戦なんだよ！　滅茶苦茶だろ！

玉袋　それこそが猪木イズムですよ！

博士　猪木イズム爆発といえば、佐山サトルが参院選比例代表に出馬だ！

玉袋　出馬する政党はなんと「甘党」ですよ！

博士　違うよ！　自由連合だよ！　政界入りの暁には「武士道の復権」をテーマにするそうだ。

玉袋　「武士道」となると、元Uインターの選手が揃わないと話にならないですな。

博士　それはUインターのイスラエルの興行だよ！　現代の若者に真の強さを持てるように若者を導きたいそうだ。

玉袋　そのために学校授業でのアルティメットボクシングの導入ですね。

博士　危なっかしくてしょうがないだろ！

玉袋　「国会に卍固め」ならぬ「国会にロシアンフック」ですよ！

博士　外務省と田中真紀子外相が北方領土返還、2島か4島かで揉めてる時に国会に余計なフレーズ持ち込むな！

玉袋　じゃあ、「国会にニー・オン・ザ・ベリー」ですよ。

博士　受ける相手が国会に松浪健四郎くらいしかいないよ。

玉袋　しかも佐山さんは現役時代に被っていたレッサーパンダの覆面を被って登場するそうですよ！

博士　虎の覆面だよ！　佐山聡の政界進出も驚いたが、元横綱若乃花・花田勝のアメフト挑戦も驚いた。

玉袋　えっ！　花田勝がアメフト挑戦!?……XFLですか？

博士　NFLに決まってんだろ！　WWFが鳴り物入りで始めたXFLは活動停止したよ！　ビンス・マクマホンばりにピンチなのが前田日明率いるリングス。

玉袋　リングスのファイティングネットワークは駄目になっても、『SRS・DX』提唱のファスティングネットワークの輪は着実に広がってますよ！

博士　それとこれとは別の話だろ！

玉袋　博士に続いて僕も3日で75・8キロから70キロまで落ちましたよ。

博士　やるじゃないか！

玉袋　医者は来週から抗がん剤を打つって言ってましたよ。

博士　ファスティングでもなんでもないガンだろ！　しかし前田社長も大変かもしれない。

玉袋　リングスの団体自体がファスティングですからね。

博士　ゲッソリ減量しちゃったな。

玉袋　まさか生え抜き選手の山本と成瀬から背後から殴られるとは。

博士　違うよ！　2人が契約を結ばずに退団したんだよ！

玉袋　この2人の退団の背後にはカルロス・ゴーンが強行にリストラしたって話ですよ。

博士　2人がいなくなっても利益が上がるってことはないから、リストラするわけないだろ！

玉袋　森下社長がビンスのように、弱ったリングスを一気に買収するかも。

博士　ビンスはWCW買ったけど、未だ軌道に乗ってない。団体の買収はリスクが大きいよ。だけど今後『プライド』にリングス選手が続々登場する可能性はある。

玉袋　ヒクソンVS山本のリベンジマッチですかね？

博士　まだ、世間的な実績が薄いから実現は難しいよ！　でも、飛び出したなら、格闘技界をかき混ぜて大暴れを期待したい。

玉袋　山本選手はオ～チャンとの対戦表明もしましたしね。

博士　これも難しいが、実績を作れば、やらざるをえない状況まで追い込むことは可能だ。とにかく過去を清算するのも期待する！　もちろん、俺たちリングス応援団としては、しがらみを捨てて、リングスマットでもビッグマッチをやってもらいたい!!

玉袋　意外な過去といえば、先週載っていたアブダビコンバットを訪ねた国際相撲連盟の審判副委員長の斎藤一雄氏は懐かしのテレビ東京の「勝ち抜き腕相撲」でも結構勝ち抜いていたのを俺はずっと見てたんですよォォッ！

博士　そんな意外な過去誰も興味ないよ！とにかく、今は『プライド』の結果が興味津々だ。■

好評プチ書評、ついにサダハルンバ登場！

#03　『お笑い男の星座』

『プロレスLOVE論』
東邦出版
本体価格1333円

『お笑い男の星座』
文藝春秋
本体価格1429円

プロレス少年だった浅草キッドは、その昔、プロレス記者になろうとマジで考えていたほどの人たちである。そんなお2人の素晴らしいところは、"人生はプロレス的に生きるということだ"というハッキリとした自覚があることだ。世の中をプロレス的に捉え、アングルかシュートかのギリギリのラインを綱渡りする。そこにこそ、人生最大の喜びがあると開き直っている。今回『お笑い男の星座』を読んだ一番の感想もそこ。浅草キッドのお2人は芸人という名のプロレスラー。しかも、相手はどっちかというとシューターがお好き。そういう意味で、そのシューターといいプロレスをすることを芸として見せてくれている。芸能界には、もちろんプロレスのまったくできない人も多いのだろう。その反面、世の中には天才プロレスラーがたくさんいる。そんな天才たちにこれからも大いに仕掛け、良質のプロレスを僕にも見せてちょうだい。（谷川）

突如、「忘れ物」＝小川直也を発表した渦中の髙田延彦を直撃！

「でも、今のプロレスを壊したのは小川自身だからね」

昨年10月の『プライド11』でのボブチャンチン戦後に、「忘れ物があるので、あと1試合『プライド』のリングに上がろうと思っている」と告白した髙田延彦。その後、マスコミの間で髙田の「忘れ物」が誰なのかという憶測が飛んだが、5月8日、スポーツ紙で突如、「忘れ物」の正体が暴走王・小川直也であることが発表された。なぜ、この時期の発表で、相手が小川直也なのか……さっそく髙田延彦を直撃してみた。

聞き手◎石黒由佳子
撮影◎乾晋也

小川？ 俺が『プライド』のリングに戻るための1つの材料だね

◀小川と髙田の初接近となった99年4月29日の『プライド5』。この時、髙田は小川のことを完全無視し、試合後に小川について「自分がやりたいという思いにさせてくれるならやってもいいかな」とコメントしていた

——髙田さんが突然「忘れ物」の正体を小川直也選手であることを発表されて、各紙で報道されていますが、髙田さんと小川選手というのは、これまでいろいろあったじゃないですか。最初は99年4月に行われた『プライド5』で、初接近となりましたけど、髙田さんは完全無視しましたよね。あの時は、小川選手の存在をどう思われていたんですか？

髙田　ググッと出始めの頃だったよね。

——小川選手は、その頃に比べて今はだいぶ変わりましたか？

髙田　それは分からないね。

——でも、その頃に全然関心のなかった小川選手がなぜ忘れ物になったんですか？

髙田　分かりやすく言うと俺が『プライド』のリングに戻るための1つの材料だね。小川だったら、もう1回自分を作る練習をしたりとか、あのリングの中にもう一丁上がるんだ、という思いにさせてくれる材料かな。今まで何回も言ってきたけど、俺はいつも人で『プライド』のリングに引きつけられてきたというか、引っ張られてきたからね。

——ああ、ヒクソンがいいなぁ、ボブチャンチンがいいなぁという感じですか？

髙田　そうそう。外人選手の中には「誰でもいいから『プライド』のリングに上がらせてくれ」っていう人がいるでしょ？　イゴールみたいに。俺はそうじゃなくて、人によって自分を作るというか、モチベーションを上げていくタイプだからね。イゴールとの試合が終わった後に『プライド』のリングの高さを改めて痛感したのと同時に、自分の年齢も上がってきてるからね。もうそろそろこの辺で最後だと思ってイゴールを選んだんだよ。でも、「もう1回、『プライド』のリングに上がってくれ」という声がかなりあったんだよね。まだ、そうやって呼び込んでくれる声があるんだったら考えてもいいかなと思ってね。今までと変わることなく、誰か自分を引き寄せてくれる人間がいないかなと考えた時に思い出したんだよ。それで、ああやって「忘れ物」という表現をしたんだよね。

——そうだったんですか。

髙田　ああいう一連のことが2年前にあって、「宿題」として残ってた。まあ、小川だったら自分でかかったるい練習をやりながらね、体を作り直してリングに上がれるなと思ったんだよね。だけど彼はヒクソンだ、タイソンだという状況があったよね。

——ええ。

髙田　なかなかその中に割って入るような形でね、唐突感を与えるようなタイミングでっていうのは、自分としては本意じゃないんだよ。実際にタイミングが合わなければ、そのまま自分の中で気持ちを消滅させて、なかったこととして閉じ込めてもいいかなという状況の中で、偶然にもヒクソン戦やタイソン戦がああいう形になった。それでうまい形でタイミングが見えてきたんだよね。

——これまでの流れの中で、例えば花束を投げつけられたりとか、プロとしてのパーソナリティの部分で小川選手のことをどう思いますか？

髙田　いいんじゃないの。分かりやすくて。

——でも、髙田さんはそういうのは好きじゃなさそうですよね。

髙田　俺はああいうことができないんだよね。マイクを持ってガ～って叫ぶとか、そういうパーソナリティじゃないんだよ。だから、自分ができないからそれが良くないってことはないよ。ああいうのも、大いに結構なんじゃないかな。

——いいんですかぁ？

髙田　全然構わないよ。プロとして自分をどういう形に持っていくかっていうことだからね。自己プロデュースだよ。

——髙田さんにとって、小川選手を選んだ一番の魅力ってなんだったんですか？

髙田　世間ではちょっと日本で一番強いんじゃないかって言われてる部分もあるしね。もちろん、いい選手だと思ったからこそ俺は選んだんだから。その評価が正当な評価か、過大評価なのか自分の中でやってみる価値があるんじゃないかなっていう俺の感性だよ。俺が今まで人を選んできた時っていうのは、ひらめきと感覚と何か感じるものがあった時だから。それがたまたま今回は小川だったんだと思ってるよ。

——だけど、せっかく投げかけたのに、小川選手は素直に答えてくれないですよね。『プライド』のリングではやらないとか……。

髙田　ま、それは予想してたよ。

——それに対しては髙田さん自身はどう思われてるんですか？

髙田　とにかく俺のほうはサイを投げたわけだから、それがコロコロっと転がってどう出るかっていうのは、誰にも分からないよ。

——髙田さんはあくまでも『プライド』のリングじゃないとやらないということですか？

髙田　そうだね、『プライド』のリングで待つということになるよね。

——小川選手は「ZERO—ONE」のリングで待ってるなんて言ってましたけど。

髙田　なんで「ZERO—ONE」なのか俺にはまったく分からないね。やっぱりニュートラルなリングでやりたいよ。『プライド』のリングは、今では世界で誰もが認める総合の最高峰だからね。例えばもっといいものがあれば俺も「よ～し、それ乗った」ってなるかもしれないけど。とにかく、一番のポイントはニュートラルなリングであるというのが大前提なん

『プライド』のリングでやりたいのは、ニュートラルなリングでやりたいから

だよ。そう考えると今は、『プライド』のリング以上のものはないんじゃないかな。

――これまで小川選手は『プライド』で2戦やってますよね。それぞれの試合についてはどう思われてますか？

高田　ゲーリー戦しか見てないんだよね。

――そうなんですか？　佐竹戦は……。

高田　見てない。見てみようかとは思ってるけど。「SRS」かなんかでダイジェストで見ただけ（笑）。

――ゲーリー戦はどうでしたか？

高田　面白かった。

――小川選手は『プライド』では凄く面白い試合してますよね。

高田　だからね、おそらく本人は分かってると思うんだけど、お客さんが彼に一番求めているのは、そういう試合なんだよね。

――『プライド』でやったような試合ですか？

高田　そうだね。自分のことは自分が一番よく分かっているよ。

――小川選手が「ZERO―ONE」でやりたいとかって言うのは、小川選手にとって『プライド』は髙田さんの団体に見えてるんじゃないですかね。

高田　イメージとしてね。

――ええ。小川選手はもっと面白いことを髙田さん一緒に考えようよって思ってるんじゃないかと思うんですよ。それこそ、巌流島でやるとかって言ったり。

高田　でもね、それを求めてないんだよ、今のファンは。もっと、単純明快などっちが強いのとか、余計な飾りがなくて、凄くシンプルなものを見たがっていると思うんだよね。

――小川選手はちょっとそこが違って、花束ぶつけたりとかしたら、もっと盛り上がるんじゃないかとか、巌流島へ行けばもっと盛り上がるんじゃないかとかって思ってるんじゃないかと思うんですよ。

高田　それはね、小川自身がプロレスの面白さを壊しちゃったんだよ、橋本戦で。プロレスを潰しちゃったんだよね。あの時にやっぱりシンプルなのが一番いいんだよっていうのを、奇しくもあの試合で小川がみんなに「目を覚ましてください」って見せつけた。ファンにメッセージを送ってしまったんだよね、彼自身で。

――今のプロレスを壊したのは、小川直也自身だと。

高田　うん。そういうことだと思うよ。いくつかポイントがあるんだよね、UWFやインディ分散化による多団体時代、そして『プライド』などの総合系イベントの台頭とかね。近年プロレスが崩れかけてるところに、大打撃を与えたのがあの試合だよ。でも、いい意味でも、悪い意味でも役割としては大きいんだよ。

――はぁ～。

高田　だから、彼はあれを見せちゃったからプロレスのリングに上がっても、あれをやってくれないと満足できないわけよ、ファンはね。どんだけお互いの技のキャッチボールをしたって、あれを見せてってなるんだよ。それほどの刺激料理を食べさせられたからね、ファンは。だから、さめたスープは飲みたくないっていう感じになる。でも、それも誰がやったんだっていったら、本人だからね。

――たしかに、『プライド』での2試合はホントいい試合でしたからね。

高田　そうなんだよ。それもあるし、俺が読み違えていたところが1個あったんだよね。

――えっ？　なんですか？

高田　「プロレスラーよ、どんどん『プライド』に上がろうぜ！　そして勝ってまたプロレスのリングに戻って行け」と言って、『プライド』に出て行ったことによって、例えば評価が上がるとか、あるいは『プライド』で結果を出してプロレスのリングに戻れば、何かおみやげを持って帰れるんだという感覚だったんだよね、最初は。ところが、そうじゃなかったんだよ。

――な、なんでしょう？

高田　これから石澤もそうだし、高山もそうだけど、『プライド』に出ることによっておみやげを持って帰るというのは、自分にはおみやげが付くけど、プロレスのリングの中にはその雰囲気を持って帰れないんだよ。それを凄く最近、感じ出したんだよね。

――髙田さんがあんまりプロレスのリングに上がらないのは、その部分の葛藤もあるんですか？

高田　まあ、それも付随して出てくるんだろうけど、やっぱりファンが線引きをしてるからね。『プライド』とプロレスの。だから、プロレスから『プライド』に出てきて、また帰った時に『プライド』で頑張った以上の輝きをプロレスで放つことができるのかってことになったら、難しいんだよ。そういう見る側に区分けができあがってることが凄く分かったね。

――もしプロレスに帰った時に輝くんだったら、違った才能がいるんでしょうね。

高田　才能の問題じゃないと思うんだよね。プロレスと『プライド』は別な世界

▲99年11月23日に行われた『プライドGP2000開幕戦』の記者会見場に小川が乱入。菊の花束を髙田に投げつけるなどして対戦を迫ったが、ボブチャンチンとグッドリッジがSPのような速さで間に入り、大乱闘にはならなかった

▲花束を投げられた直後の髙田は「チンピラだよ、チンピラ」と発言。この時のことを聞くと「あの時は妙に自分自身が冷静で自分と対峙しているのに、もう一人の自分がいて客観的に2人を見てるっていう状況だった」と語っていた

お客さんが小川に一番望んでいるのは『プライド』みたいな試合だよね

であって、似てるところじゃないんだよ。少しグレーゾーンでごまかすことがファンに対してできたけど、今は見る側の姿勢が違ってきてるんだよね。

――でも、そういう状況を作った根底には小川選手がいるんですかねぇ？

髙田　いや、それに関してはいろんな要因があると思うよ。さっきも言ったようにＶＴが出てきたりとか、ＵＦＣが出てきたり、俺がヒクソンに負けたりとかっていろいろなことがあると思う。もちろん、桜庭や藤田もあるし。石澤もある。いろんなことがあって、そういう状況になってるんだよね。でも、こうなるには結構年月はかかってるんだよ。年月がかかってこういう状態になった。だから、これを戻すのは不可能に近い作業だよ。

――なるほど。では、髙田さんはすでに小川選手に対して、シミュレーションはしているんですか？

髙田　してないね。美容体操程度に（笑）。一日一滴汗を流すという感じで。

――アハハハ。小川選手ってどこが強い選手だと分析してるんですか？

髙田　いや、そんな分析してないよ。何が強いのかな。トータルでできるんじゃないの。

――資質的な部分で、例えば桜庭選手だったら「頭がいい」とかいろいろあるじゃないですか。小川選手のことはどう捉えられてるのかなと。

髙田　どうかなぁ……あんまりピンと浮かんでこないね。

――小川選手って『プライド』のリングではベビーフェースになるタイプだと思うんですよ。だから、髙田さんとやるのは嫌なのかなぁと。もし実現したら、『プライド』のリングで初めてヒールになると思うんですよね。

髙田　なるほどね。

――佐竹選手とやった時も、グッドリッジの時も、なぜか小川選手のほうに目がいっちゃいますもんね。だから、プロレスではヒールなんですけど、『プライド』ではベビーフェースになるタイプだと思うんですよ。でも、髙田さんが相手になるとそうもいかないんじゃないかと思って。向こうもいろいろ髙田さんに対して考えてくると思うんですよね。例えば佐竹選手とだったら、打撃をやってみようとか。何をやってくるか楽しみではあるんですけど。でも本当のところ、小川選手とやるきっかけってなったのは、佐竹戦って大きくなかったですか？

髙田　なんで？

――佐竹選手との試合後に小川選手がいろいろ発言してたじゃないですか。「すぐやっつけられたけど……」とか。そういうことって、髙田さんは許せないタイプじゃないかな、と。

髙田　あれはホントとんでもないんだけど、そうじゃないんだよね。直接的な原因にはなってないよ。あくまでも俺の闘いだから。やる動機っていうのは自分の中での純粋な部分の思い入れだよね。

――そうなんですか。でも小川選手って何が優れてるのかっていうのが、はっきり見えないまま勝ってるので、さらに小川幻想って膨れ上がってるのかぁという気がするんですよね。

髙田　じゃあ、俺がそれを引き出してあげよう！（笑）。

――そうなると、ガ然楽しみですね。ぜひ、引き出してください。■

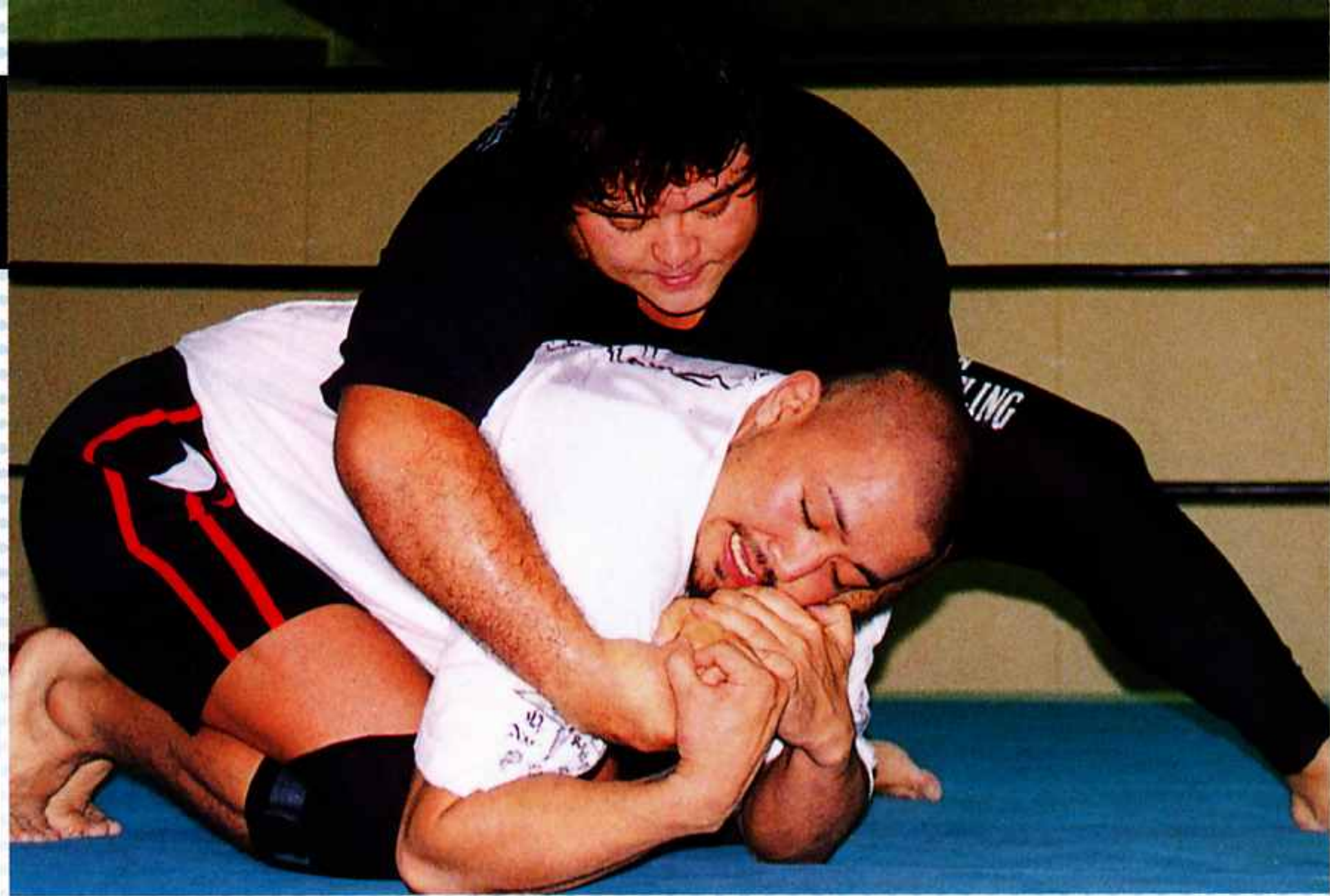
パンクラス謙吾

6・14 ZERO−ONE出撃！

ハイブリッド・レスリングは純プロレス以上のインパクトを残せるか!?

オレが"破壊王"になってやる！

パンクラスの謙吾が、なんと6月14日、大阪城ホールで行われるZERO−ONEの興行『真撃』に出場することになった。"格闘技部門"の大会で、試合もパンクラスルールがベース。しかしこの大会では小川直也と髙田延彦、リングスを脱退してフリーになった山本憲尚らのカラミも噂されており、ここでインパクトを残すことは謙吾にとって、そしてパンクラス全体にとっても大きな意味があるが……。

聞き手◎橋本宗洋

▶4月28日、都内のZERO－ONE道場で橋本と公開練習も行った謙吾。橋本は5月なかばには渡米し、出場選手を物色。さっそく2メートルの巨人コンビを発掘している。謙吾の相手については「ボクシングベースで柔術を修行している選手がいたけど、あれなんか面白そう」とのこと

――謙吾さんがZERO－ONEに出るっていうんで、「それってどういうこと？」と思って聞きに来ました（笑）。

謙吾 出ますねぇ（笑）。出ます。

――どういうきっかけだったんですか？

謙吾 ZERO－ONEの武道館（4・18）に招待されて、近藤さんと一緒に行ったじゃないですか。

――リング上で挨拶しましたよね。

謙吾 そう。その時、試合の前に橋本（真也）さんと話をして。6月に総合格闘技部門みたいな大会をやるって聞いて、リング上で「出たい」ってことを言ったんですよ。それがまぁ、きっかけですね。

――そこから話がトントン拍子にまとまって、と。

謙吾 そうッスね。もう4～5日後には記者会見になって。

――橋本選手と尾崎社長が話し合った結果、基本はパンクラスルールになるみたいですね。

謙吾 そうですね。だからオレがやることはいつもと変わらないっちゃあ変わらないっていう。ま、そこに出る意味がね、かなり重要なんですけど。

――僕なんかは、いっそ普通のプロレスをやる謙吾さんの姿も見てみたいですけどね（笑）。

謙吾 あ、よく聞かれますよ、それ。「プロレスやんの？」って。それも面白そうですよね（笑）。

――すごく勉強になることがありそうだと思うんですよ。パンクラスファンは嫌うかもしれないけど。挨拶に上がった時のZERO－ONEの会場の雰囲気はどうでした？　いわゆる〝純プロレス〟の会場って初めてですよね？

謙吾 見に行くことはよくありましたけど、お客さんの前に出るっていうのは初めてでしたからねぇ。「リング上で挨拶してほしい」って言われた時は正直「ヤだなぁ～」って思いましたよ。僕とか近藤さんが、ZERO－ONEのファンに受け入れられるとは思ってなかったんですよね。

――あ、そうなんだ。

謙吾 まして「ここでゲストの登場です」なんてアナウンスされたら、お客さんは絶対、猪木さんが出てくると思うじゃないですか（笑）。

――〝猪木ボンバイエ〟が鳴ると思ったら……。

謙吾 パンクラスのテーマが流れて、そこでオレらが出てったら……。ブーイン

ZERO－ONEの会場で挨拶した時、ブーイングされるかと思ったけど……

グじゃねぇかと（笑）。したら、結構みんな盛り上がってくれて。「コンドー！」「ケンゴ！」って声も聞こえてきて。やっぱりZERO－ONEのファンには、オレらは別の世界の人間と思われてるんじゃないかっていう感じがしてたんですけど、予想外にあったかく迎えてくれたんで。近藤さんがしゃべってる時も「ZERO－ONEに出てくれ！」みたいな声があがって。で、僕も「出たいなぁ」みたいに言ったら〝オォーッ！〟ってなったじゃないですか。嬉しかったですね。

――気持ちいいでしょうね。ZERO－ONEって、今のプロレス界でも一番熱いリングですから。

謙吾 「何しに来た！　帰れ！」とか言われるかと思ってヒヤヒヤしたんですけどね（笑）。意外と受け入れてくれて。それにまずビックリしましたね。

――へぇ～。

謙吾 あれだけ反応が……しかもいい反応があるとは思わなかったッスねぇ。パンクラスのリングでは何回も挨拶してますけど、パンクラスのお客さんはやっぱ、おとなしいじゃないですか。まぁ、こないだ（5・13後楽園大会）はだいぶ変わった感じがしましたけど。

――今度のZERO－ONE参戦って、凄く面白そうだし楽しみなんだけど、でもそれだけじゃないですよね。楽しみだけど、凄く重要なものを含んでるような。

謙吾 そうッスね、重要でしょう、これは。

――で、何が重要かって言うと、そのキモは謙吾さんが「ブーイングされるんじゃないかと思った」っていう、そこにあるような気がするんですよ。パンクラスは週プロにもゴングにもファイトにも載ってますよね？　にもかかわらず、ZERO－ONEの観客にとって〝よそ者〟なんじゃないかっていうイメージがあったわけでしょ？

謙吾 そう……ですね。正直そう思ってましたね。ただ、お客さんは受け入れてくれたんで「あ、オレらも全然アリなんだ」って思いましたけどね。

――ってことは今までは〝ナシ〟だった？

謙吾 や、〝ナシ〟じゃないんですけどね（笑）。こっちはそう思ってても、お客さんの見る目は違うと思ってたから。プロレス界でも限りなくこう、ハブられたっていうか（笑）。そんな言い方はよくないッスけど（笑）。

――まあ、一線を引くようなね。自分からそっちのほうに行ってましたよね。

謙吾 普通のプロレスとは線を引いて、総合格闘技の方向に乗って。それはそれで今、『プライド』とかがあって盛り上がってるからいいんですけど。

――そっち（総合格闘技）との比較で語られることが多かったですよね。でもプロレス団体と比べられることが少なかったように感じるんですよ、特にここ数年は。パンクラスって旗揚げ当時〝21世紀のプロレス〟って謳ってたのに。

謙吾 ああ、そうですねぇ。

――それが今回、ZERO－ONEに、格闘技部門みたいな大会ができて、それに出ることになって。

謙吾 あのリングに上がることは、凄く

ゲスト扱いでいるつもりはない。他の日本人との闘いに食い込まなきゃ

意味があると思います。凄く楽しみですね。自分の試合だけじゃなくて、その日の興行全部が。「え、こんなこと起こっちゃうの？」ってことがあって、その中に自分がいたりして。

——例えば？

謙吾　メインで乱闘とかあって、その中にオレがいるかもしれないっていう（笑）。

——それは控室にはいられないですよね。

謙吾　ねぇ。そういうのもアリかなって。橋本さんの試合が乱闘になって、もみくちゃの中にオレがいるっていう。そういうのも想像すると楽しいですねぇ。

——やってみたいでしょ、そういうの（笑）。

謙吾　ん～、ちょっとやってみたい（笑）。

——橋本選手とか小川選手に混じってね。

謙吾　それにノアの選手とか。ありえますよね。（※後日、ノア勢は大会不参加との発表があった）

——なんの関係もないのに乱闘に加わるっていう（笑）。

謙吾　や、でも藤田（和之）さんが会場にいれば。

——ああ。

謙吾　藤田さんの助太刀って形でやりますよ。だから自分の試合が終わったら藤田さんの動きを徹底マーク（笑）。そこにサクッと便乗させてもらって、と。

——面白そうですね。パンクラスじゃ乱闘なんてないし。

謙吾　絶対ないッスもん。そういう部分でも楽しみですね。

——あとはまあ、ZERO—ONEに出るのは重要は重要なんですけど、ちゃんと重要なものにできるか、意義のあるものを残せるかっていうのは謙吾さんの力次第ですよね。

謙吾　そうッスね。バチッとインパクト残さないと。

——ただ“出ました、勝ちました（負けました）”で終わったらなんの意味もないんで。

謙吾　消化試合になっちゃいますもんね。ZERO—ONEの前座の1コみたいになっちゃう。「そういえば今日、謙吾も出てたな」で終わるんじゃつまんないッスよね。

——そうなんですよ。

謙吾　「橋本も良かったけど謙吾もヤバかったねぇ！」ってお客さんに言わせないと意味ないッスからね。じゃないと上がる意味ないですよね。

——別ワクというか、ゲスト扱いで終わるのか、それともZERO—ONEそのものに食い込んでいけるのか。

謙吾　あぁ、食い込みたいッスね。

——そのためには何をすればいいと思いますか？

謙吾　や～、それはねぇ。オレが破壊王になるしかないんじゃないですか、試合で。

——リアル破壊王に（笑）。

謙吾　それが一番じゃないッスかね。

——と思いますけどね。ちょっと心配だったのは、「コスチュームを新しくする」とか、「試合後にこんなパフォーマンスをしよう」とか、そういうふうに考えてたらヤだなぁと思ってたんですよ。そういうことで目立とうとしたって……。

謙吾　それはないッスね。そんなんどうだっていいことですよ。試合で見せらんなきゃ話になんないですもん。

——まずは試合だ、と。

謙吾　そう、試合内容。「謙吾はヤバい！」、「橋本より謙吾のほうが破壊王じゃん」って言わせたいですね。主役の座を奪うつもりでいるんで。それで橋本さんから破壊王の称号も奪って、コンビニ弁当を出す！

——それが目標？（笑）。

謙吾　売れてるらしいッスよ～、破壊王弁当（笑）。

——とにかく試合のインパクトですね。でも、それも難しいことだと思いますよ。お客さんに何かを伝えるって作業に関しては凄いですから、プロレスラーって。

謙吾　それはありますねぇ。

——例えば他の格闘家と比較される時って技術とか体力を見られる部分も大きいじゃないですか。「寝技がうまい」とか「右ストレートが強い」とか。でもZERO—ONEでは純プロレスの選手との勝負なんで、それは評価の基準としてはちっちゃいでしょう。

謙吾　そうでしょうね。なんかこう、もっとデカイもんをぶつけないと。

——極端な話、下から十字取って勝ったって「あっそう、勝ったんだ」で済まされちゃうんじゃないかって。

謙吾　それは大丈夫ですよ。下から十字取れないし、オレ（笑）。

——ダハハハ。実際、細かい技術とかで勝負するタイプじゃないからこそ、謙吾さんがZERO—ONEに出ることになったんでしょうけどね。そういう意味で、謙吾さんはパンクラスでも貴重な存在なんですよ。

謙吾　技術がないっていう意味で？（笑）。

——いやいや。いちスポーツマンとして試合しても、プロレスファンにどれだけ引っかかるかな？っていう。

謙吾　まぁオレはスポーツマンのつもりでは出ないですけどね。スポーツマンシップにのっとって闘うつもりはないんで。

——スポーツマンとして闘うんだったら、それこそ信じられないくらいレベルが高くないといけないし。なんにせよ圧倒的な力……これはいろんな意味での“力”ですけど、それを見せないと。

謙吾　そうですね。ZERO—ONEでインパクト残せたら、かなりの収穫ですよね。

——でもどうします、膠着しちゃったら？

謙吾　ククク（笑）。膠着したら……いや、膠着しない！　意地でも（笑）。

——あと大事なのは、なんのためにZERO—ONEに上がるのかっていう目的意識でしょうね。

謙吾　はい。

——今、パンクラスは全方位外交ってい

プロレスラーにも強そうな人はいっぱいいる。特にノアの杉浦さんはヤバい！

う路線を打ち出してますけど、なんの目的もなしにいろんな団体に出たって、それはただのヤリマンでしょう（笑）。

謙吾　ビッチですね（笑）。

―「パンクラスってどこの団体にも上がるんだぜ」っていうのが、「あいつ、誰にでもヤらせるぜ」っていうのと同じになっちゃうから。

謙吾　記念受験みたいになっちゃいますよね。「受かるかどうか分かんないけど、とりあえず早稲田受けとくか」みたいな（笑）。

―「とりあえずZERO―ONE出とくか」って（笑）。それじゃ意味がないですよね。謙吾さんはどういう意識でZERO―ONEに上がろうと思ってます？

謙吾　オレは今回勝ってインパクトを残して、また次も出たいと思ってるんですよ。準レギュラーぐらいにはなっとこうかと。

―それはなんのために？　出続けることによって何か得たいものがある？

謙吾　う～ん……。

―単純に、大阪城ホールっていうデカい会場でやれるっていうのも魅力でしょうけど……。

謙吾　それも大きいですけど。あとはいろんな大会に呼ばれるってことは、自分の商品価値がそれだけあるってことだからそれも嬉しいし。あとは……難しいなぁ。オレの目標っていうか夢は〝一番強くなる〟ってことなんですよ。今やってる試合はそのステップですよね。で、『プライド』とか格闘技側のリングに上がってる選手が強いっていうのはもちろんなんですけど、プロレス界にも強い人って絶対にいるはずなんですよ。そういう人とどんどんやってかないと一番になれないと思うんですよね。

―うん。純プロレスの選手の中に混ざりつつ、その中の強い人たちと闘っていきたい、と。

謙吾　それが結構……大きいッスかね。

―じゃあ今回は外国人選手が相手みたいですけど、それを足がかりにして。

謙吾　うん。ZERO―ONEに出てる日本人選手と絡んでいけたら面白いなと思いますね。

―ZERO―ONEに定期参戦しても、その度にガチンコができる外人連れてきて闘ってたら、いつまでも別ワク扱いになっちゃいますからね。

謙吾　それはつまんないですよね、うん。だから鈴木（みのる）さんじゃないけど、「橋本さんとやりたい」とかね。そういうことはオレも考えてますからね。上がるからにはそこまでやらないと。ねぇ。そこで破壊王の称号を略奪ですよ（笑）。「橋本さんが破壊王の時代は終わりました。これからはオレが破壊王なんで」って。そこまでいきたいですよね。ハチマキ巻いちゃいますよ（笑）。

―パンタロンはいて（笑）。

謙吾　橋本さんってだけじゃなくて、ZERO―ONEとかそっちの業界にも強い人はいっぱいいますからね。

―例えば「この人は強そうだなぁ」って思う人はいますか？　この前の（ZERO―ONEの）大会にもいろんな選手が出てましたけど。

謙吾　ノアの杉浦（貴）さんですね。あ～れはヤバい！　（アレクサンダー）大塚さんも良かったんですけど、あの試合はもう、杉浦さんが圧倒的にカッコ良かったです。強さが見えましたよね。

―あとノアでは秋山（準）選手とか。

謙吾　いいッスねぇ。新日本にもいっぱいいますよね。中西（学）さんとか。あと、小原（道由）さんとかヤバいような気がするんですよね。

―ほぉ～！（笑）。それは長年、ケンカで培ったカンで。

謙吾　なんかヤバめですよね。後藤達俊さんとか（笑）。

―いいなぁ。で、逆にZERO―ONEで身に付けたものを、今度はパンクラスにも還元してほしいですね。試合以外での見せ方っていうのがパンクラスに欲しいなって。正直言って、試合開始のゴングから試合終了のゴングまでガチンコなら、あとは……。

謙吾　あぁ、それはそうッスね。あとはなんでも有りでいいじゃないかって。

―乱闘とか暴動とか、あってもいいじゃないですか（笑）。それくらいの〝熱〟があったほうが。

謙吾　暴動はさすがにマズいかもしんないスけど（笑）。でも今、東京、横浜、グラバカと道場の対抗意識が盛り上がってるんで、そういうのはどんどん見せていきたいッスよね。

―パンクラスで反選手会同盟とか作ってくださいよ（笑）。

謙吾　あ、それは無理ッスねぇ。髙橋（義生）さんが選手会長なんで怒られちゃいますよ（笑）。■

▲謙吾が着ているのは、イメージキャラクターを務めるストリートハードコアブランド“KARMA”のTシャツ。池袋のオフィシャルショップ“K COMPLETE”などで絶賛販売中だ。お問い合わせはARTVILLAGE☎ 03－5819－6171（www.artvillage.co.jp/karma）まで

PANCRASE HYBRID WRESTLING

PANCRASE 2001 PROOF TOUR

5.13★後楽園ホール

美濃輪ーっ! まだだぁーっ!

グラバカ・佐々木有生に激勝! されど、興奮するのはまだ早い これは"序章"にすぎないのだ

	美濃輪育久	佐々木有生
モチベーション(闘志・気迫)	8	9
技術・戦略	9	7
KOスピリット	10	7
勝ちっぷり負けっぷり	10	8
全体的な印象・インパクト	8	5
合計	45	36

プロレスラー魂だけじゃない。超高度な"肉体の知性"を見よ！

▲3R開始直後。佐々木は美濃輪のタックルを潰してバックを取るが、これは美濃輪のまいたエサだった。ビクトル投げの要領でクルッと回転してヒザ十字へ。これは外れてしまったが「足が残ってたんで、足首を"オリャ"って」（美濃輪）ヒネり上げると……。寝技に絶対の自信を持つグラバカ勢から、タップを奪った！

▲スタンドでは、やはり差し合いになることが多かった。並の選手なら、ここで動きが固まってしまうものだが、美濃輪は大内刈りで見事テイクダウン。とっさの機転に見えて、実は計算どおりだったらしい

★第6試合（ライトヘビー級5分3R）

○美濃輪育久（3R0分25秒、アンクルホールド）佐々木有生●

＜パンクラス・横浜＞　＜パンクラス・GRABAKA＞

"Oi！　Oi！　Oi！"

美濃輪が叫ぶ！　観客も叫ぶ！

なんだ、この盛り上がりは!?

美濃輪の試合は、おとなしく試合を凝視するばかりで、あげく選手にまで「なんかヘンな宗教みたい」と言われたパンクラスの観客をここまで熱くさせた。パンクラスは変わった。美濃輪が変えたのだ。

ガードポジションの相手を持ち上げてコーナーポストに打ちつけたり、大きく持ち上げてスパインバスター気味に落としたりと、豪快かつ新鮮な技の数々で魅了し、最後は鋭い切れ味のアンクルホールドで一本勝ち。予想以上の試合内容であり、結末だったと思う。同階級で佐々木有生から一本取れる日本人が、果たして何人いるだろうか？

しかし、ここはあえて"興奮するのはまだ早い"と言いたい。後楽園あたりで大騒ぎしてる場合じゃないって。美濃輪なら、もっともっとデカいことができる。間違いなくできる。

美濃輪は"オレはプロレスラーなんだ！"という強烈な自負心に裏打ちされた、並外れた根性と底力の持ち主。でも、決してそれだけじゃあない。この試合を見て感じたのは、美濃輪は意外にも"知性派"のファイターだということだ。控室に戻った瞬間、床にブッ倒れるくらい全力を出し尽くして闘う美濃輪だが、それでいて試合前の"作戦"や"計算"を冷静に遂行しているのである。

フィニッシュからしてそうだった。タックルを切られてバックに回られたところをヒザ十字→アンクルで返したのだが、あれは美濃

PANCRASE HYBRID WRESTLING

PANCRASE 2001 PROOF TOUR

5.13★後楽園ホール

PUNKRASE NOT DEAD!

美濃輪のコメント

「会場が僕の理想のプロレス会場に近づいてるなっていうのを感じましたね。静かな空気が凄いイヤだったんで。お客さんは何を言ってもいいと思うんですよね。つまらないならつまらんって言ってもいいし、面白いなら面白いって素直に言ってもらって。そのほうが楽しいと思います。途中で勝てると思ったんですよ、2Rが終わったくらいで。このままズルズルいけば判定勝ちもあるなって思ったんですけど、そのまま終わらせたくなかったんで、3R目は一本取られてもいいから、勝負のつもりで。最後は半分、妥協タックルやって、バック取られたら腕かヒザいこうと思ってたんで。あれはワザと後ろに回らせました。そしたらまんまと引っかかってくれたんで、そのままクルッと回転して。ヒザは取れなかったんですけど足が残ってたんで、足首を〝オリャ〟って。（前の対戦から自分が変わったところは？）僕は当時はアマチュア格闘家か、プロレスファンだったんですけど、今はプロレスラーなんで。気持ち的には全然、プロ意識っていうか、それは負ける気はしなかったですね」

佐々木のコメント

「1、2Rは楽しかったんですけどねぇ。結構、自分も強いんだなと思って。残念ですね。こういうチャンスはなかなかもらえないから。菊田さんに申し訳ないですね。（十字は）極まるかなと思ったんですけど、相手もなかなかうまいし。（お客さんは盛り上がっていたが？）いやぁ、負けりゃあ価値はないです」

▼この日、会場は2300人、超満員札止めの観衆で膨れ上がった。日曜の、それも昼間に！　今、パンクラスはマット界で最も勢いのある団体と言っていい

▲勝利が決まると、セコンド以外の横浜道場の選手もリングになだれ込む。これが場内の興奮と祝祭ムードに拍車をかけた

もっと上だ！

▲佐々木をタップさせると、すかさず宙を指差した美濃輪。「もっともっと上をめざしたいんで。誰かがライバルなんじゃなくて、今まで誰もやったことがないような、なったことがないような人になりたい」という意味が込められていたという

Oi! Oi! Oi!

◀〝Oi！　Oi！〟と叫ぶ美濃輪に、いつの間にか観客も同調。選手とファンのコール＆レスポンスが成立するなんて、パンクラスでは珍しいことだ。「ほんとビックリしましたよ」と、やってる本人まで驚く大盛り上がり

◀ラウンド間のインターバル中、佐々木に策を与える菊田。最終Rに勝負をかける作戦だったそうだが、それも美濃輪に断ち切られてしまった

◀▼1R。ガードポジションを取る佐々木を強引に持ち上げ、スパインバスター気味にマットに叩きつける！「たぶん頭打ってますね。プロレスラーなら受け身取られてますけど、まだ向こうは格闘家っていうイメージなんで、受け身は取れなかったと思います」（美濃輪）

輪に言わせると「妥協タックル」。わざと弱いタックルで誘い、バックに回らせたらしい。しかも、4ポイントの蹴りを食らわないように相手の足は抑えておくという入念さだ。

インサイドガードから持ち上げて叩きつけた時も、頭を抱えたりワキを差した状態のほうが持ち上げやすいのだが、美濃輪はあえて腰に手を回していた。そのほうが支点（腰）と作用点（頭）の距離が離れ、遠心力で頭を打ちつけやすい、という計算だ。佐々木に極められかけた十字やスリーパーも、あらかじめ想定済みのこと。まったく焦らなかったらしい。

美濃輪と話をしていると、よく「いや、あれは狙ってました」「そのほうが効くと思って」と言う。どんな奇想天外な戦法も、美濃輪にとっては〝理詰め〟なのだ。つまり〝プロレスラー魂〟をガソリン（いや、ジェット燃料か）に、理詰めのファイトというハイテクノロジーの粋を集めた高性能エンジンを動かしているようなもの。

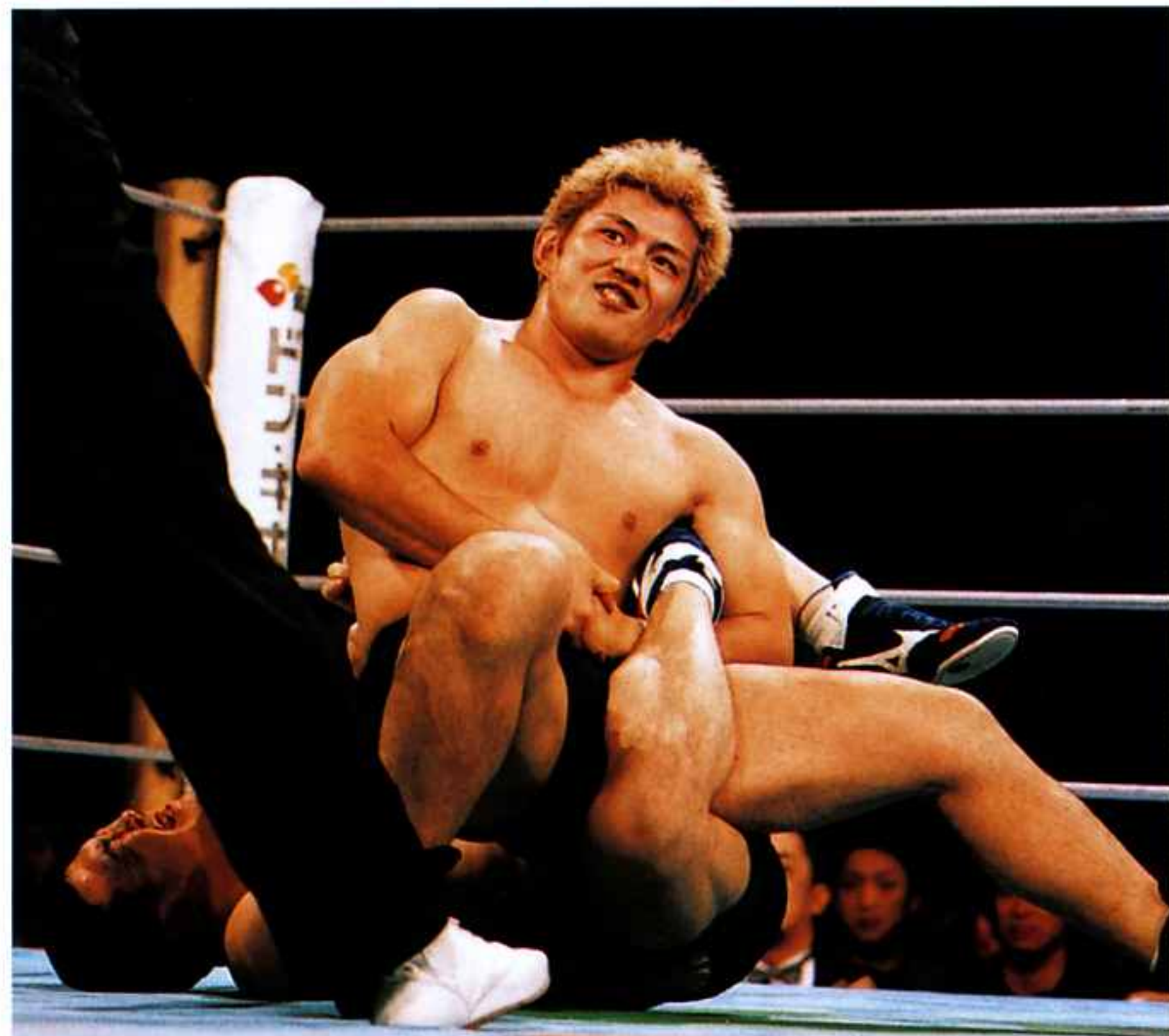
もし美濃輪が思い込みと勢いだけのアドレナリン馬鹿だったら、自分も今回の試合で満足していたはずだ。〝真っ向勝負。そして派手に玉砕〟みたいな試合でも「よくやった」と称えるだろう。でも繰り返すけど、美濃輪という男はそれだけじゃない。冷静な判断力を併せ持っているからこそ、期待はさらに膨らんでしまう。

美濃輪VS佐々木戦は、伝説に残ってもおかしくない名勝負だったが、あくまで〝序章〟にすぎない。まだまだ美濃輪はこんなもんじゃねえぞ、この野郎。（橋本）

鈴木&伊藤、横浜師弟コンビ揃って快勝 次は『コンテンダーズ』でタッグ結成だ!

▶自ら対戦表明した橋本真也との試合はどうなる……? 試合後、マイクを持った鈴木は以下のようにコメント。「みんなが期待してるようなことは、今日は控えさせてもらいます（笑）。見たい？（会場拍手）オレも見たいです。ねぇ社長」

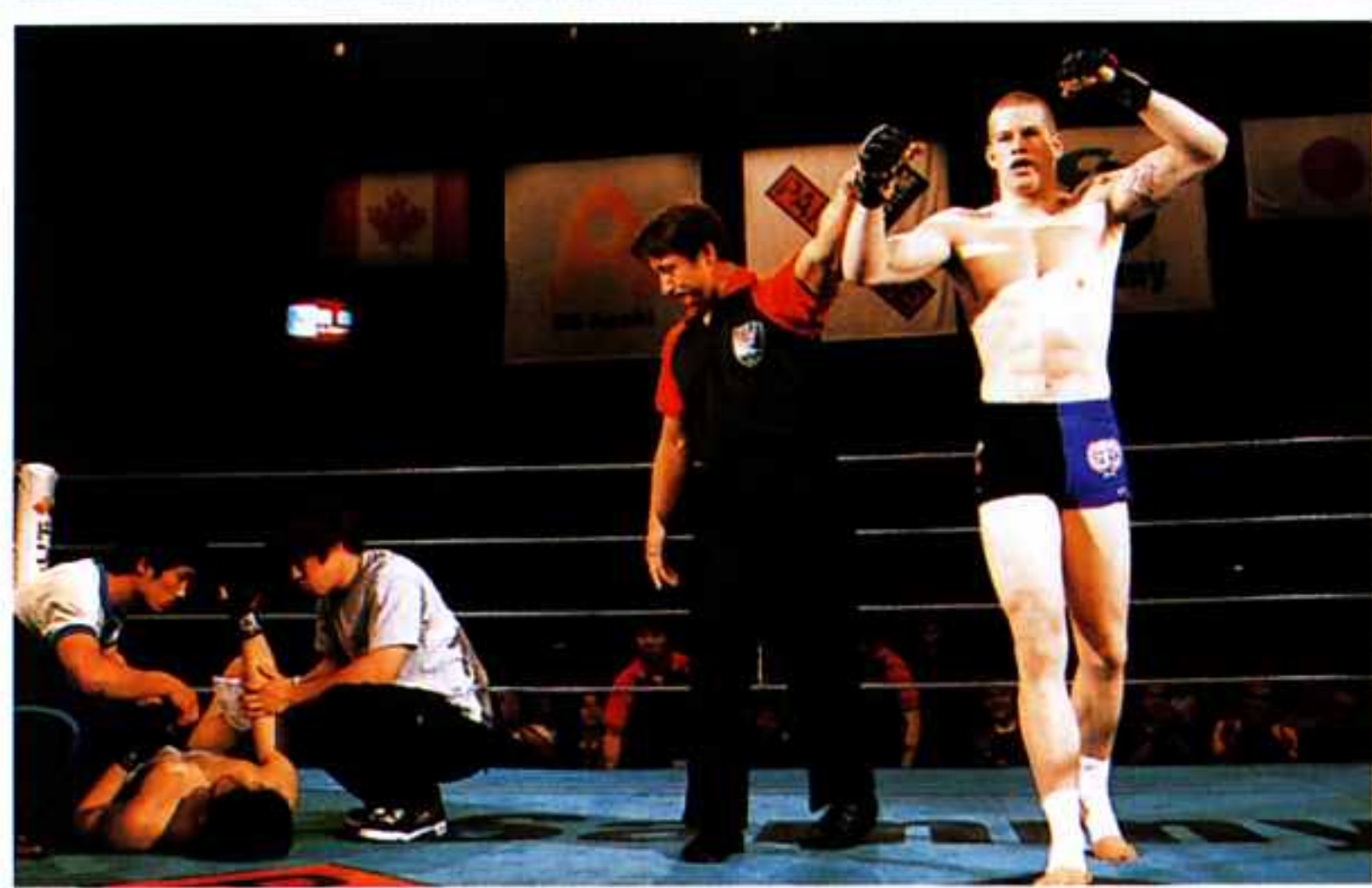
▶伊藤崇文も、キャッチレスリングでU-FILE CAMPの佐々木恭介に勝利（判定3-0）。片足タックルからすかさずサイド、そしてマウントと、グラウンドで佐々木を翻弄しまくっていた

▲今なおカリスマ的人気を持つ鈴木の一本勝ちで、会場はにわかにヒートアップ。今大会を盛り上げた立役者の1人だ

▲矢内純一とのキャッチレスリングマッチで登場した鈴木みのる。「えっ、鈴木がアマチュアとやっちゃうの？」と思う人もいるだろうが、そこは鈴木。完璧なアキレス腱固めを極めてみせた。相手がタップしなかったため、最後はこんな体勢に

★第3試合（キャッチレスリング5分1R）
○鈴木みのる（1R2分46秒、アキレス腱固め）矢内純一●
<パンクラス・横浜> <SAW総本部>

美濃輪VS佐々木戦をピークに異様な盛り上がりとなった今大会だが、その発火点となったのは鈴木みのるの試合だった。このところ精彩を欠いていた鈴木だが、この日は〝らしさ〟大爆発。まずは金に染めた髪でファンを驚かせ、続いて試合でも片足タックルからのアキレス腱固めを見事に極めて見せる。しかも、相手の足を取ってから充分にタメ（間）を作ってから後方に倒れるUWFっぽいムーブのアキレスだからたまらない。さらには「壊れる、壊れるって!」と相手やレフェリーへのアピールも欠かさない〝ザ・鈴木スタイル〟な勝ちっぷり。最高と言うしかない。また、この日は伊藤崇文も判定ながら鮮やかな闘いを見せて勝利しており、打撃なしのキャッチレスリングでも、プロレスラーならこれだけ面白くできる、というところを師弟揃って示してくれたのだった。2人の次の試合は6・10『コンテンダーズ』。タッグを結成して宇野薫&高瀬大樹と対戦だ!

（橋本）

渋谷、UFC出場へ一歩前進か

▲〈第5試合〉ミドル級王者のネイサン・マーコートは、1R1分45秒、ガードからの十字で小島正也（和術慧舟會関東本部）に圧勝。今、パンクラスで最も安定している選手かもしれない

▶第2試合は渡辺大介VS石川英司。昨年のネオブラッド準決勝の再戦だ。前回が好勝負だっただけに今回も期待が大きかったが……。差し合いから倒しきれない石川と、倒されないことで精一杯の渡辺という膠着した展開に。判定（3—0）で渡辺が勝利したものの、完全に消化不良の一戦だった

▲〈第4試合〉UFC参戦を熱望する渋谷修身は当初、UFCの常連ティム・レイシックと対戦予定だったが、レイシックがケガで欠場、デニス・ケインと闘った。3R、マウント奪取に成功した渋谷は、その後も落ち着いて攻め続け、最後はスリーパーで斬って落とした（3R3分45秒）

▶対戦相手のケインは、昨年鈴木を破り、KEI山宮を大苦戦させたクセ者。渋谷も1、2Rは手こずっていたが、常に前へ出る姿勢は崩さなかった。その試合内容は、充分にUFC出場に値するはずだ。「（UFC常連のレイシックとはできなかったが）今日の試合でもアピールはできたかなと思ってます。UFCでやりたい人はいるんですが、今はまだ言わないでおきます」（渋谷）

2001.05.13

山田学、引退。

それぞれのラストメッセージ

◀初めて明かされる「100万人に1人の奇病」、そして日本に総合格闘技を根付かせるための闘いの日々を語った山田。涙で声を詰まらせながらの挨拶だった

◀パンクラス全選手が胴上げ

◀引退エキシビジョンの相手は、修斗時代に苦楽をともにした朝日昇が務めた。パンクラス入りの際も、朝日がパンクラスの事務所にコンタクトを取ったという。朝日のほかにも、引退式には桜田直樹、川口健次、中井祐樹、桜井"マッハ"速人など修斗の選手、関係者が顔を揃えた

最後は笑顔でリングを去った山田。今後はP's LAB東海"山田塾"の指導を中心に第二の人生を歩むことになる

今大会で、"親分"の愛称で親しまれた山田学の引退式が行われた。セレモニーでは、山田の口から「10歳の時に膵臓の機能が突然、停止。それ以後毎日2回、注射を打ち続けてきた」という衝撃の事実も語られた。そんな状況で、山田は修斗~パンクラスと闘い続けてきたのである。「僕は世界一ハンディキャップのある、体の弱い、でも、世界一気持ちの強いスピリットを持ったスポーツ選手だったと思います」とも語った山田。本誌では彼に縁りの深い人々に、山田へのメッセージを贈ってもらった。

"Show"大谷泰顕〈元パンクラス番〉

結局、僕は最後の山さんのリング上での姿を見ることはできませんでしたが、山さん、今までお疲れさまでした。山さんとの思い出といえば、本間（聡）ちゃんと一緒に愛車のJEEPに乗せてもらったことと、まだ旧横浜道場に僕が通っていた頃に、僕の苦手な左のミドルキックをうまく打つコツを教えてもらったこと。特にこの二つが印象的でした。試合では鈴木みのるの戦が僕のお気に入り。いろいろあって、今度はいつ会えるか分からないけれど、またどこかで会えば、普通に話ができる間柄だと思っています。ということでまたいつか……。

木口宣昭〈総合格闘技木口道場・会長〉

木口道場入門時、山田選手は、遠く栃木の実家から何時間もかけ、練習に来ていた。道場では、どのような些細なアドバイスにも耳を傾け、それを実践していた。山田選手の顔は生き生きと輝き、喜びにあふれていた。時は流れ、山田選手は引退した。数々の困難と試練を乗り切り、死力を尽くした彼の表情は豊かで、道場入門時のあの少年のような顔は、そのまま残っていた。次の目標に向かう山田選手を応援し、以下の言葉を送る……TODAY IS THE FIRST DAY OF THE REST OF YOUR LIFE……貴方のこれからの人生は、今日が初日である……。

桜田直樹〈GUTSMAN修斗道場・代表〉

山田学は、シューティング時代の後輩にあたりますが、どちらかというと悪友といった感じでした。10年以上前、山田、石川先輩、坂本、草柳、朝日といった今思うとそうそうたるメンバーで夏の白浜に行っての大暴れ(?)は今でも忘れることのできない思い出です。

また、彼との倒し倒されの試合は私のベストバウトだと自負しています。今どき、彼のように義理人情に厚い男は、本当に珍しいのではないでしょうか。

朝日昇〈修斗/フリー〉

ホントやめちまったんだねえ、ったくブツブツ……。選手はやめちゃうわ結婚はするわ、俺はどーしたらいいの？　なんかねえ、学がはるばる栃木の山奥から週一度木口へ練習に来てた時から、やがて一つ屋根の下に住み、パンクラスと修斗に分かれ、今に至る訳だけれども、ホント色々あったねえ。まだまだやけれど、総合格闘技がこんなになるとはまったく思えんかったねぇ。まあお茶でも飲みましょうや、フーッ。でも、こんな爺さんみたいなことばっか言ってっと嫌われるから、また明日に向かって頑張ろう！　んで白浜行こう、変態松谷でも誘って！でへへ……。

鈴木みのる〈パンクラス・横浜〉

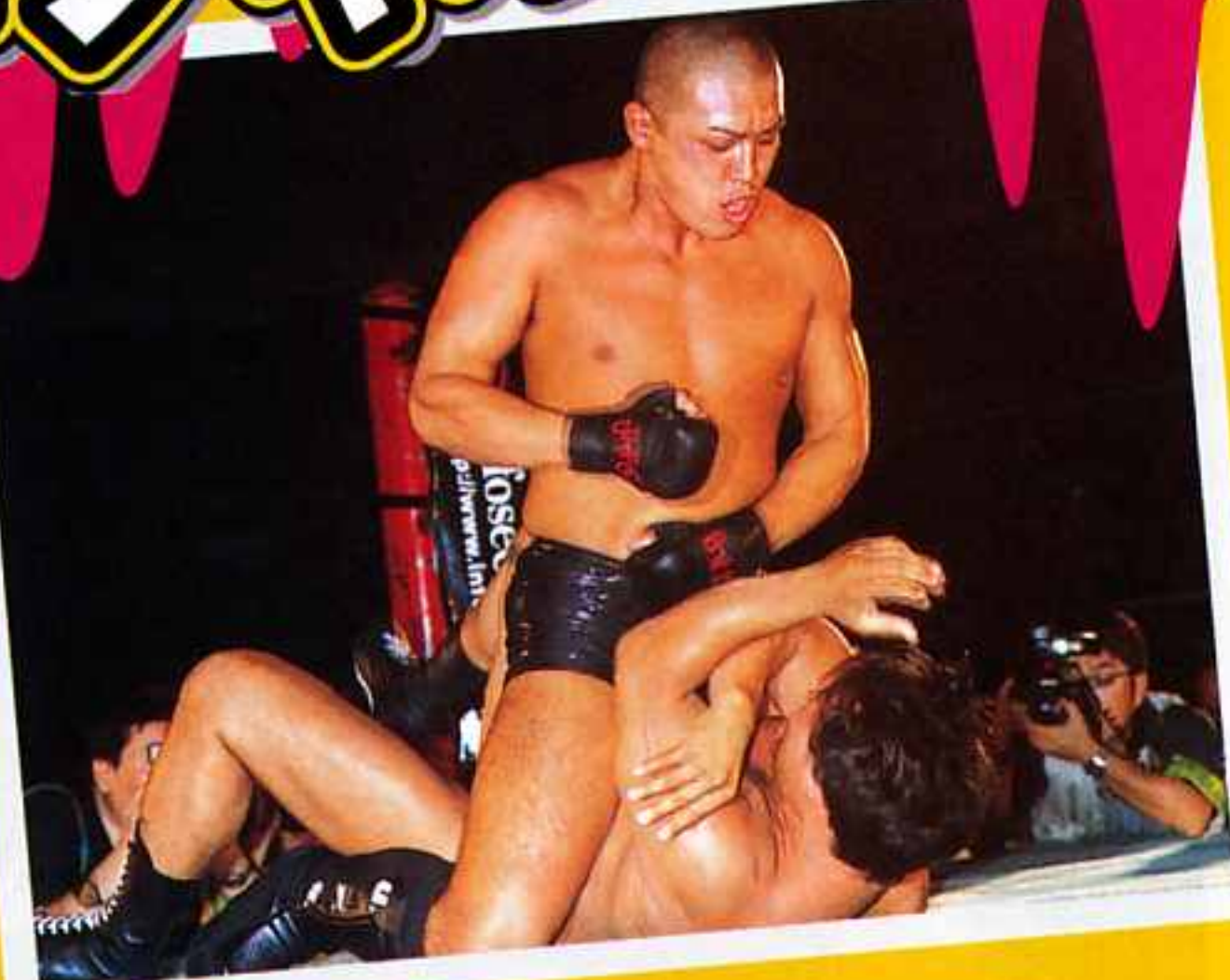
きっと、他の選手とか、オレなんかにはとても理解できないような苦しい闘いをしてきたと思うけど、これからも頑張ってください。あと、メールはちゃんと返事を出しましょう（笑）。

バトラーツ全滅！ さんざんな5周年スペシャル……

▲邪道＆外道のコンプリートプレイヤーズに、いいところを全部持っていかれた臼田＆日高。試合後、日高は「毎試合、俺を潰してくれてもいい！」と発言。よっしゃ、頑張れ！

▲ヘビー級の肉体のぶつかり合い、ラリアットのぶちかまし合い、ブン投げるようなバックドロップ、これぞバトラーツ！　といった感じのバチバチファイトを繰り広げたヨネと田中。しかし、田中のエルボーの前にヨネはダウンし立ち上がれず……

▲B・ルールトーナメントでも抜群のグラウンド技を見せた小野。「タコ絡み」でサスケを苦しめ、王座奪取か？　と、思われたのもつかの間、巧みに切り返されて逆に「タコダマシ」で3カウント負けに

◀その昔、新日本プロレス学校で共に汗を流した高岩とjunji。垂直落下式ブレーンバスター、パワーボム、デスバレーの3連発でjunjiはフラフラ。力の差は歴然だった……

▲石川社長は、村上の左ハイキックで開始早々ダウン。村上の容赦ないマウントパンチを浴び、リング下に落ちたところを邪道に襲われ、再びリング上に戻ったが左ストレートでKOされた。止めに入った島田レフェリーまでもが、村上にビンタされ卒倒！

《全試合結果》

★第1試合
○高岩竜一（2分38秒、腕固め）junji.com●

★第2試合/プロレスルール（30分一本勝負）
○邪道＆外道（14分31秒、片エビ固め）臼田勝美＆日高郁人●

★第3試合（30分一本勝負）
○松井大二郎（5分27秒、TKO勝ち）カール・マレンコ●
※胴絞めスリーパー

★第4試合/NWA世界ミドル級選手権試合（60分一本勝負）
○ザ・グレート・サスケ（10分07秒、タコだまし）小野武志●
※第79第王者が21度目の防衛に成功

★第5試合（30分一本勝負）
○田中将斗（11分19秒、KO勝ち）モハメド ヨネ●

★第6試合（30分一本勝負）
○大谷晋二郎（7分08秒、逆片エビ固め）アレクサンダー大塚●

★第7試合（30分一本勝負）
○村上一成（8分04秒、KO勝ち）石川雄規●

▲「マレンコの顔が、一瞬シウバに見えました」（松井）。「マツイは俺と闘ってる最中、ずっとシウバのことを考えてたそうだね……。そんなのってヒドイよ！　シウバと見間違えるなんて、俺って結構ハンサムなのにさ……」（マレンコの声を代弁）

▲豪快なジャーマンで大谷を投げ飛ばしたアレクだったが、ハイキックをキレイに決められ、ローキックでバランスを崩され、ミサイルキック→ドロップキック→ヒザ十字を食らい、最後には逆エビ固めでフィニッシュ

この日、格闘探偵団バトラーツの5周年記念大会が開催されるということで、探偵に行ってまいりましたッ！　そもそもこのバトラーツという団体は、旗揚げ当初「半年で潰れる」と言われていたらしい。それが、なぜ5周年を迎えることができたのか？　その真相を暴くのが、私の使命なのだッ！

さて、会場に着くなりさっそくパンフを見てみると、「誰がなんと言おうと、俺の情念は枯れん！」（石川雄規）とある。ムム〜ッ！　これは、相当バッシングされた人のセリフに違いないぞッ！　サイドビジネスをネットで叩かれたことなのか？　それとも、村上の悪質なテロ行為で、観客にブーイングを浴びたこと？　「スキャンダルなんて、どうってことねぇよ！」なんて言いつつも、やっぱりバトラーツの5年の道のりは生やさしいものではなかったようだ。

しかも、この記念碑的な大会で、バトラーツ勢は他団体の連中にさんざん荒らし回された挙げ句、誰一人勝利できず……。これはカンペキに何かに呪われている！

特に、アレクが大谷に負けた試合は象徴的。ロス合宿で心身ともに（しゃべくりも）絶好調だった大谷に対し、ヒゲも伸び放題だったアレクはやられっぱなし。試合後にも「彼が他の誰よりもプロレスが好きっていうのがよく分かった」などと、メモを取る手が止まるほど超情けない発言。最近はずっと不振が囁かれているし、どうしっちゃったんだ、アレク！

結局、バトラーツの真相はまだ闇の中だ。もう少し泳がせてみるか（な〜んつってな-！）。（日比）

～旗揚げ5周年記念スペシャルFINAL～

格闘ロード

5.10★駒沢オリンピック公園屋内球技場

破壊王の笑顔はいつだって最高!!

▶大谷のプチ大仁田劇場、邪道＆外道のテロ行為、マレンコの顔が一瞬シウバに、結末はバトラーツそっちのけで乱闘勃発……と、他団体の連中に荒らされまくった５周年興業の中で、唯一、明るい話題だったのが破壊王の登場。破壊王は「プロレス界が今、ホントピンチです！」と挨拶し、石川社長へ花束贈呈

◀試合前、村上はいつもどおりの凄い形相。隣には、フリー宣言で“守ってあげたい”度が上がったと評判の小路晃の姿も。小路は三代目魚武濱田成夫さんの大ファン。だから魚武さんの「俺 OR DIE Tシャツ」もよくお似合いです！

熱いヤツ、集まれ！

プッ！（本誌相撲記者）

▲石川vs村上の試合後、リングに上がった大谷晋二郎が「村上さんよぉ、そろそろ俺ともう１回やってくれてもいいんじゃねぇか？」（大仁田劇場？）と、村上に対戦要求。石川社長は、「どいつもこいつも、人のリングをなんだと思ってんだよ！」と憤りをあらわに。そりゃそーだ！

◀控室へ戻る途中、大谷は大勢のマスコミ＆お客さんに囲まれプチ大仁田劇場を展開。アナウンサーにしつこくからむ！　客にペットボトルを投げ付ける！　自筆の果たし状や陳情書をそこらに貼る！　などの行為はナシでした

▶見事21度目の防衛に成功した、第79代王者のみちのく・サスケ社長を石川社長が祝福。しかし、その後のコメント中に外道に襲撃され、「やられに来たんかぁ！　ヒャーハッハァ！！」と、捨てゼリフまで吐かれた模様

打撃ナシのB・ルールにバトラーツの真骨頂を見た!!

グラウンド技術ではアレク、仮面シューターをも圧倒！石川社長が見事トーナメント優勝！

B・ルール最強決定トーナメント

5.4★TOKYO FMホール

▲そのオモロい仮面とは裏腹に、高度な技の数々とポテンシャルの高さを見せて準優勝となった仮面シュータースーパーライダー。「ありがとうございます……。自分は、いろんな団体を渡り歩いてきましたが……、やっと理想的な仲間に巡り会えました」と仮面の下を涙で濡らし、声を詰まらせた。石川社長の粋なはからいで、晴れてバトラーツ入団が決定！

▲準決勝の石川vsアレク戦。社長のねばっこいグラウンドテクニックに、アレクはなかなか極めきれない。10分過ぎ、２人のスタミナが切れはじめたが、石川は集中力が散漫になったアレクをアームバーで下した。長年の訓練の賜物だ！

◀優勝した石川社長をみんなで囲んで。小野は１回戦のアレク戦で、体格差を感じさせない動きを見せた。日高もjunjiをヒザ十字で秒殺！　バトラーツの新しい魅力が見出され、今後がとても楽しみになるB・ルールトーナメントだった！

《全試合結果》

★第1試合（1回戦）
○仮面シューター スーパーライダー（1分02秒、腕ひしぎ逆十字固め）モハメド ヨネ●
（ブレイク0）　（ブレイク0）

★第2試合（1回戦）
○日高郁人（1分15秒、ヒザ十字固め）junji.com●
（ブレイク0）　（ブレイク0）

★第3試合（1回戦）
○石川雄規（10分00秒時間切れ、判定）臼田勝美●
（ブレイク1）　（ブレイク1）
※ファーストエスケープ

★第4試合（1回戦）
○アレクサンダー大塚（6分52秒、裸絞め）小野武志●
（ブレイク1）　（ブレイク1）

★第5試合（準決勝）
○仮面シューター スーパーライダー（6分06秒、三角絞め）日高郁人●
（ブレイク0）　（ブレイク1）

★第6試合（準決勝）
○石川雄規（11分28秒、アームバー）アレクサンダー大塚●
（ブレイク1）　（ブレイク2）

★第7試合（決勝）
○石川雄規（1分47秒、ピロー式アームロック）仮面シューター スーパーライダー●
（ブレイク0）　（ブレイク0）

B・ルールって何？（概要）

◎勝敗は、ギブアップ、フォール（２カウント）、レフェリーストップ、KO（５カウント）、判定によって決する
◎エスケープは１試合中に双方合わせて５回まで
◎エスケープ後のロープを利用したディフェンスはOK
◎フォールは、ブリッジフォールのみ
◎反則：全ての打撃攻撃、ロープを直接利用しての攻撃、エスケープ・ダウンした相手への攻撃、その他道徳的に反する行為
◎反則を犯した場合は、3度の注意で反則負け
◎試合時間は15分１本勝負（トーナメントは別）

MIXED MARTIAL ARTS

M・M・A TOPICS

近藤有己、三たびオクタゴンへ！ ティトへのリベンジに向けUFCと3試合契約

パンクラスの近藤有己が、6月29日（金）、米・ニュージャージー州のコンチネンタル・エアライン・アリーナで開催される『UFC32』に出場することになった。対戦相手はウラジミール・マティシェンコ。ベラルーシ出身で現在はrAwチーム所属、98年の『バリ・ジャパ』で川口健次に勝っている選手だ。今回、近藤は大会を主催するズッファ社の要請を受けて3試合契約。これをきっかけに、昨年12月に惨敗を喫したティト・オーティズへのリベンジの第一歩としたいところだ。また、今大会ではそのティトがエルヴィス・シノシックとライトヘビー級タイトルマッチを行い、宇野薫VSファビアノ・イハの一戦も予定されている。

▶左端が、今回の出場契約を担当したフィリス・リー女史（パンクラスUSA顧問）

◀5月12日、パンクラス東京道場で行われた記者会見にて。3試合出場の契約書にサインする近藤。「また自分の好きなアメリカに行って、アメリカの人たちの前で試合ができて嬉しいです。この試合が、ティト選手ともう一回試合をするためのステップになればと思います。その布石を、まず打ちたいと思います」と語った

菊田早苗が不敵な予言「6月、グラバカに何かが起こる！」

5月19日（土）、パンクラス東京道場で行われたアブダビ・コンバットのクローズド・サーキット（ビデオ上映イベント）で、菊田早苗が注目発言！　まずはイベント内で「早くベルトを取って、他団体に打って出たい」と宣言。記者陣との会話の中では「リング外でもいろいろ仕掛けていきます。6月には発表できるでしょう。グラバカはこのままじゃ終わりませんよぉ」とニヤリ。いったい何が起こるのか？　チンケな話題じゃ許さんぞ！

▲イベントの模様。ビデオ上映の合間に、丁寧な技術解説をしていた

異色タッグ戦＆豪華メンバー。6・10『コンテンダーズ』を見ないでどうする!?

（和術慧舟會東京本部）宇野薫　高瀬大樹

VS

鈴木みのる　伊藤崇文（パンクラス・横浜）

- 山本"KID"徳郁（PUREBRED大宮）
- 小室宏二（RJJ）
- 若林次郎（スポーツ会館）
- 阿部裕幸（RJW/Central）
- 戸井田カツヤ（和術慧舟會東京本部）
- 矢野卓見（烏合会）
- 五木田勝（木口ワークアウトスタジオ）
- バレット・ヨシダ（グラップリング・アンリミテッド）

※その他の対戦カードは、P46～の『大会ガイド＆チケット情報』に掲載

毎回、趣向を凝らした演出と意表をついた対戦で楽しませてくれる『コンテンダーズ』だが、今回は宇野＆高瀬の慧舟會コンビと、鈴木＆伊藤のパンクラス師弟タッグの激突という仰天カードが発表された。この4人、誰と誰が絡んでも新鮮味バツグン！　鈴木のスリーパーを"宇野逃げ"なんて場面が見られるのか!?　また、バレット、ヤノタクらの豪華メンバー勢ぞろいのトーナメントもあり。その他のワンマッチも、『コンテンダーズ』ならではの注目カードが並んでいる。

掣圏道、7・8横アリでビッグマッチ！ 初代タイガーの相手は、マ、マスカラス!?

5月17日（木）、六本木のボディプラントで掣圏道の記者会見が行われ、佐山聡代表から今後の予定が発表された。6月1日（金）のビッグパレット福島大会では、掣圏道の若きエース・桜木裕司が『プライド10』でマーク・ケアーと対戦したボリソフ・イゴリに挑戦することが決定。そして7月8日（日）に横浜アリーナで大会を開催。初代タイガーマスクが引退カウントダウン第2弾でミル・マスカラスと対戦することもあわせて発表された。

緊急決定！ 修斗離脱発言で話題となった郷野聡寛が、パンクラス6・26後楽園大会に緊急参戦することになった。対戦相手は、横浜道場の渡辺大介。「やっぱり仲間（グラバカ勢）のいるパンクラスか……」という感じもするが、注目したいのは"TEAM GRABAKA"つまりパンクラス所属ではなく、フリー参戦という点。これは郷野の希望らしい。郷野、そしてグラバカの動向に関しては、まだまだ大きな動きがありそうだ。

番組インフォメーション

6/1、6/8の見どころ

SRS SPECIAL RING SIDE

情報提供◎『SRS』アシスタントプロデューサー・金井由紀子

地域によっては放送日時が異なります。また、この番組インフォメーションは5月18日現在のものです。
都合により内容が変更になることもございますのでご了承ください。

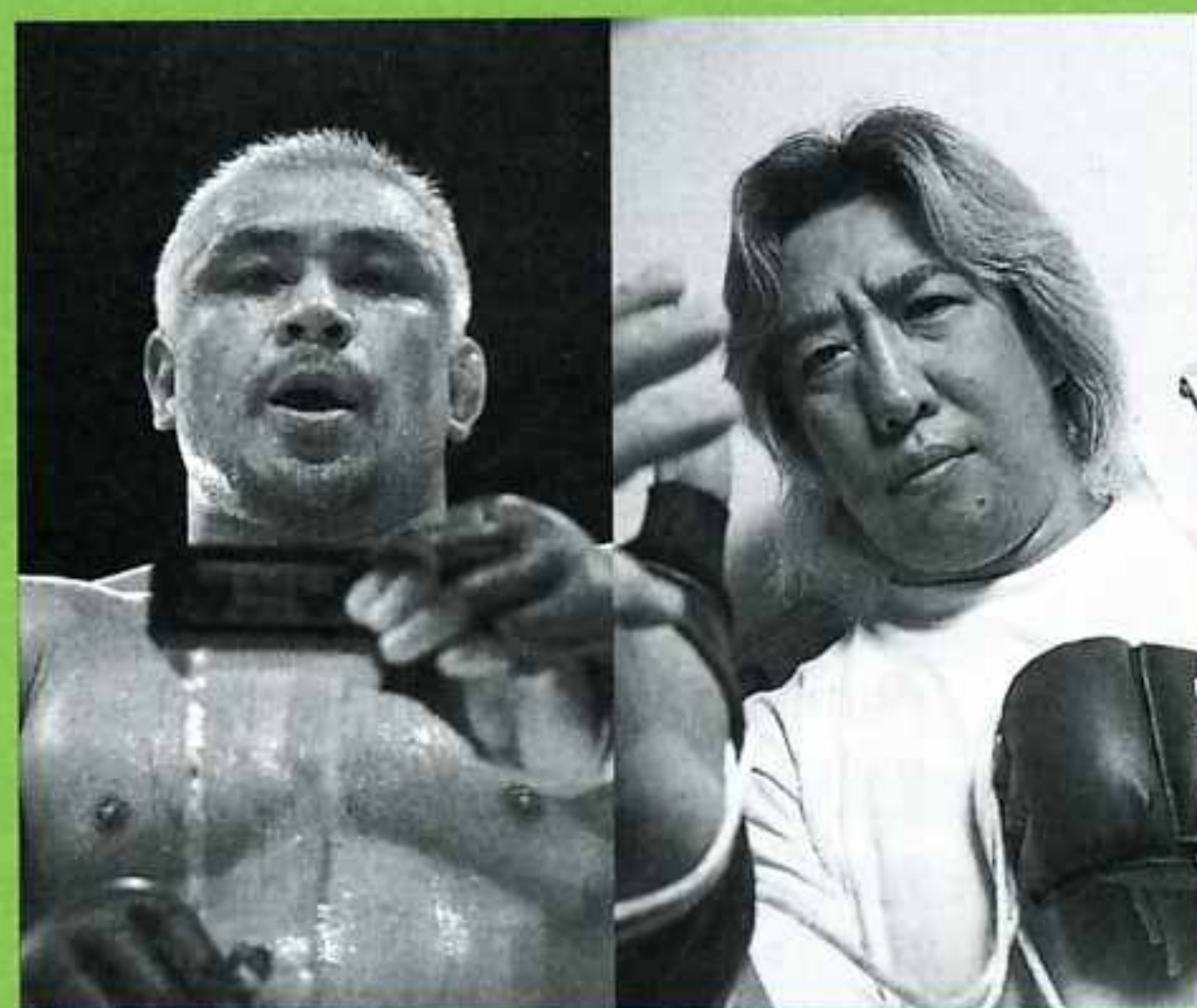
『SRS』は金曜日深夜26時15分～26時45分（時間は変更することがあります） フジテレビ系で絶賛放映中。

6/1

『プライド14』をいち早くお届け！

5・27『プライド14』速報！

6月1日（金）26:15～26:45

みなさん、『プライド14』はいかがでしたか？ SRSでは当日、会場に行けなかった人のために、『プライド14』の結果をいち早くお届けします。今大会のメインで行われた、藤田和之と高山善廣のリアル版“キングコングVSキングギドラ”の試合や、『プライド13』で桜庭和志を倒し、一躍名を上げたヴァンダレイ・シウバと日本人期待の新鋭・大山峻護の試合などその他好カード目白押しだった『プライド14』を徹底的にレポートします。大山は最近、『キング・オブ・ザ・ケイジ』に参戦している選手。日本でのVTデビュー戦ということで、SRSでも大注目していますよ。会場で見た人も、見られなかった人も、SRSの『プライド14』速報を楽しみにしていてくださいね。

▲この対決の迫力を映像でも堪能してください

6/8

いよいよ世界ウェイト制大会、数見は復活なるか！？

6・9～6・10『極真世界ウェイト制大会』直前特集

6月8日（金）26:15～26:45

6月9日（土）と6月10日（日）の2日間にわたって開催される、極真の世界ウェイト制大会を直前レポート！ この世界ウェイト制大会では、久しぶりに復活してくる数見肇や、昨年の全日本の優勝者である木山仁など、極真のトップ選手たちが日本の空手の誇りを守るために、世界の強豪たちを迎え撃ちます。SRSでは、数見や木山などの選手たちの近況を直撃取材！ その大会に挑む意気込みや現在の心境などを、インタビューしてまいります。この放送を見たら、大阪以外の地域の人も見に行きたくなるのでは？ それではお楽しみに！

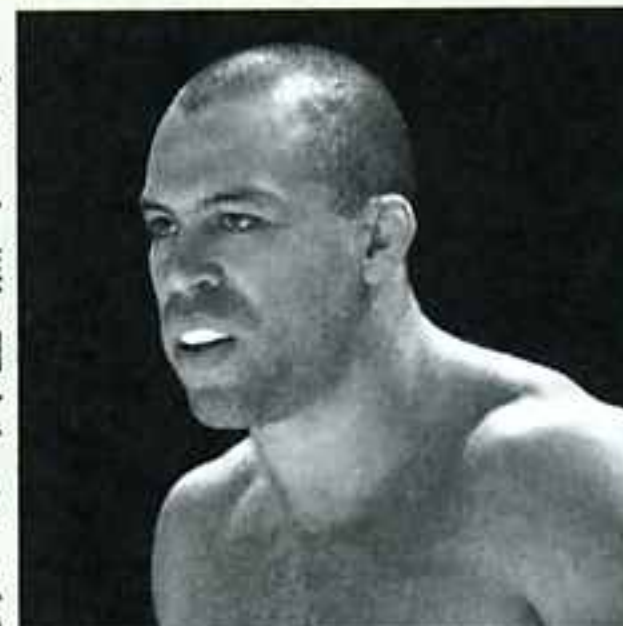
▶大会直前の数見をしっかりチェックしてね

フジテレビ系列の番組から

5・27『プライド14』中継

フジテレビ 6月2日（土）13:00～14:30
東海テレビ 6月9日（土）12:35～13:50

5月27日（日）に行われた、『プライド14』をフジテレビでは6月2日（土）に、そして東海テレビでは6月9日（土）に放送いたします。メインの藤田VS高山や、リングスから戦場を移してきたヴァレンタイン・オーフレイムと、それを迎え撃つゲーリー・グッドリッジの試合、桜庭和志を破ったシウバと大山峻護の試合、そしてイゴール・ボブチャンチンVSギルバート・アイブルなど目玉カード盛りだくさんでお届け。絶対に見逃さないでね！

▶やはり、誰が相手でもシウバのファイトは見ものだ

SRSホームページのアドレスはこちら
http://www.fujitv.co.jp/

SRSホームページでは、詳しい放送日程や最新・格闘技情報、『ロケ現場潜入日記』など内容満載です。また、人気コーナー『SRS FIGHT CLUB』では皆さんからの原稿を募集中です。あなたが書いたエッセイや観戦記、その他マニア情報、プチ情報などで作るコーナーです。あなたの熱い魂の叫びを書いて、どしどしお寄せくださ～い。それから、はせキョーのページもあるのでこちらも必見！

TV

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
5/31（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	9:00～10:30	99.5.27、修斗の北沢タウンホール大会を再放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	10:30～12:00	99.5.14、MA日本キック連盟の後楽園ホール大会を再放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19:00～21:00 23:00～25:00	5.20後楽園ホールで開催のMA日本キック連盟『最強を求めて 世界制覇』大会の模様を放送
	スカイパーフェクTV!	『ReMix GOLDEN GATE 2001』	19:30～	5.3に開催された『ReMix GOLDEN GATE2001』をパーフェクトチョイスのCh111でPPV放送。視聴料は1,500円
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	21:00～22:00 26:00～27:00	『欧州キックボクシング・クラシック』（98.11.14/オランダ）から3試合を放送
	スカイ・A	パンクラスハイブリッドアワー	22:00～24:00	3.31なみはやドーム大会
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22:00～23:00 25:00～26:00	さまざまな格闘技の最新情報を紹介する番組。毎回格闘家のゲストも登場し、ファイターの等身大の魅力に迫る
	Jスカイスポーツ3	ワールドファイティング	24:00～26:00	◯Pick Up1
	GAORA	週刊格闘JAM！	25:10～25:20	毎回、K-1、PRIDEなどから活躍が期待される選手など、格闘技界の旬な話題をピックアップ。選手個人の特集など格闘技界の様々な話題を取り上げる 再放送6/5・12：20～、6/8・12：20～
	GAORA	角田信朗の格闘魂	25:30～26:00	正道会館の角田信朗がパーソナリティーを務める、ラジオとのメディアミックス企画番組。自ら格闘魂を語り毎回格闘家のゲストも迎える 再放送6/3・17：30～
6/1（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	7:00～8:00 12:00～13:00 18:00～19:00	5/31を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	11:00～12:00	これまで放送分の『ワールドコンバットファイト』からの再放送シリーズ。『フリーファイトイベント8』（99/オランダ・ユトレヒト）から5試合
	GAORA	全日本キックボクシング	12:30～14:30	4.6後楽園ホール大会
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	13:00～14:00	5/31と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	14:00～16:00	5/31 19：00～と同内容
	GAORA	K-2カラテエクストリーム・スペシャル	24:00～26:00	第12回全日本新空手道選手権大会 5.5に東京武道館で開催された同大会の模様を放送。再放送6/4・20：00～、6/8・29：00～
	日本テレビ	プロレス・ノア中継	25:55～26:25	5.25横浜文化体育館大会を放送
	フジテレビ	SRS	26:15～26:45	◯P69
6/2（土）	BS朝日	パンクラスハイブリッドアワー	14:00～16:00	PANCRASE 2000 TRANS TOUR 6.26 後楽園ホール大会
	GAORA	全日本キックボクシング	22:00～24:00	5.17後楽園ホール大会 再放送6/8・24：00～、6/9・29：00～
	Jスカイスポーツ2	ワールドファイティング	26:00～28:00	5/31のJスカイスポーツ3と同内容
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	26:05～27:05	6.1高松大会を放送
6/3（日）	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	8:00～9:00	5/31と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	9:00～10:00	5/31を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	10:00～12:00	5/31 19：00～と同内容
	BS朝日	ワールドプロレスリング完全版	15:00～17:25	5.18後楽園ホール大会
6/4（月）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	4:00～5:00 16:00～17:00	6/1を参照。『ユーロキックボクシング・クラシック』（91.4.21/オランダ）から4試合。同内容放送6/8・11：00～、6/12・16：00～
	TBSテレビ	ワンダフル	23:50～24:50	『格闘新世紀』、デスマッチ特集
6/5（火）	日本テレビ	超K-1宣言	26:47～27:17	◯Pick Up2
	スカイ・A	パンクラスハイブリッドアワー	15:30～17:30	3.31なみはやドーム大会
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	16:00～17:00	6/1を参照。『フリーファイトイベント8』（99/オランダ）から5試合。同内容放送6/11・4：00～、6/13・16：00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19:00～21:00 23:00～25:00	格闘探偵団バトラーツ『バトラーツ旗揚5周年記念スペシャル・1』 同内容放送6/6・14：00～、6/10・15：00～
6/6（水）	東海テレビ	PRIDE王	24:40～25:10	第3回『プレ・プライド』に出場する高田道場の練習生を紹介。佐藤江利子がグレートアントニオを紹介予定
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	16:00～17:00	『USWF5』（97.6.20/テキサス）を放送。同内容放送6/14・16：00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19:00～21:00 23:00～25:00	格闘探偵団バトラーツ『バトラーツ旗揚5周年記念スペシャル・2』 同内容放送6/7・14：00～、6/10・17：00～
	フジテレビ	すぽると	23:50～24:30	極真ウェイト制世界大会直前企画。キャスターは角田信朗
6/7（木）	テレビ東京	Gパラ コロシアム	23:55～24:35	八景島シーパラダイスでロケ
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	10:30～12:00	99.5.30に開催の新日本キック協会の後楽園ホール大会を再放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	16:00～17:00	『ミックスファイトinロシア』（99年/ロシア）を放送。無差別級トーナメント他
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19:00～21:00 23:00～25:00	北沢タウンホールで開催された修斗『SHOOT GIG EAST Vol.1』（4.28）と『SHOOT GIG EAST Vol.2』（5.22）を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	21:00～22:00 26:00～27:00	『USWF13 パート1』（99.3.20）からトーナメント戦ほか8試合を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22:00～23:00 25:00～26:00	5/31を参照
	スカイ・A	パンクラスハイブリッドアワー	22:00～24:00	5.13後楽園ホール大会 同内容放送6/10・17：00～
	Jスカイスポーツ3	ワールドファイティング	24:00～26:00	『グラントロフィー2001 パート2』。4.21にフランスで開催された同大会の模様を放送。解説は桜井"マッハ"速人 同内容放送6/10・26：30～
6/8（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	7:00～8:00 12:00～13:00 18:00～19:00	5/31を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	13:00～14:00	6/7と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	14:00～16:00	6/7 19：00～と同内容
	日本テレビ	プロレス・ノア中継	25:55～26:25	『Navigation with Breeze』シリーズ総集編。三沢のアメリカ報告
	フジテレビ	SRS	26:15～26:45	◯P69

ON THE AIR 5/31～6/14

格闘技番組ガイド　TV&RADIO

Pick Up 1 『ワールドファイティング』

Jスカイスポーツ3
5月31日（木）/24:00～26:00

4月21日にフランスで開催された『グラン・トロフィー2001』のパート1を放送。『グラン・トロフィー』とはフランスで行われている総合格闘技で、日本の桜井"マッハ"速人は、この大会で絶大な人気を誇っている。他にも日本人選手が出場したこの大会を、マッハの解説で楽しもう！

Pick Up 2 『超K-1宣言』

日本テレビ
6月4日（月）/26:47～27:17

いよいよ、6月24日に仙台で開幕するK-1ジャパンGP。超K-1宣言では、グランプリに出場するジャパン戦士たちを2週にわたって紹介する予定である。武蔵をはじめとする選手たちのグランプリに対する意気込みなどをインタビューするので、この番組を見て、選手の予備知識を頭に入れてから会場に行こう！

Pick Up 3 『PRIDE侍』

FIGHTING TV SAMURAI!
6月10日（日）/19:00～21:00　ほか

5月から始まった、サムライTVの新番組。毎月1回、第2日曜日に放送し、『プライド』の情報を扱っていく。司会はワールドプロレスリングでおなじみの辻よしなりで、今回は5月27日に行われた『プライド14』を徹底分析する。ゲストには高田道場の桜庭和志が出演する予定。第2日曜日は『プライド侍』の日と覚えておこう！

TV（右ページから続く）

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
6/9（土）	BS朝日	パンクラスハイブリッドアワー	14:00～16:00	PANCRASE 2000 TRANS TOUR 7.23　DAY TIME 後楽園ホール大会
	GAORA	週刊格闘JAM！	25:10～25:20	5/31を参照　再放送6/12・12：20～
	Jスカイスポーツ2	ワールドファイティング	25:30～27:25	6/7のJスカイスポーツ3と同内容
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	26:35～27:35	6.4大阪府立体育館大会を放送
6/10（日）	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	8:00～9:00	6/7と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	9:00～10:00	5/31を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	10:00～12:00	6/7　19：00～と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE侍	19:00～21:00	➲Pick Up3
	BS朝日	ワールドプロレスリング完全版	15:00～17:25	5.25ビッグパレット郡山大会
	Jスカイスポーツ3	ワールドファイティング	26:30～28:30	6/7と同内容
6/11（月）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	10:00～12:00	2000.12.3に開催の格闘探偵団バトラーツ『タックバトル2000総集編』を再放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE侍	14:00～16:00	6/10と同内容
	GAORA	角田信朗の格闘魂	16:00～16:30	5/31を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	16:00～17:00	『USWF5』パート2（97.6.20）から7試合を放送。
	TBSテレビ	ワンダフル	23:50～24:50	『格闘新世紀』、ねるとん。格闘家VSワンギャル
	日本テレビ	超K-1宣言	25:45～26:15	6/4と同内容
	Jスカイスポーツ2	ワールドファイティング	27:00～29:00	6/7のJスカイスポーツ3と同内容
6/12（火）	東海テレビ	PRIDE王	24:40～25:10	『プライド14』ダイジェスト。周防令子が桜庭VSホイスを紹介
6/13（水）	スカイ・A	パンクラスハイブリッドアワー	22:00～24:00	船木ストーリー5　同内容放送6/14・19：45～21：55
	フジテレビ	すぽると	23:50～24:30	K-1メルボルン大会直前企画。キャスターは角田信朗
	テレビ東京	Gパラ　コロシアム	23:55～24:35	6/6と同内容
6/14（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	9:00～10:30	99.6.1にハワイ・ブレイズデールアリーナで開催された『スーパーブロウル12』を再放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	10:30～12:00	エクストリームスポーツプロダクション『スーパーブロウル13』を再放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19:00～21:00 23:00～25:00	5.25に後楽園ホールで開催のニュージャパンキック連盟『CHALLENGE TO MUAYTHAI -6』を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	21:00～22:00 26:00～27:00	『キルギスアブソリュート』（98.12.1/キルギス共和国）からトーナメント戦14試合を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22:00～23:00 25:00～26:00	5/31を参照
	GAORA	週刊格闘JAM！	25:10～25:20	5/31を参照
	GAORA	角田信朗の格闘魂	25:30～26:00	5/31を参照

※BS、CS放送は加入しないと視聴できません。加入のお申し込みに関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

■スカイパーフェクTV！
☎0570-039-888　☎03-5802-5550
（10：00～20：00）

■スポーツ・アイ-ESPN
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5474-3344
（月～金10：00～18：00）

■GAORA
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5280-1104／☎06-6374-0002
（月～金10：00～18：00）

■FIGHTING TV SAMURAI！
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5351-4055
（16：00～21：00）

■フジテレビ721＆739
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5500-8888
（10：00～18：00　土日祝除く）

■J SKY SPORTS
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5500-3488
（9:30～18：00）

■WOWOW
☎0570-008-080
（9：00～20：00）

■スカイ・A
〔スカイパーフェクTV！〕
☎06-6452-1161
（月～金10：00～18：00）

BOOK
話題の本&新刊情報

〈新刊紹介〉 It's HOT!

『ブルース・リー　ジークンドー公式マニュアル』
中村頼永/びいぶる社
本体価格　2,500円

ブルース・リーマニアも、そうでない人も必読！

今年で、生誕60周年となるブルース・リーが創始した格闘技、ジークンドーの公式マニュアル本だ。ブルース・リーが亡くなってから、およそ30年が経とうとしているのに、その人気は、衰えるどころかますます加熱していきそうな様相を呈している。この本は、ジークンドーの公式マニュアルなので、その技術論が写真付きで紹介されている。これを見ると、今総合格闘技がブームであるが、その何10年も前に現在のバーリ・トゥードのようなものを行っていたのは驚異的だ。もちろん、映画に出演した時やプライベートの写真も掲載と最近ファンになった人でも、充分楽しめるぞ。まだ、ブルース・リーの映画を見たことのない格闘技ファンにも、ぜひともおすすめしたい1冊である。

〈おすすめの一冊〉 It's HOT!

『Jスポーツシリーズ10　空手』
松井章圭監修　数見肇/旺文社
本体価格　1,100円

数見肇が教える極真空手の入門書

極真のエース・数見肇が教える空手の教本の登場だ。この本は、小・中学生向けに作られており、初心者の入門編としては、ピッタリの内容。型などを自ら実演してみせた写真がとっても分かりやすく使われていたり、疑問の出た箇所をQ&Aコーナーでは丁寧に解説してみせるなど、初心者のサブテキストには最適だ。また、本の巻頭では、極真の歴史の紹介やトップ選手の紹介、そして巻末では、極真の道場訓や基礎知識など、極真に入門していない人でも、興味が出てくるのは間違いないぞ。この本を読んで、6月9日・10日の世界ウェイト制大会に出場する数見を応援しよう！

〈注目の一冊〉 Recommend

『極真カラテ総鑑』
国際空手道連盟　極真会館事務局
本体価格　3,810円

極真の歴史の重みが、ずしりと伝わってくる『極真カラテ総鑑』

極真の門下生やファンならば、必ず1冊は持っておきたいのが、この『極真カラテ総鑑』である。1951年から2000年までの極真の歩みを年表にまとめたのをはじめとして、松井館長と、柏レイソルの西野朗監督、女優天海祐希との対談2番勝負や、1997年から2000年までの公式大会の記録、現役のトップ選手たちの紹介文、リングスの前田日明やワールド大山カラテの大山茂、長嶋一茂など極真に思い入れを持っている人たちからのメッセージなど、数え上げればきりがないが、読みごたえ充分の内容がぎっしり。ちなみに、各格闘技雑誌の編集長座談会が掲載されており、本誌のサダハルンバ編集長も参加しているので、こちらも必読。

PRESENT!

今回のこのコーナーで紹介した『極真カラテ総鑑』を抽選で本誌読者1名様にプレゼントするぞ。希望者はハガキに住所、氏名、年齢、職業、電話番号、今号の感想を明記した上、下記のあて先までご応募を、締め切りは6月14日（木）の消印有効。

◆あて先/〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12　神田NSビル8F
SRS・DX編集部 BOOKS『極真カラテ総鑑』係

BOOK RANKING（5/1～5/14調べ）

1. 『ケロのいきなりヒーロー伝説』
田中秀和/三一書房
本体価格　1,238円
2. 『発勁力』
藤松英一/愛隆堂
本体価格　1,500円
3. 『板垣恵介の激闘達人列伝』
板垣恵介/徳間書店
本体価格　1,400円
4. 『ブルース・リー ジークンドー公式マニュアル』
中村頼永/びいぶる社
本体価格　2,500円
5. 『達人・麻生秀孝のサブミッション護身術』
麻生秀孝/大泉書店
本体価格　1,300円

5位 『達人・麻生秀孝のサブミッション護身術』
麻生秀孝/大泉書店
本体価格　1,300円

関節技の達人であり、サブミッション・アーツ・レスリング（SAW）の代表師範の麻生秀孝先生が得意のサブミッションを利用した護身術を紹介。基本となるベーシックなテクニックから、実戦で有効なセルフディフェンステクニックまでを写真入りで解説してくれる。トレーニング方法ものっているので、これ1冊読めば外へ出ても恐いものなしである。

書泉ブックタワー
東京都千代田区神田佐久間町1-11-1
☎03-5296-0051（代）

▲プロレス・格闘技の本を探すならここ、『書泉ブックタワー』！　本誌のバックナンバーも常備しているので、探している本があったら秋葉原の書泉へGO！

書泉ブックタワー
後藤　実副主任

「依然として書籍は不調です。新刊の点数も少なく、売れるモノの顔ぶれ、ペースともに先月とほとんど変わらない印象です。内容のいいモノが単発で売れているといった感じです」

※表示価格は全て税別価格

GOODS
最新&売れスジグッズをご紹介！

＜新作紹介＞ It's HOT!

『臨戦態勢 #2』
U.F.O/4,000円（税別）

BACK
FRONT

いつ何時でも臨戦態勢のTシャツ！

新日本プロレス、『ＺＥＲＯ－ＯＮＥ』、バトラーツと各団体を襲撃している“平成のテロリスト”村上一成の『臨戦態勢Tシャツ』第2弾が登場だ。ドクロのデザインは相変わらず健在。このTシャツを着て、臨戦態勢で街に繰り出そう！

＜おすすめグッズ＞ Recommend

『ROAD TO INOKI #01 HOMELESS』
KINGS/4,200円（税別）

猪木Tシャツ新シリーズ第一弾はホームレス！

2月18日、新日本プロレスのリングに突如として現れた闘魂ホームレス。そのホームレスのTシャツが早くも登場した。これは猪木レジェンドシリーズに続く、新しいシリーズの第1弾。哀愁をおびた闘魂ホームレスの姿がぼんやりとかっこいいかも。

ワールドスポーツプラザKINGS渋谷本店
藤原貴史店長

「格闘技ファンの皆様、元気ですかー！？　じめじめした日が続きますが梅雨が明ければTシャツシーズンの到来です。KINGSのTシャツでみんなに差を付け、後悔なく、爽快な夏を迎えましょう！　ご来店お待ちしております」

ワールドスポーツプラザKINGS渋谷本店
東京都渋谷区神南1-9-5 ワールドスポーツプラザWEST 1F（渋谷消防署前）
☎03-3462-1001
通信販売受付☎03-3462-7775
営業時間/11:00～20:00　通信販売受付/11:00～19:00

GOODS RANKING（5/10～5/24調べ）

1. CLUB LOVELY（ホワイト）
   WKネットワーク/3,500円
2. 桜庭version5
   高田道場/3,800円
3. 春一番フィギュア（茶パンツ）KINGS限定version
   キャラクタープロダクト/1,500円
4. K-1サポーターTシャツ
   KINGS/5,800円
5. 大和魂・波Tシャツ
   イーフォース/4,000円

1位

『CLUB LOVELY（ホワイト）』
人気のコンテンダーズTシャツ、またまた登場！

FRONT
BACK

コンテンダーズと、そのDJを務めるDJ SAWAのユニット、『CLUB LOVELY』との合体Tシャツ。おなじみのサタンヘッドが、“LOVELY”の“O”の文字になったオシャレな一品だ。

Et cetra

ターザン山本の『一揆塾』開講！

ターザン山本氏が、プロレス・格闘技ライターを養成する講座を開講することになった。第一期生は40名限定で募集。優秀な塾生は在塾中からライターとして活躍するチャンスもあるとのこと。ターザン氏のような狂気溢れるライターめざしてチャレンジですよォォォ！
◆期間/6月7日（木）～9月27日（木）　全15回
◆時間/19:00～21:00
◆参加費/月額15,000円×4カ月分（60,000円）
◆お問い合わせ/ロックウェスト　☎03-5459-7988

ボディプラント杯格闘技アマ大会開催

ボディプラントが格闘技初心者のためのアマチュア格闘技大会を開催するぞ。優勝賞品も豪華で、プロテイン1カ月分とハワイ旅行の"パンフレット"がプレゼントされるとのこと。格闘技歴1年未満の初心者を対象として行われるので、気軽に出場してみよう。
◆開催日/6月30日（土）　14:00～16:30
◆場所/ボディプラント六本木　3F道場
◆参加資格/18歳以上　格闘技歴1年未満の初心者
◆参加費/1000円　◆保険加入料/300円
◆お問い合わせ/ボディプラント　☎03-5772-2791

映画『ガールファイト』トークイベントに女子プロボクサー・ライカがゲスト出演

5月12日より全国松竹系で公開されている映画『ガールファイト』。この公開に先立って行われたトーク＆ファッションショーに、女子プロボクサーとして活躍中のライカがゲスト出演した。このイベントは5月7日に渋谷のTSUTAYA・QフロントEスタイルで行われ、ライカはファッションデザイナーの桂由美、狂言師の和泉純子、タレントの小田茜らと映画やボクシングについて、トークを繰り広げた。「もし恋人と闘うことになったら？」という質問に、ライカは「リングの上では相手をぶっ倒すことしか考えてないので、やられる前にやります！」と断言し、場内を大いに沸かせた。また、『ガールファイト』をイメージしたファッションショーでは審査員の大役を務めた。

▶ライカはイベント後「初めての経験なので、勉強になりました」と語っていた

正道会館、空手同好会＆新教室オープン！

正道会館が4月から新しい2つの道場をオープンした。一つは愛知県の津島同好会、そしてもう一つは大阪の藤井寺教室。津島同好会のほうは、葉苅教室と陽だまりの里教室の2つの練習場所がある。近くの人は、まずは見学に行ってみよう。
〈愛知県　津島同好会〉
◆練習場所/【葉苅教室】　愛知県津島市葉苅町字綿掛78葉苅スポーツの家（名鉄電車　津島線青塚駅から徒歩15分）
【陽だまりの里教室】愛知県津島市下切町字見袮ツ11番地ケアハウス陽だまりの里（名鉄バス下切バス停から徒歩5分）
◆練習時間/【葉苅教室】　月曜日　少年部　17:30～18:30　一般部　19:15～20:45
【陽だまりの里教室】　水曜日　少年部　17:30～18:30　一般部　19:30～21:00
◆会費/入会金　6,000円　月会費　少年部　4,000円（4歳から）　学生　5,000円（中学・高校生）　一般　6,000円（専門・大学生含む）
◆お問い合わせ/責任者　佐野桂一郎　☎090-3258-5448

〈大阪府　藤井寺教室〉
◆練習場所/大阪府藤井寺市大井1-426　藤井寺市立市民総合体育館（近鉄南大阪線　土師ノ里駅下車徒歩10分）
◆練習時間/毎週　月曜日、木曜日　18:00～19:00
◆会費/入会金　5,000円　月会費　6,000円
◆お問い合わせ/正道会館総本部　責任者　演上壮一　☎06-6357-1654

エンセン井上がラケットボール『ジャパンオープン』に出場！

エンセン井上が久々にラケットボールの大会に出場した。今回エンセンが参加した『ジャパンオープン』は国内最大級の大会で、過去エンセンは92年から95年までこの大会で優勝している。今回も久々の参加にもかかわらず、スーパーショットの連続で勝ち上がっていった。4回戦は外せない仕事があったために、キャンセルしてしまったが今後もラケットボールの大会には参加していく予定だ。

▲久々のラケットボールの試合で、格闘技の試合と同じように大和魂全開のエンセン

めざせ、ハイブリッド社員！パンクラス社員募集

パンクラスが新入社員の募集をしているぞ。職種は、営業、宣伝、広報等のフロント業務にかかわる仕事だ。パンクラシストとともに働けるチャンス！　早速応募してみよう！
◆勤務地/東京都港区南麻布4-2-25
◆仕事内容/営業、宣伝、広報等のフロント業務
◆採用人員/若干名
◆勤務時間/11:00～20:00
◆休日/土曜日、日曜日、祝祭日（但し興行、イベント等により出勤の場合あり）
◆給与/当社規定による
◆待遇/社会保険等完備。交通費支給
◆条件/1.年齢、性別不問　2.即入社可の方　3.職種問わず過去2年以上社会人経験のある方　4.Word、Excelを使いこなせる方　5.普通自動車免許を取得し運転経験のある方
◆応募方法/履歴書、職務経歴書（書式自由）、原稿用紙800字以内の自己PRを同封し6月8日（金）までに必着で下記へ郵送。書類選考合格の方には6月16日（土）までに通知
◆お問い合わせ/〒106-0047　東京都港区南麻布4-2-25（株）ワールドパンクラスクリエイト「社員募集」係

星座別 タロット占い

5/31 Thu. ～ 6/13 Wed.

宇月田麻裕
mahiro utsukita

プロフィール　ヒューマンディレクターとして、ハッピネスファクトリーを主宰。独自の占術「北斗占い」を中心に、タロットをはじめ西洋、東洋の占いをオールマイティに使う。現在、TBS「ワンダフル」月曜レギュラー出演をはじめ、雑誌、映像などで活躍中。URL http://www.happiness-f.com/

牡羊座 3/21～4/20

全体運　金運アップ！　日頃から切り詰めている努力の甲斐あって、貯金が増えていくことに喜びを感じそう。「趣味＝貯蓄」となる人も。トレーニングも順調で、試合を控えている人は仕上がり上々！　あとは運と実力次第……。恋愛は波乱の幕開け。浮気がバレたり、複数恋愛が一気に危機に陥り、独りぼっちになりそうな展開に。言動は慎重に！

勝負運　実力さえ伴えば怖いモノなし。破竹の勢い。

健康運　環境にストレスを感じたらリフレッシュ！

金　運　好調！　株などで一儲けできる人もいそう。

ラッキーアイテム：**シルバーアクセサリー**

ラッキーカラー：**シルバー**

牡牛座 4/21～5/21

全体運　やる気満々！　仕事、恋愛、もちろんトレーニングにも精が出そう。新規開拓に胸が躍り、今まで足を踏み入れたことがないようなカテゴリに、果敢にチャレンジしたくなるとき。失敗を恐れず前向きにやるとグッド。恋愛は精力ビンビン！　新しい恋に向けてダッシュ！　何がなんでもゲットする！　という強い意志と押しで圧勝！

勝負運　チャンス！　意欲が実力をアップしてくれそう。

健康運　勢い余って骨折や捻挫なんてことに……。注意して。

金　運　スポーツ観戦先での賭けにラッキーあり。

ラッキーアイテム：**サポーター**

ラッキーカラー：**ピンク**

双子座 5/22～6/21

全体運　ギャンブルで儲けたり、念願の恋人ができたり、嬉しいことが続きそう。でも、あまり人に言わないほうが賢明。妬まれてイヤな噂を流されたり、たかられたりしそう。恋愛は、フリーの人に恋人ができるチャンス到来。嫌いなタイプじゃなければ、とりあえずゲットして！　カップルは、深夜のアウトドアが盛り上がるとき。

勝負運　勝負強さがあるので、粘っていってOK。

健康運　十分なストレッチやマッサージが必要。

金　運　ギャンブル運あり。密かに賭けるとグッド。

ラッキーアイテム：**タオル**

ラッキーカラー：**イエローグリーン**

蟹座 6/22～7/23

全体運　人の話からビッグチャンスが舞い込む暗示。協調性があり、仲間とワイワイと楽しくできるとき。そんな中でラッキーな話やためになるような話がありそう。これだ！　と思ったらメモを取っておくとグッド。恋愛は友達や仕事の狭間に立たされ、追い詰められるシーンが。あまりにも煩わしくなったら厳しい選択も余儀なくされそう。

勝負運　朝よりも夜型に。夕方から勝負するとグッド。

健康運　カイロなどで整骨をすると体調アップ！

金　運　オイシイ話はNG！　世の中、甘くはありません。

ラッキーアイテム：**バッグ**

ラッキーカラー：**ベージュ**

魚座 2/20～3/20

全体運　懐かしい友達との再会から、運気がアップする暗示。情報交換しているうちに、仕事やトレーニングに自然とやる気が出てきたり、ヒントが見つかったりしそう。また、ファッション雑誌で、あなたに似合いの服を見つけてみて。センスアップして、イケメンになれそう。異性に急にモテ始めたりと、楽しいことが起きそうな予感。

勝負運　牡羊座の人がパートナーになったら勝運アップ。

健康運　カゼやノドの病気に注意。帰宅後はうがいを忘れずに。

金　運　ネットで投資の研究をすると儲ける手段の発見あり。

ラッキーアイテム：**流行のファッション**

ラッキーカラー：**コバルトブルー**

獅子座 7/24～8/23

全体運　もともとプライドの高いあなた。それがイヤな印象を与えやすいとき。試合で勝ったり、仕事が順調でも、自慢モードは控えて。なるべく物腰柔らかく、ソフトな雰囲気を心掛けると好感を持たれるハズ！　恋愛はハートが熱くなるような出会いがありそう。火の星座のあなたは一度火がついたら、もう止まらない！！

勝負運　アドレナリンの有効活用で一気に勝負！

健康運　体質や生活習慣の改善を試みるとグッド。

金　運　ファッションで衝動買い。出費のセーブを。

ラッキーアイテム：**サプリメント**

ラッキーカラー：**ネイビーブルー**

水瓶座 1/21～2/19

全体運　過労気味に。仕事と家の往復で疲れ、なかなか満足のいくトレーニングができないとき。帰りたい場所は自分のベッドかも。こんなとき、焦っては体を壊すことになりかねません。休めるときは休んじゃおう！　恋愛は、気分転換することで新しい恋に向けて、新鮮な気持ちになれるとき。カップルは部屋の模様替えをするとグッド。

勝負運　リサーチがポイント。確かな情報をゲット。

健康運　エッチで体力が消耗。寝る時間はキープして。

金　運　保険の見直しをすることで大幅に出費ダウン。

ラッキーアイテム：**インテリア**

ラッキーカラー：**オフホワイト**

乙女座 8/24～9/23

全体運　5月病が残り、エネルギーが湧かないとき。のんびりするのも良いけど、それは5月いっぱいまで。6月になったら奮起して！　キッチリとプランニングして、生活にハリを持たせるようにしよう！　恋愛は結婚や同棲を考えるのに良い時期。恋人と話し合ってみては？　フリーは、自分を成長させてくれる人と出会えるかも。

勝負運　勝負は6月に持ち越したほうが良さそう。

健康運　比較的好調！　格闘家は歯が命。歯の矯正を。

金　運　好調！　クジなどで運試しをしてみては？

ラッキーアイテム：**アクセサリー**

ラッキーカラー：**グレイ**

山羊座 12/23～1/20

全体運　好調な運気。棚ボタ式のラッキーに恵まれたり、何かにつけてツイてるな～、と感じられるハズ。毎日同じことの繰り返しも良いけど、たまには刺激も必要。ちょっとしたチャレンジをして、運を試してみてはどう？　恋愛はメールなどのモバイルグッズで、誤解が生じるとき。活字だけでは感情が伝わらないことも。実際会って話すことが大切。

勝負運　水瓶座のアドバイスは無視したほうがラッキー。

健康運　バランスの良い食事を摂るように心掛けて。

金　運　もらった宝くじが当たりそう。捨てずに取っておこう。

ラッキーアイテム：**リング**

ラッキーカラー：**ベージュ**

射手座 11/23～12/22

全体運　自己への試練を与えるのに良いとき。目標挫折や有言実行してこなかった人は今こそ奮起！　規則正しい生活を送れるときなので、コツコツと努力できるし、与えられた試練はクリアできるハズ！　ガンバロー！　恋愛は、今までの恋愛パターンを破壊するとグッド。新しい体験をすることで、人間の幅が広がり、新しい自分を発見できるかも。

勝負運　試練をクリアできたときにビッグチャンスあり！

健康運　目標体重を決めてシェイプしてみよう！

金　運　友達と話しているときに儲け話が浮上しそう。

ラッキーアイテム：**アニマルグッズ（柄）**

ラッキーカラー：**レモンイエロー**

蠍座 10/24～11/22

全体運　緊張することが多くなりそう。新しい出会いや営業先の訪問が多くなり、それなりの刺激があって、楽しかったり、プレッシャーになったり。できるだけ良い印象を与えるよう心掛けるとグッド。ケースバイケースで、相手の出方を見てから会話を進めて。恋愛も刺激を求め、新しい恋探しを。出会い系サイトにチャレンジしては？

勝負運　良きアドバイザーを得ることで勝運アップ！

健康運　美しいボディをめざし、筋トレに励んで！

金　運　真西の方角で宝くじを購入するとラッキーが。

ラッキーアイテム：**パソコン**

ラッキーカラー：**オフホワイト**

天秤座 9/24～10/23

全体運　好奇心、研究心が旺盛になるとき。ちょっとくらい生活がキツくなったり、多少の犠牲を払っても、気になることは、とことん掘り下げてやるとグッド。スキルも営業成績もアップすること間違いなし。恋愛は、恋人が心配になって仕方ないとき。だからといって、ジェラシーに燃えたり、束縛し過ぎると悪循環に。ど～んと構えていよう！

勝負運　対戦相手のリサーチ次第で好結果の暗示。

健康運　トレーニングに精を出すと健康状態OK。

金　運　他人の貴重品を預かってはダメ。トラブルに発展。

ラッキーアイテム：**Tシャツ**

ラッキーカラー：**レッド**

伝書鳩コラム 連載第47回

Showが見せたプチ〝解説魂〟 いつか史上初の兄弟・実況&解説を夢見て

去る5月3日、代々木第二体育館で行われた『ReMix』で、こともあろうにPPVのテレビ解説を務めさせてもらうことになった。なんといっても初解説、何をしゃべればいいのかなんて、まったく分からない。

ただし、これが新日本プロレスでもパンクラスでも『プライド』でもなく、『ReMix』だったところに、僕が起用された理由があるのだろう。

たしかに、昨年12月5日、日本武道館で開催された『ReMix』にも、自分は『ワンダフル』の取材で顔を出させてもらってはいるが、正直に言えば、その際も担当のディレクターに「女が闘うなんて、べつに取材しなくてもいいんじゃないですか」と進言した記憶がある。

それでも前回の『ReMix』は見ておいて良かった。それは薮下めぐみというニューヒロインの誕生を目撃することができたからだ。薮下には今回も事前に話を聞かせてもらったが、その存在感には圧倒された。彼女と話していると、自然と桜庭和志を連想せずにはいられない。

もちろん、今回の『ReMix』では〝戦慄の十字固め〟エリン・トーヒル相手に惜敗したが、その負け方は、まるでシウバに負けた時の桜庭そのもの。

さて、今回はどんなヒロインの誕生を目撃できるのか——。

しかし、これは女性蔑視と取られるかもしれないが、自分は「世界一キレイな女」や「世界一強い女」にはもの凄く興味あるが、「世界一カワイイ女」にはあまり興味がない。これは事前に『ReMix』を主催する、篠泰樹プロデューサーにも伝えた。

すると、「僕もそうですよ」と意外な返答。それでも十分未来はあると踏んでいるようだ。これは大会数日後に発覚したのだが、篠氏は自分と同じ年齢で、「女子プロレス界に非常ベルが鳴っているのに誰も気付かない。腐ってますよ！」と、かつての長州力のようなことを言う。なかなか奇妙な人である。

さて、実際に放送席につくと、僕の両隣にはエンセン井上と桜庭あつこがいた。

エンセンはお馴染みの「大和魂」であり、桜庭あつこは前回の『ReMix』を成功させた大功労者。これに自分が加わると、ズバリ言って妙な違和感を覚えた。ただし、前回の『ReMix』で見せた、桜庭あつこのメチャクチャな十字固めからの逃げ方に、かえって感動を覚えた自分としては、妙に頼もしくあったのも事実。実際、今回も自分などより彼女のほうが選手への取材を行っていたくらいで、手元の資料には赤いボールペンでいろいろと選手の肉声を書き込んであり、その努力ぶりには率直に驚かされた。

そんな中で自分はと言うと、実際の中継を見てもらえれば分かるが、思ったほどは多くを語ることができなかった。

本番数日前には、『極真とは何か？』（発売・ワニマガジン社／発行・ダブルクロス）のあとがきで、本誌サダハルンバ編集長が執筆した「解説魂とは何か？」を読んだりして、勉強したつもりだったのだが……（それが悪かった？）。

とはいえ、返す返すも『ReMix』は味のある大会だった。

特に、今回は〝女サク〟薮下をも下したトーヒルと、もはや〝女ヒクソン〟といっても過言ではない、マルロス・クーネン。首投げからのケサ固めという必殺フルコースを持ち、あのアンドレ・ザ・ジャイアントに続いて、〝2代目人間山脈〟を襲名したグンダレンコもまだまだイケる。これに、グンダレンコと並び、「ツインタワー」と称される身長190センチのアンナ・コピリーナを加え、以上の4人は『ReMix』のガイジン四天王として、すでに十分キャラクターが確立されているのだ。

あとは、これをいかに浸透させるか。さらに『ReMix』は「興行とは？」「プロとは？」「強さとは？」「女とは？」……、そんなことを湯水の如く考えることができる点が嬉しい。

そして、何よりも前回の薮下に続き、今回もニューヒロインが誕生した点が見逃せない。それこそが柔道ロシア・ヨーロッパ選手権優勝の実績を持つ、コボチノア・タチアナにKO勝利した星野育蒔である。彼女の闘いぶりから、昨年の『プライドGP』でのマーク・ケアー戦の藤田和之を感じた者は少なくないだろう（専門誌での扱いは大きくなかったが、それは単に目のつけどころが悪いだけ！）。

星野の場合、ハートの強さはもちろんだが、なにしろ、圧倒的に闘っている時の表情——中でもその目が抜群にいい！そのムキ出しの眼光には、あの小川直也をも彷彿とさせるものがある。

実際、私は放送中、何度も「星野選手は闘っている時の表情が凄くいい！」と言い続けた。聞けば、〝おかまムエタイ戦士〟パリンヤーが欠場となった時点で、星野の登用を決めたのだとか。つまりは偶然の産物が星野なのだ。

本誌では常々語られているが、偶発性にかなうものはない。そう考えると、前回の薮下、今回の星野と、偶然を誘発するだけの器量（あえてこう書く）が『ReMix』にはある、ということになる。

まだまだ考慮すべき点は多々あるものの、久し振りにこんな可能性のある大会に出会った。それは過去2回『ReMix』を『ワンダフル』で特集した際に弾き出した破格の高視聴率が物語っているのだ。

次回は夏の開催を予定しているという『ReMix』。どんなかたちで再登場を果たすのか、そして次回は自分が解説席に座ることができるのかも含めて、今から興味深々である。（Show）

◆

追記　最後に、初解説をどうにか終わらせたぐらいで、と思われるかもしれないが、ここでひとつ自分の夢を書いておきたい。実は初めて公にするが、自分の愚弟はテレビ西日本（CX系）のアナウンサー。そこで、あくまでこれは自分個人の願望だが、いつかマット界史上初の兄弟での実況&解説を夢見ているのだ！

ただし、この取り合わせは最低でも全国ネットでの生放送以外は実現させたくないと思っている（もちろん全世界生中継でも可）。今後にご期待ください。■

スキータ

『作詞・作曲　モリハナエ』

東京都北区・杉田八郎・49歳

ヒビの入った母子手帳
アブダビ・コンバットへの通行手形
カラダにあわないソバガラ枕
ガラガラ蛇にうなされた
新弟子検査がやってくる
この街　オラが街にビートルズ
ガイコツマークの正露丸
白髪まじりの手さげカバン
手さげとおさげにうなされた
UFCはもうすぐだ
社長、社長大変です
シウバの縁談が破談になりました
ギターをつま弾くピアニスト
筋肉モリモリ首太い
手さげカバンを振り回し
全国一周ブロディ一家
アブラが切れた手のりキックボクサー
一生、膝蹴り
もうしましぇん
なんてたってアイドル

最終回 クンフー・マクダニエル

相模原チグモン3歳（4コマ）

乾杯

マルロス クーネーニのグラブに乾杯。
乾杯。
ゴッ
ゴッ
ゴッ
ゴッ
ゴッ
ゴッ
グ・グー
ピュー
私のグラブに何してる!?

埼玉県戸田市・大崎洋二・？歳

埼玉県八潮市・小川徹・15歳

東京都品川区・十和吉・23歳

埼玉県坂戸市・中川雅博・23歳

「自分は貧しく、リングスが好きなのでリングスが載っていない格闘技雑誌は買う余裕がありません。44号の表紙がヒドかったので、こんな会社（が作っている雑誌を買うのを）辞めてやると思いました。でも山口日昇が44号から載っています。自分は山口日昇の兵隊です。将軍が載っているのなら買うしかない、と思いました。創刊号から毎号買っているので出来るだけ続けて買っていけたらなあと、ぼんやりと思っています。」（埼玉県坂戸市・中川雅博・23歳）

◇おもしれえ時は買う、つまんねえ時は買わない。そんなシビアな関係のほーがいい！　だから安心して立ち読みで済ませろ！　いや、やっぱ買って！　それと！　俺はどんなに人を好きになっても、その人の兵隊になりたいと思ったことは一度もない！　これはけっこう大事なことで、ちょっぴり気をつけたほーがいい！

「全体的に言えることですが、『SRS・DX』ひいては格闘技界全体が、アントニオ猪木を持ち上げすぎ！　説得力のある人（長州ではない）が注意してあげないと、大変なことをしでかします。新日本、『プライド』への最近の関わり方は目に余ります。『プライド』は、格闘技、つまりガチンコが大前提！　ヤツはそれを壊しかねない。残念ながら、それぐらいの影響力があります。勘違いが過ぎる！」（大阪市住吉区・石原清光・29歳）

◇たしかにマスコミは猪木を持ち上げすぎだ！　好きでもねえくせに今まで言ってきたことと、やってることが違う！　なっ、言いたいのはこーゆーことだろ？　あ、違うのか。そもそも猪木がいなけりゃ、この世に新日本も『プライド』も総合格闘技もクソもねえんだから、そんな猪木に影響力があるのは当然の話で、創造主が格闘技界をブッ壊そうが、メタメタに潰そうがそれは猪木の勝手なんです！　プロデューサー猪木を潰せねえ現役選手が悪いだけの話で。「昔はよかった」とか誰も言いたくないんだから、今後猪木を潰したヤツにはみんなで大きな拍手を！　力で勝ち取れや！

「最近つくづく思うのですが、『SRS・DX』さんはジェロム・レ・バンナを持ち上げすぎではないでしょうか？　たしかに近頃のK—1は判定ばかりでつまらない試合が多いと思います。その中でバンナはKOという分かりやすい勝ち方をして支持を得ていることは認めます。しかし、バンナの試合に感動をするという人はいるでしょうか？　少なくとも私、もしくは私の周りにはそんな人はいません。大きな体でパワーまかせに対戦相手を倒すバンナには、のび太をいじめるジャイアンというイメージしか感じられません。つまり『SRS・DX』さんは、ジャイアンが主人公の全然面白くないドラえもんになっているのです。目を覚ましましょう。K—1にはニコラス・ペタス、子安慎吾という人を感動させることができる選手がいるんです。バンナはアンディ・フグを真の友人と言っているが、バンナにはアンディのように人を感動させ、人を泣かせるような試合はできません。それができるのはペタス、子安なんです。ということで、もうバンナを持ち上げるのはやめましょう。以上。」（新潟県新潟市・土佐林祐輔・17歳）

◇またもや持ち上げすぎ！　これはただ単にジャイアンをぶっ飛ばすヤツがいねえK—1に問題アリなんじゃねえのか？　ま、いいや。

A・猪木 → グレートアントニオ → 客

グレートアキニオは記憶を耕す！

編集部のみなさん、気を付けて。

「記憶で語られる店、それが『グレート・アントニオ』だ。10年後、20年後、次世代を担う若人たちが、プロレス・格闘技・五木田智央を語るとき、片手に握りしめているのは薄汚れたハイロウズT、カレリンT、その他モロモロ、エトセトラだ。もしも、偶然たまたまそれが文朱Tだったら、ワシャ嬉しい。闘魂は連鎖する。闘魂は連鎖した。そして、再び連鎖する。」（ゾンビ城・アントニオ文朱・100歳）

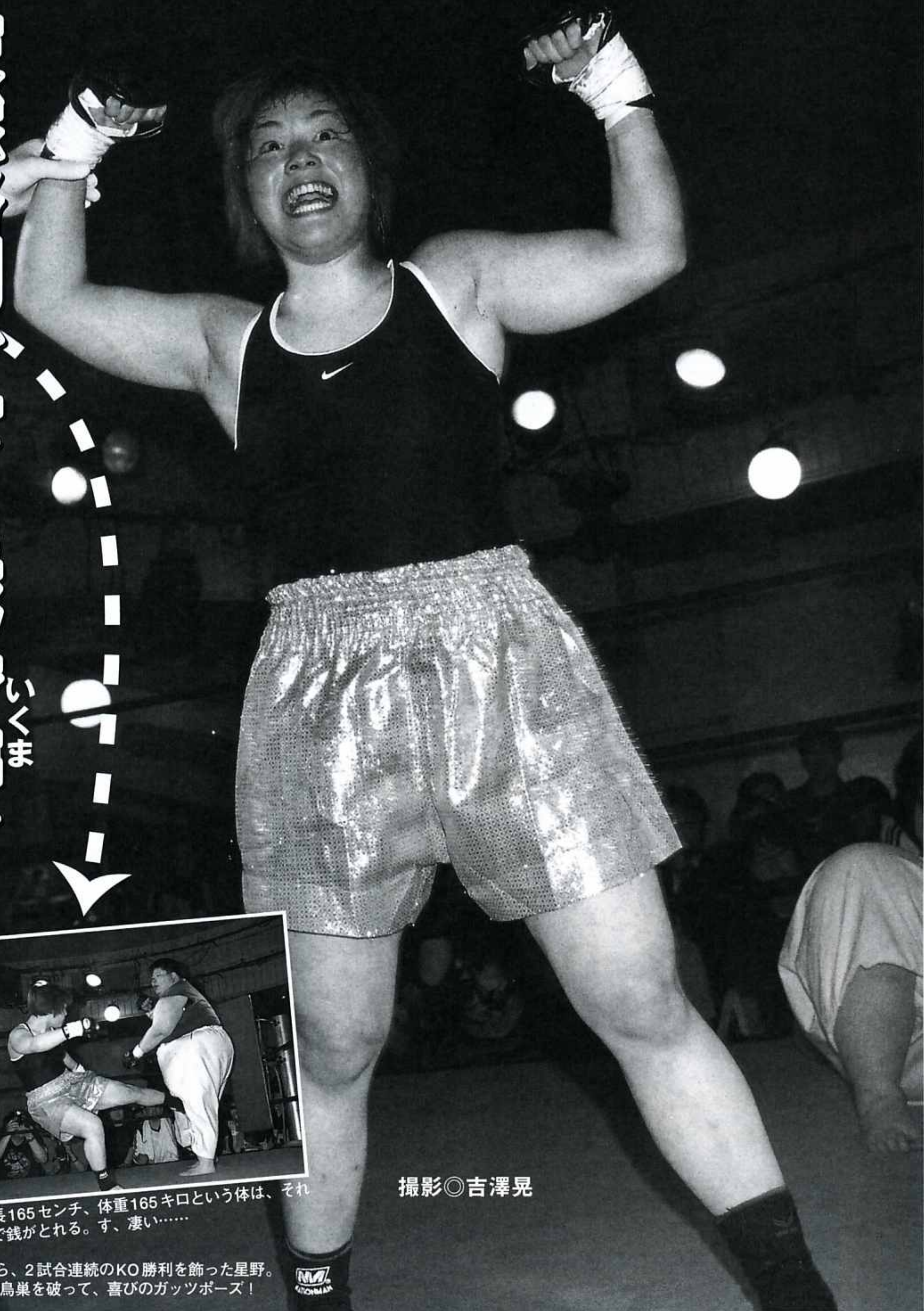
◇『グレート・アントニオ』の宣伝部長、アントニオ文朱くんでした。久しぶり！　そして、さようなら！

「骨法の堀辺先生もいいけど、珍法をやりたいっていう前田日明先生にもそろそろ謝って、長州VSヒクソンをぶった斬ってほしいです。読者で折り鶴でも折りましょうか？　日明があーるーさー。」（静岡県藤枝市・横田日賢・33歳）

◇つーわけで後日送られてきたのが、左の折り鶴。横田日賢のご子息、横田賢人くん（6さい）と真くん（4さい）が折ってくれたそうです。子供を使うなんて汚ね〜！（涙）。この折り鶴は俺が責任を持って、アキラ兄さんに届け……られたらいいなあ。それではみなさん、お元気でッ！

あきらさん
はやく
もどってきてください。

盛り上がってきた新たな女子総合格闘技の舞台、『SMACK GIRL』はお前のものだ、星野！

天然格闘少女・星野育蒔（いくま）、なんと165キロの巨女にKO勝ち！

▲身長165センチ、体重165キロという体は、それだけで銭がとれる。す、凄い……

撮影◎吉澤晃

5月3日の『ReMix』から、2試合連続のKO勝利を飾った星野。自分よりも110キロ重い鳥巣を破って、喜びのガッツポーズ！

噂の渋谷系女子格闘技『ＳＭＡＣＫ　ＧＩＲＬ』が、遂にそのベールを脱いだ。昨年の12月にプレ旗揚げ戦が行われてはいたが、正式な旗揚げはこの日、5月24日である。

『ＳＭＡＣＫ　ＧＩＲＬ』とは、『ＲｅＭｉｘ』の日本人対決を主流にしたもので、Ｋ—１でいうところのＫ—１ジャパンみたいなものだ。まだアマチュアの選手も、参戦できるように門戸を開いているので、総合格闘技を志す女の子にとっては、プロをめざす上で、格好の場となっていくだろう。

そんな『ＳＭＡＣＫ　ＧＩＲＬ』を仕切っているのは、『ＲｅＭｉｘ』のプロデューサーでおなじみとなっている篠代表である。当然、出場する選手も、みんなただ者ではない女の子ばかりだ。

その女の子たちの中で、この日一際光った試合をしたのが、セミファイナルの星野育蒔と鳥巣朱美である。

星野は、5月3日の『ＲｅＭｉｘ』で、コボチノバ・タチアナをパンチでＫＯした選手である。

元々は柔道をやっていたのだが、2カ月前から総合を習い始め、特にムエタイのランバーのところで打撃の練習に力を入れているようだ。

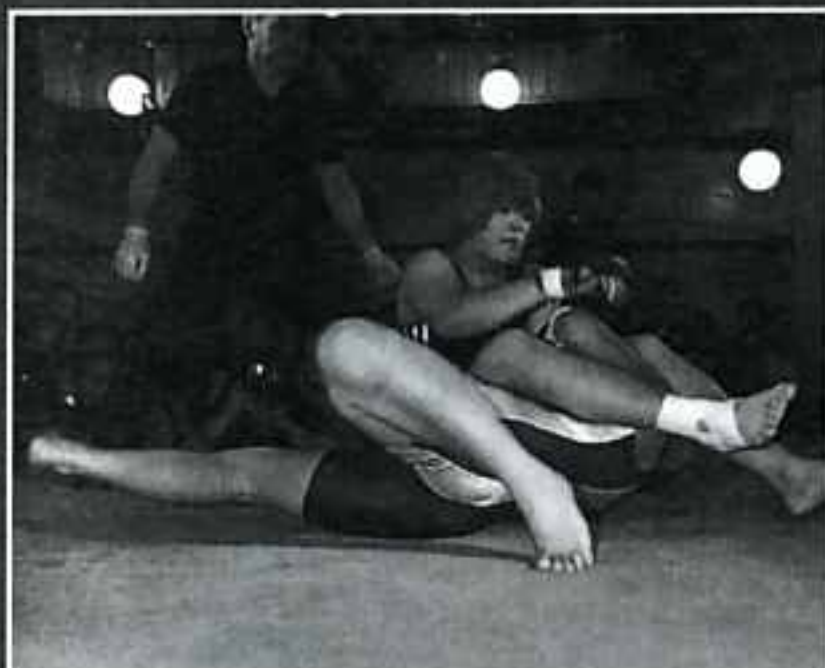
一方の鳥巣は見た目そのまま、とにかく凄い体である。身長・体重がともに同じ165！　もう文句なし。主催者が付けた〝佐賀のびっくりみかん〟というニックネームも悔しい

渋谷系女子格闘技
SMACK GIRL
5・24★渋谷culb ATOM

その他の試合&雑感ダイジェスト

▲試合は、森藤美樹（総合格闘技TOPS）を八木が、1R1分14秒ネックロックで、あっさりと料理して見せた

八木淳子、秒殺勝利後に神取忍に挑戦状！

▶試合後、なんと八木淳子（GF2）がプロレス時代の先輩である神取忍に、挑戦状をたたきつけた！　八木にとって、神取は憧れの人だったとのこと。はたして神取はこの挑戦を受けるのか？

▲久保田は張替美佳（GF2）を、わずか49秒、腕十字固めで破り、文字どおりの秒殺勝利を飾った。しかし、張替はわずか3週間前に『ReMix』でボコボコにされていたが、こんなに短期間で試合に出て大丈夫なのか？

◀美形で長身の久保田有希（フリー）は、柔道で91年の高校選手権72キロ級準優勝、ポーランドジュニア国際2位という実績を誇る実力派だ

◀この日は、前半3試合でアマチュアの試合が行われた。第1試合の坂口一美（写真・右）とナナチャンチン（写真・左）の試合は、坂口が150センチ、ナナチャンチンが147センチという身長の低い同士の対決となった。2人ともまだ格闘技の経験が浅いためか、グラウンドにいくどころか、クリンチすらしないという、一見子供のケンカのような試合になってしまったが、それはそれで凄いものをみたような気がした。試合は4－0で坂口の判定勝ち

◀『SMACK　GIRL』はスカパーでPPV放送されるが、その解説を務めたのはなんと紙プロRの松澤チョロ氏！（写真・中央）

星野のコメント

「嬉し～！　凄く嬉しい。楽しかったです。怖さはなかったです。早く試合がしたかったので、闘える場所ができて嬉しいです。コーナーで押された時も苦しくはなかったですけど、顔面を殴られた時はムカつきました。作戦は動いて動いて、ロー。それからパンチという作戦です。藪下さん？　やれるならやってみたいです」

▲星野の作戦はローで攻めて、パンチをいれるというもの。とにかくチョコマカ動き回って、巨体の鳥巣をかき回した

▲星野の唯一のピンチと言えばこの上からの押しつぶし攻撃。なんとかブレイクで逃げ切る

▶ナント、飛び蹴りまで繰り出した星野！　まさに天然格闘少女！

55キロ（体重）のパンチ力に、165キロ（体重）もびっくり！

◀遂に星野の左ストレートが鳥巣をとらえた！　巨象が崩れ落ちるように、鳥巣は1回目のダウン。その後、鳥巣は2Rに星野の右フック連打で3度目のダウンを喫し、遂に力尽きた。

★第5試合/セミファイナル（ReMix公式ルール5分3R）
○星野育蒔（2R2分49秒、KO勝ち）鳥巣朱美●
〈GF2〉　〈フリー〉
※右フック2連打。鳥巣は1Rに左ストレートでダウン1、2Rにも顔面へのパンチ連打でダウン1あり

が、ピッタリと合っているような気になってくる。

鳥巣は、かつて全日本女子プロレスで格闘技戦などをやっていた選手だが、現在は実家のある佐賀へ帰っており、介護関係の仕事をしているとのこと。全女退団時よりも、30キロ体重が増えたと語っていた。

星野と鳥巣は、身長で9センチ、体重で110キロの違いがある。

しかし、星野はそれをまるで苦にしないかのような闘いぶりを見せた。ローキックを撃っては離れ、パンチを撃っては離れの繰り返しで、だんだんと鳥巣を追いつめていく。

そして、1Rに1度、2Rに入って2度目のダウンを奪うと、更にパンチを叩き込み、完全にKOして見せた。

とにかくこの子は凄い！　女子は男子に比べて筋力が弱いので、なかなかKOという場面が生まれづらいのだが、星野は2度までもやってのけてしまったのである。

しかもこの星野には、華がある。「ハイホー、ハイホー」というテーマ曲にのりながら入場してくる姿。星野が打撃の構えを見せたときの格好良さ。これは、心の底から興奮を呼び起こす。そして、勝った時の本当に嬉しそうな笑顔。全てのしぐさが、観客たちを惹き付けてやまないと思っているのは、私だけだろうか。

いや、そんなことはない。きっと私と同じようにリング上の星野に惚れてしまった男どもはたくさんいるはずだ（例…本誌・橋本）。

彼女は『SMACK　GIRL』をたった1試合で、自分のものにしてしまった。なぜなら、彼女がいないと『SMACK　GIRL』は輝かないからである。

（小松）

5.22 修斗『SHOOTO GIG EAST Vol.2』 北沢タウンホール

壮絶！ クラスBサバイバル戦線 されど光ったのは柔術マッチだった

《全試合結果》

★第7試合/メインイベント（5分2R）
○大河内貴之（2R判定3-0）大原友則●
〈パレストラ東京〉 〈シューテシングジム東海・格闘塾〉

★第6試合（5分2R）
○高橋大児（2R3分51秒、スリーパーホールド）梅村寛●
〈Kzファクトリー〉 〈ALIVE〉

★第5試合/ブラジリアン柔術アダルト紫帯レーヴィ級（7分一本勝負）
○早川光由（ポイント判定36-0）アレッシャンドリ小川●
〈ストライプル〉 〈谷柔術〉

★第4試合/ブラジリアン柔術アダルト紫帯ペナ級（7分一本勝負）
○渡辺孝（レフェリー判定）朝倉孝二●
〈パレストラ東京〉 〈パレストラ東京〉

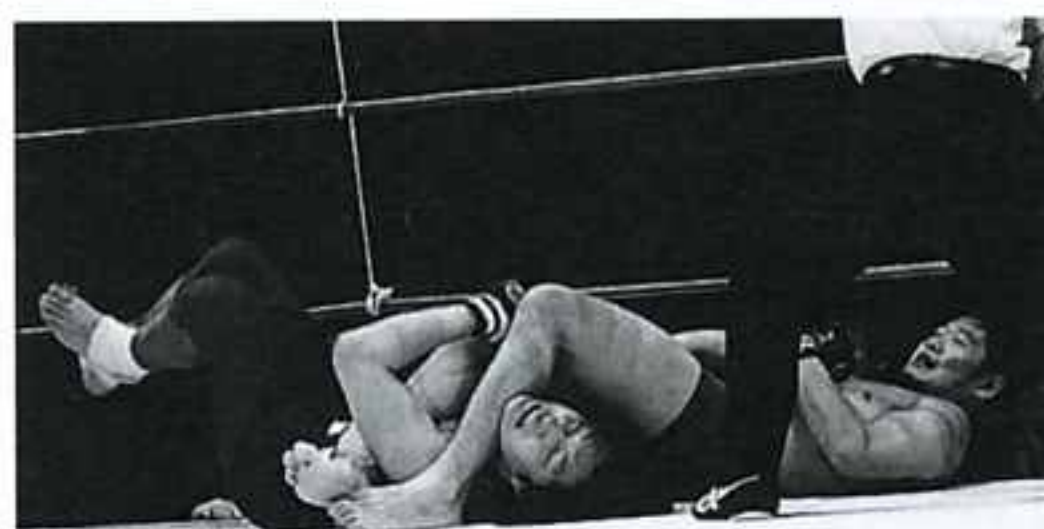
★第3試合（5分2R）
△藤原正人（2R判定0-0、ドロー）杉江“アマゾン”大輔△
〈パレストラ東京〉 〈ALIVE〉

★第2試合（5分2R）
○川尻達也（1R2分42秒、スリーパーホールド）鈴木洋平●
〈総合格闘技TOPS〉 〈パレストラ東京〉

★第1試合（5分2R）
○小塚誠司（2R判定3-0）藤田善弘●
〈PUREBRED大宮〉 〈パレストラ広島〉

※当初第4試合に出場予定だった小室宏二（RJJ）は欠場。小室は柔道の強化選手に指定されており、監督、コーチに了承を得ていたが、5月19日の段階で柔道連盟から「入場料を徴収する大会に柔道選手が出場するのは好ましくないのではないか」という意見が出された。最終決定は連盟内の会議で決議されることになった模様だが、会議に出席すべきメンバーが海外遠征試合に同行しており、今大会までに結論を出すことは不可能であり、小室の出場は見送られた。

▲今大会で最も光ったのは、柔術マッチに出場した早川光由だった。早川は日本柔術界のトップ選手で、今回が修斗初登場。鮮やかなテクニックの連発で、なんと36ポイントも奪った。試合は7分間で、ポイントを奪ったのは13回だから、およそ34秒に1回という驚異的なペースだ。聞いた話では、ポイントに応じてファイトマネーが加算されるシムテムだったとか？

▲メインでは大河内貴之と大原友則が対戦。大河内は前回の試合でKO負け、大原もボクシングから復帰（大原は初代シューターで、元ウェルター級王者）して以来勝ち星がなく、後がない者同士のサバイバル戦だった。試合はマウントを奪い、スリーパーや十字を極めかけるなど、終始大河内が優勢。一本勝ちは逃がしたが、大差の判定勝ちを収めた

◀第6試合では、クラスA昇格を狙う高橋大児が梅村寛にスリーパーで一本勝ち。これで戦績を3勝2敗2分とした

▲恒例の月間表彰。4月期のベストバウトは阿部和也VS井上和浩（4・28下北沢大会）が受賞。この試合で2人はクラスA昇格が決定。井上はライト級10位にランクインした。なお、MVPは該当者なし

5.4MAキック『ODYSSEY-2』 北沢タウンホール

ラビット関、またも“日本人キラー”に封殺……

▶昨年の55キロ級トーナメントで優勝するなど、今やMAの看板選手となったラビット関（山木ジム）だが、このところ元気がない。この日はムエタイ戦士アラビア長谷川に判定負け。グライガンワーン戦に続き、“日本人キラー”と呼ばれるタイ人に連敗となってしまった。「特にどこがいけなかった、というところはないんですけど……。自分が弱いってことでしょう」（関）

▶左右のローなど、いい攻撃を見せていた関だが、アラビアのインサイドワークに、ここぞというところで詰めることができなかった。スプリットデシジョンだが、完全にムエタイのリズムにハマってしまったのだから完敗とも言えるだろう

5.6 新日本キック協会『GOLDEN BREEZE』 市原臨海体育館

小出智、タイトル初防衛も、視線はあくまで打倒ムエタイ

▲得意のパンチで計5回のダウンを奪った小出。ジャッジの採点は50－43、50－40、50－40という大差になった

▲毎年恒例の新日本キック・市原大会。今回のメインでは、フェザー級王者の小出智（治政館）が真鍋英司（市原ジム）の挑戦を受け、3－0の判定で初防衛に成功。終盤、一発逆転をかけた真鍋のヒジ打ちで反撃されたが「相手はタイ人じゃないんだし、大丈夫です。次は強いタイ人とやりたい」と小出

撮影◎吉澤晃

WRESTLING FIGURE SHOP OPEN

WWF
WCW
ECW
LEGENDS OF PROFESSIONAL WRESTLING
KING OF SPORTS NEW JAPAN PRO-WRESTLING
PRO-WRESTLING NOAH
PANCRASE HYBRID WRESTLING
RINGS

TOYS T-SHIRT VIDEO MAGAZINE

NON STOP! NEW OPEN

3-6 NISIKI-CHO KANDA CHIYODA-KU

至 神保町駅
三省堂書店
靖国通り
ミナミスポーツ
至 新御茶ノ水駅
スターバックス
千代田通り
ドトールコーヒー
NON STOP
ドトールコーヒー

SIMOKITAZAWA STOP NOW OPENNING

2-27-15 KITAZAWA SETAGAYA-KU

DEPT
横浜銀行
セブンイレブン
STOP
小田急線
ピーコック
北口
西口
下北沢駅
京王井の頭線

<下北沢店はフィギュアのみの取扱いになります。>

本誌が注目するのはバンナ、ミルコ？

SRS・DX Editor's Talk
編集部トーク 裏事情

山本、成瀬リングス退団についての考察

A うちは今、リングスに取材活動を規制されているけど、やっぱりリングスの生え抜きだった山本憲尚と成瀬昌由が退団したことはタダごとじゃないと思うよ。

B 本当にリングス存亡の危機っていう気すらする。もちろん、ウチにもいろんな情報が入ってくるけど、今のところ正式に契約を結んだのは金原弘光と滑川康仁だけっていうじゃない。あとは外人的な契約をしているTK（高阪剛）と。エースの田村潔司も離脱するのは間違いないと言われているし、無差別級王者ギルバート・アイブル、初代KOK王者ダン・ヘンダーソンに続き、ヴァレンタイン・オーフレイムも『プライド』に転向。本当にいったいどうなるんだろうって感じだね。専門紙によれば、WOWOWの放送権料も下がったっていうし。

A ただ、よく〝引き抜き〟という言葉が使われるけど、正確に言えば選手と興行主が契約しているかどうかなんだよね。だから、正式に契約しているところを横取りしたら〝引き抜き〟だけど、契約していない選手が他のリングに移ることはなんら問題ない。もちろん、道義的な問題はある。でも、マット界の状況を見ていると、今は契約をしっかりしているところがどんどん選手を抱えられる状況になっているのはたしかだよ。

B まぁ、今回のリングスの件が残念なのは、そんな契約の問題じゃなく、どこかみんな嫌気がさして離れてっている雰囲気があることだね。だから「リングス第1号選手」の山本と成瀬がフリーになったことがこれだけ大きく扱われるんだよ。

C たしかにそうですね。例えば、今のリングスを見ていると、山本と成瀬が抜けたことで観客動員にどれだけ影響するかっていったら分からないですからね。それよりも、リングスファンは特に熱烈なLOVEがありましたから、ショックも大きいし、前田さんのことは心配でしょう。

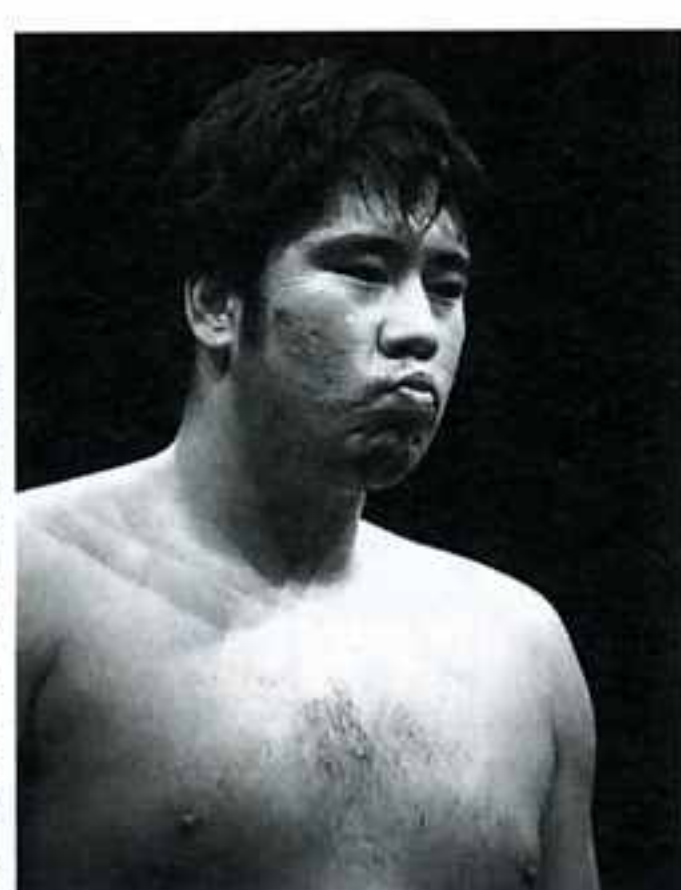
A よく今、ボーダーレスの時代か、個の時代とか言って、選手もフリーになる傾向が強いけど、じゃあ勝手に自由を求めているかといったらそうじゃない。そのへんの理由は必ずあるし、そこを真剣に考えてあげないとダメだと思うんだけどな、オレは。特に今回もリングス側も山本・成瀬側もそれぞれ何も悪く言ってないじゃない。それだけに、なんとかならなかったかなと思うよ。

B ところで、山本・成瀬はどうするの？

A いや、苦労するのは間違いないと思うけど、山本はZERO—ONE、成瀬は新日本に上がるんじゃないかという噂が飛んでいる。でも、そういうのを狙ってリングスを飛び出したんじゃないと思うよ。だから、新しいリングが決まるのは、本当にこれからだろうね。

C オファーは多いみたいですけどね。東スポでは『プライド15』で田村VS桜庭実現か？　という記事も出ていましたね。

A いや、あれもまだ話は何もないよ。DSEか東スポが牽制球を投げた感じじゃないの？　田村に関しては、DEEPに出るんじゃないかという噂がネットでファンまでが言ってるけど、これもよく分からない。ただ、田村まで退団すると、本当にヤバイ感じがするよ。

B でも、『週刊ファイト』にも書いてあったけど、前田日明という存在も大きいし、KOKというソフトは素晴らしいんだから、今後リングスは興行会社に専念するというのはいい方法だと思うけどな。石井館長も前に言ってたけど、師弟関係とプロデューサー業を兼ねるのは非常に難しい問題。前田社長が復活するには、そのどちらかにキッパリと専念することだろうね。高田道場のように優秀な人材を育成し、リングスだけでなく、どんどん他団体に選手を出していくか。それともDSEのように所属選手を抱えず興行会社に専念するか。今、そのへんが問われている気がするね。■

▶山本はリングス退団の理由について「小川と闘いたいから」と口にした。でも、山本にとって「その理由が一番いいのでは？」と考えたのではないだろうか……

◎個の時代、ボーダーレス時代とよく言われるが、私はいつかその流れは必ず破たんを起こすと思う。なぜなら、選手及び選手だった人同士が、団体の枠を越えて交流することはどこかで無理があるからだ。上記の編集部トークにもあったように、DSEがうまくいっているのは、完全に興行会社と道場（団体）を分けているから。つまり、業界ではない第三者の人間が間に入ってしっかりと交渉し、契約するからこそ、うまくいっているのだと思う。師弟関係、先輩後輩の関係と、プロデューサー業を兼任するのはよほどの絶対的な力を持つ以外ありえない。しかも、総合系やプロレス系になると、今は他に行くところがたくさんあるからこれも難しいのである。それは、K—1プロデューサーと正道会館館長の立場にある石井館長だって、いつも悩んできたことだった。例えば、幕末に薩長同盟ができたが、薩摩の西郷隆盛と長州の桂小五郎は、10日以上も会見の場を持ちながら、遂にお互い自分たちの口から「同盟の件ですが…」という話を切り出せなかった。もし、坂本龍馬という状況をよく把握している第三者の人間がいなかったら、絶対に同盟は結ばれなかったし、幕府は大政奉還していなかっただろう。結局、選手上がりの人が話し合うと、そうなってしまうのだ。DSEや高田道場がうまくいっているのは、完全に自分たちの役割が分けられているからである。その昔、馬場・猪木のようなスーパースターが興行会社の社長としても力を振るっていたが、今はもうそういう時代じゃない。今、格闘技界は坂本龍馬のようなプロデューサーが必要なのである。（谷川）

SRS・DX
次号の発売日は6月14日(木)です。
発行元：株式会社フジテレビ出版／株式会社ローデス
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F ☎03-3295-4445
販売元：株式会社扶桑社
〒105-8070 東京都港区海岸1-15-1
☎03-5403-8888
発行人：柳沢忠之 編集長：谷川貞治
DESIGNER：梅村あゆみ、小幡浩史、水町由美子、su・plex、岩村唯是、永吉速水、溝口真穂

本誌が注目するのはバンナ、ミルコ？
いや、今一番熱い闘いをするのは、

子安慎悟 である

6月K―1大戦争！

6月、K―1はワールドGP開幕戦メルボルン大会、ジャパンGP開幕戦仙台大会と、2つのビッグイベントを2週にわたって開催する。ハードスケジュールながら激戦が繰り広げられるK―1だが、本誌が一番注目するのは今、K―1の中で最も熱い闘いをする男は誰か？それは〝正道魂〟を甦らせる子安慎悟である。

6・24 K―1ジャパンGP開幕戦＝仙台・グランディ21

抜群に面白そうな子安vsゼブラ中迫！ バンナの相手はステファン・レコに決定

子安慎悟は美しい（内館牧子風！）。

K―1は今、暴走するバトルサイボーグ、ジェロム・レ・バンナが何かと話題を呼んでいるが、冷静になって全体を見渡すと、最もファンのハートを熱くしているのは、ジャパンの小型戦士・子安慎悟であることに気が付く。

バンナはたしかにK―1の枠を越えた迫力のある試合を見せる。しかし、前回の大阪大会では相手が物足りなかったためか、いつもの野性味あふれるファイトは影を潜めた。それに対し、子安は黒澤浩樹戦、グルカン・オズカン戦と、これぞジャパン戦士のファイトだと評価はうなぎ昇り。今やジャパンには欠かせない存在にまでなりつつある。

もともと子安は、空手の試合でも、あの極真会館・松井章圭館長が絶賛していたほどの選手。正道会館の全日本大会で4度の優勝を果たし、まさに〝正道魂〟あふれる試合っぷりには定評があった。しかし、K―1ではその小さな体（170センチ）は通用しないと思われていたが、いざフタを開けてみるとバンナに負けないほどのファンの感情を揺さぶる試合をし、今回ジャパンGPに正式にエントリーされたのである。

さすが、空手経験者はひと味違う。しかも、そんな子安の1回戦のカードが抜群に面白い。本誌ではターザン山本氏に「シマウマのように美しく逃げ足が速い男」と言われた中迫剛なのである。中迫も今やそんなキャラクターがすっかり定着し、なぜか試合が見たくなるファイターに変貌。昨年から中迫は、スタン戦、フィリォ戦、大石戦、グラウベ戦と、その不甲斐ないファイトはインパクト絶大。しかも、ファンが思っている以上に才能と実力を持っている選手だから、まったく不思議な男である。子安vs中迫は、そんなどちらが勝つか、どんな試合になるか予測できない面白さがあると言っていいだろう。

そんな子安vs中迫戦をメインにして行われるのが、6月24日仙台で開催の「ジャパンGP2001開幕戦」である。試合は左記のように全6試合。その勝者が8・19さいたまスーパーアリーナで行われる決勝トーナメントに出場。ただし、前年度王者の武蔵は1回戦をシード。また準優勝者の天田ヒロミも1回戦をシードされ、6・16ワールドGPメルボルン大会で、一足先に世界の強豪を相手に腕試しをする。

ジャパンGPの1回戦は、年々レベルアップしているだけに、実力均衡の勝負が期待されているが、子安vs中迫以外に特に注目したいのがノブ・ハヤシvsTSUYOSHIの逆輸入ファイター同士の対決だ。K―1が誕生して以来、日本人のヘビー級ファイターが何人もK―1に挑戦するようになったが、その中で本家・正道会館に入門せず、海外のジムで腕を磨く若者も出てきた。それが、ブランコ・シカティックやピーター・アーツを生んだチャクリキで修行に励む、ノブ・ハヤシだ。

しかし、ここに来て、今度はそのチャクリキのライバルで、王者アーネスト・ホーストを生んだヨハン・ボスジムで修行に励み、ノブのように逆上陸するファイターが現われた。それが、拓大ボクシング部出身のTSUYOSHIである。

そんな日本人同士で、オランダのジムで単身修行を積むノブ・ハヤシvsTSUYOSHIが早くも1回戦で激突し、日本人のファイターに刺激を与える。ぜひ、他の日本人に「おまえらはぬるま湯につかっているんだぞ」と分からせるような試合をしてほしい。

また、この日はジャパンGP以外にスーパーファイトが2〜3試合組まれる。それがバンナと武蔵の試合だ。

いよいよ今年もジャパンにバンナが初上陸。いち早く東京ドーム行きのキップを掴んだバンナだが、対戦相手としては昨年リザーバーでベスト8入りを果たしたステファン・レコに決定。レコが相手ならば昨年仙台で行われたアーツvsシリル・アビディのような大番狂わせが起こる可能性は大。キンシャサの奇跡ならぬ仙台の奇跡は再び起こるか？

また、武蔵の相手には、グレート草津を破ったエベンゼール・フォンテス・ブラガに急きょ決定した。武蔵はゲーリー・グッドリッジ戦で、異種格闘技戦には弱いと印象づけてしまったが、あれから実力は格段にレベルアップしている。ぜひ、そんなイメージを払拭するファイトに期待したい。■

▲ジェロムの相手には、ステファン・レコに決定。仙台でアーツvsアビディの大番狂わせが再び起こるか？

K―1 JAPAN GP
開幕戦＝1回戦

ゼブラか？ 正道魂か？

中迫剛（正道会館） vs 子安慎悟（正道会館）

逆輸入ファイター対決！

ノブ・ハヤシ（ドージョー・チャクリキ） vs TSUYOSHI（ヨハン・ボスジム）

富平辰文（正道会館） vs 柳澤龍志（チーム・ドラゴン）

内田ノボル（ビクトリージム） vs 藤本祐介（正道会館）

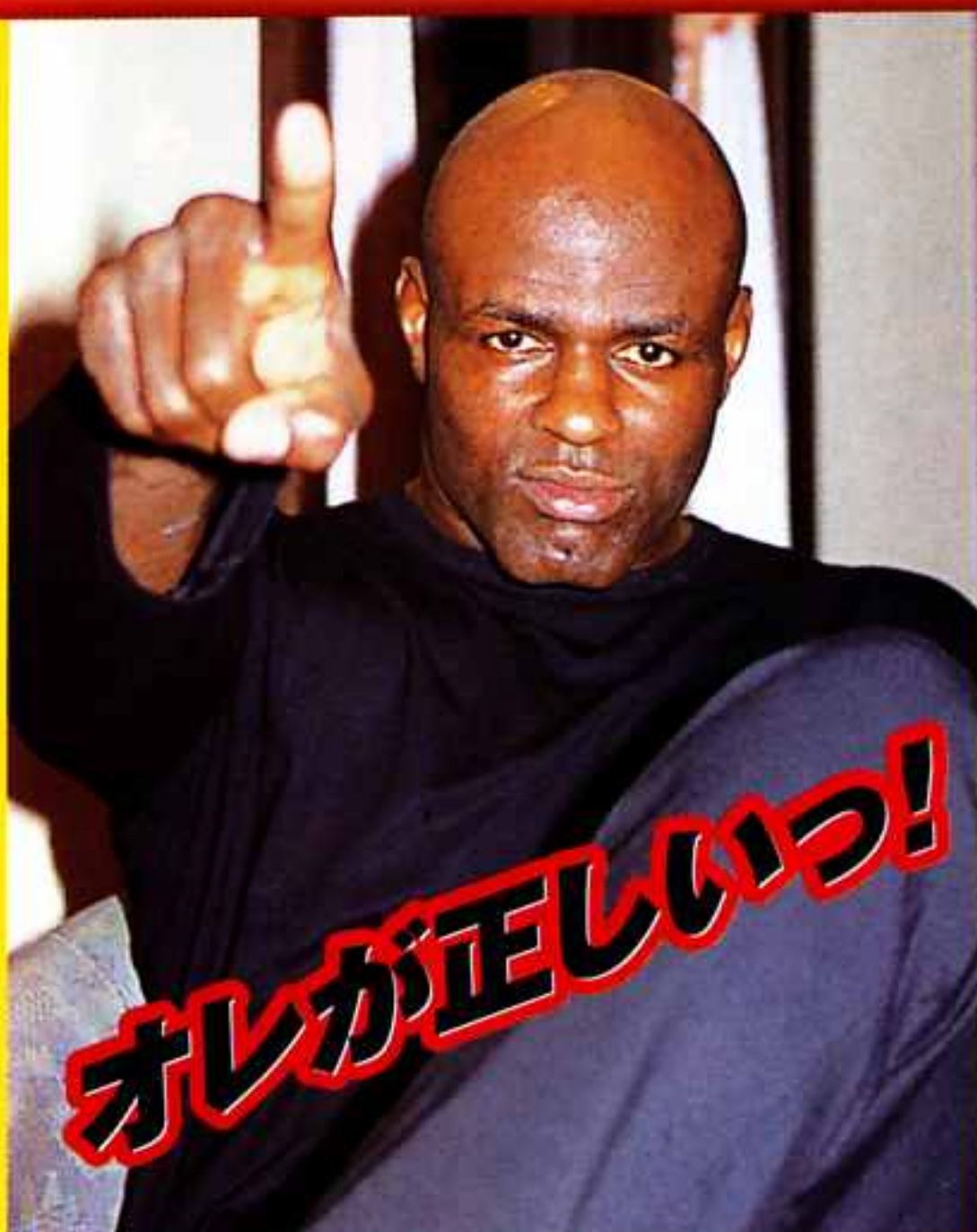
大石 亨（日進会館） vs 鈴木政司（正道会館）

グレート草津（チーム・アンディ） vs 百瀬竜徳（玉誠館）

スーパーファイト

ジェロム・レ・バンナ（フランス/ボーアボエル&トサジム） vs ステファン・レコ（ドイツ/マスタージム）

武 蔵（正道会館） vs エベンゼール・フォンテス・ブラガ（ブラジル/アカデミーア・ボクセタイ）

ホーストよ、膠着してでも優勝しろ！ そして、東京ドームでバンナと決着戦だ！

6・16 K−1ワールドGP開幕戦＝
オーストラリア・メルボルン・ヴォーダフォン・アリーナ

アーツ、フィリォらをKOで倒し、今やK—1の象徴となっているのが、ジェロム・レ・バンナ。しかし、そのバンナがいきなり、今年の「ワールドGP」のシステムに異を唱えた。

「今のトーナメントシステムばっかのK—1じゃ真の最強は決まらない。トーナメントで一番大切なのは運だからな。つまり、ホーストも運でチャンピオンになったようなもんだよ。それに、トーナメントになると、みんな次を考えて傷つかないように安全に闘おうとする。だから闘いのない、つまらない試合になるんだよ。オレは今のシステムには反対だよ」

この発言に怒ったのが、当然アーネスト・ホーストだ。ホーストは現在K—1ワールドGPを2連覇中、計3回の優勝を成し遂げている偉大な王者だ。まだ、一度も優勝していないバンナに言われちゃ、たまったもんじゃないところだろう。「まだ一度も優勝していないヤツにそんなことを言う資格はない。勝ってから言え、バカ！」っていうのが、ホーストの主張。

しかし、バンナの言い分にも一理ある。昨年の東京ドーム決勝大会では、ホーストは傷つかない勝ちに徹した闘いをして全試合判定勝ちで優勝。ファンには、膠着ファイトに映ってしまったからだ。バンナは、そういうK—1になったらつまらないと言いたいのである。

だったらこの際、バンナとホースト、どっちが正しいか試合で決着するしかない。今やグランプリ・システムになっている以上、それが実現するのが12月8日東京ドームの決勝大会しかないのだ。

しかも、これまでトーナメントとなるとホーストがバンナをKOしているが、完全燃焼できるワンマッチではバンナがホーストをKO。できれば、1回戦で見てみたい因縁の対決である。

4・29大阪城ホール大会でいち早く東京ドームのキップを手にしたバンナ。2人の対決が実現するには、何がなんでもここはホーストにも開幕トーナメントで優勝してもらいたい。もうこの際、膠着ファイトをしようがなんでも構わない。ぜひ、きっちり勝って、前人未踏の3連覇を成し遂げてもらいたいところだ。

そのホーストが出場するのが、6・16ワールドGP開幕戦メルボルン大会である。K—1の本戦がいよいよ海外で開催。今までの世界地区予選と比べても、この大会が成功するかは非常に重要と言える大会である。

しかし、そんなホーストの3連覇を拒む難敵がゴロゴロいる。その一番手が〝クロアチアのターミネーター〟ミルコ・クロコップだ。ミルコはたしかに、昨年の決勝大会1回戦、さらにその前年の決勝大会のファイナルでホーストに敗れている。しかし、バンナ、マイク・ベルナルド、アーツに勝っているミルコ。現在のK—1では、もはやホースト越えをすれば文字どおり頂点に辿り着ける位置にいる。〝打倒ホースト〟こそ、ミルコにとっての悲願なのである。

そのミルコは1回戦で難敵パリス・バシリコスと、準決勝で天田vsマイケル・マクドナルドの勝者に勝てば、再び決勝でホーストと合いまみえる。これは今年のK—1でも〝天王山決戦〟と呼んでもいいだろう。なぜなら、ミルコはそれほどの実績を残しているからだ。

また、ホーストにとって厄介なのが、準決勝戦。相手はマット・スケルトン、マーク・ハントどちらになってもかなりの苦戦を強いられるだろう。ご存知〝重戦車〟スケルトンは、アーツをして「K—1の中では5本の指に入る実力者」と言わせる男。地味だが、その突進力は相手を破壊しかねない。たとえホーストが勝ったとしても、無傷で決勝に上がれることはまず考えられないのだ。

一方のハントがまた、スケルトンに負けないくらいの重戦車。なにせ、スケルトンの株が一気に下がってしまったのが、一昨年バンナに1RKO負けしたからだが、そのバンナと昨年唯一判定試合をしているのがこのハントなのだ。まさに、〝バンナでも倒せなかった男〟がハント。石井館長も、今のK—1を見渡して、最もホーストに対して大番狂わせが起こせる男と注目しているのがハントなのである。果たして、ホーストはこれらの難敵を勝ち抜けるか。海外初のK—1本戦にとくと注目せよ！■

トーナメント主な出場選手

アーネスト・ホースト
（オランダ/ヨハン・ボスジム）

ミルコ・クロコップ（クロアチア/クロコップ・スクワットジム） vs 天田ヒロミ（フリー）

マーク・ハント（オーストラリア/トニー・ムンダイン・ボクシングジム） vs マット・スケルトン（イギリス/イーグル・ジム）

開幕戦トーナメント組み合わせ

- アーネスト・ホースト（前年度K−1ワールドGP王者）
- セルゲイ・グール（イタリア地区予選王者）
- マーク・ハント（オセアニア地区予選王者）
- マット・スケルトン（イギリス地区予選前王者＝推薦）
- ミルコ・クロコップ（前年度K−1ワールドGPベスト8）
- パリス・バシリコス（イタリア地区予選前王者＝推薦）
- 天田ヒロミ（ジャパン地区予選前年度準優勝＝推薦）
- マイケル・マクドナルド（アメリカ地区予選準優勝）

優勝

5・20★K−1★ドイツ地区予選・速報！

ドイツ地区予選はアンディ軍団大暴れ！優勝はペーター・マエストロビッチだ！

ステファン・レコまたも災難「こうなったらバンナと闘いたい！」

▲メインイベント級のスーパーファイトには、地元の英雄ステファン・レコが、ベルギーのまだ見ぬ強豪マーク・デーヴィットと対戦。しかし、1Rデーヴィットの右スネがザックリ割れてドクターストップに。試合はノーコンテストとなった

▶割れた右スネを見せるデーヴィット。ここのところろいい試合の続いていないレコは、「こうなったら日本でジェロム・レ・バンナと闘い、名前を上げたい」と語った

▶会場となったオーバーハウゼンアリーナには、約7200人の観客が集まった。ヨーロッパの大国ドイツでK—1が成功することは、世界戦略にとって非常に重要である

▲ピーター・アーツがゲストとして来場。左がK−1ドイツ大会のプロデューサー、ダン・エネキング氏だ

◀トーナメントには、桜庭やエンセン井上と闘ったことがあるレネ・ローゼも参戦。しかし、1回戦でアティラ・フスコに判定負けを喫した

▶トーナメント3試合を全てKO勝ちしたペーター。まさにアンディの魂が乗り移ったような闘いぶりだった

▲「チーム・アンディ」のTシャツを着て、見事ドイツ大会を制したペーター・マエストロビッチ。K—1スイス大会では、ジャビット・バイラミと共に、アンディの右腕となっていた選手だ

▲試合途中で客同士の乱闘があった。さすがヨーロッパ人は熱い！
　この熱をぜひ日本のK−1に！

▲同じくアンディの一番弟子マリノ・デフローリンは、ブラディミール・シーリッグと対戦し、2RKOでペーター優勝に華を添えた

K—1ドイツ大会に〝アンディ魂〟降臨！

5月20日ドイツのノルドライン・ヴェストファーレン州にあるオーバーハウゼンアリーナで行われた「K—1ドイツ地区予選トーナメント」は、あのアンディ・フグの弟子ペーター・マエストロビッチが3試合連続でKO勝ちし、本戦大会のキップを手にした。ペーターは、元々クロアチア出身の選手で、内戦時にジャビット・バイラミらと同様、スイスへ移住してきた難民。その時、アンディに助けられたのが縁で、正道会館スイス支部に入門した選手だ。しかも、空手の大会でも実績のあるペーターは、バイラミと常にアンディの一番弟子を競い合っていた。K—1スイス大会では、シリル・アビディと激闘を繰り広げたこともある。

そんなペーターが「チーム・アンディ」のTシャツを着て、「今大会アンディの名に恥じない闘いをする」と奮闘。決勝でドイツ出身の本命アティラ・フスコを1RKOで破り見事優勝を果たした。また〝小型アンディ〟の異名を取るマリノ・デフローリンもスーパーファイトで2RKO勝ちし、ドイツで〝アンディ軍団恐るべし〟の印象を与えることに成功。

なお、ペーターはこれで、7・20「K—1ワールドGP名古屋開幕戦」に出場することが決定した。■

RESULTS

- デニス・セバスチャン（ドイツ）
- ディミトリ・アレクスディス（ドイツ）
- ペーター・マエストロビッチ（スイス）
- フロリアン・オグネイド（ドイツ）
- イズモット・ボザン（ドイツ）
- ヨセフ・サリアノ（オランダ）
- アティラ・フスコ（ドイツ）
- レネ・ローゼ（オランダ）

優勝　ピーター・マエストロビッチ

一方、USA地区予選は、サダハルンバ編集長と同級生のM・スミスが優勝！

5月5日、米国ネバダ州ラスベガスのミラージュ・ホテルで行われた「K—1USA地区予選トーナメント」は、なんとモーリス・スミスが復活V。かつて8年間無敗のキック界の帝王も、今年で40歳。本誌サダハルンバ編集長と同級生というから大したものだ。しかし、フィリォらが「練習では僕らと同じメニューをこなすから凄い先生だ」と言うほど、毎日のトレーニングは欠かしていない。そんなモーリスが「今年で引退する」と宣言して出場し、決勝戦ではお馴染みのマイケル・マクドナルドを延長の末、判定2—1で破って優勝！　試合後は珍しくモーリスが涙を流すほどの感動的な復活を果たした。これでモーリスは、8月11日ラスベガスで行われるK—1グランプリ開幕戦に出場が決まった。もう〝死神〟なんて呼ばせないっ！■

▲今年40歳になるかつて8年間無敗のキック王者モーリス・スミスがK−1USA大会を制して、再び本戦トーナメントへ

RESULTS

- ジェフ・ルーファス（アメリカ）
- トーマス・クチャゼウスキー（カナダ）
- ジャン・クロード（カナダ）
- マイケル・マクドナルド（カナダ）
- モーリス・スミス（アメリカ）
- ペドロ・フェルナンデス（メキシコ）
- グンター・シンガー（アメリカ）
- ポール・ラロンド（カナダ）

優勝　モーリス・スミス

三代目格闘ビジュアルクイーン

長谷川京子の超SRS宣言！

はせキョー

第15回

4・29 K-1 WORLD GP大阪大会＆5・5 K-1ラスベガス大会

ワールドＧＰの世界各地での予選トーナメントと開幕トーナメントが並行して行われ、世界中で盛り上がっているＫ－１。今回のはせキョーは、4・29大阪大会、そして直後の5・5ラスベガス大会をレポートだ！

米大会優勝のベテラン・モーリス選手、トーナメントはキツそうでした

今年もついに始まりましたね、K—1 WORLD GPが!! 大阪大会には、当初アビディ選手も出場する予定だったので、私としては大好きなアビディ選手、バンナ選手、レイ・セフォー選手の3人が、いきなりトーナメントで潰し合ってしまうの～!? もったいないヨォ～!? なんて心配していたので、今回のアビディ選手の欠場は、実を言うと、すこ～しホッとしたんです。

今回の出場選手は、聞き慣れない選手も多くて、私的には新鮮でした。もしかしたら、未知なる強豪が潜んでいるかも！ってとっても楽しみだったんです。

そして、今回も行ってきました大会の前々日に行われたフォトセッション。中でも一番ご機嫌だったのは、バンナ選手。インタビューした時も凄くノリノリで、逆に私はちょっと引き気味に……。それに加えてバンナ選手の通訳も強烈な方なんですよ!! 見た目は、足がスラッと長くてスタイル抜群の金髪美人さん。でも、口から出る日本語は、まるで渋谷にいそうなコギャル。ううん、もっと強力にした感じで、「バリバリ～でぇ～」とか「～なんだってぇ～」とか、とにかく面白すぎ!! さすがはバンナ選手の通訳さんダワって感心しちゃいました。

パヴェル・マイヤー選手は背が高いけどバランスがとれていて、頭がラーメンマン（弁髪と言うらしい）みたいな、キャラのある選手。顔は整っているし、話すととっても礼儀正しくて、良い感じの選手でした。ヤン・"ザ・ジャイアント"・ノルキヤ選手は、名前のとおり、とにかく大きいし（身長2メートル11センチ!!）、ピーター・グラハム選手も、アメリカのコミックに出てきそうな面白い選手で、皆それぞれ個性があってインタビューしていても楽しかったです。

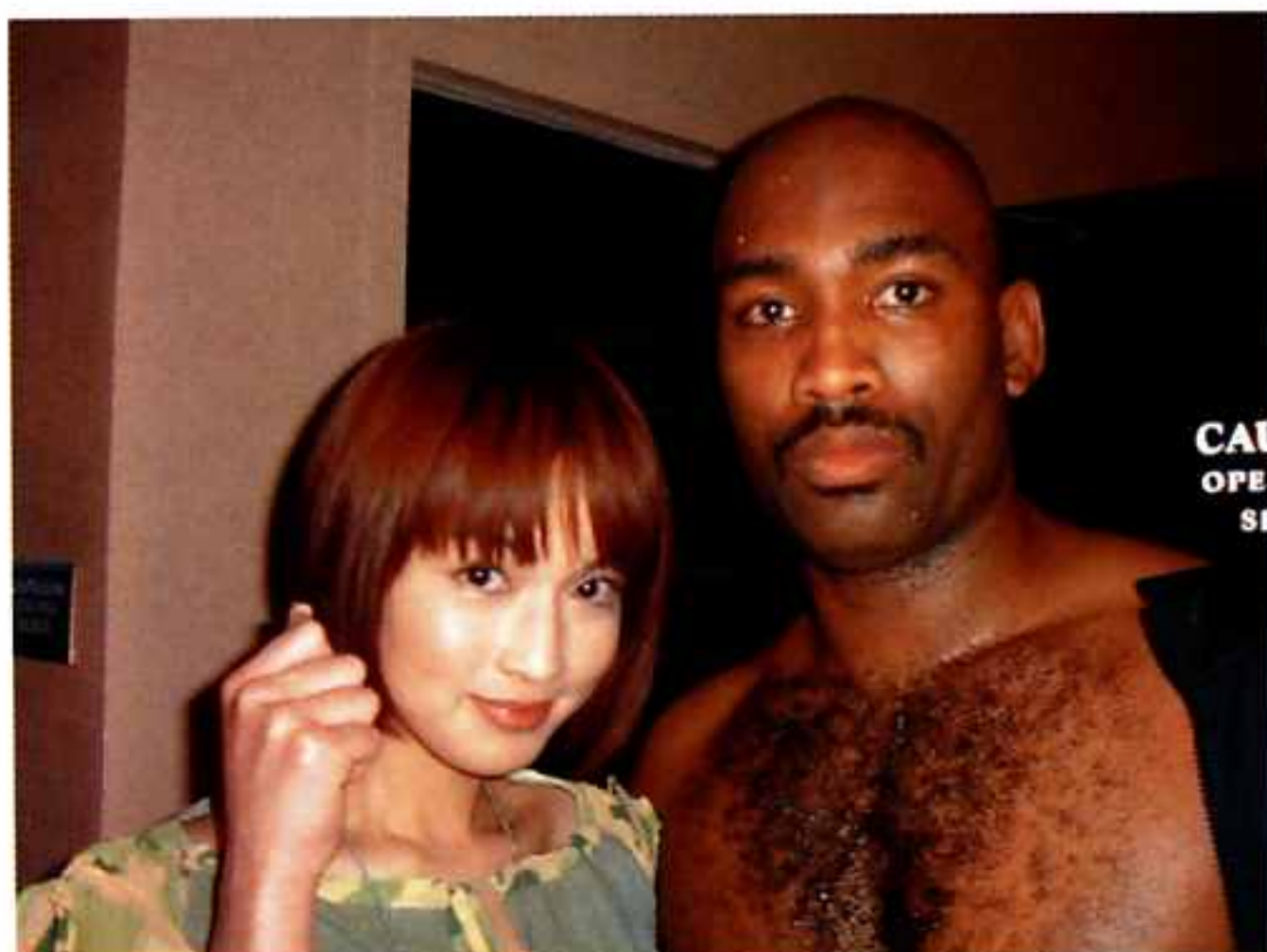
今回、会場が大阪だったこともあって、大会前に京都のアンディ・フグ選手のお墓参りに行ってきました。アンディ選手の眠っているお寺は、本当にキレイな空気が流れていて、静かで落ち着いた所でした。ここで、アンディ選手はゆっくりと休んでいるんだなぁと思うと、ちょっと感慨深いものがありました。

大会の話に戻りますが、今回は本当に、バンナ選手の一人舞台でしたネ。セフォー選手は背中を痛めてしまうし、パヴェル・マイヤー選手も、決勝戦のアダム・ワット選手も明らかにバンナ選手に圧倒されてしまっていて……。やっぱり、リング上でのバンナ選手って、計り知れないパワーがあるんでしょうネ。でも、今回の組み合わせは、バンナ選手にとっては易しすぎたんじゃないカナ？って気もしました……。

そして、大阪大会に引き続き、行ってきましたラスベガス。5月5日に行われたアメリカ予選を見るため、前日に入り、その日はいろいろな所でロケをしました。去年初めて行って、今回が2回目のラスベガスですが、ラスベガスってまるでおもちゃ箱!! 遊ぶためだけに作られたようなこの街は、国をイメージして作られたホテルがいくつかあって、パリのエッフェル塔はあるし、自由の女神はいるし、ピラミッドはあるしで、とにかく面白いんです！ 中でも一番感激したのは、フリーモント・ストリートという所で、夜に行われていたアトラクション。道を覆うアーケードに電球で様々な絵模様が描かれて、音とその光がなんとも言えないくらいステキ♥ そんな街で行われる大会だから、会場に集まったお客さんたちも、とても陽気で、初めからスゴイ盛り上がり!! ホテルで行われた大会も花火が仕掛けてあったり、紹介ＶＴＲも作ってあったりと、とてもしっかりした演出で、ホテルの中にある会場とは思えないくらいに立派でした。

今回のアメリカ予選出場選手は年齢層が高くて、優勝したモーリス・スミス選手はナント39歳！ 準優勝のマイケル・マクドナルド選手だって36歳だし、さすがにトーナメントはキツそうでした。私としては、やっぱり元チーム・アンディのマイケル・マクドナルド選手に勝ってほしかったんですが、ディフェンスの上手なモーリス・スミス選手が優勝！

それにしても、今回ラスベガスに行きながら、1回もカジノができなかったんです！ 次は絶対にやるんだから～!! ■

はみだしはせキョー

長谷川京子（はせがわ・きょうこ）1978年7月22日生まれ。22歳。千葉県出身。B型。身長166センチ。特技/水泳。趣味/ピアノ。雑誌/Cancam（小学館）専属モデル。CM/エルセーヌ、アテニア化粧品

ガチンコ・ファスティング・ニュース！

ファスティングをやっていたら、1年しかもたない選手生活が、10年続くかもしれない!!

前号に掲載された“理系のターザン”こと山田先生の講義には、読者&業界も大反響！　編集部内でも、サダハルンバ編集長に続けとばかりにほぼ全員が経験し、口を開けば「今日、ファスティング何日目？」という有様。しかし、減量や体質改善の効果は絶大！　今回は“猪木教徒”として名高い浅草キッドの水道橋博士氏が、ファスティングに挑戦したぞ!!　でも、この写真①なんかどっかで見たような体つきだけど……

①

レポート◎水道橋博士（浅草キッド）

準備期間

猪木様に、「元気ですかーッ？」と言われれば、現場ではノリノリでお答えしながらも、実生活ではハーハーと息切れしがちな俺は“ギッド”と名乗りながらも、もうすぐ39歳の“オヤジ”である。

寄る年波に体力の衰えを感じて、1年前からあのビル・ロビンソン先生がコーチをつとめる、高円寺の格闘技ジム『UWFスネークピットジャパン』（以下、『SPJ』）へ通っている。

「最近ずいぶん、筋肉質になったねぇ」と言われることもあるが、やはり哀しき中年、このジムの組技・立ち技コースにはスタミナがついていけず、わき腹には贅肉、すぐに「疲れた〜」を連発する体質はいかんともしがたい。

そこで今回「オガワの体も信心から」ということで、“聖水”ファスティング・ジュースに猪木教徒の現世利益を求めて、3日断食に挑戦することにした。

きっかけは、前号の山田教授の講義である。雑誌発売日に記事に興奮して、その足で神田の「グレート・アントニオ」を訪れ『ファスティング・ダイエット』を入手した。

編集部で試用前の写真撮影、体重59・5キロ。この日以前、GWにプライベートで台湾旅行へ旅立ち、一日8食の飽食をしていた俺は、金正日総書記の長男・金正男氏が成田空港へ降り立ったのと同じ5月3日に帰国した。この時は、記録的なデブだった。（写真❶）

実は、「お笑い」としてはこのレポートも、ファスティングしながらも何故かどんどん太り続ける、橋本破壊王弁当「ファッティング」計画も胸にはあった。あるいは、偽猪木こと春一番のアル中時代のように、ガリガリ君になる展開も考えたのだが、それでは心の師・猪木様に申し訳ない。

自分の中には、一つの理想像があった。

目を瞑ると、あの日の猪木様を思い出す。96年1月4日、東京ドーム——。

猪木様、ファイナルカウントダウン第5弾で7年半ぶりのベイダー戦。170キロの巨漢のバックドロップ、ムーンサルトを食らい、KO負け寸前から、猪木様は奇跡の大逆転勝利を飾った。

この時、猪木様は53歳だった。しかも10ヵ月ぶりの試合だった。2期目の参議院選挙に敗退し、政務に追われることのなくなった猪木様は、十分な調整期間をもって、この試合に臨むことができた。

数年来、猪木神話凋落が囁かれる中、不振だった猪木様のファイトぶりは、真に肉体的衰えによるものなのか、あるいは政務から来る調整不足が原因なのかを、はっきりと証明した試合であった。

そして、年齢を感じさせない、無駄な贅肉のない肉体は、猪木様の人前に立つ、プロ意識の強さを改めて確認させてもらった試合だった。さらに言えば、この試合は、かつてヒーローであった猪木様に対し、俺が再び、猪木信者に出戻りするきっかけとなった聖戦であった。

俺のファスティング後のイメージは、あの日の猪木様である。ただ「腹減った」「苦しい」と言いながら、我慢して断食だけするのなら、芸人でなくても誰でもできるんだよ！

「もっと、オモシれぇことやればいいじゃん」と、エンターテインメントを自分に言い聞かせ、「人生のホームレス」から、「人生のフードレス」へ。

「やれんのかッ！　おい！」猪木様の天声が、聞こえてきた。

ファスティング初日

5月14日、今日より4日も続けてテレビのスケジュールが空く。この期間に、猪木様に誓って、断食を行う。

日常生活で、一瞬たりともこの誓いを忘れぬよう、御本尊である猪木様のフィギュアを持ち歩くことにする。

そして、今日から3日間、食事を口にしてはならない。唯一、飲めるものは猪木様が若かりしころ愛飲して、3日3晩、立ちっぱなしになったという人参ジュース（これも試してみたい）ではなく、ファスティング・ジュースと水のみ。

80種の野草・野生果物を1年以上も自然発酵させて作った酵素ジュースの青汁、グレート・カブキの毒霧みたいなものだが、甘味があり、ちょっと濃い養命酒のようだ。オーちゃんが「まずい、まずい」と言っていたが、いやいや、青汁よりも全然、うまい。

断食には、なんといっても気分転換は重要だ。場所を変え、人に会い、会話を楽しむ。そして、自分が断食している事実を相手に伝え、その人たちにも、オンブズマン、監視人になってもらう。いや、自分が闘うリングの観客になってもらうこと。ファスティングには、この「退路を断つ」作戦は有効ではないか。

さて、誰と会うか？

いまや、『SRS・DX』編集部と断絶、競馬の使い込みで生活費に困り、セルフ断食をしている人、ターザン山本さんに電話。

案の定、「週末の競馬で全てを使い果たし、ゼロ円生活で腹を空かしている」とのこと。「映画と食事をおごるから」と新宿に呼び出す。新宿高島屋アイマックスシアターへ。（写真❷）

②

昔、場末の映画館の映写技師だったターザンさんは、映画作品そのものより、映画館での映画体験を愛しているようなところがある。一度、この落ち武者が死ぬ前に、この超巨大スクリーンを見せてあげたかった。

「ファスティングを始めました」と言うと、「それは最悪ですよォォ。我慢することほど、体に悪いことはないですよォォォ！ しかも、谷川がやってるんじゃあ、ロクなことないですよォォォォ！」と予想どおりのターザン節。ま、俺はその台詞を聞きたいわけだ。

この劇場の売り物である3Dセットを着用したターザン、まるで容貌魁偉なおばけクラゲ。はたまた桜庭マシンマスクか、あるいは将軍KYワカマツのようだ。こういう格好させたら、この人のビジュアルの決まり方ったらない。（写真③）

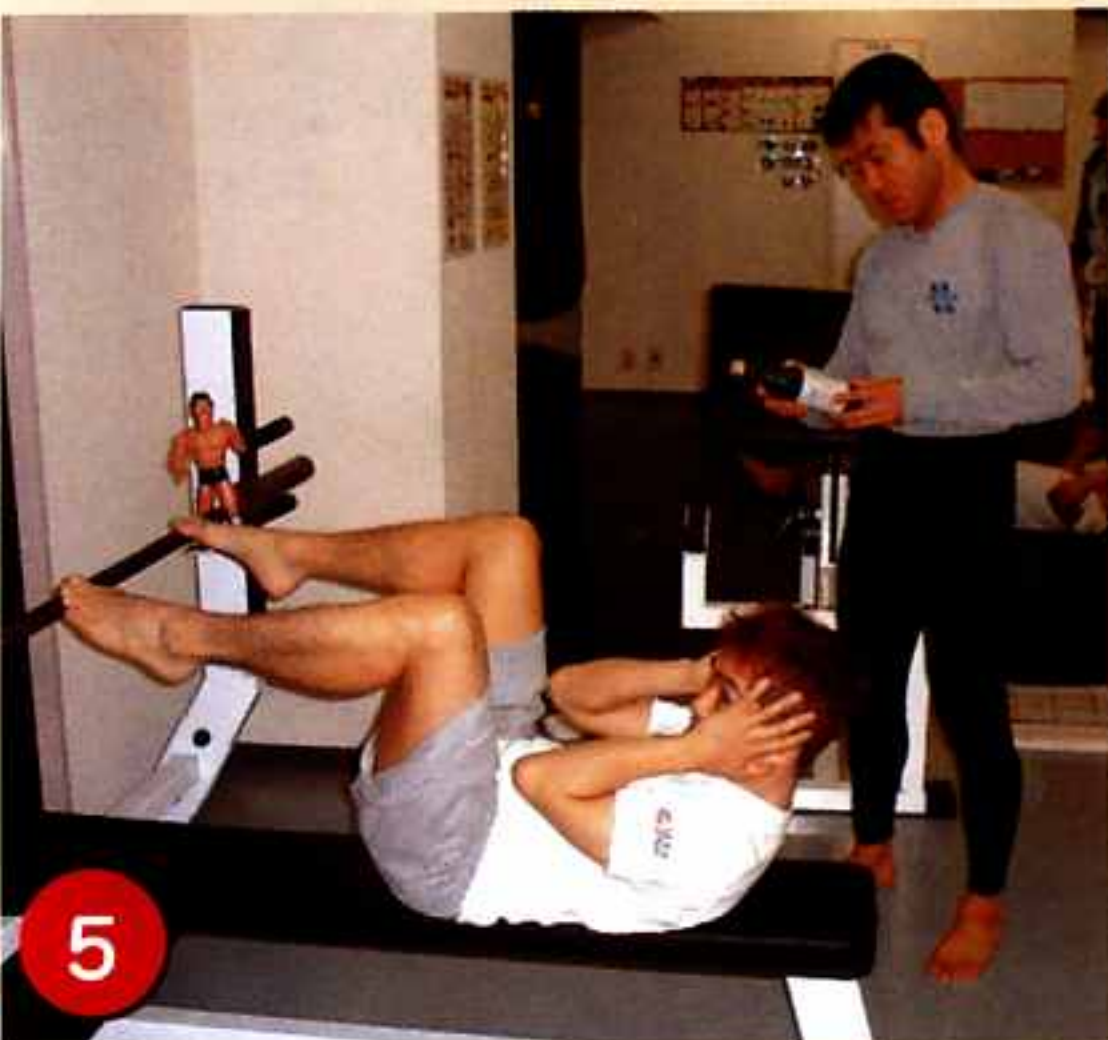
「道はどんなに険しくても笑いながらあるこうぜ！」ってことで、すっかり空腹を忘れていたのだが、映画の間中、ターザンがボロボロ落としながら、パクパクと食べるポップコーンの匂いが、ボディブローのように腹に沁みていた。

ターザンさんを連れて、阿佐ヶ谷、中華料理「福来飯店」へ。とにかく、たっぷり食べて、大いに飲んでいただいて、俺は自虐的に、一人ファスティング・ジュースを飲むって〜つもりだったのだが……。しかし、食事やアルコール抜きの席が、これほどコミュニケーションに困るとは思わなかった。（写真④）

ガチンコ・ファスティング・ニュース！

酒席で、つまみを食っていなかったら、こんなに話の食いつきも悪いものなのか。「オモシれぇじゃん！」と思ったこの企画は大失敗だった。空腹は募るし、宴は決して盛り上がらない。

教訓！ 断食中の酒席・宴会は断じて避けるべし。

21時、今度は、高円寺の『SPJ』へ。トレーニングに励みながら、ジムの代表である宮戸さん（元Uインター）がいろいろファスティングについてアドバイスしてくれる。宮戸さんは、以前から頻繁に断食をやっており、時には7日間断食すら敢行する断食のエキスパートだ。まさに、ここが俺の断食道場だ。（写真⑤）

「メシやつまみ食わなければ、夜に、焼酎飲むくらいいいですよね？」

すっかり、気持ちが萎えてきていた俺がうっかり口にすると、「最悪ですよ！ それじゃあ、断食の意味がないですよ!! せっかく、休息させた肝臓に突然アルコール流し込んだら、パンクしますよ！ あのね、断食は痩せるためにやるんじゃないんですよ!!（怒）」と宮戸さん。

確かにそうだ。山田教授もちゃんとそう書いている。しかし、その点は、ついつい忘れがちになる。

「正しいやり方でやらないのなら、ファスティングはやらないほうがマシなんですよ！」と宮戸さん、かなりウルサく言ってくれる。

教訓：「ファスティングは、ダイエットのためにやるのではない」と常に肝に銘じるべき。

俺の場合、毎日、晩酌をやるので、食事よりも寝酒の禁酒がツライ。

谷川さんは、眠くてしかたがなかったと書いていたが、俺は初日、腹が減って眠れず、夜が長くて困った。そんな時「闘魂とは己に打ち勝つこと」と猪木様の声がまた聞こえてきた。

猪木様！ もし俺が怠けていたら、「叩き落としてくれ！」。

ファスティング2日目

朝から空腹。グルメ本を眺めながら、断食終了の日を夢見る。しかし、とにかく家にいたら、耐えられない。やはり、書を捨てて町へ出よう、と気分転換に下北沢へ。Tシャツとシューズを買い漁り、『紙プロRADICAL』編集部を冷やかした。そして、今日も『SPJ』へ。

実は、今日は1年の中でも、特別な日だ。『SPJ』に入会して、ちょうどこの日で1年が経った。選手や本格的に通っている人とは違い、俺などは、ほんのコンディショニング程度のものなのだが、こんな3日坊主の俺がよく続いているものだ。しかし、断食はもう3日坊主ですら長すぎる〜って気持ちになってきた。「2度とやりたくない」が正直なところだ。

そう言えばファスティング・ジュースをバーム（スポーツドリンク）で割って飲んでいたら、宮戸さんに「ダメダメ、水じゃなきゃあ、意味がないですよ！」と注意される。説明書きにも、摂取してよい物は、このジュースと水あるいはお湯だけと書いてある。あたかも、チョップ・ヒジ打ち・投げ・タックル、全て禁止というがんじがらめルールの中でM・アリと闘った猪木様のような八方塞がりの窮状である。仕方ない、これは遵守するしかないのだ。

この時期、今更ながら水の美味に感動するようになる。ブランドはもちろん、自然水、硬水、軟水などミネラルの含有率が、舌先でしっかりと感じられるようになる。今なら水道橋博士改め、〝水道水〟博士として水ソムリエになれるかも。

大江慎さんの「立ち技クラス初級」に1時間出席。「断食中はやめといたほうが……」と宮戸さんの忠告もあったが、いやいや、いつもより体が軽いくらい。なんだか俺、快調だなぁと思ってしまう。（写真⑥）

就寝。だが、腹が減って眠れない。しかし、3日間というのは、4日目の朝までなのか？ 3日目の夜までなのか？ 谷川さんに電話してみようか、と朝方まで思っていた。

ファスティング3日目

朝、11時、なんと『SRS・DX』編集長の谷川さんからの電話で起こされる。谷川さんからの電話なんて珍しいだけに、ファスティングっていうのは、テレパシー能力、シンクロニシティー（共時性）現象さえ授かるのか。

谷川さんは、俺の質問に、「4日目の朝に食事はとれるんですよぉ〜」と絶望的なことを言う。「でも、体重は4日目以降も落ちますよぉ。終わったら記事を書いてくださ〜い!」と。たしかに、痩せるためにやっているわけではないが、公開を前提にやっているとなるとビジュアル的にはショッキングに証明したい、再び「やれんのかッ！ おい!」猪木様の天声を聞き、16時半『SPJ』へ。

ちょうど、ビル・ロビンソン先生を、週刊プロレス・スペシャル一行が取材中。（写真⑦）リングを自在に使って、プロレスの奥義・秘義を語るロビンソン先生の、かっこいいっぷりったら、ない。

俺のTシャツには、ど根性カエルのピョン吉のように、猪木様が……。そして脳裏には往年の「猪木VSロビンソン」戦が蘇る。あの60分におよぶ耐久戦を思い返し、さらなる忍耐とトレーニングを言い聞かす。俺が週プロ・スタッフと話し込んでいる間、気が付けば、立ち技コースが始まり、「帰る」とは、言い出せない雰囲気に。

「(これ以上やったら)死ぬだろう!」と思いつつ、予定していなかったが、そのままクラス出席。20時半終了。結局4時間も『SPJ』にいた。ファスティング期間中、時間の流れはゆるやかだ。それが、苦しくもあり、もどかしいのだが、ジムにいる間は（最終日に好都合にも）、時間を忘れられた。

教訓：断食という、普通につらいと思えることも、もっとつらいことを「どうってことねぇですよ〜」と、猪木イズムで楽しんでやっていたら、忘れられるってことだ。つまり「いつも心に猪木を」ということなのだ。

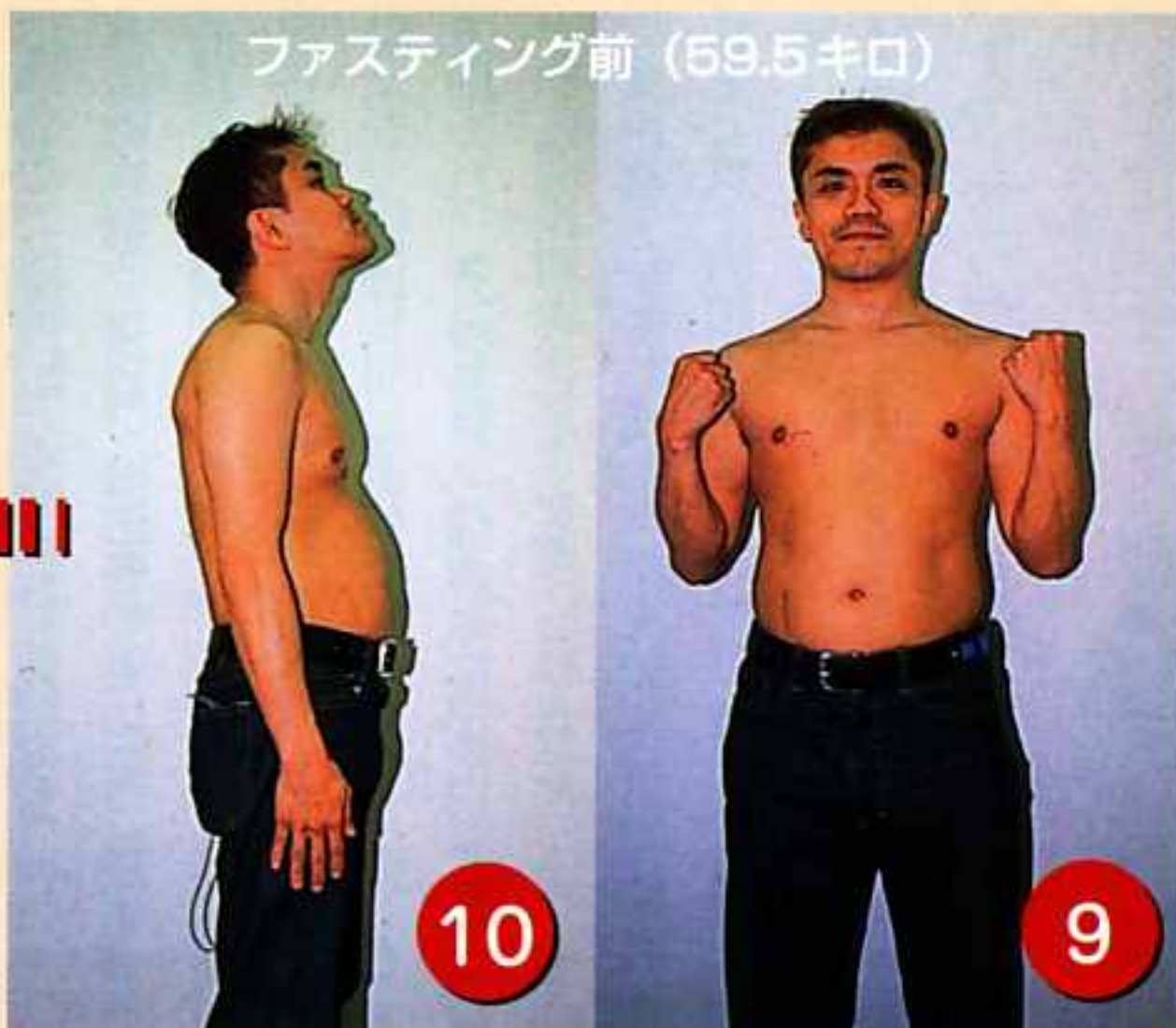
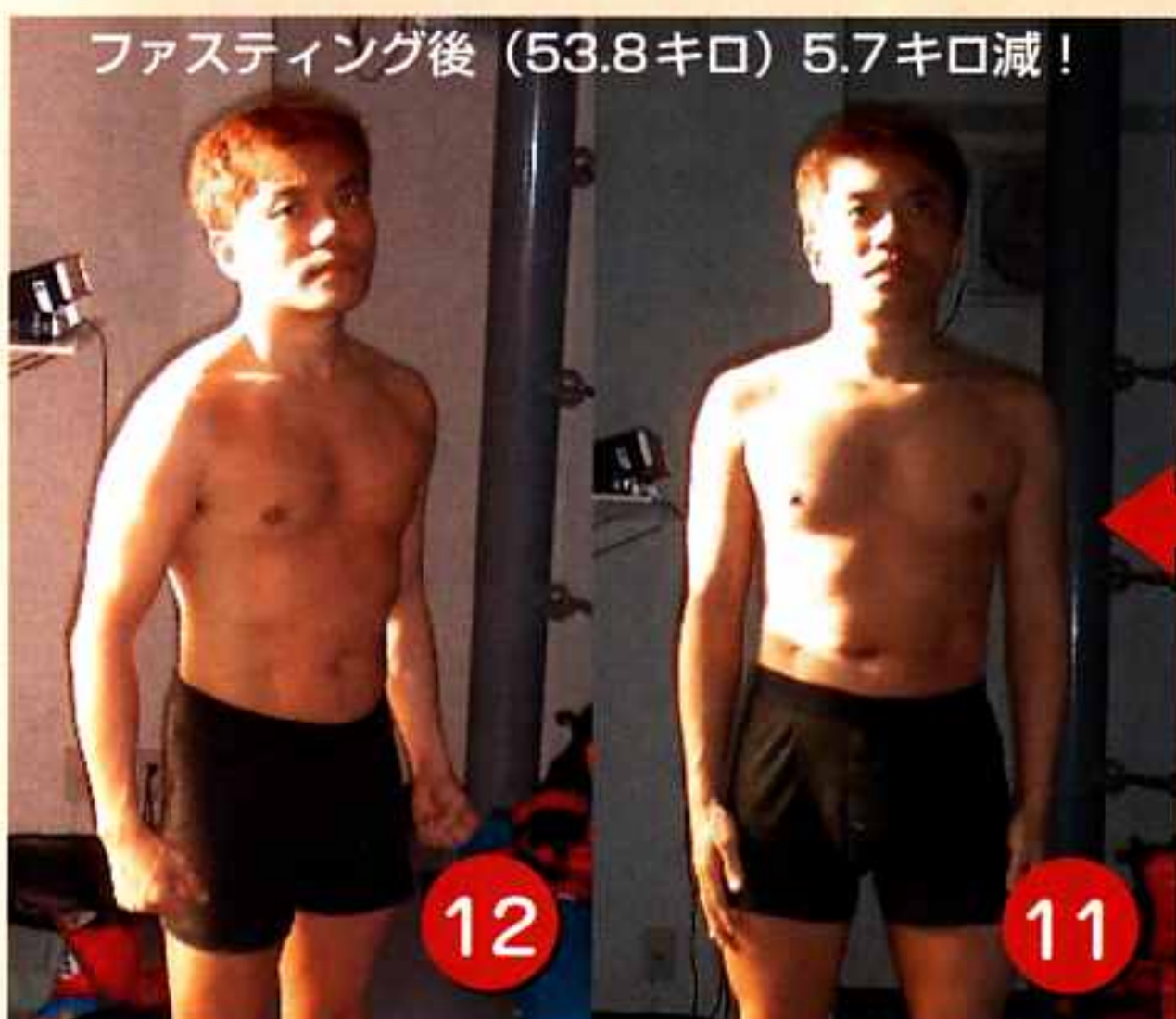
計量、55キロをわずかに割る。（写真⑧）

3日で、マイナス4・5キロだ。この日も、夜は腹ぺこで眠れなくて困る。ただし、短時間睡眠の疲労がまったく感じられないのは、不思議な経験だった。

ガチンコ・ファスティング・ニュース!

ファスティング4日目以降

回復期の3日間も、お粥を中心に固形物を摂らないようにした。体重は、自己最低の53・8キロまでダウンした。しかし体調は、自分でも驚くほどアップした。（写真⑨⑩→⑪⑫）

ファスティング前（59.5キロ）

ファスティング後（53.8キロ）5.7キロ減！

細胞レベルで、闘魂が蘇っている。こんなファスティングをやっていたら、1年しかもたない選手生活が、10年続くかもしれない、と思えるようになった。

映画ファンに分かりやすく言えば、「アンブレイカブル」のブルース・ウイリスが、自分の能力に目覚めて、自分に対して半信半疑で訝るような気分だろうか。

断食を完遂すると「自分で自分を褒めてあげたい」ような、有森裕子気分に浸れるものだ。

猪木様に、少しでも近づきたい。イスラムのラマダンのように宗教的な帰依の心を持てば、苦行も苦行と感じない、愉快な気分を持てるものである。

2日目には「2度とやりたくない」と思っていたのに、今は、「もう一丁!」、あるいは「修行とは出直しの連続なり」の心境である。

調子に乗ってオモシロおかしくやっている様に見えるだろうが、くれぐれも簡易なダイエット法だと思ってやらないこと。断食前、後の体調管理、原則ルールを守ることを徹さないと、むしろ健康を害し、リバウンドも激しく起こる恐れもあることを知っておいたほうがいい。

毎日、運動しながら……、というスタイルは、あえて俺が自分に課したルールだが、これは真似をしないほうがいいとのことである（毎日30分程度の散歩くらいがベスト）。

ページ数もないので、詳しくは『SRS・DX』46号に掲載されていた「ファスティング・ジュース」を発明した〝理系のターザン〟こと山田豊文先生のインタビュー、または、俺たち浅草キッドのホームページ（http://www02.so-net.ne.jp/~a-kid/）のファスティング日記を参照してくれ!

とにかく、今なら、猪木様の「元気ですかー!?」のお題目に対して、迷わず、「元気で〜す!!!」と叫べるのは間違いないのだ。猪木教徒として、日常生活全てが「全ての道はイノキに通ず」なのである。

そして、今日から俺は「炎のファイター」ならぬ、「炎のファスター」ダァーーーッ! ■

ああ、なんて切なく、なんて小路らしい、この負けざま……

ダン・ヘンダーソンに大惨敗
されど、小路の我慢に
"プロレス的感動"を見た！

▶サイドポジションからのヒザ蹴りを何発となく浴びた小路晃。ひたすら耐えていたダン・ヘンダーソンに攻められっぱなしの試合だったが、

圧倒的な実力差に八方ふさがり。立っても寝ても打つ手なし……だけど、タップだけはしない！

スタンドでのヒザも、モロに顔面を捉える

◀こんなに顔を腫らされてしまった小路。寝技でもスタンドでも歯が立たず、小路にできるのはただ、我慢のみ……

◀パンチの連打で、何度も小路を追い込んだヘンダーソン。組んでからのパンチも巧みで、しかもローキックを混ぜたりと絶妙のコンビネーションを見せていた

◀いとも簡単にマウントを奪ってしまう、その強さ！ ヘンダーソンはコブラクラッチ状に腕を固めてから殴っていた

◀試合開始直後。パンチ連打をハネ返し、思わず倒れた相手に拳を振り

みっともないと言えば、あまりにみっともない姿だった。

慧舟會から離脱、フリーとなっての第1戦。「今まで積み上げてきたものは全部チャラ。これから1試合1試合が崖っぷちです」と言っていた小路晃だが、ダン・ヘンダーソンに敗れ、見事なまでに崖から突き落とされてしまった。

全ての局面で、小路はヘンダーソンに劣っていた。やられっぱなしだった。しかし考えてみれば、これは小路がダメなんじゃなく、ヘンダーソンが凄すぎたのだ。

パンチとロー、ヒザを巧みに織り混ぜたコンビネーション。相手に組み付き、上体を制してからのアッパー。それにグラウンドでの的確な打撃。今大会を観戦した選手たちに話を聞くと、このヘンダーソンVS小路戦をベストバウトにあげる者が多かった。それだけ内容がギッシリと詰まった攻撃をヘンダーソンが見せたということだろう。

殴られ、蹴られ、小路は1R終了時点で、すでに顔を無惨に腫れ上がらせていた。3Rを迎える頃には、体は満足に動かなくなり、その目も光を失っていた。それでも小路は、タップだけはしない。

〝決してあきらめない男の矜持〟なんてかっこいいことを言うつもりはない。ヘンダーソンの前になす術がなかった、というだけのことだ。スタンドでもグラウンドでも勝てず八方ふさがりの小路には、ひたすら耐え続ける、つまり根性を見せるしか手がなかったのである。そのやられっぷり、負けっぷりの切なさときたら……。

そうだ。小路の魅力の大きなファクターは、根性と切なさなのだ。

PRIDE.14
5.27★横浜アリーナ

「どこまで攻めればいいんだ……!?」無機質アスリート（ヘンダーソン）が、初めてナマの感情を出した

ヘンダーソンのコメント

「小路は凄く石頭だった。今も手が痛いよ（笑）。それと精神力が強い。もしレフェリーがストップしなければ、小路は試合をあきらめなかっただろうね。でも、選手の安全を考えたら、止めたのは良かったと思う。彼は最初は攻撃してたけども、あとは防御に徹してしまった。そうなると打撃がうまく当たらないので、そういう意味では勝つのが難しい相手だった。ボクはいつも積極的に前に出て闘おうと思ってる。小路のことは、少しだけ知っていた。精神力が強いということと、石頭だということ。それとオールラウンドな選手だということだね。立ち技もいいし、寝技もいいと思ったけど、今日のところはボクが上回っていたね」

KOにされてもおかしくない倒れ方をした小路だが、すかさずガードの体勢を取ったことで試合は続行に。「まだ攻めなきゃいけないのか?」といった感じでヘンダーソンはボー然

◀3R。コーナーで上段のヒザ蹴りがクリーンヒット！　倒れた小路を見て、ヘンダーソンは勝利を確信したのか追撃せず、ガッツポーズを見せた

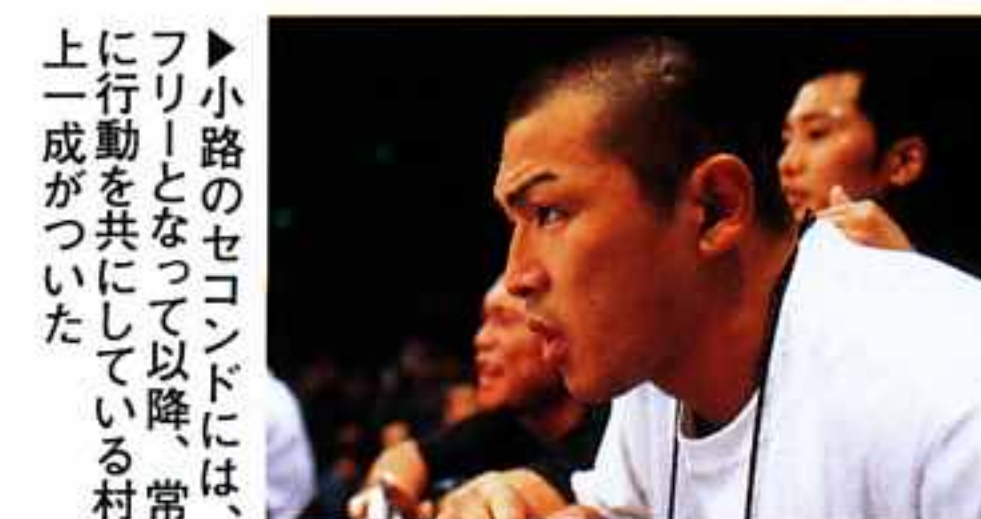
▶ルールで許されたことなら無感情になんでもやってしまうイメージがあるヘンダーソンだが、今回、初めて自分の攻めを躊躇する場面があった。圧倒的な勝利にも、この表情。疲弊しきったような、抜け殻のような……

★第6試合（1R10分、2・3R5分）
○ダン・ヘンダーソン（3R3分18秒、レフェリーストップ）小路晃●
〈USA／チーム・クエスト〉　〈日本／フリー〉

ボロボロの小路は病院直行

▶さんざん粘った小路だが、最後はグラウンドでヒザを連打され、レフェリーストップがかかった。全身ボロボロの小路は、試合後、病院に直行

▲猪木VSアリ状態になると、ミョーなステップで踊ったり、いきなり相手に背中を向けたりといったフェイントを見せた小路。が、見せ場はここまでだった。1R中盤からは、延々とヘンダーソンの猛攻が続く

▶道衣の帯をブンブン振り回し、気合い満面で入場した小路。フリー第1戦への意気込みは、充分すぎるほどに感じられたのだが

▶小路のセコンドには、フリーとなって以降、常に行動を共にしている村上一成がついた

◀試合開始直後。パンチ連打をハネ返し、思わず倒れた相手に拳を振り降ろしていった小路。従来のイメージをくつがえす怒涛の攻撃に、観客も大歓声で応えた

アクターは、根性と切なさなのだ。ボブチャンチン戦やコールマン戦がそうだった。どうにもできない体格差、実力差のある相手に、根性をほとんど唯一の武器にして立ち向かった小路。その切なさは観客の心に深く突き刺さった。そして、今回も……。

　ヘンダーソンの強さが図らずも引き出した小路らしさ。それは同時に、ヘンダーソン自身の新たな一面を引き出すことにもなった。

　彼はもともと、五輪にも出場したレスラー。一流のスポーツマンである。スポーツマンシップはルール遵守が原則だが、裏を返せば〝ルールの中なら何をやってもいい〟ということだ。前回のヘンゾ戦。ヘンダーソンは「危険だ」「残酷だ」と騒がれた新ルール・4点打撃を、なんのためらいもなく無機質に使いこなしていた。

　だが、今回の試合では様子が違った。根性だけで闘い続ける小路を前にして、攻撃を躊躇するような場面があったのだ。ダウンした小路に追撃を加えなかったり、「どこまで攻めればいいんだ?」とでも言いたげな呆然とした表情を浮かべたり。それはおそらく、彼が闘いの中で初めて見せた〝ナマの感情〟ではなかったか。

　この試合で僕たちが見たのは、互いの持ち味を引き出し合う世界であり、闘いの中で人間の感情があぶり出しになっていく世界だった。ヘンダーソンと小路は、VTという枠を越え〝お互いのプライドがルール〟の攻防を繰り広げたのだ。ガチンコではありえないはずのプロレス的な感動が、そこにはたしかにあった。

（橋本）

『プライド』史上最強のストライカー対決が一転…

ビックリ仰天 ボブチャンチンの秘策！

な、なんと、チョークスリーパーだぁ〜〜〜！

ボブチャンチンの太い左腕がアイブルの首にめり込む。まさかまさかの奇襲だった

「オレはなんて間抜けなんだ！」

試合後の短い記者会見の間、アイブルは何度も繰り返した。生まれて初めてのギブアップ負けである。しかも、考えてもみなかった展開で、ものの見事に寝首をかかれたのだから、徹底して落ち込んだのも当然だ。

「イゴールは立ち技で来るとばかり思っていた。だからボクシングとキックの練習しかしていない。レスリングの準備なんてまるでやってこなかったんだ」

『なんでも有り』の総合格闘技者として、アイブルが浅はかだったのは言うまでもない。が、しかし、ボブチャンチンが、まさかあんな手を仕掛けてこようとは、誰が思いつくというのだ。しかも、なかなかの『お手並み』ときている。

アイブルが左ヒザを蹴ってきたところをキャッチする。そのまま押し倒して、サイドポジションから抑え込む。ま、ここまでは想像も及んだ。この体勢から、北の最終兵器は、その堅い拳をゴチンゴチンとブチ当てるのだろう。

だいたい、ボブチャンチンが格下のテリグマンに敗れた時、本誌はなんと書いたか？　プライド一の剛腕と言われていた彼を、『その弱点は打撃にあり』と断定したのだ。ただ、相手を押し倒してから腕力にまかせて殴りつけるだけ、とも。だから、ここは絶好の状況を作ったことになる。

ところが、ボブチャンチンは殴らない。アイブルの体をそのまま裏返しにし、カメの状態にしてしまう。ここにきても私や観客、そしてアイブル自身もまだ、このウクライナ人が拳やヒザで攻めに入

屈辱の完敗に、アイブルは一言。「オレはなんて間抜けなんだ」

ボブチャンチンのコメント

「7キロも減量したのは、体の動きを良くするため。前回はスピードがなかったからね。その分、厳しいトレーニングをしてきた。今回は立ち技、寝技両方の決着を考えていた。そして早く試合を終わらせるために、最良の選択をしたつもりだ。次はぜひコールマンと対戦したいが、今後はもちろん、打撃で勝負したいと思っている」

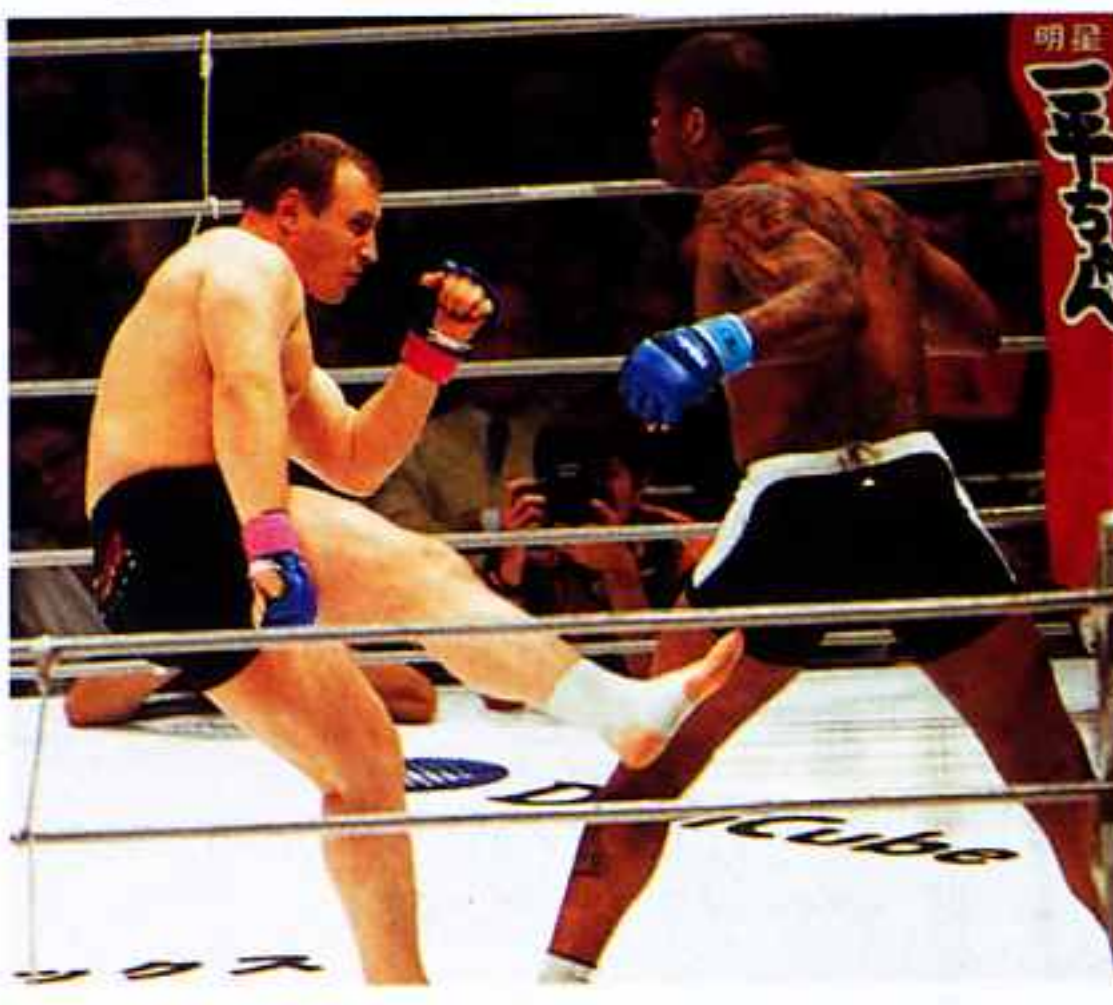
アイブルのコメント

「オレはなんて間抜けなんだ。イゴールには立ち技のイメージしかなかった。これまで藤田や田村、優れたレスラーとたくさん闘ってきた。なのに生まれて初めて絞め技でギブアップさせられたのが、そのイゴールだなんて。なんてバカげた話だ。そういう意味では、イゴールの頭が良かったということだが、どうしても再戦したいね」

▲「おーい、本当かよ」と誰もが仰天したこの結末。アイブルがこの後、徹底して落ち込んだのも当然か

▼ボブチャンチンが打撃を見せたのは、この左ローキックの一度きりだった

▼チョークスリーパーはカメの体勢になってからがっちりと決まった。アイブルはたまらずタップした

◀あまりにも意外な光景は、ここから始まった。アイブルの左ヒザをキャッチしたボブチャンチンは、このままグラウンド戦へと展開を持ち込むのだ

◀なんでこうなるの…。アイブルにとって生まれて初めてのタップアウト負け。それがボブチャンチンにやられるなんて

▲猪木さん、こんな結末を想像できましたか？
(右は映画監督の周防正行氏)

★第8試合（1R10分、2・3R5分）
○イゴール・ボブチャンチン（1R1分52秒、チョークスリーパー）ギルバート・アイブル●
〈ウクライナ／フリー〉　〈オランダ／ゴールデン・グローリー〉

るものだと信じて疑わなかったろう。ところがだ。ボブチャンチンはその丸太ん棒のようにぶっとい腕を、アイブルの首に差し込むと、そのまま絞め上げるではないか。

ビックリ仰天、晴天の霹靂、美女のおなら、とはこのことだ。だって、打撃オンリー、グラウンド・テクはからっきしが、ボブチャンチンという名前に、もうこびりついたイメージではなかったか。というか、柔術、レスリング、サンボその他もろもろ、各種格闘技の達人が集まる『プライド』のリングで、だからこそ最大級の異能を発揮してきたのだ。

それがチョークスリーパーである。いやもう、なんて言えばいいのか……。とにかく、モロに喉元を押しつぶされたアイブルは10秒ともたなかった。左手でマットを叩いて、空しく降参してしまう。

それにしてもだ。『プライド』の最大の魅力は、ゾクゾクするような危険な香りである。その中でも、この両者の対決には、プンプンとデンジャラスな芳香が薫っていた。ボブチャンチンの剛力パンチか、それともアイブルの切れ味抜群のキックか。恥ずかしながら、私も記者という身分を忘れてときめいていた。だから、なんだかすっかり拍子抜けって気もあるし、ボブチャンチンの奸計に感心しなければならない、というありきたりな評論が気休めにもなる。

両雄とももう一度闘うことに障害はないと強調している。即座に再戦となっても、十分に魅力的な顔合わせでもある。ただ、次回は打撃だけでやってほしいよな、やっぱり。

（宮崎）

『プライド11』谷津戦に続き、またしても『プライド』の番人ぶりを発揮したグッドリッジ。『プライド』に来る選手は、まずこの男の洗礼を浴びなければならない

PRIDE.14唯一の大番狂わせ！

グッドリッジ、リングスからやって来たオーフレイムを門前払い！

▲マーク・コールマン、トム・エリクソン、ケビン・ランデルマンという豪華なセコンド陣と記念写真。それにしても凄い面子が揃ったものだ

5月27日は大相撲夏場所の千秋楽であった。今場所なんといっても注目を集めたのが、モンゴルから来た朝青龍という力士である。まだ入幕して間もないこのモンゴル人力士は、今場所4大関と1横綱から勝ち星を奪ってしまった。

新しく上に上がってきた人間や、違う場所から来た人間に対する時、初めが肝心である。相撲でも、『プライド』でも一番初めに勝っておけば、相手に苦手意識を植え付けられるし、後々まで精神的に優位に立っていられる。

だが、こういった機能が実際に相撲界では、働いていない。特に、その役割を担うべき大関陣がてんでだらしがないのである。これは、朝青龍の例をとってみても分かることだ。

そこで、今回のヴァレンタイン・オーフレイムとゲーリー・グッドリッジの試合に注目してみたい。リングスから戦場を『プライド』に移してきたオーフレイムと、『プライド』で番人と呼ばれているグッドリッジの試合である。

オーフレイムは、今年の『KOK』トーナメントで準優勝し、現在UFCでヘビー級チャンピオンに輝いているランディ・クートゥアからも、一本勝ちを収めているという実力者。

戦前は最近の実績から見て、オーフレイムの勝利を予想した人のほうが、多かったはず。だが、所属するゴールデン・グローリーのマネージャー、ロン・ニキエス氏が乗った車の爆破事件や、弟のアリスター・オーフレイムが、監獄で4週間服役したりと、ここ最近身の周りでのトラブルが多かった。

PRIDE.14
5.27★横浜アリーナ

グッドリッジのコメント

「非常に嬉しい。新ルールになって、戦略を変えたんだ。今回はただ参加するだけではなく、勝ちにいきたかった。そのため、2人の友人（マーク・コールマン、トム・エリクソン）にレスリングとグラウンドでの殴る技術、サブミッションを教わった。俺は『プライド』の門番として、オーフレイムに門を閉めたということだ」

オーフレイムのコメント

「試合中に、目と指に異変が起きて凄く視野が狭くなってしまって、見えにくくなり、うまく自分のポジションを掴むことができなかった。それが自分にとって不利になった。そのためタップしたんだ。『プライド』ルールには慣れていなかったけど、それが敗因だとは思わない。今日はゲーリーが上手だった」

▲壮絶な打撃戦になると思われていたこの試合だが、いきなりオーフレイムはタックル。これをうまく切ったグッドリッジは、ヒザ蹴りをお見舞いした

▲ヒザ蹴りを喰らうとすぐさま仰向けになるオーフレイム。最近上達したグラウンドの攻防にグッドリッジを誘った

これが"腕相撲世界一"の腕力か!? 生半可な関節技など、この男には通用しない！

▲2月24日のリングス『KOK』で準優勝したオーフレイムが、遂に『プライド』初参戦！　リングスから来たアイブル、ヘンダーソンはことごとく初戦で敗れているが……

▶▲オーフレイムの最大の勝機はこのアームロックを極めたところ。極まったかのように思えたのだが、グッドリッジは強引に脱出！

▶アームロックから脱出したグッドリッジは、サイドポジションから痛烈なヒザ蹴りを繰り出す。これで勝負有り

『KOK』ルールにはないこのヒザ攻撃こそ、『プライド』ルールの洗礼！

◀ここで危険だと判断したオーフレイムは速攻でタップ！オーフレイムは『プライド』のルールに負けたのだ！

★第4試合（1R10分、2・3R5分）
○ゲーリー・グッドリッジ（1R2分39秒、ギブアップ）ヴァレンタイン・オーフレイム●
<トリニダード・トバゴ／フリー>　<オランダ／ゴールデン・グローリー>

このことが、試合に影響してないはずがない。

一方でグッドリッジはセコンドに付いてきた、マーク・コールマンとトム・エリクソンの2人と新ルールに対応すべく、特訓を重ね、『プライド』の番人としての準備をしてきた。

この準備万端が、今大会唯一の大番狂わせを引き起こしたのである。グッドリッジに言わせれば、大番狂わせでもなんでもない、と言うだろう。

しかし、世間は『KOK』で準優勝したオーフレイムのほうを上に見てしまう。朝青龍のような爆発ぶりを見せなければならなかったのは、オーフレイムのほうであったのだ。

今のグッドリッジは『プライド』では人気はあるが、番付的にはそう高い地位にはいないだろう。それが、新しく参戦してくる選手にいの一番に当てられる理由でもある。そんな叩き上げのグッドリッジの意地が爆発したのが今回の試合だった。

グッドリッジにしてみれば、『プライド』の番人としての役割を果たしただけというところだろう。

朝青龍のように、自分の地位を脅かしそうな奴は、その場で徹底的に叩いておく。

これは、相撲界の鉄則！　そういえば、グッドリッジは腕相撲世界一だった。まさかオーフレイムもグッドリッジが相撲の縁者だとは思いもよらなかっただろう。

相撲を知らずして、格闘家とは言えず。

結果、オーフレイムは朝青龍になり損ねてしまった。（小松）

たしかにビクトーの技術は凄かったと思うけど……

この試合、キミは満足できた？

ビクトーのコメント

「相手が14キロ重くて、極めようとしたけど極められなかった。自分は体重が軽い分、スピーディな動きで技を仕掛けようとしたんだが、判定はそれが評価されたんだろう。今日は寝技の技術も見せられたし、体の大きい相手にも負けない強いところが見せられた。いい試合ができて、日本の皆さんにも喜んでもらえたと思っている」

ヒーリングのコメント

「ガッカリだね。勝ったと思っていたからビックリしたよ。ずっと攻めて、試合を支配していたのは自分のほうだったからね。10キロ差のためにヒザ蹴りができなかったのが…。判定はロープを掴んでもらったイエローカードと体重差のせいだろうな。今までオファーされれば誰とでもやってきたけど、今後は軽い選手との試合は断るよ」

ヒーリングの残された攻撃。ボディへのヒジ&ヒザは痛そうだけど……

▲カメになるビクトーの脇腹に強烈なヒザ&ヒジを食らわすヒーリング。しかし、顔面への攻撃ではないため決定打にはならない

あっちゃ〜

◀2R。ビクトーにタックルされた際に、思わずロープを掴んで倒れまいとしてしまったヒーリングに痛恨のイエローカード。結局、このイエローが判定に大きく響いた

★第5試合（1R10分、2・3R5分）

○ビクトー・ベウフォート（3R判定3−0）ヒース・ヒーリング●

＜ブラジル／ブラジリアン・トップチーム＞　＜USA／ゴールデン・グローリー＞

※両者に10キロ以上の差があるため、体重の軽いビクトーが4ポイントでの顔面への蹴りのないルールを選択した。2R、ヒースにロープを掴んだため注意1あり

▲判定は3−0でビクトー。自分が勝っていると確信していたヒーリングは、信じられないという表情でセコンドを見つめた

▶1Rには目まぐるしいグラウンドの攻防から、ビクトーのフロントチョークが極まりかけるシーンも

スッゲ〜！ ビクトーが14キロ差のヒーリングをスィープ

▲体重で14キロ上回るヒーリングが上になるシーンが多かったものの、ビクトーはスィープで体勢を入れ換える素晴らしいテクニックも見せた

昨年までの『プライド』ルールは甘っちょろいものだったのか？ ビクトーVSヒーリング戦を見て、そんな思いを抱いてしまった。この試合と他の8試合との緊迫感が、いかに違うことか！

3月の『プライド13』からルールが改正され、4点ポジションでの顔面への足攻撃が解禁されたのはご存知のとおり。しかし、体重差がある場合は危険過ぎるということで、10キロ以上の差がある場合のみ、軽量選手が4ポイントの足攻撃の有無を選べることになり、今回体重差14キロのビクトーVSヒーリング戦にそれが摘要され、ビクトーが「ないルール」を選択。

そしてその結果、決め手を欠く試合が3R20分にわたって展開され、『プライド』参戦以来、膠着知らずと言われたテキサス男・ヒーリングが、観客に睡魔をお届けする、まさに〝癒し系〟に変身。さらに便意までもよおさせ、休憩前だと言うのに、多数のお客さんをトイレにまで誘ってしまったのだ。

この試合が面白くなかったと言っているのではない。グラウンドテクは両者ともに卓越していた。

しかし、あれほど批判された新ルールに、早くも観客が慣れてしまったのか？ その刺激&緊張感があたかも当然のことのように、会場に立ちこめていたのだ。選手も然り。ヒーリングの敗因の一つが、ルール変更によるモチベーションの低下であることは明白で、試合後には「今後、体重の軽いヤツとの試合はお断りだ」とまで言い捨てた。新ルールは予想以上に早く『プライド』のスタンダードになりつつあるようだ。（林）

PRIDE.14
5.27★横浜アリーナ

異色のコスプレ対決はプレスリーに凱歌！天才ニーノ、難敵オリベイラに"一本"!!

▲エルビス・プレスリーが大好きなニーノは、プレスリーのコスチューム（自前）で入場

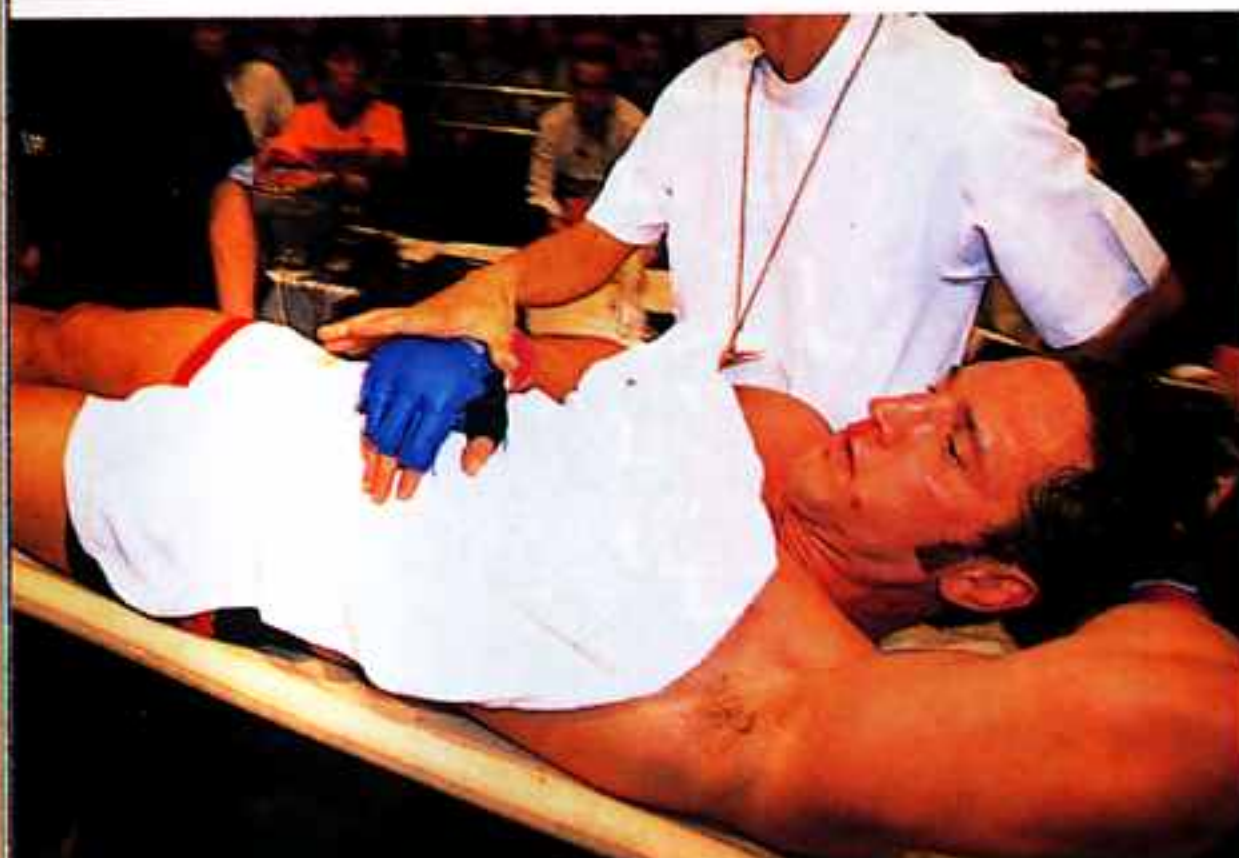
▲ニーノはこの試合が初のバーリ・トゥード戦。グラウンドで流れるような動きを見せ、一瞬のスキを逃さず腕ひしぎ十字固めで一本勝ちを収めた

▶オリベイラに勝利したニーノはこのポーズ。ニーノは、柔術で、世界選手権、ブラジル選手権、リオ・デ・ジャネイロ選手権合わせて計11度の優勝経験がある

★第1試合（1R10分、2・3R5分）
○ニーノ・"エルビス"・シェンブリ（1R7分17秒、腕ひしぎ十字固め）ジョイユ・デ・オリベイラ●
〈ブラジル/グレイシー・バッハ・アカデミー〉 〈ブラジル/アカデミーア・ブドーカン〉

実は今、私は彼女にフラレ気味である。浮かない顔をしていたのだろう、取材のために彼の宿泊先を訪ねたらこう言われた。「元気ないな。彼女にフラレそう？　だったら『サスピシャス・マインド』を聴けよ。元気出るからさ」。……優しい。そう、ニーノ・〝エルビス〟・シェンブリは大のプレスリー・マニアである。今回は自前のエルビス・ルックに身を固め、『ハウンド・ドッグ』で登場。「何者？」と思われがちだが、このエルビスはただ者ではない。ブラジルでは〝天才〟、または常に一本勝ちを狙う姿勢から〝ヒクソンの再来〟と呼ばれ、今年のアブダビではベスト・テクニック賞もゲット。今回は初VTにもかかわらず、現UFC王者のカーロス・ニュートンでさえ極めきれなかった男オリベイラから一本勝ちを収めた。しかも新ルールの中で残酷さの欠片も見せずに。その華麗さはまさに〝エルビス・オン・ステージ〟。ネクスト・ライブも要注目である。（宗忠）

◀一方のオリベイラも負けていない。前回『プライド12』では消化器を持って登場しファンを驚かせたが、今回は火消しのコスチュームでキメてくれた

UFCの刺客リデルは予想以上の実力者"膠卒"メッツアーを失神KOに下す！

▲失神したメッツアーはしばらく起きあがれず担架で退場。救急車で病院に運ばれた

▲『プライド』代表としてリデルを迎え撃ったメッツアーも負けていない。1R8分過ぎ、メッツアーの右フックがリデルの顔面を捕らえ、リデルがぐらつく場面もあった

▲リデルは、今年5月4日に行われた『UFC31』で、元UFCヘビー級王者のケビン・ランデルマンを相手に右ストレートでKO勝ちを収めたばかり。UFCが自信を持って送り込んできた刺客だ

▲2R開始早々、パンチラッシュでメッツアーを追い詰めたリデルは、強烈な右フックを決めKO勝ちを収めた。パンチをモロに食ったメッツアーは目を剥いて失神

UFCのケビン・ランデルマンが『プライド』への参戦を表明し、本格的に『プライド』とUFCとの交流戦が始まる様相を呈してきた。そして今回、UFC第一の刺客としてチャック・リデルが登場。リデルは、ランデルマンを秒殺KOに下した実力者だ。一方、『プライド』から迎え撃つは〝膠卒（膠着卒業）〟メッツアー。1Rはスタンドでの攻防に終始。メッツアーが優位に立ったが、お互い決め手に欠く、スタンドでの膠着状態で試合は進んだ。2R、リデルはラッシュを仕掛け、メッツアーはこれに応戦。リデルの右フックが決まり、メッツアーは失神KOで敗れた。豪快KOに歓喜するリデル。でもリデル、ちょっと待って。なぜあなたが勝てたのか分かる？　それはメッツアーが『プライド』戦士だから。膠着を許さない『プライド』で揉まれたメッツアーは、あなたの打ち合いに己のプライドで応えたの（多分）。リデルよ、分かった？　これが『プライド』だ！（宗忠）

★第3試合（1R10分、2・3R5分）
○チャック・リデル（2R0分21秒、KO勝ち）ガイ・メッツアー●
〈USA／チーム・パニッシュメント〉 〈USA／ライオンズ・デン〉
※右フック

総評

ノールールは選手の心技体を成長させる！
ルール改正は、やっぱり"是"だった

文◎谷川貞治

今、マット界で一番ファイターを育てている場は、紛れもなく『プライド』である。今回の『プライド14』を見て、まず真っ先に思い浮かんだのが、そんな感想だった。

前回の『プライド13』で話題となったルール改正問題。特に"ノールール"という、できるだけ制限をなくした公平な他流試合を実現し、真の最強を決める場をめざす『プライド』は、4点ポジションでの打撃を解禁することで、凄絶な試合展開を誘発してしまった。

カメの状態で頭を抑え込まれ、サッカーボールキックやヒザ蹴りを頭部に食らって負けた桜庭。しかも、これまでバーリ・トゥードの闘いを熟知していると思われていたヘンゾ・グレイシーまで、このルールの餌食となった。

その凄絶な結末に、『プライド』は野蛮な闘いに逆行したのではないかと、その危険性も併せて問題にされたのだ。

しかし、主催者のDSEは早急に何度もルールを変更するのではなく、選手や関係者の意見をリサーチしながら、今しばらく我慢して様子を見ようという決断を下した。こうしたノールールの理想と現実を、冷静に検証しようとする姿勢は評価に値する。

そして、いよいよ『プライド14』。前回と同様、よりナマの喧嘩に近いルールで行われた今大会だったが、驚くことにタックルを上から潰され、頭部にサッカーボールキックやヒザ蹴りを食らって負ける選手は一人も出なかったのである。

もちろん、この結果を受けて、"だからもう安心だ"ということには決してならない。しかし、さすが『プライド』に上がるファイターは超一流ばかり。たった1回の大会で、ほとんどの選手がその体勢を研究し、技術でそれをカバーしようとしているのである。

「ノールールの闘いは、危険だからと言って、人工的にルールを加えて安全性を確保するのではなく、選手の技術力で身を守ろうとするべき」と言ったのは、骨法の堀辺正史師範。その言葉どおり、選手は自分の技術で、その4点ポジションでの打撃から逃れ始めた。たった1回でこんな順応力を見せるとは、本当に恐るべきことである。

ただし、新たな危険な場面も何度かあった。特に、縦四方固めや横四方固めで上から抑え込み、ヒザで相手の顔面を蹴るシーンは危険だった。

これまで、ノールールの試合では、いわゆる馬乗りと呼ばれるマウントポジションが絶対的に有利だとされてきた。しかし、その馬乗りも返し方が研究され、また馬乗りパンチのディフェンスの仕方が研究されることによって、決して絶対的に有利なポジションとは呼べなくなってきた。

初期のUFCでは、この体勢になっただけで残酷なシーンが展開されるとヒヤヒヤしたが、それも選手が技術力で克服することによって、だんだん危険性も残酷性も薄まってきたのである。

今回、そんな馬乗りよりも危険に感じたのが、縦四方固めや横四方固めで抑え込んでのヒザ蹴りだった。この技で、メインの高山善廣以外に、小路晃、ヴァレンタイン・オーフレイムらが犠牲になった。カメの頭抑えからの打撃は見られなかったが、この体勢も危険度が高く、ヒヤッとする場面が何度もあったのだ。

しかし、それでも選手は、明らかに改正後のルールを技術で克服しようとしていた。試合後、堀辺師範は「やっぱり、ノールールは技術だけでなく、心・技・体全てにおいて選手を成長させる」と感想を語っていたが、まさにそのとおりだと思った。危険な場面が多く技の範囲が広い分だけ、選手は成長せざるを得ない。バーリ・トゥードだから、選手はルールに安心して、軽い気持ちで闘うことはできないのだ。

『プライド』の選手のモチベーションが、他の格闘技より高く見えるのもそのためだ。なんでも有りだからこそ、選手は最初から緊張感を持って闘わなければならないし、闘志や平常心を養わなければ務まらない。これもまた、ノールールが選手を育てている要因である。

堀辺師範が言う「心・技・体全てを育てる」というのは、まさにそのこと。見る側の人間も、その危険性が分かっているからこそ、そんな闘いの場に出ていくファイターから勇気を与えられているのである。

それにしても、もうひとつ気になったのが、「見る側」のほうはこの4点ポジションに対する打撃の解禁に順応したかどうかだ。最初、見たこともないような残酷なシーンには誰もが驚く。しかし、

PRIDE.14
5.27★横浜アリーナ

時代は馬乗りから、縦四方、横四方が危ない!

▲今回はタックルを潰されての4点ポジションで頭を抑えられ、サッカーボールキック、ヒザ蹴りを入れられる場面はほとんど見られなかった。選手は早くもそれを技術でカバーしていたのだ。逆に危険な状態は、馬乗りになられるのではなく、写真のように縦四方をとられるか、横四方固めになられて、ヒザ蹴りで頭部・顔面を蹴られるシーンだった

それが何回も見慣れていけば感覚がマヒするということがある。これもまた注意しなければならないことである。

極真空手が直接打撃制（フルコンタクト空手）を始めた時、多くの人は「そんなことをしたら人が死ぬんじゃないか」と心配した。しかし、今ではその極真空手の試合を「殺人空手」とか「ケンカ空手」と言う人は誰もいない。

かといって、感覚がマヒして、危険なことを危険に思わなくなったり、残酷な場面を残酷に思えなくなったりするのも問題である。それは、多くの場合、世論の多数派の答えを聞きながら、同時にディフェンス力も高めていって解決するものだが、そこも注意深く見守っていく必要があるだろう。

というのも、会場で比較的遠くから見ていたファンの何人かから「4点ポジションの打撃に、不思議と見慣れてしまったような気がするんです」という意見を聞いたからだ。

選手がたった1回の興行で、技術で危険性を克服していたのにも驚くが、たった1回の興行で、ファンが見る側の順応力を身に付けてしまったとしたら、これまた驚かざるを得ない。いや、本当にそうだったら怖いくらいだ。

ただし、それはあくまでも遠くから見た人の感想だろう。私はそれこそリングサイドで解説をしていたのだが、近くで試合を見ていれば、やはり緊張する場面が何度もあり、ヒヤヒヤの連続だった。これほどの緊張感を味わったら、他の格闘技を見てもインポになるのではないかと思ったほどだ。

私の隣で解説していた名キャスター・髙田延彦も、第3試合目あたりから「谷川さん、これ見ているだけで疲れるわ。ホント魂抜かれるよ」と何度も話しかけてきた。

たしかに髙田さんの言うとおり。さすがにナマの喧嘩を9試合も見せられると、その刺激の強さに他の格闘技の解説の何倍も疲れる。その反面、従来の「プライド」ルールで行われたビクトーVSヒーリングの試合は、物足りなくさえ見えた。4点ポジションでの打撃を禁止していた前のルールでも、以前は十分過激だと思っていたのに……。

それが刺激というものである。こんなのを見せられたら、他のプロ格闘技の興行は、プロレスじゃなくても、その存在意義を見つめ直す必要が出てくるだろう。過激とか、最強とか、緊張感ではなく、自分たちの競技の何を売りにするのか？　それを真剣に考えないと、本当にダメな時期に来ていると言っても過言ではない。

今回の『プライド14』は、まさにそんなナマの喧嘩のド迫力が、一番の見所となった興行だった。『プライド14』のどこが面白かったと言うと、良くも悪くもノールールに近くなった迫力。私にはそう思えた大会だったのだ。

それにしても……。ここまで『プライド』について考えさせられた意味で、また選手だけでなく、見る側も関係者をも成長させた意味で、ルール改正はやっぱり〝是〟だった。

格闘技は『プライド』で考えろ！　そう定義すると、プロレスだけでなく、『プライド』は他の格闘技にとっても〝黒船〟だったことが、あらためて分かる。だが、ノールールの正しいあり方の結論はまだ出ていない。我々はそれを求める旅に、いつの間にか引きずり込まれているような気がしてならない。■

前代未聞の大事件がオランダで勃発！世界中の格闘技界に悪影響必至！

アイブル、シュルト、ヒーリングらが所属

ゴールデン・グローリーのボス、ロンが殺人事件で逮捕！

取材◎編集部

4月下旬、乗車したベンツが爆破！犯人は親友。その報復になんと射殺！

まさに驚天動地・前代未聞の事件が、オランダで発生した。ギルバート・アイブル、ヴァレンタイン・オーフレイムらが所属するゴールデン・グローリーチームの辣腕マネージャーであるロン・ニキエス氏が殺人犯として緊急逮捕されたのだ。世界中の格闘技界に衝撃を走らせた、事件の背景を追ってみる。

さかのぼること1カ月前の4月下旬。ニキエス氏は格闘技観戦の帰途、友人から預かったベンツに乗り込んだが、エンジンをかけた瞬間に車が突然爆破。

車両は木っ端微塵に吹き飛んだ。幸いなことにまさに奇跡的にニキエス氏は一命をとりとめ、短期間の入院加療で事無きを得た。紛れもなく何者かに命を狙われたのだ。

警察当局はさっそく事件の捜査を開始。当然ニキエス氏個人も、犯人捜査に乗り出した。犯人の狙いは何なのか？ベンツの所有者である友人を狙った事件なのか？それともニキエス氏を狙ったものなのか？どうも犯人の意図がはっきりしない。

ところが、犯人はそのベンツの所有者であるニキエス氏の友人であったことが、仲間からの情報で判明。信じがたい事実に怒りの収まらないニキエス氏は、父親と共にその友人宅に乗り込み、当人を有無を言わせず射殺したという。

オランダの新聞やテレビ報道によると、射殺された友人はニキエス氏とは不動産売買でのビジネスパートナーだったという。これまでは互いに親友関係を保っていたそうだ。

ニキエス氏はオランダでは合法とされる大麻などの輸出で成功を収め、その後は稼いだ資金を元に不動産売買に転出。そこでもさらなる成功を収め、その個人資産は70億円以上とも言われている。

あり余る資産を元に弱冠33歳にしてニキエス氏が自分の最後のライフワークとして目をつけたのがファイティング・ビジネス。それが一昨年から突如としてオランダの格闘技界に乗り出してきた背景である。今回の事件は射殺されたビジネスパートナーとの仕事上の行き違いや、ニキエス氏が格闘技界で広く顔を知られるようになったことに対する個人的な嫉妬などが絡んでいるようだ。

日本ではゴールデン・グローリーのマネージャーとして関係者に名前は広く知られているニキエス氏だが、ゴールデン・グローリーとは単にチーム名だけではなく、会社名でもあるという。その会社に所属する選手にギルバート・アイブ

バス・ルッテン、ロブ・カーマンの間にいるのがニキエス氏。この事件は、日本の格闘技界にも影響は大。オランダ格闘技界が空中分解するのは必至だ

ル、オーフレイム兄弟、引退したラモン・デッカー、女子王者のイロンカ・エルモント、ヒース・ヒーリング等々がおり、修斗のマルタイン・デ・ヨングも近く入社所属する予定だったが、今回の事件で保留。パンクラスのセーム・シュルトは入社しているのかどうかは不明だが、マネージメント契約はすでにしている。日本での各団体のトップに立つ錚々たる選手が、全部ニキエス氏のもとにいることになる。

おそらくニキエス氏は有能なオランダ人選手の全てを抱え込む腹づもりでいたようで、他薦自薦で選手からの入社希望も多かったようだ。

契約というビジネスの基本に則り、所属選手へは毎月の金銭保証＝給料、それに闘う場として日本や他国との交渉やマネージメント代行という、選手にとってみれば願ったり叶ったりのこの上なくありがたいシステムを完成させる途中で、今回のニキエス氏の暴走事件となった。仮にこの組織が完成していればオランダ格闘技界は、事実上全てニキエス氏に握られるところだった。全てはニキエス氏の持つ莫大な個人資産を背景にしての急激な組織展開だったとも言える。ゆえに車両爆破の犯人は格闘技関係者の恨みによるものかとも推測されたが、実は最も近いビジネスパートナーだったところに、周囲は一応に驚いたようだ。

さて、そこで気になるのが今後どうなるのかという点だ。

残念なことだが、ニキエス氏を抜きにしてゴールデン・グローリーの存続は難しいように思える。というのも、あくまでもニキエス氏の個人資産というバックボーンがあっての組織だったわけで、その中心人物が懲役15年の刑を受けるだろうという予測のもとでは、オランダ格闘技界は何も変わらずに旧来の状態に戻らざるを得ないだろう。

それに加えて「やはり格闘技に関わる者たちは悪い人間が多い」という昔からオランダの人々の間にあった評判が、再び鎌首をもたげて噂されるのを止めることはもはやできないだろう。あのクリス・ドールマンが地道に努力して、遂に昨年リングスをオランダ政府公認のスポーツ競技として認めさせた功績にも、大きな泥を塗る結果を招いてしまったことになる。

ニキエス氏逮捕の事件で喜ぶオランダ人関係者は誰一人としていないらしく、むしろ全員が暗澹たる気分でいるようだ。

選手にはもちろん何の罪もない。ただし、ゴールデン・グローリーとつながりの強かった『プライド』や、ゴールデン・グローリーとの関わりが予定されている日本側の団体にとっては、今回の事件でイメージ的に影響を受ける可能性がまったくないとは言えない。オランダの一般の人々にとっては団体の違いなどまったく分からない。単純に格闘技関係者を見る目には、厳しいものが出てくることは必定だ。つまり、殺人を犯すような社長の会社に所属する選手を使う団体を人々はどう見るかだ。

いずれにせよ、時間が解決する問題には違いないだろうが、オランダでは2H2HやK—1などがテレビ放映されたりして、やっと格闘技人気が興隆してきた矢先だけに、新世紀早々の今回の殺人事件勃発は残念でならない。■

右足を切断しかけた男、加藤清尚、奇跡の優勝！

全格闘技ファンの皆さん、こんな凄い男、見たことありません！

決勝戦を終えて、引き上げてくる加藤。安堵した表情が印象的だ

今回大道塾の北斗旗全日本体力別選手権大会が開催された仙台は、私にとっては相撲時代を過ごした思い出深い土地だ。ここで私は5年半の学生時代を過ごすと共に、相撲の稽古に明け暮れていた。いわば、私の第2の故郷でもある。

私はこの仙台にいる間、足繁くプロレス会場に通ったが、今回開かれたような大道塾の北斗旗のような大会は、ついに見ることはなかった。ここ仙台に取材で見に来ることになろうとは、いったいなんの因果であろうか。

ここに来るまでの大道塾の予備知識といったら、昔西良典が北斗旗で優勝したこととか、市原海樹がホイスと闘ったことだとか格闘技ファンなら誰でも知っている事柄ばかりである。

しかし、この大道塾にはそれだけではなく、もの凄い男がいるということを今回初めて知った。その男の名前を加藤清尚という。

今回、この加藤は中量級で優勝した。この優勝したという事実が、いかに凄いかと理解するのには、加藤に対するいくらかの予備知識が必要となる。

加藤が、163センチという格闘家としては、恵まれない体格でありながら、91年の北斗旗無差別大会で優勝してしまったこと。

そして、加藤が投げや寝技を認め、実戦に即した格闘空手を標榜する、大道塾の理念を証明するために、積

大道塾　北斗旗
全日本体力別空手道選手権大会
5.13★宮城県スポーツセンター

加藤のコメント

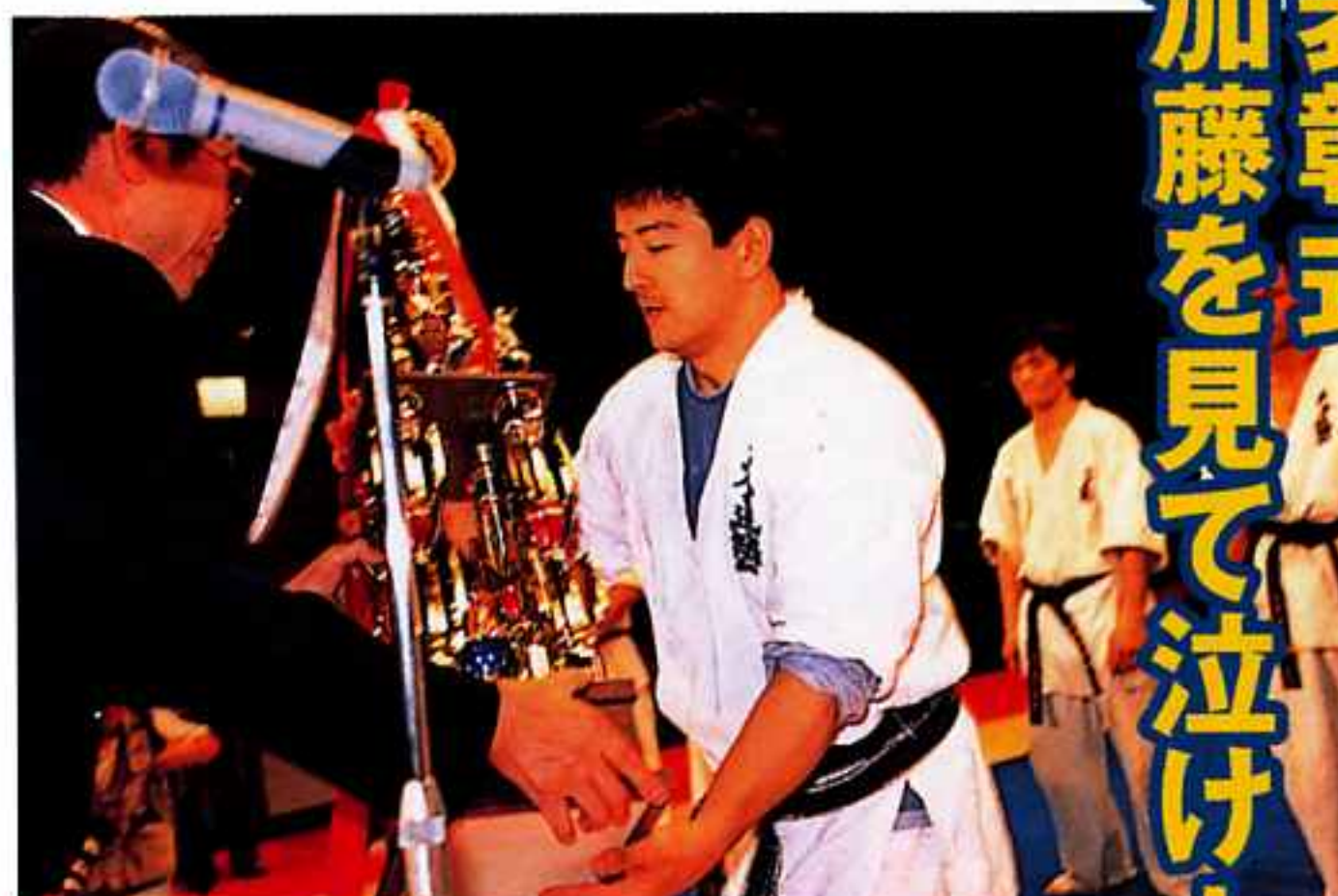
「内容は満足していないけど、結果はホッとしています。ケガする以前と今とでは、肉体面はほぼ100パーセントに戻っていますね。メンタル面では修羅場をくぐってきているから、強くなっているかもしれないです。（世界大会は）みんな危機感を持ってほしいですね、次につなげるためにも。第２回までに若手を伸ばすには、自分らが第１回世界大会に勝たないとダメですね。そのためにはもっと危機感を持たないと」

▶佐野の蹴り足をキャッチしての攻撃。２回戦で痛めたという左足のケガもものともせず、闘っていた

▶グラウンドの攻防を有位に展開する佐野。加藤も必死で逃げようとするが……

寝技も有りの格闘空手！これが"北斗旗"の醍醐味だ！

▶遂に佐野が加藤の腕を捉えた！　このまま腕ひしぎ十字固めにもっていこうとするが、加藤はうまく切り抜けた

感動の表彰式　男なら加藤を見て泣け！

▲表彰式にて。優勝して、ホッとしたのも束の間、次は世界大会が待っている。まだまだ、気の抜けない日々が続きそうだ

中量級RESULTS

優　勝	加藤清尚	（総本部）
準優勝	佐野教明	（新宿支部）
３　位	高田久嗣	（浦和同好会）
３　位	藤本直樹	（浦和同好会）

そして判定。主審の手が加藤に挙がった！　地獄から生還した男の勝利だ！

★中量級・決勝戦
○加藤清尚（延長4-0優勢勝ち）佐野教明●
〈総本部〉　〈新宿支部〉

▶かつて大ケガをした右足で、ヒザ蹴りを喰らわす加藤！　まさに闘志の塊だ

大道塾の理念を証明するために、積極的にキックやムエタイに挑戦していったこと。

だが、それにも増して知っておかなければならないことは、彼が海外でトレーニング中、とんでもない大事故に見舞われたということである。

加藤はこの事故によって、右足を複雑骨折してしまったのだ。最初は、右足を切断しなければならないというほど、ひどいものだった。治っても、日常生活すら満足にできないだろう、そんなケガである。

しかし、加藤はそこから奇跡的な復活を遂げた。それが、今回の優勝なのである。それは、ただの復活劇ではない。ケガからの復帰という話は、格闘技界にかかわらず、どこのスポーツでもある話だ。

だが、加藤の復活は、そういうレベルの話ではない。日常生活ですら満足にできないだろうというレベルから、格闘技の試合に出てくるだけでも賞賛に値するのに、優勝までやってのけてしまったのである。

34歳という年齢と、先程も言った中量級の中でも小柄な部類に入る彼の体格からみても、優勝したことがどれだけ凄いかは、もはや現代の奇跡とし か言いようがない。

だが、加藤はそれでも満足していない。彼の目は、第１回の世界大会の制覇に向けられている。

次代を担う若手を伸ばすためにも自分が第１回の世界大会に勝たなければならないという信念があるのだ。

凄すぎる！　ここまでのことが頭に入れば、なぜ取材に来ていた他の雑誌の記者が、あれだけ興奮していたのか、理解できるというものだ。

決して衰えぬ闘志を持つ男。それが加藤清尚である。　（小松）

11/17

北斗旗初の世界大会へのキップをかけて激闘が続出だっ！

各階級ダイジェスト！　ベスト４以上が、世界大会の代表メンバーに

今回の北斗旗体力別選手権大会は、４階級に分かれていた昨年までとは違い、超重量級が新設され、５階級となって行われた。そしてこの大会で各階級のベスト４に入った選手が、１１月１７日に開催される北斗旗初の世界大会に出場することができるのだ。それでは、中量級以外の残りの４階級のダイジェストをご覧あれ！

軽量級に小川の敵はいないのか！？

軽量級

軽量級は、４月21日にフランスで行われた『グラントロフィー』で勝利を収めてきた小川英樹が、圧倒的な強さで優勝した。決勝戦では、榎並博幸から片羽絞めで準決勝に続いて一本勝ち。93年から97年までこの階級を5連覇し、99年には中量級をも制した実力を他の選手にまざまざと見せつけた

軽量級RESULTS

優　勝	小川英樹（中部本部）
準優勝	榎並博幸（安城同好会）
３　位	中野正康（大阪北同好会）
３　位	※特別賞受賞 佐藤繁樹（東北本部）

乱撃戦を制し、岩木秀之が初優勝！

軽重量級

過去、中量級3度優勝、そして99年軽重量級優勝という実績をもつベテランの飯村健一や、昨年の優勝者・能登谷佳樹という強豪を抑えて軽重量級の頂点に立ったのは、岩木秀之（写真・右）だ。決勝戦では、能登谷を破って上がってきた長野常道（写真・左）と壮絶な打撃戦を展開。判定４－０で、岩木が初優勝を飾った

軽重量級RESULTS

優　勝	岩木秀之（新潟支部）
準優勝	長野常道（総本部）
３　位	寺本正之（九州本部）
３　位	能登谷佳樹（浦和同好会）

弱冠20歳の若き王者誕生！

重量級

重量級の決勝戦に出てきたのは、この階級を92年から94年まで3連覇した経験を持つ武山卓己（写真・左）と20歳の藤松泰通（写真・右）。藤松は、1回戦・2回戦を絞め技で勝ち上がってきており、決勝戦でも武山に見事腕ひしぎ十字固めで一本勝ち！　最優秀勝利者賞を受賞する活躍を見せた

重量級RESULTS

優　勝	※最優秀勝利者賞受賞 藤松泰通（総本部）
準優勝	武山卓己（東北本部）
３　位	藤澤雄司（横浜支部）
３　位	村田良成（総本部）

超重量級を制したのは、この階級で最も小柄な山崎進

超重量級

新設された超重量級を制したのは、この階級で最も小柄だった山崎進（写真・左）だ。山崎と決勝戦を争ったのは、昨年重量級を制している稲田卓也（写真・右）。山崎と稲田の身長差はおよそ10センチもある。しかし、山崎はものともせず道衣を掴んでの頭突きなど気合い溢れる闘いぶりで、稲田を判定４－０下し、超重量級の初代王者となった

超重量級RESULTS

優　勝	山崎進（総本部）
準優勝	稲田卓也（横浜支部）
３　位	※特別賞受賞 金子哲也（横浜支部）
３　位	藤田忠司（豊橋同好会）

〝怒り〟こそ最強のモチベーション！

小林聡、フランスのムエタイキラーをネジ伏せる

タイで数々の実績を持つスカボロスキーに「実はビビッてた」と言う小林。しかし物見遊山で来日、ナメた態度を取られたことへの怒りも充分だった。この目の力はどうだ！

小林のコメント

「実力差はあっても、人間対人間の闘いだったら絶対に負けないと思ってました。ま、タイ人には強いのかもしれないけど、オレ、タイ人じゃないし（笑）。オレらしく闘って勝とうと。いい感じだったんで、これからもいい感じでいけると思います。自分がいい試合しないと、K－1中量級に話題取られちゃうんで」

スカボロスキーのコメント

「体重オーバーは負けとは関係ない。単にコバヤシのほうが強かったということだ。（対策は？）特になかった。ナメていたとか、そういうことではない。オレよりコバヤシのほうが強かったんだ。（スネをケガしているが？）2カ月前、練習中にやった。でも痛くもかゆくもない」

▲佐藤孝也らを擁する名門ジム、名古屋JKFがニュージャパンキックから全日本に復帰、今大会で挨拶を行った。JKF勢は6・17後楽園大会より参戦する

	小林聡	スカボロスキー
モチベーション（闘志・気迫）	10	2
技術・戦略	8	1
KOスピリット	10	5
勝ちっぷり負けっぷり	8	1
全体的な印象・インパクト	9	6
合　計	45	15

★第9試合/メインイベント（3分5R）
○小林聡（2R1分31秒、KO勝ち）ジャン・スカボロスキー●
〈日本/藤原ジム〉　〈フランス/チーム・ゼイトン〉
※3ノックダウン。スカボロスキーは2Rに右ストレート、左フック、パンチ連打でダウンを喫した。小林8オンス、スカボロスキー10オンスのグローブハンデ戦（スカボロスキーが計量500グラムオーバーのため）

◀2Rに入ると、小林は右ストレートでダウンを奪う。続けざまのラッシュは相打ち状態だったが、ここも打ち勝って左フックで倒す。最後はコーナーにクギ付けにしての連打でストップ

「これでオレが世界一、でしょ？」（小林）

▶世界屈指の強豪を初来日でまんまと潰した小林。この日、観客の入りはイマイチだったが、メインでのヒートアップぶりは凄まじかった。小林は試合後「これでオレが世界一でしょう。ムラッド・サリを倒した人みたいな評価、されてもいいんじゃないですか」とコメント

▶1R、スカボロスキーはその強さの片鱗を見せる。「あんなに強いとは思わなかった」と小林が振り返ったミドルキック。長いリーチから繰り出すアッパーなどのパンチも脅威だった

小林聡は全日本キックのエースとして興行を背負う立場にいる。だが、小林が輝くのは決して〝責任感〟なんぞをモチベーションに闘う時ではない。むしろ何かにムカついたり、怒っていたりする時だ。

今回の試合がまさにそれ。小林は怒り、ムカつきまくっていた。

前回のサッダム戦で〝あと一歩〟を踏み込むことができずに判定負けした自分への怒り、そして対戦相手・スカボロスキーへの怒りである。

スカボロスキーは、現在タイで大活躍中のフランス人。ロバート・ゲンノラシンをはじめ数々の強豪を破っており、最近もタイで4連続KO勝ちを収めている。いわば一時期のデッカーやサリのような存在だ。小林は「アイツが世界最強だと思ってた」と言い、藤原敏男会長も試合後に「ウチでやらないか」とスカウトまでするほどの強者なのである。

だがこの男、待望の初来日を果たしたまでは良かったが、これが完全に物見遊山。数日後に試合を控えているというのに関係者を連れて飲み歩き、あげくに自分が要求した契約体重をオーバーしてしまった。

ファンさえもナメた行為ではあるが、これが結果的に小林の怒りに火をつけ、劇的なKO決着のお膳立てをしたわけだ。

「リングに怒りをぶつけろ！」

アントニオ猪木の教えは、キック界で生きていたのである。（橋本）

土井広之と後藤龍治に告ぐ――自分の可能性をナメるなっ！

SB・土井、"魔裟斗に勝った男"に苦杯

	スリヤー	土井広之
モチベーション（闘志・気迫）	5	7
技術・戦略	7	5
KOスピリット	5	2
勝ちっぷり負けっぷり	2	0
全体的な印象・インパクト	6	3
合計	25	17

土井広之と後藤龍治。中量級戦線で"実力派"としてならす2人だが、この日は振るわず。強豪タイ人に揃って敗れてしまった

後藤、オーローノーと好勝負？

	オーローノー	後藤龍治
モチベーション（闘志・気迫）	5	8
技術・戦略	7	7
KOスピリット	5	6
勝ちっぷり負けっぷり	2	0
全体的な印象・インパクト	4	5
合計	23	26

撮影◎中島ミノル

現在、キックの興行は慢性的に不調が続いているのだが、今大会は超満員の盛況だった。選手の友人や後援者も多かったようだが、一般のファンの数も相当なものだったはずだ。なにしろカードがいい。井上哲VS金沢久幸という王者対決、それにシュートボクシングからは土井広之が参戦し、〝立ち技バーリ・トゥーダー〟後藤龍治も出場である。しかも土井はスリヤー（昨年12月に魔裟斗を下している）、後藤はオーローノーと、タイの強豪との対戦だ。

土井、後藤とも昨年のK―1中量級大会には出場していないが、実力は誰もが認めるところ。純粋なキックの試合、ましてタイ人との試合は珍しく、それだけに今回はその強さを、ムエタイという格好の〝測定基準〟を相手に示してくれ……れば良かったんだけれども。

結果は、揃って判定負け。見た限りでは、2人とも普段の半分くらいしか実力を発揮できていなかった。特に土井は、以前から「21世紀のキック界を引っ張るのは彼じゃなく僕」など、魔裟斗を挑発するような発言をしていただけに、この負けはかなり痛い。あげくにスリヤーに「土井と魔裟斗がやったら魔裟斗が勝つ」とまで言われてしまった。

そして試合内容よりいただけなかったのが、彼らのコメントだ。

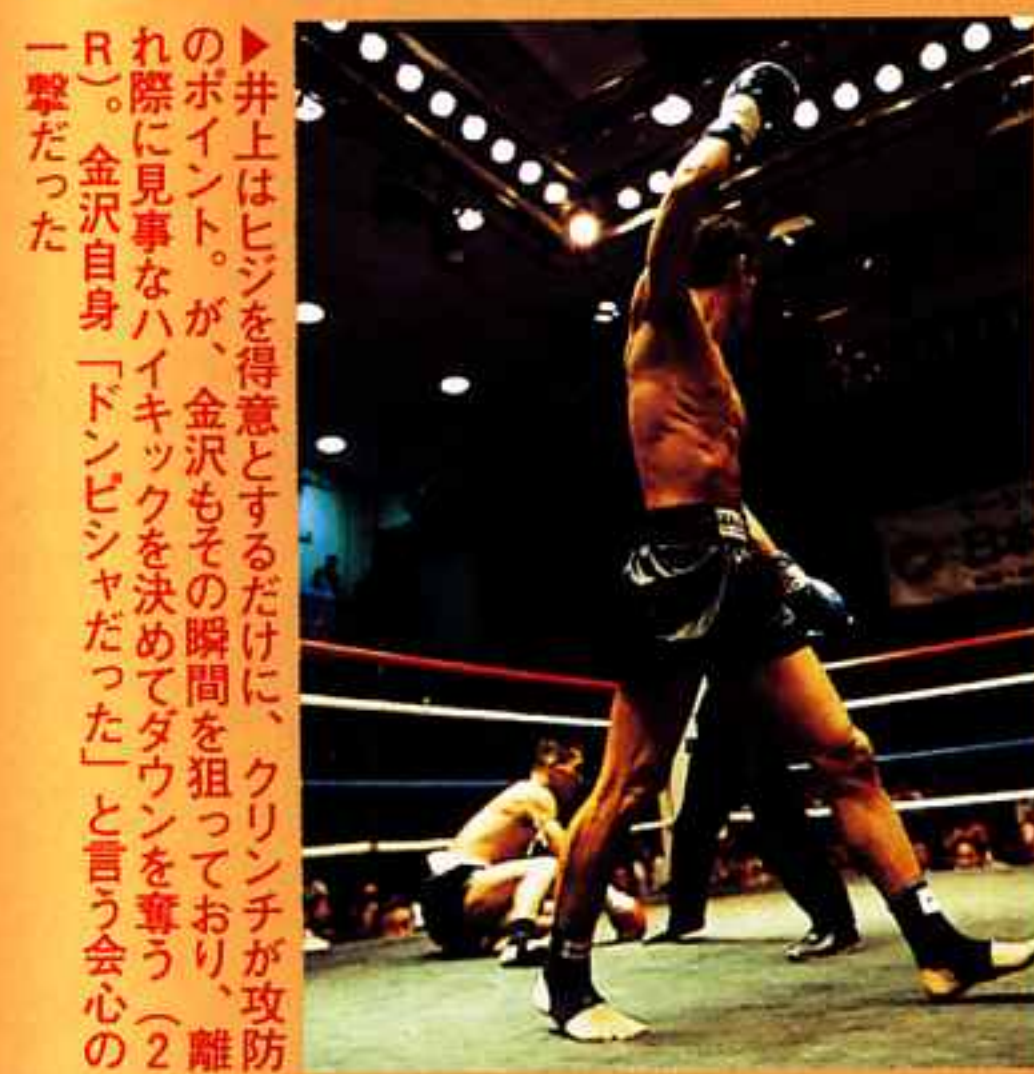
「こんなもんかと思って手を緩めてしまった。5Rを優勢に終われば（判

最強を求めて!!

世界制覇

MAキック　5.20★後楽園ホール

MA対全日本、王者対決は
金沢久幸が勝利!

◀メインイベントでは、井上哲（MA）と金沢久幸（全日本）のライト級王者対決が実現。自分が不利という下馬評に密かに燃えていたという金沢が、判定3－0で勝利した

▶井上はヒジを得意とするだけに、クリンチが攻防のポイント。が、金沢もその瞬間を狙っており、離れ際に見事なハイキックを決めてダウンを奪う（2R）。金沢自身「ドンピシャだった」と言う会心の一撃だった

▲試合後、井上は金沢の控室へ出向き、「完敗です」と頭を下げた。対抗戦敗退の責任感から、井上はベルト返上の意向も表明

★第13試合（3分5R）
○スリヤー・ソー・プルンチット（5R判定3-0）土井広之●
〈タイ〉　〈SB/シーザージム〉
※採点…50-47、49-47、49-45。土井は4Rに左ストレートでダウン。5Rに投げで減点1あり

スリヤー「土井と魔裟斗がやったら魔裟斗が勝つ」
こんなこと言わせてていいのか!?

▲スリヤーはタイ人には珍しく、初回からガンガン攻めてくるタイプだった。土井の動きがパタッと止まってしまう場面も

◀4Rには蹴り足を掴んでからのパンチでダウン。それでも「5Rを優勢に終われば判定勝ちできる」と土井は思ったと言う。が、その5R、今度は投げで減点1を喫し、結局3－0の判定負けとなった

▲昨年タイで魔裟斗を破っているスリヤーを相手に多彩な攻撃を見せた土井。得意の"キラーロー"はもちろん、SB伝家の宝刀・アッパーストレートなども繰り出していった

▼オーローノーの変則的な構えを、そっくりそのままお返し。試合は激しい打ち合いというより、集中力を総動員するつば競り合いの様相。終盤に的確な蹴りをヒットさせ続けたオーローノーが際どい判定をモノにした

後藤は本場タイでも超のつくビッグネーム、オーローノーと対戦。序盤はオーローノーを足払いで転がすなど、互角の展開を見せていた

後藤「自分の中では引き分けのつもり」
それがおまえのハードルなのか?

★第14試合（3分5R）
○オーローノー・ポー・ムアンウボン（5R判定2-0）後藤龍治●
〈タイ〉　〈サムライ〉
※採点…50-49、50-50、50-49

定で）勝てると思ったんですけど、いつものクセで投げを出してしまって」（土井）

ちょっと待ってくれ。判定勝ちできると思ってたの、キミ？　ここはMAキック、アウェーの舞台だよ。しかもタイ人って、判定勝ちのスペシャリストじゃないか。〃ブッ倒さなきゃ勝ちはない〃と思って闘うくらいで普通だろうが！

後藤も後藤だ。たしかに試合は緊張感のある神経戦だったし、充分にオーローノーと渡り合えていたと思う。だけど「タイ式の超一流との試合を楽しむのが目標だったから、それは達成できた。勝ったとは言わないけど、自分の中ではドローです。4年前にシティサックとやった時と比べたら格段の進歩でしょ？」って、それはないだろう。たしかに4月からの3連戦で、コンディションは悪かったと思う。でも後藤はそのために、あらかじめ満足度の基準を下げていたとしか思えない。

もしかしたら、これは悔しまぎれのポーズなのかもしれない。ホントは自分に腹を立てているかも……。いや、もしそうだとしても、そんなポーズがなんになる？　今、魔裟斗が脚光を浴びているのは、先鋭的な自主興行の話題性やスター性のためだけではない。誰よりも自分の力を信じ切り、どんな試合でも〃倒さなきゃ意味がない〃という素直な感情を相手に（それにファンやマスコミにも）ぶつけてきたからだ。

土井と後藤に足りないもの、それは実力ではない。自分に課すハードルの高さだ。判定勝ちできると思った？　自分の中ではドロー？　カンベンしてくれ。2人とも、自分の可能性をナメすぎてるよ。（橋本）

コールマン&ランデルマンの師弟コンビも、とうふパンが大好き♥

たっつぁん 読者プレゼント 万座ビーチ

【グレート・アントニオ提供】

グレート・アントニオ最新作！着れんのかーッ！

●(株)猪木事務所Tシャツ
(カラー白・赤・黒／サイズMかL)

各2名様

●(株)猪木事務所マグカップ
(発売未定)

3名様

●(株)猪木事務所マウスパッド
(発売未定)

2名様

※グレート・アントニオの商品に関するお問い合わせは、グレート・アントニオ☎03-3219-9550まで

【バトル・プレイス提供】

破壊なくして創造なし、破壊王なくしてプロレスなし！

●ZERO-ONEライター
●ZERO-ONEマグネット
●破壊王タオル
●ZERO-ONEステッカー
●ZERO-ONEマウスパッド

各2名様

※ZERO-ONEグッズは、『バトルプレイス』HP(www.battle-place.com)で手に入るよ！

【(株)トライアル提供】

『シュリ』を超えた！　韓国映画史上空前のメガヒット作品！

●『JSA』特別ご鑑賞チケット

10名様

※『シュリ』以降、日本でも巻き起こっている韓国映画ブームにとどめを刺す究極の大本命作品！　全国絶賛ロードショーに突入中！

グレート アントニオ TOKYO INFORMATION

そんなにクレジットが必要なら、でっかく入れりゃあいいじゃねえかッ!!

猪木NEWTシャツ、通販スタ～ト!

(株)猪木事務所Tシャツ
(カラー白・赤・黒/サイズM・L)
¥3,500(税抜)

大ブーム ファスティング・ダイエット
(税抜価格¥18,000)

我らがアントンがヘビーユーザーで、佐竹雅昭や小川直也も肉体改造に成功してから、その名を一躍世に知らしめた『ファスティング・ダイエット』。80種類の野草野菜を使って作られた発酵野菜ジュース3日分が1セットになっている。このジュースを1日4杯飲んで断食をすると、平均5キロの減量が可能。しかも体内の老廃物も取り除きます。ぜひ『ファスティング・ダイエット』をお試しください!(通信販売もやってます。ご注文方法は、118ページの通販方法と同じです)。

至 水道橋
キムラヤ
至 JR御茶ノ水駅(西口)
明大通り
ヴィクトリア
お茶の水仲通り
至 JR御茶ノ水駅(聖橋口)
至 岩本町
駿河台下交差点
靖国通り
小川町交差点
岩波ホール
★神保町 A7出口
三省堂書店
書泉ブックマート
千代田通り
ドトールコーヒー
ampm
ミズノスポーツ
ミナミスポーツ
まぐろ市場
小川町駅 新御茶ノ水駅★ B7出口
ガルリカフェ
明治書院
本郷通り
★淡路町駅 A4出口
第一勧銀
ジョナサン
パン屋
コインパーキング
ドトールコーヒー
神田警察署
デニーズ
神田警察署通り
竹橋駅★ 3b出口
プロレス専科
グレート・アントニオ

OPEN 11:00~20:00(月曜定休)
東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル1F
TEL 03-3219-9550

○神保町駅(半蔵門線/都営新宿線/都営三田線)より徒歩5分
○小川町駅(都営新宿線)より徒歩5分
○淡路町駅(丸ノ内線)より徒歩6分
○竹橋駅(東西線)より徒歩8分

【(株)ドリームステージエンターテインメント】

ボブチャンチンのNEW Tシャツ! カックイイ!!

●ロシアン・フックTシャツ
(サイズXL・L・M・S)

FRONT

BACK

2名様

●ボブチャンチンステッカー

3名様

※『プライド』グッズに関するお問い合わせは、ドリームステージ ☎03-5775-5700まで

■応募方法

ハガキには必ず応募券を貼ろう!

右ページ下の応募券を官製ハガキに貼って、
① 郵便番号・住所・電話番号
② お名前
③ 年齢・ご職業
④ 希望プレゼント名
⑤ 今号で面白かった記事とその理由(複数可)
⑥ 今号で面白くなかった記事とその理由(複数可)
⑦ 本誌に対するご意見・ご感想

を書いて、ビシバシ応募してください! なお、このハガキのご意見を無編に「ワンフー・マクダニエル」で掲載させていただくことがあります。実名がマズイ人は、ペンネームも記載してください。

あて先…〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F SRS・DX編集部「たっつぁん万歳ビーチ⑰」係まで
締め切り…6月14日(木) 当日消印有効

モデル:早川光由（正道会館柔術改め、ストライプ柔術クラスのインストラクター）

柔術衣（ダブル） JJ-1000 日本製

●上衣／二重織晒刺子地（横刺） 収縮率／縦2%・横6%
●ズボン／葛城晒加工地 収縮率／縦6%・横0% ■サイズ／2～5号

JJ-1000 柔術衣 （単位:円）

サイズ（号）	JJ-1001（上衣）	JJ-50（ズボン）	JJ-1000（上下セット）
2～5	¥17,800	¥6,200	¥24,000

柔術衣参考サイズ	サイズ	2	3	4	5
	身長（cm）	155	165	175	185

柔術衣（シングル） JJ-100 日本製

●上衣／一重織晒刺子地（横刺） 収縮率／縦2%・横6%
●ズボン／葛城晒加工地 収縮率／縦6%・横0% ■サイズ／2～5号

JJ-100 柔術衣 （単位:円）

サイズ（号）	JJ-101（上衣）	JJ-50（ズボン）	JJ-100（上下セット）
2～5	¥8,800	¥6,200	¥15,000

柔術衣参考サイズ	サイズ	2	3	4	5
	身長（cm）	155	165	175	185

ブルー柔術衣 JJ-200BL 柔術衣 JJ-200 中国製

ブルー柔術衣 JJ-200BL
●上衣／一重織刺子（横刺） 収縮率／縦3%・横6%
●ズボン／葛城染加工地 収縮率／縦6%・横2% ■サイズ／4～7号

柔術衣 JJ-200
●上衣／一重織晒刺子地（横刺） 収縮率／縦3%・横6%
●ズボン／葛城晒加工地 収縮率／縦6%・横2% ■サイズ／4～7号

JJ-200／JJ-200BL 柔術衣 （単位:円）

サイズ（号）	JJ-201 / JJ-201BL（上衣）	JJ-202 / JJ-202BL（ズボン）	JJ-200 / JJ-200BL（上下セット）
4	¥6,860	¥2,940	¥ 9,800
5	¥7,280	¥3,120	¥10,400
6	¥7,560	¥3,240	¥10,800
7	¥7,980	¥3,420	¥11,400

柔術衣参考サイズ	サイズ	4	5	6	7
	身長（cm）	165	170	175	180

ヒクソングレーシー

①赤 ②黒 ③白 ③オレンジ ⑩白 ⑩黒

①ヒクソンパンツ RG-033 ¥2,900 ●色／紺・黒
②ZIPパーカーセットアップ RG-002 ¥3,900 ●色／黒・赤
③ロゴPパーカー RG-020 ¥3,900 ●色／白・黒・オレンジ
④Tシャツ RG-010 ¥1,900 ●色／白x黒 完売
⑤セットアップスーツ RG-061 ¥4,900 ●色／青・黒
⑥パーカー RG-053 ¥4,900 ●色／白
⑦ZIPパーカー RG-014 ¥3,900 ●色／白
⑧"無敗"トレーナー RG-016 ¥2,900 ●色／白・黒
⑨ヒクソントレーナー RG-052 ¥2,900 ●色／白・黒
⑩ZIPパーカー RG-055 ¥4,900 ●色／白・黒

RICKSON GRACIE

送料¥600 サイズ／M～L

参考サイズ（cm）	胸囲	身長	ウエスト
M	88～96	165～175	76～84
L	96～104	175～185	84～94

革製キックミット CKW-12

1ケ¥4,800 送料600円
長さ43x幅23x厚さ10cm
重さ1.5kg ベルト調節可能

ペアキックミット CKW-5

¥4,980 送料600円
サイズ：長40cmx巾20cmx厚8cm
重さ：（片方）350g
☆携帯の便利なメッシュバッグに入った2個組のキックミット。
☆軽量になっているので子供用にも最適。

メディシンボール

CN-3K ¥3,200 送料 600円 直径約23cm
CN-5K ¥5,500 送料800円 直径約27cm
CN-7K ¥6,500 送料1,000円 直径約27cm
☆ゴム製なので持ち易く、滑りにくい構造。

ボクシングマン PM-1

¥26,000 送料各¥1,500
●サイズ（土台部分）／直径55x高さ60cm
●重量／18kg（水を入れた時:130kg）
●3段階調節可能（高さ160～195cm）

※写真と実際の商品は一部形態が異なります。

スタンドバック KM-30

重さ：15kg
¥19,800 送料1,500円
水を入れた時の重さ：130kg
色／黒x赤
4段階調節可能（130cm～175cm）

WEIGHT WRIST&ANKLE ウエイトリスト&アンクル SUN-4

手首、足首どちらにも使用できます。
5ポンド ¥2,000 送料¥600 左右1組
10ポンド ¥2,500 送料¥800 左右1組

HAND GRIP ハンドグリップ SUN-3

¥1,800 送料600円
●1～6段階、負荷調節可能
最大負荷:30kg

WRIST TRAINER リストトレーナー SUN-2

¥3,500
●1～6段階、負荷調節可能
最大負荷:30kg
送料¥600

マウスピース（ケース付き）US-120

¥1,200 送料600円
色:イエロー・レッド・ブラック・ブルー・クリアー

WEIGHT GLOBE ウエイトグローブ SUN-5

5ポンド ¥2,500 送料¥600 左右1組
10ポンド ¥3,000 送料¥800 左右1組

SINCE 1932 ISAMI

中古ビデオ買い取ります。
(武道・格闘技・ボディビルディングetc…)
●連絡先：03-3352-4083（新宿店）
03-5214-6487（水道橋店）

ISAMI INFORMATION
お得なISAMI CARD
2%還元ポイントカード
東京イサミ、イサミ尚武堂でご利用できます。

アスリート待望のプロショップ！新宿店

HUNTERショートパンツ、柔術衣、PANCRASE、K−1、一撃Tシャツ、プロテイン、ビデオ、雑誌etc.
特価品多数取り扱っております。

格闘技ProShop
東京イサミ TOKYO ISAMI

〒160-0022
東京都新宿区新宿4-2-21
相模ビル3F
TEL.03-3352-4083
FAX.03-3352-4084
●営業時間：AM11:00〜PM7:00
●定休日：毎週火曜日、祝日

JR新宿駅南口および新南口より徒歩3分。是非、お気軽にご来店ください。

アスリート待望のプロショップ！水道橋店

広い店内に、格闘技グッズ、トレーニング用品等、5000点と豊富な品揃えでお客様をお待ちしております。

格闘技ProShop
イサミ尚武堂(株) ISAMI SHOBUDO CO.,LTD

水道橋西口 徒歩1分

〒101-0061
東京都千代田区三崎町2-18-5
京三会館2F
TEL.03-5214-6487
FAX.03-5214-6488
●営業時間：AM11:00〜PM7:00
●定休日：毎週火曜日

アスリート待望のプロショップ！札幌店

格闘技ProShop
札幌イサミ SAPPRO ISAMI

道衣、グローブ、ミット、プロテクター等の格闘技用品からサンドバッグ、ダンベル、プレート等のトレーニング器具の他、各団体のTシャツやグッズ、ビデオ、書籍等、幅広い品揃えです。通販でしか手に入らなかったものを、是非手にとってご覧下さい。

地下鉄東豊線 東区役所前駅前より 徒歩5分

〒060-0909
北海道札幌市東区北9条東10-3-26
パールコート光星10 1F
TEL.011-733-5301
FAX.011-733-5302
●営業時間：火曜〜土曜／12:00〜20:00
日曜・祝日／10:00〜18:00
●定休日：毎週月曜日

マジックグローブ

BX-108（8オンス） 1組¥7,500
BX-110（10オンス） 1組¥7,800
BX-112（12オンス） 1組¥8,100
BX-114（14オンス） 1組¥8,400
BX-116（16オンス） 1組¥8,700
色：赤・黒・青・白　送料600円

ボクサーグラップル

BG-001
1組¥11,000
送料¥600　●サイズ：M.L　●色／黒のみ
★外部素材／牛皮
★内部素材／ネオプレーン
★手首マジックテープ式

クラッシュグローブ

KW-15
1組¥8,000
送料¥600
●サイズ：フリー　●色：黒のみ

ナックルグローブ

SS-2
1組¥4,500
送料¥600
●サイズ：フリー　●色：黒のみ

パンチンググローブ

TW-10（サミング防止式）
1組¥4,500　送料¥600
●サイズ：M.L　●色：黒・赤
★牛皮製★親指カットフィンガー
★手首マジックテープ式

アルティメットグローブ

KW-3
1組¥7,800
送料600円
打つ!つかむ!手首が自在に動く!!
手首の締め具合を、自由に調整できます。
フリーサイズ・黒のみ　牛革製

パームグローブ

BX-21
1組¥3,500
送料600円
指が5本ともカットフィンガーになっているので打つだけでなく相手をつかむこともできます。
フリーサイズ　黒のみ　牛革製

スペシャルパンチンググローブ

BX-20
1組¥4,500
送料600円
●外部素材：最高級牛皮　●内部素材：最高級ナイロン

パンチンググローブカットフィンガー BX-2

紫　青　白　黄　赤　黒
各1組¥2,500　送料600円　白・紫・青・黄・赤・黒　／　牛皮製

パンチンググローブ

CKW-7（マジックテープ式）
1組¥3,800　送料600円
サイズ／S・M・L
表／本革　裏／ナイロン
●手首をバンドで巻き固定する為、手首のかえりを調整できます。
●親指カットフィンガー

SUPPORTER

※サポーターのみ各種混合で5組まで同一送料600円となります。
※他にも各種あります。

アウトカップサポーター L-646　直販のみ
定価¥2,500を
特価¥980

アウトカップサポーター CKW-646
¥2,500
CKW-646の裏側

ファールカップ CKW-20（大人用） CKW-20J（少年用）
¥2,500
CKW-20の裏側

Kid's Set L-10J
セット価格¥3,000
送料¥600
子供用のサポーターセットが登場。レッグ&アンクルと金的サポーターにメッシュ袋もついて持ち運びも楽々。

レッグ&アンクル D-548
1組¥6,000
色：白・黒、サイズ：F、LL
スポンジが通常品に比べ20mm厚

ニーパッド（F） L-124R
1組¥1,800

ローキックサポーター（F） L-122I
1組¥2,700

キックアンクル L-5035（F）
1組¥950

NEW
BADBOYグローブ JB-20
¥8,500
送料600円
サイズ／フリー　●色／黒
●牛革製●手首はひもとマジックテープ式

ニーガード　●色：白・黒あり
L-1103（大人用）
サイズ：F・L
1組¥2,000

レッグ&アンクル
L-227（大人用）
L-227J（少年用）
1組¥2,000

ニープロテクター
L-163（F）
1組¥3,500

NEW
BADBOYニーパット
JB-10
¥3,000　送料600円
サイズ／フリー　●色／黒
●内側／すべり止め付
*メッシュ袋はついていません。

ングセール

2001年 第3弾

定価¥2,800 ¥1,400
パンチンググローブ
品番:CPG-PU
COLOR/黒・赤
SIZE/フリー

定価¥3,800 ¥1,980
オープンフィンガーグローブ
品番:CFG
COLOR/黒
SIZE/フリー

定価¥8,000 ¥3,600
トレーニンググローブ
品番:CTG
COLOR/黒・赤
SIZE/16oz

定価¥9,000 ¥3,800
スパーリンググローブ
品番:CSG
COLOR/黒
SIZE/16oz

定価¥4,800 ¥2,400
ボディプロテクターベーシックモデル
品番:CBP-B
COLOR/黒
SIZE/フリー
超軽量型!

定価¥3,800 ¥1,600
パーフェクトガード
品番:CL-1
COLOR/白・赤
SIZE/フリー
大人気レガース!!

定価¥9,800 ¥4,500
スーパーガード
品番:CHG-S
COLOR/黒・赤・白
SIZE/フリー

定価¥5,800 ¥2,800
ヘッドガードDX
品番:CHG-DX
COLOR/黒・赤・白
SIZE/フリー
マスク取外しOK!

定価¥2,000 ¥980
レッグサポーター
品番:CLG
COLOR/白
SIZE/フリー

定価¥6,500 ¥3,200
純白フルコンタクト空手着
品番:CKT2
COLOR/純白
SIZE/4号・5号・6号
白帯付き!

定価¥1,500 ¥700
ファールカップ
品番:CGG
COLOR/白
SIZE/フリー
もちろん洗濯OK!

定価¥4,800 ¥2,800
レガースプロ
品番:CLG-P
COLOR/黒
SIZE/フリー

定価¥1,000 ¥500
拳サポーター
品番:CNG
COLOR/白
SIZE/フリー

定価¥5,800 ¥1,800
ムエタイショーツ
品番:CMS
COLOR/A.B.C.D.E
SIZE/Mフリー

定価¥2,400 ¥1,200
ハイパーキックミット
品番:CK-H
COLOR/黒・青
抜群の感触!

定価¥3,000 ¥1,500
スーパーハードミット
品番:CK-S
COLOR/黒
売切れごめん!!

定価¥3,600 ¥1,800
パンチングミット 両手1組
品番:CPM
COLOR/青
SIZE/フリー

さらにパンチンググローブプレゼント!!

定価¥19,800 ズバリ ¥9,800
スタンディングバッグ
品番:CSTB
COLOR/黒
SIZE/40×180cm

全商品、売切れ御免!!

高級レザーサンドバック大好評受付中!!

定価¥15,800 ¥6,400
サンドバッグ150B
品番:C150
COLOR/黒
SIZE/40×150cm

定価¥12,800 ¥4,900
サンドバッグ130B
品番:C130
COLOR/黒
SIZE/40×130cm

定価¥9,800 ¥3,400
サンドバッグ100B
品番:C100
COLOR/黒
SIZE/40×100cm

さらにパンチングボール付

ズバリ!全部つき!!

定価¥25,600 ズバリ ¥10,000
ファイティングフルセットF1
品番:CFS-F1
SIZE/150×150×215~235cm
ファイティングスタンド+サンドバッグ100B
+さらにパンチングボールつき!!

定価¥28,600 ズバリ ¥10,800
ファイティングフルセットF2
品番:CFS-F2
ファイティングスタンド+サンドバッグ130B
+さらにパンチングボールつき!!

定価¥31,600 ズバリ ¥11,500
ファイティングフルセットF3
品番:CFS-F3
ファイティングスタンド+サンドバッグ150B
+さらにパンチングボールつき!!

CYBER SPORTS INTERNATIONAL

オープニン

全商品、売切れ御免!!

NEW

定価¥12,000
¥5,500
フラットベンチ
品番:CBFL
COLOR/白
SIZE/W122×D63×H48cm
安定感抜群の高層タイプ

定価¥12,800
¥4,700
トレーニングベンチ
品番:CBTB
COLOR/白
SIZE/W128×D52×H98cm
ベンチプレスの基本形です

NEW
定価¥22,000
¥6,800
フォールディングベンチ
品番:CBFB
SIZE/W126×D63×H85~102cm

定価¥22,000
¥8,000
フラットマルチベンチ
品番:CBFM
COLOR/白
SIZE/W182×D56×H116cm
大幅値引き!!アームカールパッド付!

NEW
定価¥21,000
¥14,800
マルチウェイトベンチ
品番:CBMW
SIZE/W132×D100×H195cm

衝撃のプライス!!

75kg セット
定価¥56,600
¥19,800
フォールディングベンチフルセット
品番:CBFB-F
COLOR/白
SIZE/W126×D163×H85~102cm
フォールディングベンチ+セイフティスタンド+バーベルダンベル75KG
ベンチ折りたたみ式

フルセットでさらにお得!!

75kg セット
定価¥66,400
¥28,800
マルチウエイトベンチフルセット
品番:CBMW-F
COLOR/白
SIZE/W132×D100×H195cm
マルチウエイトベンチ+ラットオプション+セイフティスタンド+バーベルダンベル75KG
ガンガン鍛える為の装備満載!

衝撃のプライス!!

NEW
105kg セット
定価¥96,400
¥39,800
マルチウエイトビルダーフルセット
品番:CBMW-F
COLOR/白
SIZE/W132×D172×H195cm
マルチウエイベンチ+ラットオプション+セイフティスタンド+セイフティスクワットラック+バーベルダンベル105KG
この装備でこの価格!
今だけの特別セット!!

信頼のブランド、ワールドバーベル!!

スーパープライスDOWN!!

さらにオリジナルリフティンググローブサービス!!

バーベルダンベルセット(NEWタイプ)		カラー グレーハンマートーン	
35KG	品番:C35I	定価¥15,600	¥6,800
55KG	品番:C55I	定価¥23,600	¥9,800
75KG	品番:C75I	定価¥31,600	¥13,000
105KG	品番:C105I	定価¥43,600	¥17,000
145KG	品番:C145I	定価¥59,600	¥23,000

ダンベルセット(NEWタイプ)		カラー グレーハンマートーン	
20KG	品番:C20I	定価¥9,600	¥4,400
30KG	品番:C30I	定価¥13,600	¥5,900
40KG	品番:C40I	定価¥17,600	¥7,400
50KG	品番:C50I	定価¥21,600	¥8,200
60KG	品番:C60I	定価¥25,600	¥10,600

定価¥58,000
¥16,800
ハードパワーラック
品番:CBHP
COLOR/白
SIZE/W119×D90×H202cm
大幅値引き!!

定価¥9,000
¥3,980
セイフティスタンド
品番:CBSS
SIZE/W50×D52×H61~85cm

定価¥4,000
¥2,000
リフティンググローブ
品番:CWG
COLOR/黒
SIZE/フリー

定価¥10,000
¥2,200
プレートラック
品番:CBPR
COLOR/白
SIZE/W75×D38×H89cm
プレート整理の定番型

パット付
定価¥7,000
¥3,000
リフティングベルト
品番:CWB
COLOR/黒
SIZE/Lサイズ 85~100cm

NEW
定価¥18,000
¥9,000
セイフティスクワットラック
品番:CBSR
COLOR/白
SIZE/W135×D72×H110~145cm

定価¥6,500
¥1,980
シットアップベンチ
品番:CBSU
COLOR/白
SIZE/W125×D38×H60~85cm
角度調整・折りたたみOK

ズバリ!
定価¥3,800
¥1,800
レッグストッチャー
品番:CLS
COLOR/青
大幅値引き!!

全国通信販売OK! ご注文は電話・FAX・ハガキにて!!

サイバースポーツ インターナショナル

〒530-8388 大阪市北区芝田2-3-14 日生ビル3F ■受付時間/AM9:00~PM7:00 年中無休
TEL.06-6375-4050
FAX.06-6374-4020

●表示価格には送料・消費税は含まれておりません。●お支払いは代金引換・クレジットカード・分割がご利用いただけます。
●セール商品につき返品・交換はご容赦願います。●改良の為、色・デザインが予告なく変更される場合があります。
●在庫切れやお届けに日数がかかる場合がありますのでご了承願います。●商品によっては、ロゴマークが入らない場合があります。
●セット商品以外はベンチ本体の価格です。(プレート・シャフトは別売)

VISA MasterCard JCB Orico

グレートアントニオ

お知らせ
7/24〜8/6の14日間
グレートアントニオが津田沼パルコに
出張オープンします！
千葉のみなさん、よろしくね！

アントニオ猪木

⬆アントンTシャツ
（白／サイズXLのみ）￥3,500（税別）

※4/1〜8/31までの『グレート・アントニオ』限定販売
⬆アントニオ猪木×ザ・ハイロウスTシャツ
（白／サイズS・XS）￥2,800（税別）

闘魂お守り ⬆
（赤・ネイビー）
￥1,000（税別）

⬆INOKIキャップ
（黒・ライトグレー）
￥3,000（税別）

桜庭和志

⬅SAKUキーホルダー
￥800（税別）

FRONT
BACK

工作キットSAKU➡
ベルト（本物と同じサイズ＆段ボール製）￥2,500（税別）

安田忠夫

⬆猪木顔面Tシャツ（白／サイズXL・L・M・XS）￥3,500（税別）

⬆ヤスベガスTシャツ（白／サイズXL・L・M・XS）￥3,000（税別）

アレクサンダー大塚

⬆AO/DC Tシャツ［ver.2］
（黒／サイズSのみ）￥3,500（税別）※オレンジ部分はラメです。

高田延彦

⬆アイ・アム・プロレスラーTシャツ
（白／サイズL・M・S）
￥3,800（税別）

小川直也

⬆オーチャンTシャツⒶ
（黒／サイズL・M）
￥3,500（税別）

⬆オーチャンTシャツⒷ
（ラグラン／サイズL・M・S）￥3,500（税別）

アレクサンダー・カレリン

⬅"ハロー・シドニー!!"Tシャツ
（ベージュ・オレンジ／サイズXL・L・M・S）￥4,000（税別）
※オレンジはSサイズはありません。

➡"カレリンズ・リフト"Tシャツ
（白／サイズXL・L・M・S）￥4,000（税別）

ご注文方法

01 ご注文は電話受付のみです。

『グレート・アントニオ』通販専用NAVIダイヤル

☎(0570) 007800 ※携帯電話からは掛かりません。
☎(03) 3295-4450 ※携帯電話でも掛かります。
受付曜日・時間　月曜日〜土曜日・AM10:00〜PM6:00

02 商品お渡し方法

代金引換でのお受け取りとなります。
◎商品代金のほかに送料約700円（ゆうパック）、代引手数料約250円（いずれも地域によって異なります）がかかります。
◎お届けはご注文をいただいてから、5日前後で（株）ジャンボ（大阪）より郵送いたします。（ご注文が集中した場合は、お時間をいただく事があります。ご了承ください）

03 ご注意

◎代金、送料の先払いはお受けできません。
◎サイズ交換等の返品・交換はお受けできません。不良品等の理由による返品・交換の場合は、商品到着後10日以内にお電話にてご連絡ください。（期日を過ぎた場合は、受け付け致しかねます）
◎『グレート・アントニオ』店頭および『SRS・DX』編集部では、ご注文を受け付けておりません。

SRSDX 6・28 臨時増刊号 No.47
5・27 PRIDE.14横浜アリーナ大会速報
巻頭座談会「プロレスにとって黒船は何か?」
平成12年4月25日第3種郵便物認可 平成13年6月28日発行 増刊 第3巻・11号・通算47号
編集人・谷川貞治 発行人・柳沢忠之 発行所・(株)フジテレビ出版/(株)ローデス 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F 電話/03-3295-4445
発売所・(株)扶桑社 〒105-8070 東京都港区海岸1丁目15番1号
定価680円 本体648円

雑誌21586-6/28
Ⓛ-2001.7/31

T1121586060680

Printed in Japan